
**桶川市第五次総合振興計画
市民意識調査
報告書**

平成27年3月

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の概要.....	1
(3) 調査内容.....	1
(4) 調査結果の留意点.....	2
2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について	3
(1) 住みやすさ.....	3
(2) 住みにくさ.....	8
(3) 生活環境の満足度.....	11
(4) 定住意向.....	20
(5) 転出したい理由.....	23
3. 桶川市のまちづくりについて	26
(1) まちづくり全般.....	26
4. 分野ごとの状況について	33
(1) 都市整備.....	33
(2) 景観.....	36
(3) 協働のまちづくり.....	38
(4) 子育て支援.....	48
(5) 高齢者の生活.....	52
(6) 地球温暖化への取り組み.....	57
(7) 観光振興.....	62
5. 市政について	67
(1) 市政全般への関心度.....	67
(2) 市政情報.....	69
(3) 行政サービスと負担.....	73
(4) 施策の満足度と充実希望度.....	80
6. 桶川市の将来像について	109
(1) 桶川市の将来像.....	109
7. 回答者の属性	112
F1 性別.....	112
F2 年齢.....	113
F3 職業.....	114
F4 居住地区.....	116
F5 同居家族.....	117
F6 住居形態.....	118

8. 自由意見	119
1. だれもが主役の桶川をつくる【参画・協働】	120
2. 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる【教育・文化】	122
3. 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる【健康・福祉】	126
4. 環境にやさしく安全・安心に住み続けられる桶川をつくる【市民生活】	131
5. みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる【みどり・都市基盤】	135
6. にぎわいと活力ある桶川をつくる【産業】	154
7. 計画的で将来を見据えた桶川をつくる【行財政運営】	158
8. その他	168
参考資料	171
依頼文及び調査票.....	172

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市政運営の指針となる「第五次総合振興計画」の後期基本計画の策定にあたり、市が推進している施策の満足度や市政への意見などを市民から聴取し、本調査結果を基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の概要

調査結果の概要は以下のとおりである。

市民意識調査の概要

調査地域	桶川市全域
調査対象	桶川市在住の満18歳以上の男女個人 (平成26年9月1日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収
対象者数(配布数)	3,000人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
有効回収数	1,495
有効回収率	49.8%
実施期間	平成26年10月10日～10月27日

(3) 調査内容

●住みやすさ、生活環境、定住意向

〔住みやすさ、住みよい理由と住みにくい理由、生活環境、定住意向〕

●まちづくり

〔まちづくりについて良くなったもの、力をいれてほしいもの〕

●分野ごとの状況

〔都市整備、景観、協働と参画、子育て支援、高齢者の生活、地球温暖化への取り組み、観光振興〕

●市政

〔関心度、情報入手手段、税の使途や負担、各施策の満足度・充実希望度〕

●イメージや将来像

〔将来像、まちづくりへの意見・提案〕

●回答者の基本属性

〔性別、年齢、職業、居住地域、同居家族の年齢、住まい〕

(4) 調査結果の留意点

① 単数回答の場合の集計及び表示

- ・設問に「1つ」と記載したものが対象となる。
- ・単数回答の場合は、「全体」の値（無回答を含む）と合計値とが一致する。



② 複数回答の場合の集計及び表示

- ・設問に「2つ」「3つ」または「すべて」と記載したものが対象となる。
- ・複数回答の場合、「全体」の値（無回答を含む）と合計値とは一致しない。
- ・パーセンテージは、各々の回答数を該当する「全体」数で除した値であり、合計値は100%にならない。

③ パーセンテージの算出及び表示

- ・パーセンテージは表内の各項目の値を「全体」の値で除して算出している。
- ・小数点第2位を四捨五入しているため、各パーセント値と合計パーセント値は一致しない場合がある。
- ・図表中の「N」は、該当質問における有効回答者総数を表す。

④ クロス集計の表示

- ・クロス集計は、基本的に「性別」「年齢」「地区」の3項目で行っている。
- ・表の各項目の1行目はサンプル数、2行目は割合(%)を表す。
- ・ は横に見て第1位の項目（「無回答・不明」を除く）、 は横に見て第2位の項目（「無回答・不明」を除く）を表す。
- ・生活環境については、満足している(+4)、どちらかといえば満足している(+2)、ふつうである(0)、どちらかといえば不満である(-2)、不満である(-4)を得点化して算出している。

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

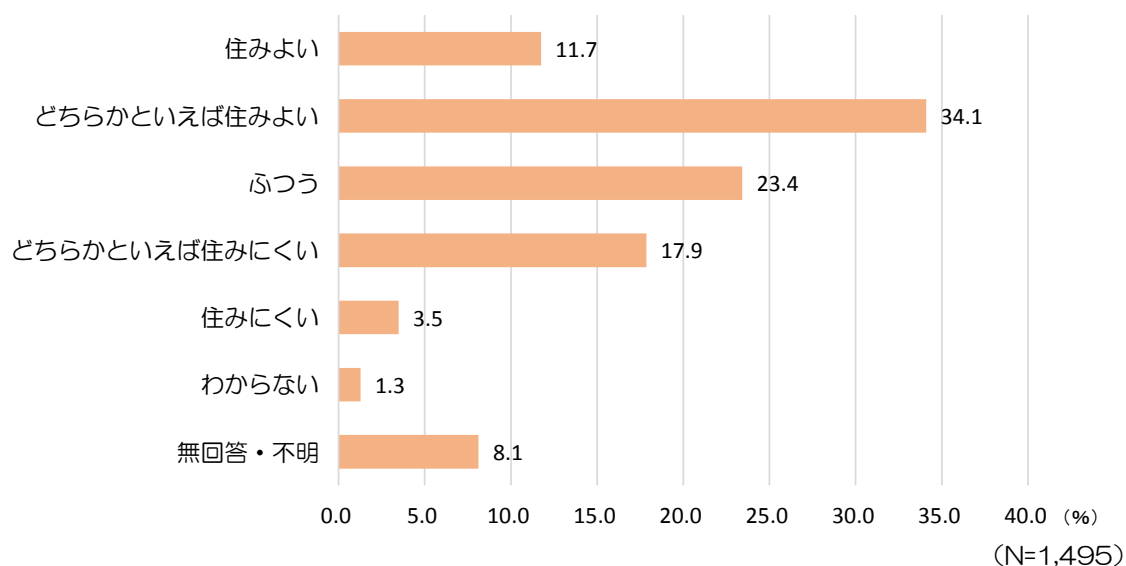
(1) 住みやすさ

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「どちらかといえば住みよい」が34.1%と最も多く、次いで「ふつう」23.4%、「どちらかといえば住みにくい」17.9%となっており、「住みにくい」は3.5%で最も少ない。

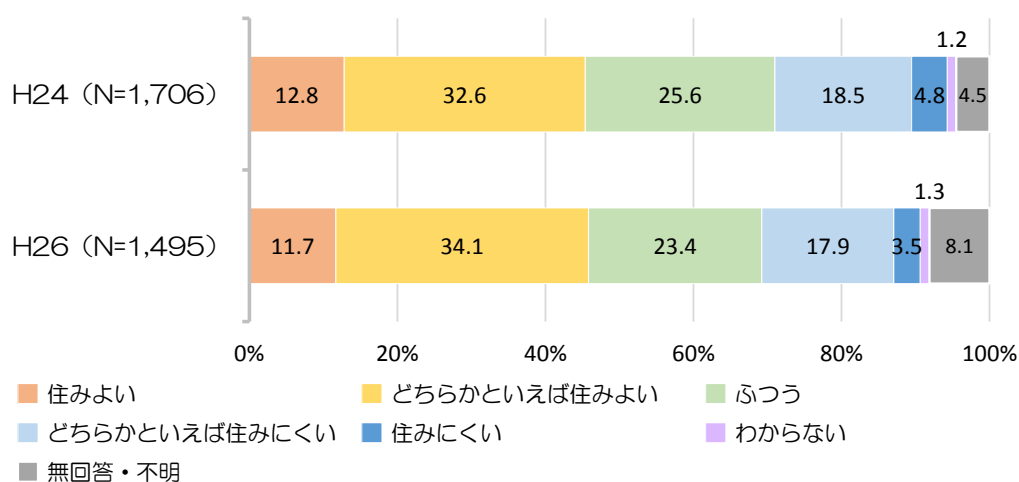
『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）との回答は45.8%、一方、『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）との回答は21.4%であり、全体としては『住みよい』と感じている人が多くなっている。



【経年変化】

桶川市の住みやすさについて、前回調査（平成24年度）と比較すると、『住みよい』との回答はほぼ横ばいとなっている。

一方で、「住みにくい」と答えた人の割合は減少している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「住みよい」が最も高く、その他では「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。また、50歳～59歳を除いて全体では「ふつう」が2番目に高い項目となっている。

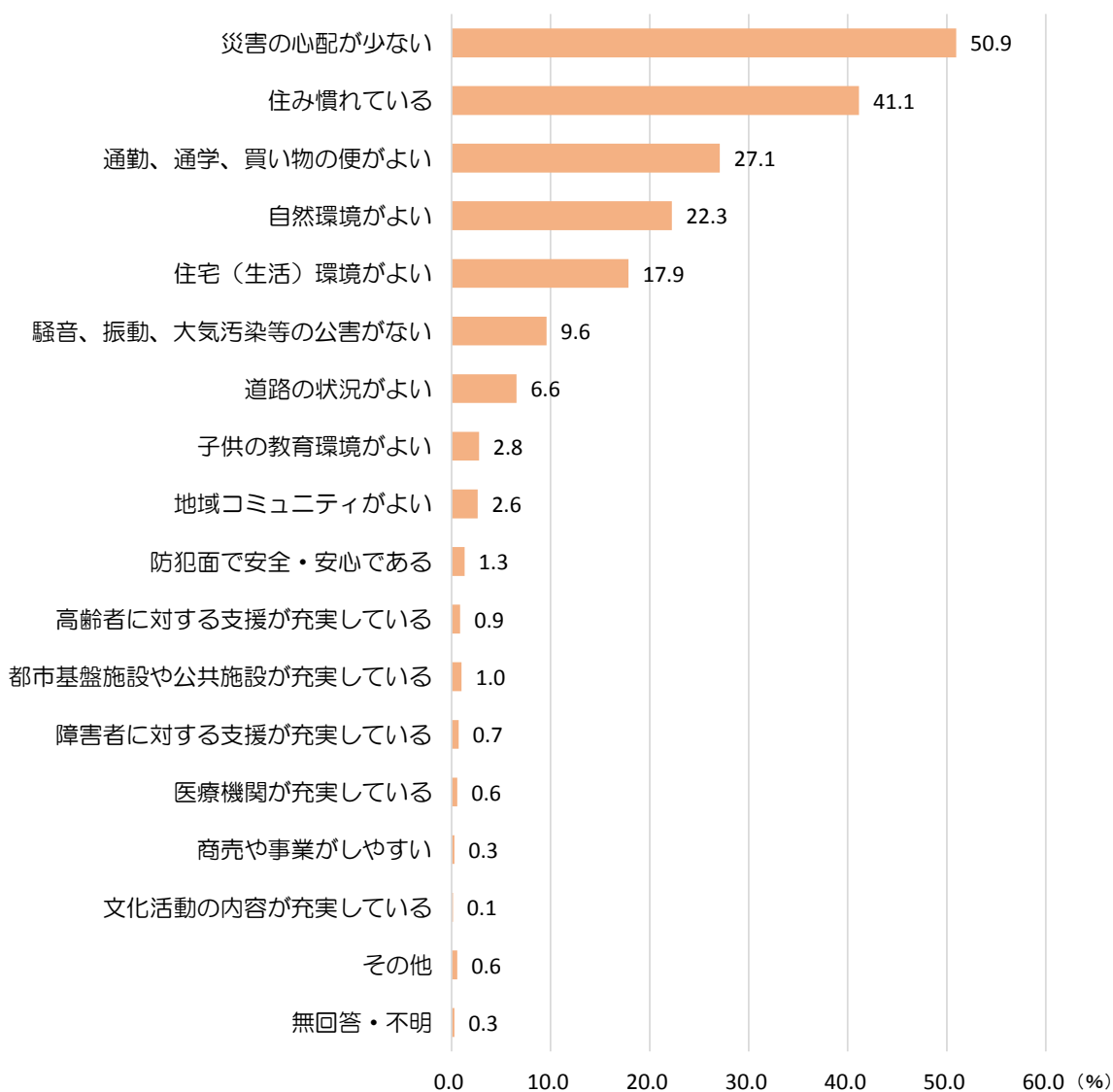
地区で見ると、加納地区では「ふつう」が、その他の地区では「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。また、駅東側周辺では「どちらかといえば住みにくい」が2番目に高くなっている。

	合計	住みよい	住ど み ち ら か と い え ば	ふ つ う	住ど み ち ら か と い え ば	住 み に く い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	
全体	1,495 100.0%	175 11.7%	510 34.1%	350 23.4%	267 17.9%	53 3.5%	19 1.3%	121 8.1%	
性別	男性	614 100.0%	74 12.1%	216 35.2%	133 21.7%	109 17.8%	22 3.6%	7 1.1%	53 8.6%
	女性	790 100.0%	91 11.5%	270 34.2%	194 24.6%	142 18.0%	28 3.5%	10 1.3%	55 7.0%
	無回答・不明	91 100.0%	10 11.0%	24 26.4%	23 25.3%	16 17.6%	3 3.3%	2 2.2%	13 14.3%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	7 38.9%	3 16.7%	5 27.8%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	13 13.4%	28 28.9%	25 25.8%	21 21.6%	5 5.2%	0 0.0%	5 5.2%
	30歳～39歳	182 100.0%	16 8.8%	60 33.0%	46 25.3%	40 22.0%	7 3.8%	1 0.5%	12 6.6%
	40歳～49歳	270 100.0%	28 10.4%	104 38.5%	58 21.5%	52 19.3%	9 3.3%	4 1.5%	15 5.6%
	50歳～59歳	230 100.0%	30 13.0%	71 30.9%	45 19.6%	56 24.3%	10 4.3%	4 1.7%	14 6.1%
	60歳～64歳	152 100.0%	13 8.6%	56 36.8%	41 27.0%	23 15.1%	4 2.6%	3 2.0%	12 7.9%
	65歳～69歳	179 100.0%	21 11.7%	67 37.4%	41 22.9%	23 12.8%	6 3.4%	3 1.7%	18 10.1%
	70歳～74歳	178 100.0%	21 11.8%	63 35.4%	42 23.6%	23 12.9%	8 4.5%	2 1.1%	19 10.7%
	75歳以上	131 100.0%	22 16.8%	45 34.4%	32 24.4%	14 10.7%	2 1.5%	1 0.8%	15 11.5%
	無回答・不明	58 100.0%	4 6.9%	13 22.4%	15 25.9%	12 20.7%	2 3.4%	1 1.7%	11 19.0%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	26 10.9%	88 37.0%	41 17.2%	50 21.0%	8 3.4%	2 0.8%	23 9.7%
	駅西側周辺	321 100.0%	45 14.0%	133 41.4%	72 22.4%	38 11.8%	10 3.1%	5 1.6%	18 5.6%
	日出谷地区	328 100.0%	46 14.0%	103 31.4%	78 23.8%	60 18.3%	9 2.7%	4 1.2%	28 8.5%
	坂田地区	263 100.0%	24 9.1%	90 34.2%	63 24.0%	52 19.8%	12 4.6%	5 1.9%	17 6.5%
	加納地区	144 100.0%	14 9.7%	37 25.7%	49 34.0%	24 16.7%	9 6.3%	0 0.0%	11 7.6%
	川田谷地区	131 100.0%	16 12.2%	43 32.8%	31 23.7%	27 20.6%	3 2.3%	2 1.5%	9 6.9%
	無回答・不明	70 100.0%	4 5.7%	16 22.9%	16 22.9%	16 22.9%	2 2.9%	1 1.4%	15 21.4%

問 1-1 「1.住みよい」「2.どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

全 体

「災害の心配が少ない」との回答が50.9%と最も多く、次いで「住み慣れている」41.1%、「通勤、通学、買い物の便がよい」27.1%、「自然環境がよい」22.3%が主な理由となっている。

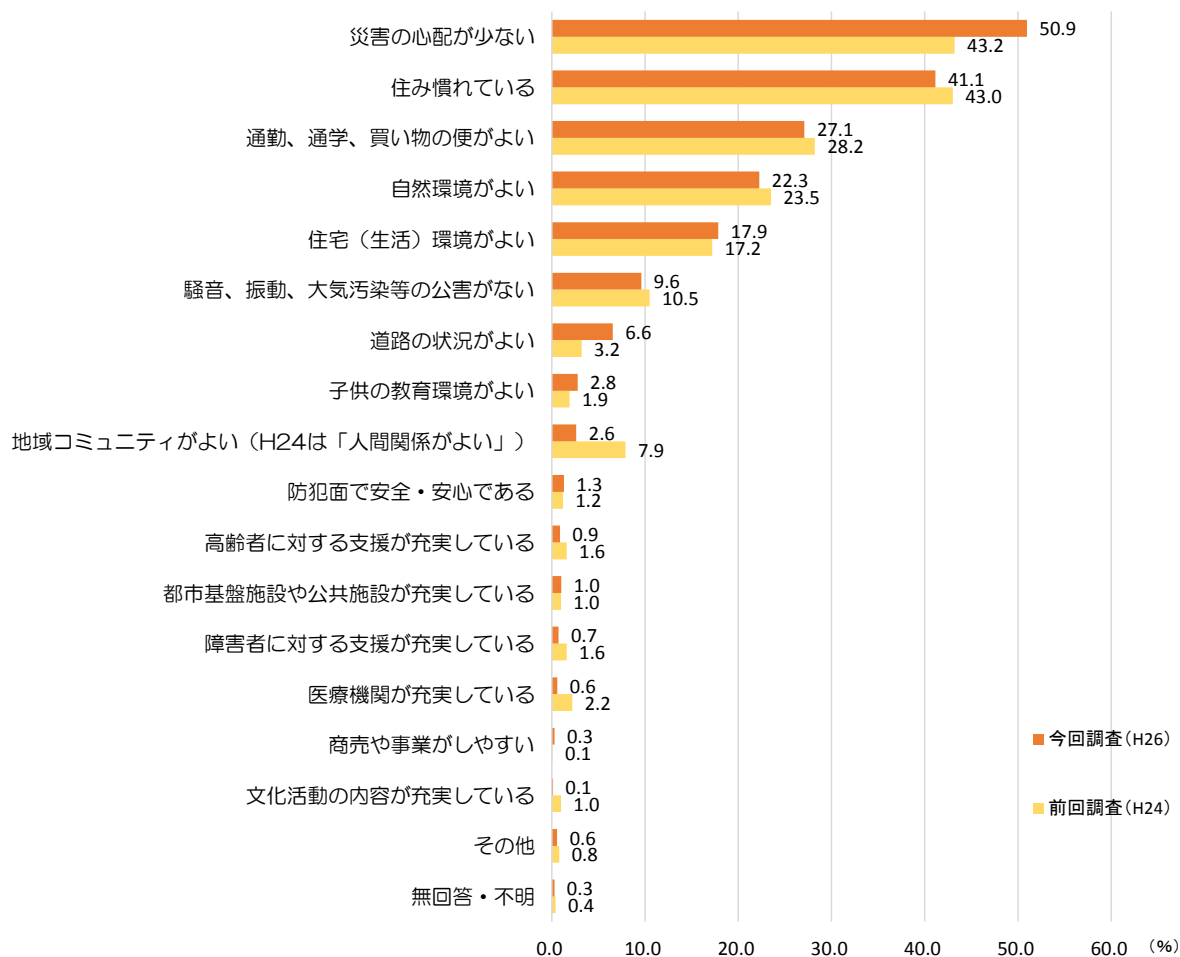


(N=687)

【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）との比較では、「災害の心配が少ない」が大きく増加しており、「住み慣れている」はわずかに減少している。

この他は、「道路の状況がよい」は大幅に増加した一方、「医療機関が充実している」「通勤、通学、買い物の便がよい」「自然環境がよい」などでは減少している。



平成 26 年度 (N=687)

平成 24 年度 (N=774)

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「災害の心配が少ない」が半数以上で最も高くなっている。
 年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「住み慣れている」が、
 40歳以上では「災害の心配が少ない」が最も高くなっている。

地区で見ると、川田谷地区では「自然環境がよい」が、その他の地区では「災害の心配が少ない」が最も高くなっている。

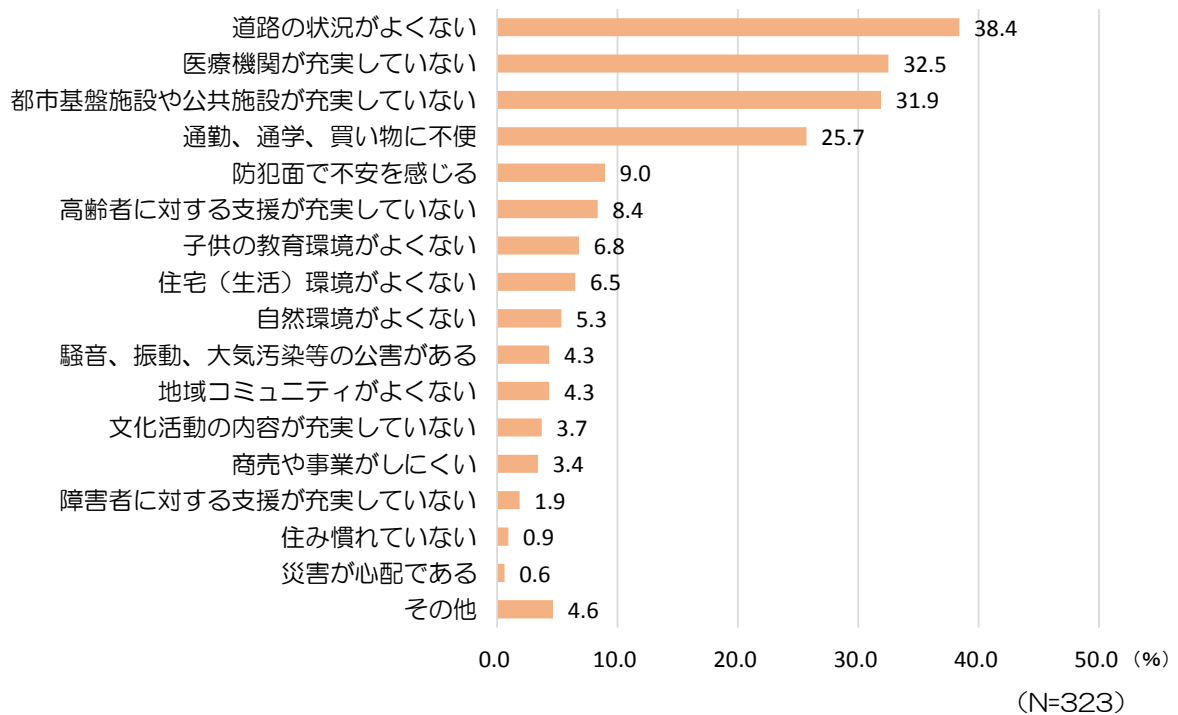
	合計	自然環境がよい	道路の状況がよい	都市基盤施設や公共施設が充実している	住宅（生活）環境がよい	通勤、通学、買い物の便がよい	子供の教育環境がよい	地域コミュニティがよい	住み慣れている	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	災害の心配が少ない	商売や事業がしやすい	防犯面で安全・安心である	高齢者に対する支援が充実している	医療機関が充実している	障害者に対する支援が充実している	文化活動の内容が充実している	その他	無回答・不明	
全体	687 100.0%	152 22.1%	45 6.6%	7 1.0%	122 17.8%	186 27.1%	19 2.8%	18 2.6%	282 41.0%	66 9.6%	350 50.9%	2 0.3%	9 1.3%	6 0.9%	4 0.6%	5 0.7%	1 0.1%	4 0.6%	2 0.3%	
性別	男性	290 100.0%	66 22.8%	17 5.9%	5 1.7%	63 21.7%	74 25.5%	6 2.1%	4 1.4%	119 41.0%	27 9.3%	145 50.0%	2 0.7%	3 1.0%	5 1.7%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	2 0.7%	1 0.3%
	女性	363 100.0%	80 22.0%	26 7.2%	2 0.6%	57 15.7%	105 28.9%	12 3.3%	13 3.6%	142 39.1%	37 10.2%	189 52.1%	0 0.0%	6 1.7%	1 0.3%	3 0.8%	4 1.1%	0 0.0%	2 0.6%	1 0.3%
	無回答・不明	34 100.0%	6 17.6%	2 5.9%	0 0.0%	2 5.9%	7 20.6%	1 2.9%	1 2.9%	21 61.8%	2 5.9%	16 47.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢	18歳～19歳	10 100.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	5 50.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	42 100.0%	5 11.9%	5 11.9%	1 2.4%	9 21.4%	12 28.6%	2 4.8%	2 0.0%	23 54.8%	2 4.8%	13 31.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳～39歳	77 100.0%	18 23.4%	10 13.0%	0 0.0%	17 22.1%	25 32.5%	3 3.9%	0 0.0%	34 44.2%	3 3.9%	26 33.8%	0 0.0%	2 2.6%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	1 1.3%
	40歳～49歳	132 100.0%	25 18.9%	10 7.6%	2 1.5%	21 15.9%	37 28.0%	10 7.6%	4 3.0%	44 33.3%	18 13.6%	59 44.7%	2 1.5%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	2 1.5%	0 0.0%	3 2.3%	1 0.8%
	50歳～59歳	101 100.0%	23 24.8%	2 2.0%	1 1.0%	18 17.8%	29 28.7%	1 1.0%	4 4.0%	36 35.6%	14 13.9%	55 54.5%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 1.0%	1 0.0%	0 0.0%
	60歳～64歳	69 100.0%	14 20.3%	3 4.3%	2 2.9%	17 24.6%	20 29.0%	0 0.0%	2 2.9%	27 39.1%	7 10.1%	37 53.6%	0 0.0%	3 4.3%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	65歳～69歳	88 100.0%	28 31.8%	4 4.5%	0 0.0%	16 18.2%	14 15.9%	2 2.3%	2 2.3%	34 38.6%	9 10.2%	60 68.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳～74歳	84 100.0%	13 15.5%	6 7.1%	1 1.2%	12 14.3%	26 31.0%	1 1.2%	4 4.8%	38 45.2%	6 7.1%	53 63.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	75歳以上	67 100.0%	18 26.9%	3 4.5%	0 0.0%	6 9.0%	17 25.4%	0 0.0%	0 0.0%	34 50.7%	3 4.5%	37 55.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.0%	2 3.0%	3 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答・不明	17 100.0%	5 29.4%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%	7 41.2%	4 23.5%	7 41.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地区	駅東側周辺	114 100.0%	15 13.2%	7 6.1%	0 0.0%	8 7.0%	42 36.8%	3 2.6%	3 2.6%	56 49.1%	9 7.9%	60 52.6%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.6%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%
	駅西側周辺	178 100.0%	31 17.4%	10 5.6%	3 1.7%	42 23.6%	69 38.8%	6 3.4%	5 2.8%	52 29.2%	19 10.7%	87 48.9%	1 0.6%	3 1.7%	3 1.7%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	
	日出谷地区	149 100.0%	32 21.5%	14 9.4%	2 1.3%	29 19.5%	31 20.8%	4 2.7%	0 0.7%	66 45.6%	16 10.7%	79 52.3%	0 0.0%	1 0.7%	2 1.3%	1 0.7%	2 1.3%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%
	坂田地区	114 100.0%	17 14.9%	9 7.9%	1 0.9%	30 26.3%	33 28.9%	3 2.6%	4 3.5%	37 32.5%	7 6.1%	60 52.6%	0 0.0%	3 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%
	加納地区	52 100.0%	14 26.9%	2 3.8%	1 1.9%	6 11.5%	6 11.5%	2 3.8%	1 1.9%	26 50.0%	6 11.5%	30 57.7%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	川田谷地区	60 100.0%	37 61.7%	2 3.3%	0 0.0%	4 6.7%	2 3.3%	1 1.7%	3 5.0%	34 56.7%	4 6.7%	27 45.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
無回答・不明	20 100.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%	3 15.0%	3 15.0%	0 0.0%	3 5.0%	9 45.0%	5 25.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

(2) 住みにくさ

問 1-2 「4.どちらかといえば住みにくい」「5.住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

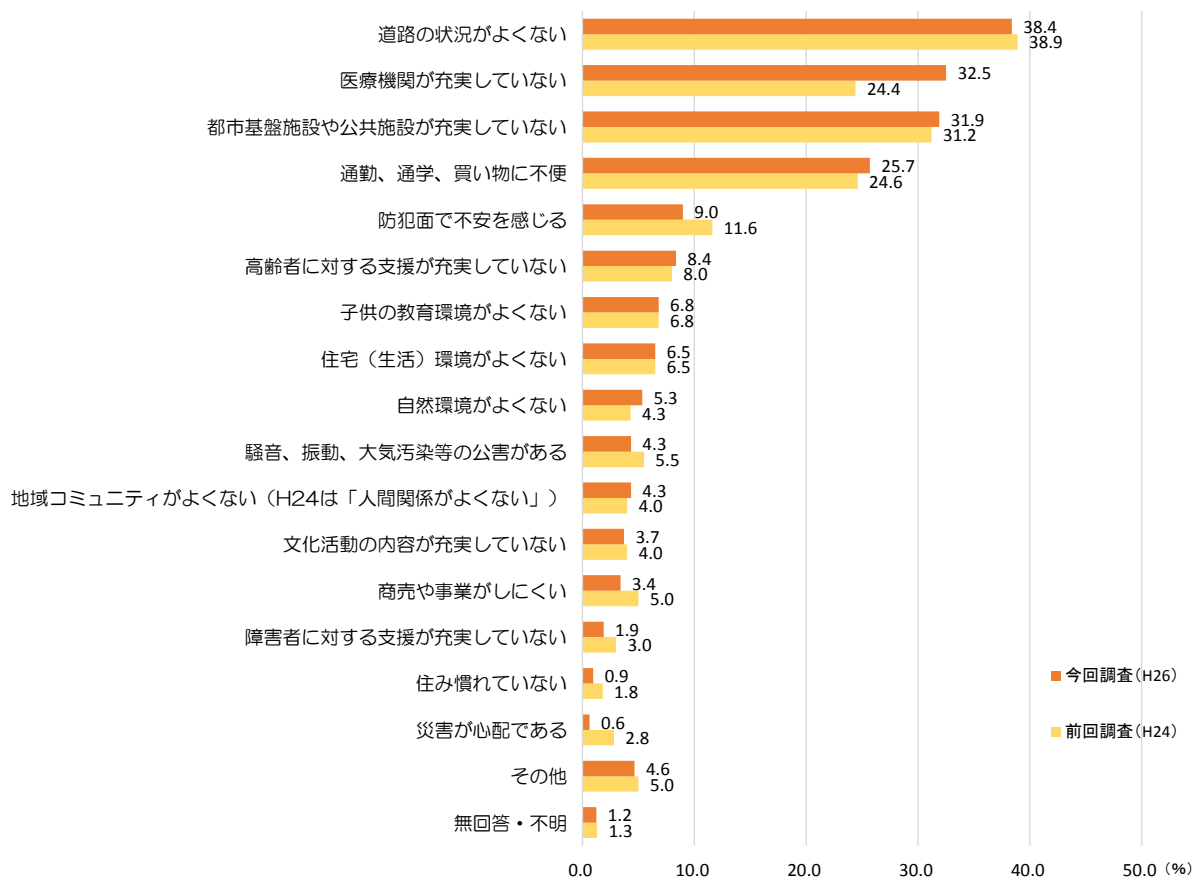
全 体

「道路の状況がよくない」が38.4%と最も多い。次いで「医療機関が充実していない」32.5%、「都市基盤施設や公共施設が充実していない」31.9%、「通勤、通学、買い物に不便」25.7%が主な理由である。



【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）との比較では、「医療機関が充実していない」が大きく増加している。この他、「防犯面で不安を感じる」「災害が心配である」「商売や事業がしにくい」では大幅に減少している。



平成 26 年度 (N=323)
平成 24 年度 (N=398)

ク ロ ス

性別で見ると、男性では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」が、女性では「道路の状況がよくない」が最も高くなっており、次いで男性では「道路の状況がよくない」、女性では「医療機関が充実していない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「通勤、通学、買い物に不便」、20歳～29歳、40歳～49歳、70歳～74歳では「道路の状況がよくない」、30歳～39歳、40歳～49歳では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、50歳～59歳、60歳～64歳、75歳以上では「医療機関が充実していない」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺地区と坂田地区では「道路の状況がよくない」、駅西側周辺地区と日出谷地区では「医療機関が充実していない」、加納地区では「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、川田谷地区では「通勤、通学、買い物に不便」が最も高くなっている。

	合計	自然環境がよくない	道路の状況がよくない	都市基盤施設や公共施設が充実していない	住宅（生活）環境がよくない	通勤、通学、買い物に不便	子供の教育環境がよくない	地域コミュニティがよくない	住み慣れていない	騒音、振動、大気汚染等の公害がある	災害が心配である	商売や事業がしにくい	防犯面で不安を感じる	高齢者に対する支援が充実していない	医療機関が充実していない	障害者に対する支援が充実していない	文化活動の内容が充実していない	その他	無回答・不明	
全体	323	17	124	103	21	83	22	14	3	14	2	11	29	27	105	6	12	15	4	
	100.0%	5.3%	38.4%	31.9%	6.5%	25.7%	6.8%	4.3%	0.9%	4.3%	0.6%	3.4%	9.0%	8.4%	32.5%	1.9%	3.7%	4.6%	1.2%	
性別	男性	131	8	49	51	10	26	10	4	1	6	0	7	13	12	40	3	3	5	0
		100.0%	6.1%	37.4%	38.9%	7.6%	19.8%	7.6%	3.1%	0.8%	4.6%	0.0%	5.3%	9.9%	9.2%	30.5%	2.3%	2.3%	3.8%	0.0%
	女性	173	9	69	47	10	47	11	10	1	7	1	3	16	12	58	3	8	10	4
	100.0%	5.2%	39.9%	27.2%	5.8%	27.2%	6.4%	5.8%	0.6%	4.0%	0.6%	1.7%	9.2%	6.9%	34.1%	1.7%	4.6%	5.8%	2.3%	
無回答・不明	19	0	6	5	1	10	1	0	1	1	1	1	0	3	6	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	31.6%	26.3%	5.3%	52.6%	5.3%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	15.8%	31.6%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	
年齢	18歳～19歳	3	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	26	1	10	6	1	9	2	1	0	2	0	1	5	1	5	2	1	2	1
		100.0%	3.8%	38.5%	23.1%	3.8%	34.6%	7.7%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	19.2%	3.8%	19.2%	7.7%	3.8%	7.7%	3.8%
	30歳～39歳	48	3	17	19	4	13	8	1	1	3	0	0	2	2	13	2	1	0	1
		100.0%	6.3%	35.4%	39.6%	8.3%	27.1%	16.7%	2.1%	2.1%	6.3%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	27.1%	4.2%	2.1%	0.0%	2.1%
	40歳～49歳	62	5	26	26	5	16	8	1	0	3	1	3	7	2	12	0	3	2	1
		100.0%	8.1%	41.9%	41.9%	8.1%	25.8%	12.9%	1.6%	0.0%	4.8%	1.6%	4.8%	11.3%	3.2%	19.4%	0.0%	4.8%	3.2%	1.6%
	50歳～59歳	66	2	26	14	5	20	1	1	1	3	0	2	8	2	31	1	2	3	0
		100.0%	3.0%	39.4%	21.2%	7.6%	30.3%	1.5%	1.5%	1.5%	4.5%	0.0%	3.0%	12.1%	3.0%	47.0%	1.5%	3.0%	4.5%	0.0%
	60歳～64歳	27	1	8	6	0	4	1	3	0	2	0	2	3	2	16	0	1	4	0
	100.0%	3.7%	29.6%	22.2%	0.0%	14.8%	3.7%	11.1%	0.0%	7.4%	0.0%	7.4%	11.1%	7.4%	59.3%	0.0%	3.7%	14.8%	0.0%	
65歳～69歳	29	1	10	12	1	4	2	2	0	0	0	2	2	7	9	1	1	1	0	
	100.0%	3.4%	34.5%	41.4%	3.4%	13.8%	6.9%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	6.9%	24.1%	31.0%	3.4%	3.4%	3.4%	0.0%	
70歳～74歳	31	3	17	11	1	5	0	3	1	1	0	0	1	4	10	0	1	2	0	
	100.0%	9.7%	54.8%	35.5%	3.2%	16.1%	0.0%	9.7%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	12.9%	32.3%	0.0%	3.2%	6.5%	0.0%	
75歳以上	17	1	5	4	2	4	0	0	0	0	0	1	1	3	7	0	1	0	1	
	100.0%	5.9%	29.4%	23.5%	11.8%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	17.6%	41.2%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	
無回答・不明	14	0	5	4	1	6	0	2	0	0	1	0	0	4	1	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	35.7%	28.6%	7.1%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	
地区	駅東側周辺	58	2	32	18	3	6	5	0	0	1	6	5	4	21	1	1	4	0	
		100.0%	3.4%	55.2%	31.0%	5.2%	10.3%	8.6%	0.0%	0.0%	1.7%	10.3%	8.6%	6.9%	36.2%	1.7%	1.7%	6.9%	0.0%	
	駅西側周辺	48	2	14	12	2	10	4	0	1	3	0	1	6	6	17	1	5	6	0
		100.0%	4.2%	29.2%	25.0%	4.2%	20.8%	8.3%	0.0%	2.1%	6.3%	0.0%	2.1%	12.5%	12.5%	35.4%	2.1%	10.4%	12.5%	0.0%
	日出谷地区	70	5	21	23	7	17	8	6	0	4	0	7	4	27	0	5	2	1	
		100.0%	7.1%	30.0%	32.9%	10.0%	24.3%	11.4%	8.6%	0.0%	5.7%	0.0%	10.0%	5.7%	38.6%	0.0%	7.1%	2.9%	1.4%	
	坂田地区	65	4	35	26	5	17	1	4	2	1	0	1	3	3	17	1	0	0	1
		100.0%	6.2%	53.8%	40.0%	7.7%	26.2%	1.5%	6.2%	3.1%	1.5%	0.0%	1.5%	4.6%	4.6%	26.2%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%
加納地区	33	3	7	13	1	12	2	1	0	3	0	2	3	3	12	1	0	0	1	
	100.0%	9.1%	21.2%	39.4%	3.0%	36.4%	6.1%	3.0%	0.0%	9.1%	0.0%	6.1%	9.1%	9.1%	36.4%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	
川田谷地区	31	1	9	7	1	14	2	1	0	2	0	1	5	3	7	1	1	2	1	
	100.0%	3.2%	29.0%	22.6%	3.2%	45.2%	6.5%	3.2%	0.0%	6.5%	0.0%	3.2%	16.1%	9.7%	22.6%	3.2%	3.2%	6.5%	3.2%	
無回答・不明	18	0	6	4	2	7	0	2	0	1	1	0	0	4	4	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	33.3%	22.2%	11.1%	38.9%	0.0%	11.1%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	

(3) 生活環境の満足度

問2 あなたは、桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について該当する番号を選び○をつけてください。

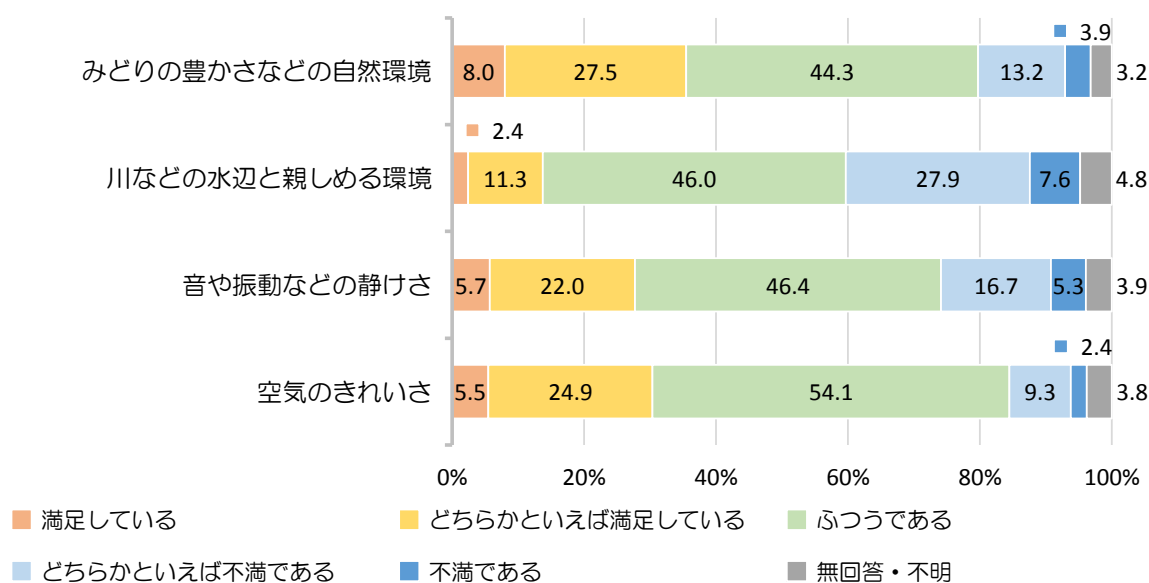
①快適さ、衛生、安全性、利便性、公共施設等について

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を上回るのは、「鉄道の利用」「みどりの豊かさなどの自然環境」「家庭ゴミの収集・処理」「し尿や家庭雑排水の処理」「空気のきれいさ」などである。

反対に『不満』が『満足』を上回るのは、「道路の整備状況」「防犯灯などの防犯施設」「子どもの遊び場や公園など」「趣味や学習のための施設」「信号機・ガードレールなどの交通安全施設」「川などの水辺と親しめる環境」などとなっている。

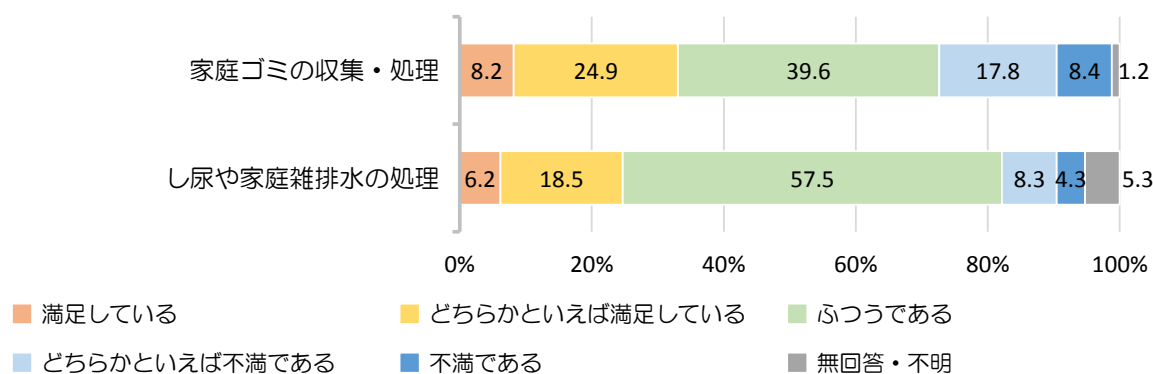
特に「子どもの遊び場や公園など」「道路の整備状況」では、それぞれ「不満である」が1割を超えるなど、評価が低い。

①-1 快適さについて



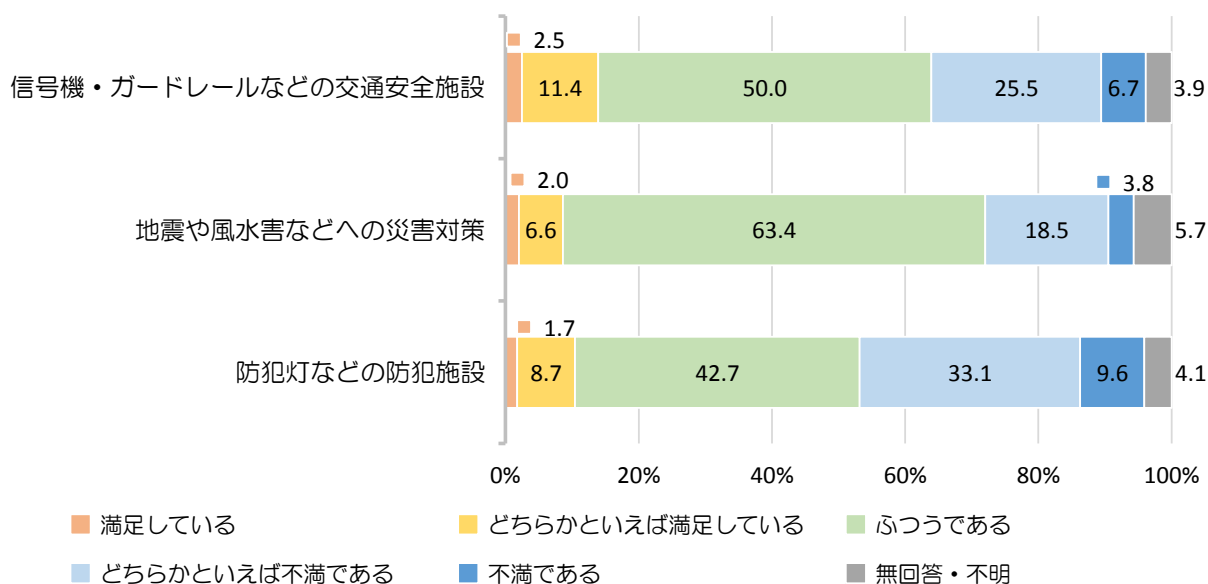
(N=1,495)

①-2 衛生について



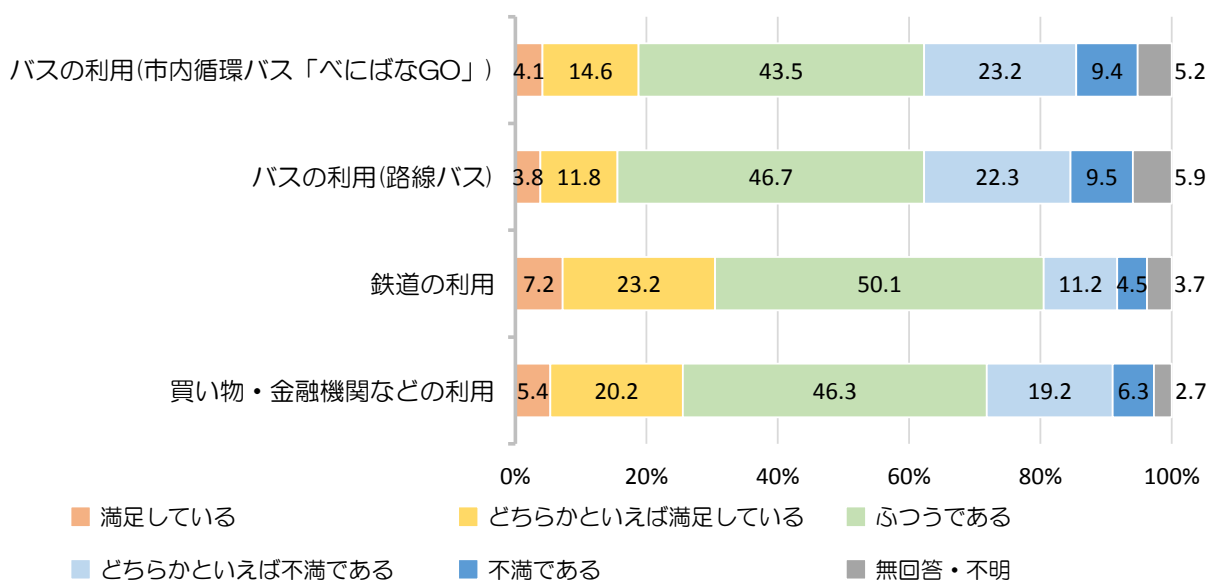
(N=1,495)

①-3 安全性について



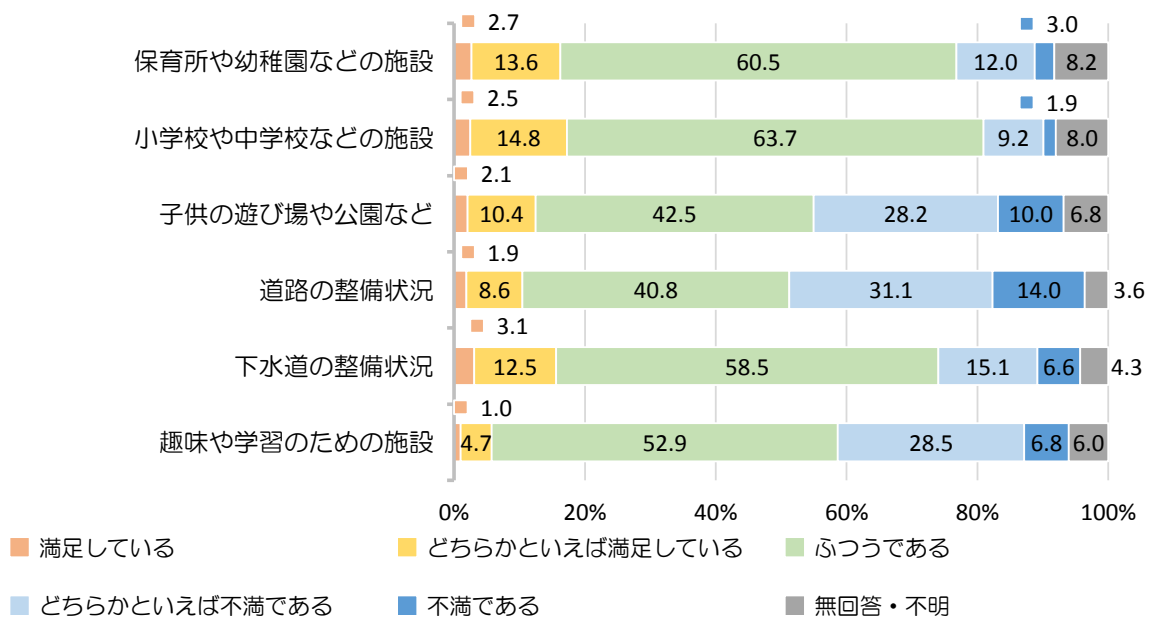
(N=1,495)

①-4 便利さについて



(N=1,495)

①-5 公共施設等について



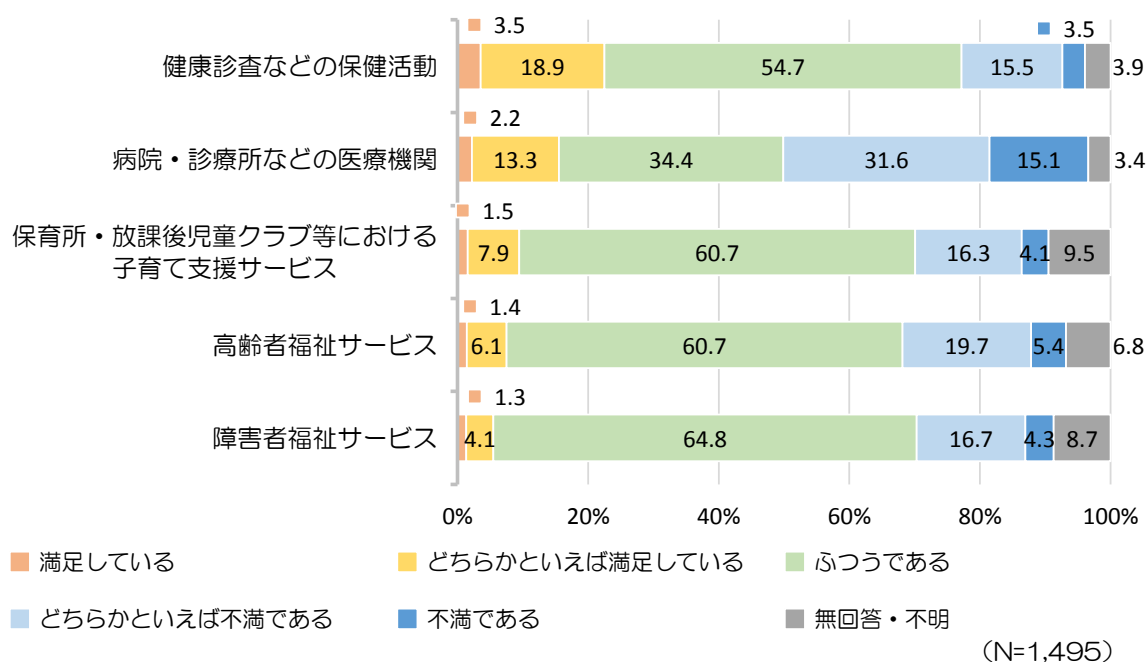
(N=1,495)

②保健医療・福祉、教育・文化、地域社会、市政について

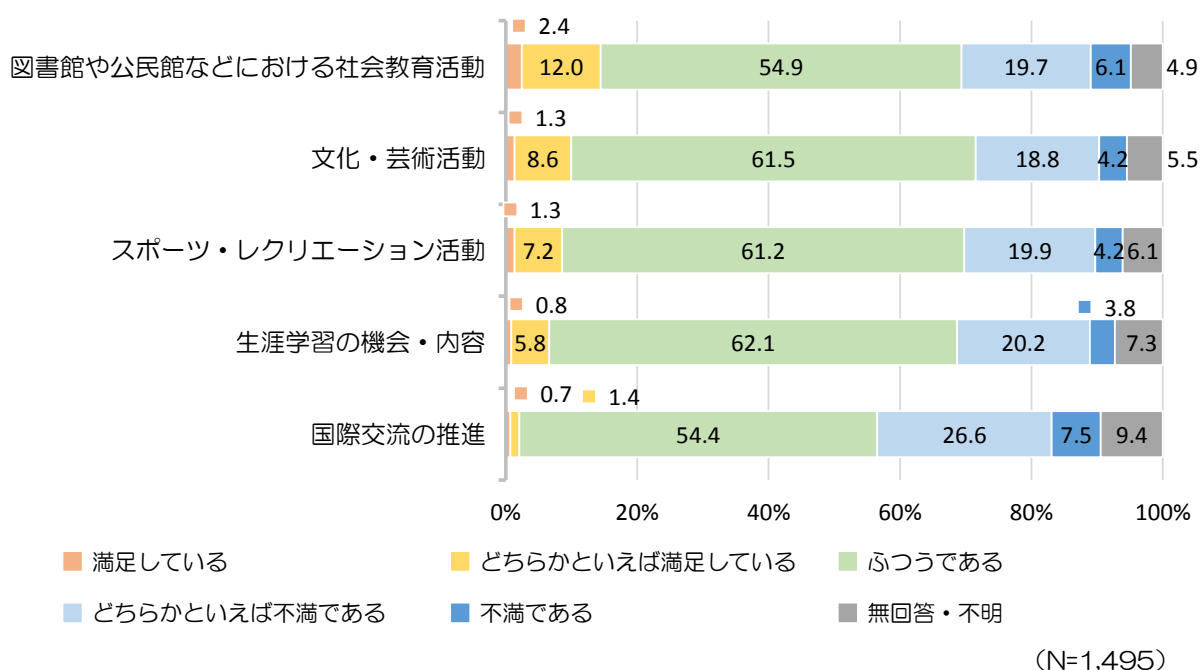
『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を上回るのは、「住民票等・各種証明書発行サービスの利便性」「広報『おけがわ』の内容」「窓口・電話口での職員の対応」「近所づきあいや地域のつながり」などであり、行政サービスの分野で評価が高い。

一方、多くの項目で『不満』が『満足』を上回っているが、「国際交流の推進」「市民意見・要望の市政への反映」「病院・診療所などの医療機関」で特にその差が大きく、評価が低くなっている。

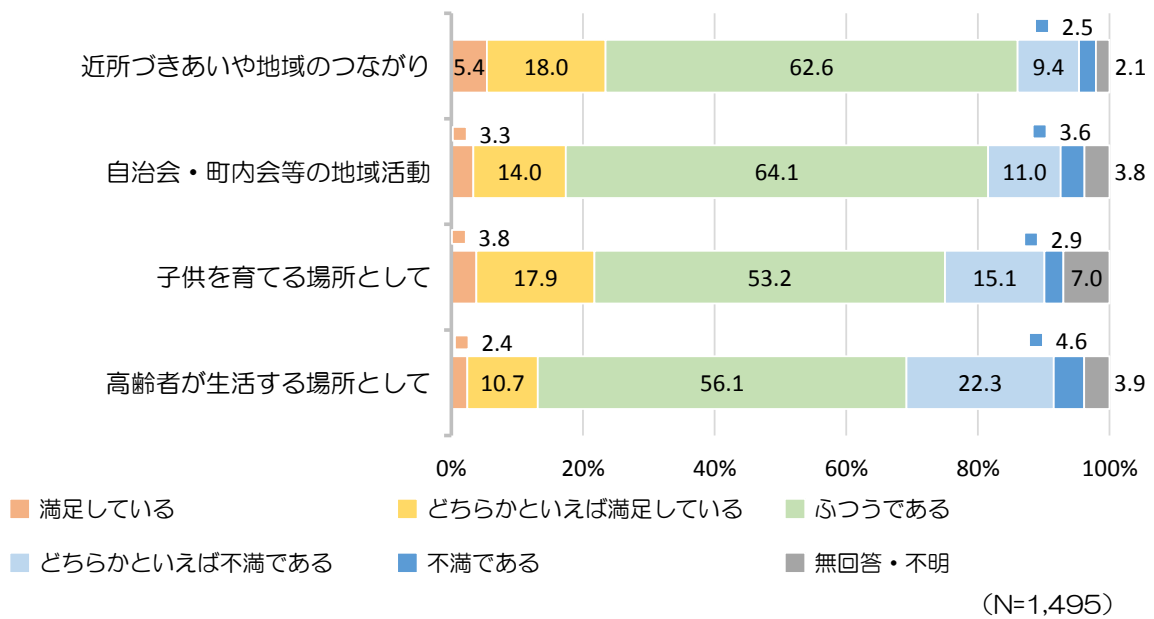
②-1 保健医療・福祉について



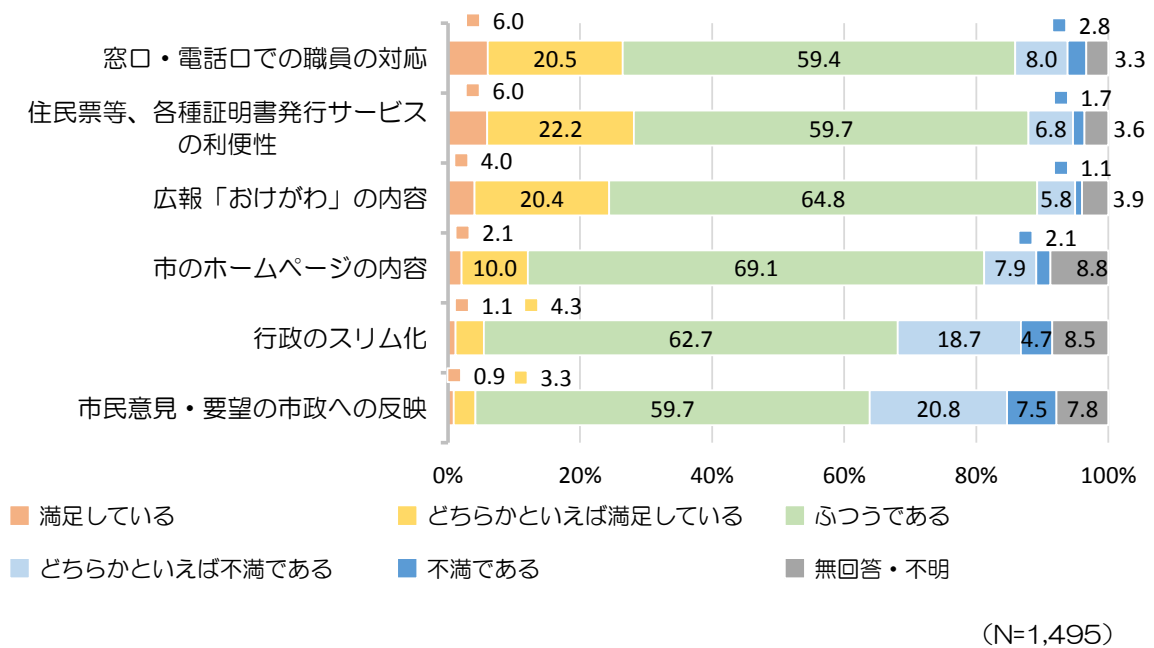
②-2 教育・文化について



②-3 地域社会について



②-4 市政について



【経年変化】

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）ランキングで、前回調査よりも順位が上がっているものは「みどりの豊かさなどの自然環境」「空気のきれいさ」「音や振動などの静けさ」「窓口・電話口での職員の対応」「広報「おけがわ」の内容」となっている。

一方、『不満』（「どちらかといえば不満である」＋「不満である」）ランキングで、前回調査よりも順位が上がっているものは「病院・診療所などの医療機関」「川などの水辺と親しめる環境」「趣味や学習のための施設」「国際交流の推進」「バスの利用（「べにばなGO」）」となっている。

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）ランキング

順位	前回調査 (平成24年度)		今回調査 (平成26年度)		H24との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	家庭ゴミの収集・処理	35.2%	みどりの豊かさなどの自然環境	35.5%	↗
2位	みどりの豊かさなどの自然環境	33.3%	家庭ゴミの収集・処理	33.0%	↘
3位	鉄道の利用	31.2%	空気のきれいさ	30.4%	↗
4位	各種証明書発行サービスの利便性	28.6%	鉄道の利用	30.4%	↘
5位	買い物・金融機関などの利用	27.9%	各種証明書発行サービスの利便性	28.2%	↘
6位	空気のきれいさ	25.8%	音や振動などの静けさ	27.7%	↗
7位	し尿や家庭雑排水の処理	25.8%	窓口・電話口での職員の対応	26.5%	↗
8位	音や振動などの静けさ	25.3%	買い物・金融機関などの利用	25.6%	↘
9位	窓口・電話口での職員の対応	25.0%	し尿や家庭雑排水の処理	24.7%	↘
10位	近所づきあいや地域のつながり	23.2%	広報「おけがわ」の内容	24.4%	↗

『不満』（「どちらかといえば不満である」＋「不満である」）ランキング

順位	前回調査 (平成24年度)		今回調査 (平成26年度)		H24との 順位比較
	項目	割合	項目	割合	
1位	道路の整備状況	46.7%	病院・診療所などの医療機関	46.7%	↗
2位	防犯灯などの防犯施設	43.3%	道路の整備状況	45.2%	↘
3位	病院・診療所などの医療機関	39.5%	防犯灯などの防犯施設	42.7%	↘
4位	子供の遊び場や公園など	38.2%	子供の遊び場や公園など	38.2%	→
5位	信号機などの交通安全施設	36.3%	川などの水辺と親しめる環境	35.5%	↗
6位	川などの水辺と親しめる環境	35.7%	趣味や学習のための施設	35.3%	↗
7位	趣味や学習のための施設	33.0%	国際交流の推進	34.0%	↗
8位	国際交流の推進	30.0%	バスの利用（「べにばなGO」）	32.6%	↗
9位	バスの利用（「べにばなGO」）	29.7%	信号機などの交通安全施設	32.2%	↘
10位	市民意見・要望の市政への反映	28.7%	バスの利用（路線バス）	31.8%	↘

ク ロ ス

【性別】

生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、男性では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、女性では「みどりの豊かさなどの自然環境」となっている。第2位は、男性は「空気のきれいさ」、女性は「広報「おけがわ」の内容」となっている。第3位は、男性は「鉄道の利用」、女性は「空気のきれいさ」となっている。

また、最も点数が低いのは、男性では「国際交流の推進」、女性では「病院・診療所などの医療機関」となっている。男性の第2位は「道路の整備状況」、第3位は「病院・診療所などの医療機関」となっており、女性の第2位は「防犯灯などの防犯施設」、第3位は「道路の整備状況」となっている。

※点数の算出方法については、P2を参照。

分野	項目	男性	女性
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	0.22	0.37
	自治会・町内会等の地域活動	0.01	0.08
	子供を育てる場所として	0.11	0.12
	高齢者が生活する場所として	-0.29	-0.36
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	-0.34	-0.30
	文化・芸術活動	-0.44	-0.27
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.52	-0.32
	生涯学習の機会・内容	-0.52	-0.40
	国際交流の推進	① -1.05	-0.72
福祉・医療	健康診査などの保健活動	0.07	0.08
	病院・診療所などの医療機関	③ -0.82	① -0.99
	保育所・放課後児童クラブ等における子育て支援サービス	-0.27	-0.32
	高齢者福祉サービス	-0.46	-0.46
	障害者福祉サービス	-0.43	-0.39
衛生	家庭ゴミの収集・処理	0.25	0.04
	し尿や家庭雑排水の処理	0.41	0.19
安全性	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	-0.48	-0.46
	地震や風水害などへの災害対策	-0.31	-0.34
	防犯灯などの防犯施設	-0.73	② -0.95
利便さ	バスの利用（市内循環バス「へにばなGO」）	-0.22	-0.53
	バスの利用（路線バス）	-0.41	-0.49
	鉄道の利用	③ 0.46	0.32
	買い物・金融機関などの利用	0.07	-0.03
快適さ	みどりの豊かさなどの自然環境	0.37	① 0.54
	川などの水辺と親しめる環境	-0.74	-0.44
	音や振動などの静けさ	0.14	0.14
	空気のきれいさ	② 0.47	③ 0.45
公共施設等	保育所や幼稚園などの施設	0.07	-0.01
	小学校や中学校などの施設	0.23	0.11
	子供の遊び場や公園など	-0.72	-0.71
	道路の整備状況	② -1.02	③ -0.94
	下水道の整備状況	-0.11	-0.27
	趣味や学習のための施設	-0.79	-0.78
市政	窓口・電話口での職員の対応	0.45	0.34
	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	① 0.60	0.42
	広報「おけがわ」の内容	0.33	② 0.48
	市のホームページの内容	-0.05	0.12
	行政のスリム化	-0.59	-0.36
	市民意見・要望の市政への反映	-0.77	-0.56

※点数左の数字は順位で、1～3は上位3位、①～③はワースト3位を表す。

【年齢】

生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、18歳～19歳では「小学校や中学校などの施設」、20歳～29歳では「鉄道の利用」、30歳～39歳、40歳～49歳では「みどりの豊かさなどの自然環境」、50歳～59歳、65歳～69歳では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、60歳～64歳では「空気のきれいさ」、70歳～74歳では「窓口・電話口での職員の対応」、75歳以上では「家庭ゴミの収集・処理」となっている。第2位は、18歳～19歳、75歳以上では「し尿や家庭雑排水の処理」、20歳～29歳では「広報「おけがわ」の内容」、30歳～39歳では「近所づきあいや地域のつながり」、40歳～49歳、65歳～69歳では「空気のきれいさ」、50歳～59歳、60歳～64歳では「みどりの豊かさなどの自然環境」、70歳～74歳では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」となっている。

また、最も点数が低いのは、18歳～19歳、75歳以上では「国際交流の推進」、20歳～29歳では「趣味や学習のための施設」、30歳～39歳、50歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳では「病院・診療所などの医療機関」、40歳～49歳では「防犯灯などの防犯施設」、70歳～74歳では「道路の整備状況」となっている。第2位は、18歳～19歳では「市民意見・要望の市政への反映」、20歳～29歳、60歳～64歳では「国際交流の推進」、30歳～39歳では「防犯灯などの防犯施設」、40歳～49歳、50歳～59歳、65歳～69歳では「道路の整備状況」、70歳以上では「川などの水辺と親しめる環境」となっている。

分野	項目	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	1.00	0.27	2 0.31	0.37	0.36	0.31	0.22	0.25	0.13
	自治会・町内会等の地域活動	0.22	0.10	-0.04	0.04	-0.02	0.07	0.16	0.00	0.26
	子供を育てる場所として	0.78	-0.29	-0.21	0.29	0.08	0.25	0.13	0.13	0.21
	高齢者が生活する場所として	0.78	-0.23	-0.13	-0.15	-0.56	-0.62	-0.51	-0.29	-0.36
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	0.22	-0.48	-0.27	-0.45	-0.62	-0.52	-0.13	0.00	-0.04
	文化・芸術活動	-0.11	-0.29	-0.23	-0.23	-0.50	-0.64	-0.26	-0.28	-0.35
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.33	-0.41	-0.31	-0.36	-0.61	-0.58	-0.32	-0.23	-0.29
	生涯学習の機会・内容	-0.33	-0.31	-0.23	-0.33	-0.72	-0.73	-0.45	-0.38	-0.31
保健医療	国際交流の推進	① -0.89	② -1.02	-0.71	-0.72	-0.98	② -1.04	③ -0.81	③ -0.90	① -0.92
	健康診査などの保健活動	0.56	0.10	-0.30	0.02	-0.19	-0.07	0.15	0.42	0.76
	病院・診療所などの医療機関	0.44	-0.23	① -1.10	-0.69	① -1.40	① -1.28	① -1.10	-0.78	-0.54
	保育所・放課後児童クラブ等における子育て支援サービス	0.44	-0.13	-0.53	-0.18	-0.43	-0.46	-0.37	-0.11	-0.16
衛生	高齢者福祉サービス	0.44	-0.15	-0.30	-0.37	-0.65	-0.67	-0.65	-0.50	-0.46
	障害者福祉サービス	0.44	-0.25	-0.32	-0.36	-0.53	-0.66	-0.45	-0.49	-0.24
	家庭ゴミの収集・処理	0.33	-0.33	-0.54	-0.04	-0.26	0.12	0.52	0.59	1 1.39
	し尿や家庭雑排水の処理	2 1.11	3 0.37	0.12	0.20	0.03	0.18	0.37	0.41	2 1.14
安全性	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	0.89	-0.33	-0.48	-0.66	-0.70	-0.40	-0.42	-0.45	-0.10
	地震や風水害などへの災害対策	0.44	-0.16	-0.45	-0.33	-0.38	-0.27	-0.35	-0.40	-0.31
	防犯灯などの防犯施設	-0.33	③ -0.99	② -0.99	① -1.07	③ -1.09	-0.94	-0.52	-0.72	-0.34
	バスの利用（市内循環バス「へにばなGO」）	0.33	-0.49	-0.59	-0.69	-0.50	-0.29	-0.12	-0.24	-0.04
利便さ	バスの利用（路線バス）	0.33	-0.54	-0.59	-0.60	-0.69	-0.33	-0.22	-0.41	-0.13
	鉄道の利用	3 1.00	1 0.52	3 0.24	0.17	0.21	3 0.46	0.60	0.53	0.63
	買い物・金融機関などの利用	0.33	-0.31	-0.20	-0.16	-0.27	0.00	0.41	0.22	0.31
	みどりの豊かさなどの自然環境	0.78	0.16	1 0.51	1 0.61	2 0.62	2 0.47	3 0.60	0.06	0.33
快適さ	川などの水辺と親しめる環境	③ -0.56	-0.91	-0.56	-0.37	-0.39	-0.49	-0.54	② -0.92	② -0.80
	音や振動などの静けさ	0.89	-0.08	0.02	0.39	0.13	0.04	0.35	-0.17	-0.04
	空気のきれいさ	0.89	-0.06	0.04	2 0.53	3 0.54	1 0.60	2 0.71	3 0.61	0.45
	保育所や幼稚園などの施設	1.00	0.02	-0.18	0.10	-0.05	-0.11	0.01	0.14	0.18
公共施設等	小学校や中学校などの施設	1 1.22	0.31	0.03	0.14	-0.01	0.14	0.10	0.28	0.27
	子供の遊び場や公園など	-0.22	-0.72	-0.90	③ -0.74	-0.70	-0.65	-0.65	-0.79	③ -0.74
	道路の整備状況	0.00	-0.74	-0.86	② -0.92	② -1.20	③ -1.01	② -1.04	① -1.18	-0.71
	下水道の整備状況	0.67	-0.02	-0.08	-0.16	-0.33	-0.41	-0.23	-0.39	0.09
	趣味や学習のための施設	③ -0.56	① -1.28	③ -0.96	-0.73	-0.87	-0.69	-0.71	-0.52	-0.46
	窓口・電話口での職員の対応	0.33	0.02	0.10	0.34	0.32	0.21	0.61	1 0.75	3 0.97
市政	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	0.56	0.13	0.02	3 0.51	1 0.63	0.20	1 0.80	2 0.74	0.90
	広報「おけがわ」の内容	0.33	2 0.42	0.13	0.42	0.42	0.26	0.57	0.59	0.74
	市のホームページの内容	0.22	0.06	-0.15	0.05	0.07	0.00	-0.01	0.32	0.13
	行政のスリム化	-0.22	-0.27	-0.45	-0.40	-0.45	-0.61	-0.65	-0.43	-0.54
	市民意見・要望の市政への反映	② -0.67	-0.54	-0.72	-0.61	-0.61	-0.77	-0.67	-0.73	-0.65

※点数左の数字は順位で、1～3は上位3位、①～③はワースト3位を表す。

【地区】

生活環境の満足度について、最も点数が高いのは、駅東側周辺では「窓口・電話口での職員の対応」、駅西側周辺では「鉄道の利用」、日出谷地区、加納地区では「空気のきれいさ」、坂田地区では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、川田谷地区では「みどりの豊かさなどの自然環境」となっている。第2位は、駅東側周辺、駅西側周辺では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、日出谷地区、加納地区では「みどりの豊かさなどの自然環境」、坂田地区では「し尿や家庭雑排水の処理」、川田谷地区では「空気のきれいさ」となっている。

また、最も点数が低いのは、駅東側周辺では「子供の遊び場や公園など」、駅西側周辺、日出谷地区では「病院・診療所などの医療機関」、坂田地区、加納地区では「道路の整備状況」、川田谷地区では「防犯灯などの防犯施設」となっている。第2位は、駅東側周辺では「道路の整備状況」、駅西側周辺、日出谷地区では「国際交流の推進」、坂田地区では「病院・診療所などの医療機関」、加納地区では「子供の遊び場や公園など」、川田谷地区では「下水道の整備状況」となっている。

分野	項目	駅東側周辺	駅西側周辺	日出谷地区	坂田地区	加納地区	川田谷地区
地域社会	近所つきあいや地域のつながり	0.31	0.32	0.32	0.24	0.28	0.31
	自治会・町内会等の地域活動	0.23	0.18	-0.08	-0.05	-0.01	0.13
	子供を育てる場所として	-0.36	0.36	0.24	0.17	-0.24	0.23
	高齢者が生活する場所として	-0.45	-0.18	-0.34	-0.24	-0.64	-0.41
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	-0.21	-0.22	-0.47	-0.38	-0.64	0.06
	文化・芸術活動	-0.28	-0.26	-0.46	-0.35	-0.44	-0.16
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.42	-0.28	-0.50	-0.40	-0.66	-0.05
	生涯学習の機会・内容	-0.41	-0.39	-0.58	-0.35	-0.73	-0.18
	国際交流の推進	-0.88	② -0.84	-1.00	-0.76	-0.86	-0.76
	健康診査などの保健活動	0.04	0.06	-0.03	0.09	0.07	0.43
福祉医療	病院・診療所などの医療機関	-0.93	① -0.85	-1.08	② -0.93	③ -1.12	-0.45
	保育所・放課後児童クラブ等における子育て支援サービス	-0.32	-0.26	-0.31	-0.24	-0.49	-0.23
	高齢者福祉サービス	-0.55	-0.48	-0.44	-0.48	-0.50	-0.31
	障害者福祉サービス	-0.35	-0.43	-0.48	-0.39	-0.51	-0.24
衛生	家庭ゴミの収集・処理	0.29	0.00	-0.03	0.16	0.31	0.40
	し尿や家庭雑排水の処理	③ 0.53	0.54	0.15	② 0.56	-0.15	-0.32
安全性	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	-0.49	-0.17	-0.45	-0.59	-0.88	-0.48
	地震や風水害などへの災害対策	-0.34	-0.10	-0.30	-0.43	-0.57	-0.48
	防犯灯などの防犯施設	③ -1.15	-0.61	-0.86	-0.77	-0.97	① -1.00
利便さ	バスの利用（市内循環バス「へにはなGO」）	-0.12	-0.39	-0.65	-0.55	-0.35	-0.05
	バスの利用（路線バス）	-0.41	-0.46	-0.03	-0.58	-0.93	-0.87
	鉄道の利用	0.53	① 0.70	③ 0.39	0.12	-0.06	0.27
	買い物・金融機関などの利用	0.21	0.36	0.12	-0.26	-0.65	-0.43
快適さ	みどりの豊かさなどの自然環境	-0.27	③ 0.56	② 0.60	② 0.22	② 0.69	① 1.48
	川などの水辺と親しめる環境	-1.00	-0.45	-0.46	-0.77	-0.68	0.11
	音や振動などの静けさ	-0.27	0.31	0.25	0.00	0.04	0.50
	空気のきれいさ	0.08	0.38	① 0.66	0.30	① 0.72	② 0.99
公共施設等	保育所や幼稚園などの施設	-0.04	0.05	0.01	0.05	-0.06	0.09
	小学校や中学校などの施設	0.08	0.23	0.07	0.23	0.00	0.27
	子供の遊び場や公園など	① -1.51	-0.38	-0.47	③ -0.81	② -1.21	-0.16
	道路の整備状況	② -1.41	-0.49	-0.95	① -1.01	① -1.26	③ -0.93
	下水道の整備状況	-0.14	0.23	-0.30	0.19	-0.96	② -0.96
	趣味や学習のための施設	-0.73	-0.63	③ -0.99	-0.78	-0.95	-0.38
市政	窓口・電話口での職員の対応	① 0.57	0.39	0.30	0.36	0.47	0.47
	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	② 0.55	② 0.58	0.35	① 0.56	③ 0.51	0.52
	広報「おけがわ」の内容	0.50	0.45	0.26	③ 0.48	0.50	③ 0.56
	市のホームページの内容	0.05	0.07	-0.04	0.08	0.15	0.10
	行政のスリム化	-0.47	-0.42	-0.64	-0.39	-0.50	-0.26
市民意見・要望の市政への反映	-0.56	③ -0.64	-0.78	-0.72	-0.66	-0.39	

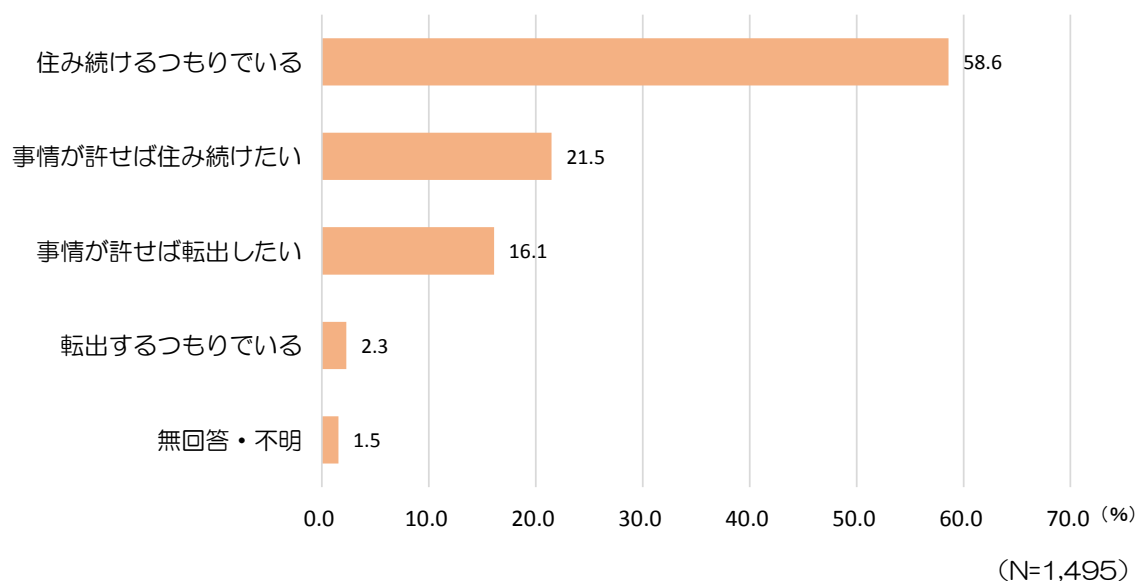
※点数左の数字は順位で、1～3は上位3位、①～③はワースト3位を表す。

(4) 定住意向

問3 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

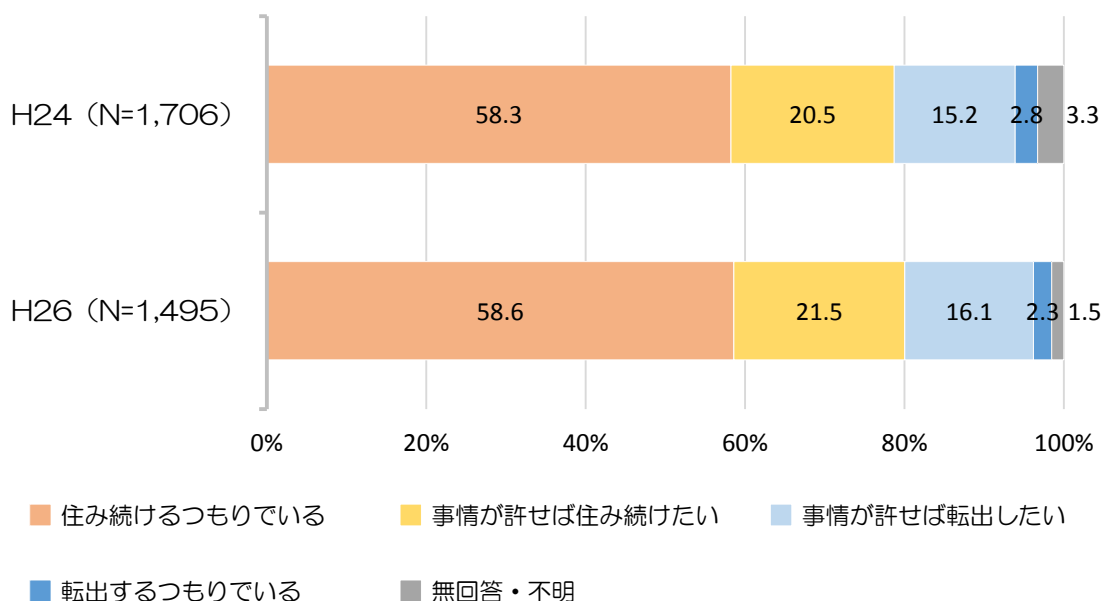
全 体

「住み続けるつもりでいる」との回答が 58.6%と最も多く、次いで「事情が許せば住み続けたい」21.5%となっている。『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答は 80.1%であるため、全体の8割の方が定住意向を持っていることが伺える。



【経年変化】

桶川市での定住意向について前回調査（平成 24 年度）と比較すると、『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答は、わずかに増加している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「住み続けるつもりでいる」が半数以上と最も高くなっている。

年齢で見ると、20歳～29歳では「事情が許せば転出したい」、その他の年齢では「住み続けるつもりでいる」が最も高くなっており、次いで18歳～19歳は「事情が許せば転出したい」、その他の年齢は「事情が許せば住み続けたい」となっている。

地区で見ると、全体で「住み続けるつもりでいる」が最も高く、次いで坂田地区、加納地区では「事情が許せば転出したい」、その他の地区では「事情が許せば住み続けたい」となっている。

	合計	住み続けるつもり	住み続けたい	事情が許せば転出したい	事情が許せば住み続けたい	無回答・不明	
全体	1,495	876	321	241	34	23	
	100.0%	58.6%	21.5%	16.1%	2.3%	1.5%	
性別	男性	614	360	138	97	11	8
		100.0%	58.6%	22.5%	15.8%	1.8%	1.3%
	女性	790	466	168	124	22	10
	100.0%	59.0%	21.3%	15.7%	2.8%	1.3%	
	無回答・不明	91	50	15	20	1	5
	100.0%	54.9%	16.5%	22.0%	1.1%	5.5%	
年齢	18歳～19歳	18	8	3	6	1	0
		100.0%	44.4%	16.7%	33.3%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳	97	26	31	32	8	0
		100.0%	26.8%	32.0%	33.0%	8.2%	0.0%
	30歳～39歳	182	81	52	39	8	2
		100.0%	44.5%	28.6%	21.4%	4.4%	1.1%
	40歳～49歳	270	154	72	39	3	2
		100.0%	57.0%	26.7%	14.4%	1.1%	0.7%
	50歳～59歳	230	128	52	42	6	2
		100.0%	55.7%	22.6%	18.3%	2.6%	0.9%
60歳～64歳	152	92	28	26	4	2	
	100.0%	60.5%	18.4%	17.1%	2.6%	1.3%	
65歳～69歳	179	129	27	20	1	2	
	100.0%	72.1%	15.1%	11.2%	0.6%	1.1%	
70歳～74歳	178	125	25	18	2	8	
	100.0%	70.2%	14.0%	10.1%	1.1%	4.5%	
75歳以上	131	102	16	9	1	3	
	100.0%	77.9%	12.2%	6.9%	0.8%	2.3%	
	無回答・不明	58	31	15	10	0	2
	100.0%	53.4%	25.9%	17.2%	0.0%	3.4%	
地区	駅東側周辺	238	130	54	44	8	2
		100.0%	54.6%	22.7%	18.5%	3.4%	0.8%
	駅西側周辺	321	163	106	39	9	4
		100.0%	50.8%	33.0%	12.1%	2.8%	1.2%
	日出谷地区	328	198	58	55	10	7
		100.0%	60.4%	17.7%	16.8%	3.0%	2.1%
	坂田地区	263	163	43	47	5	5
	100.0%	62.0%	16.3%	17.9%	1.9%	1.9%	
加納地区	144	90	23	29	0	2	
	100.0%	62.5%	16.0%	20.1%	0.0%	1.4%	
川田谷地区	131	97	19	13	2	0	
	100.0%	74.0%	14.5%	9.9%	1.5%	0.0%	
	無回答・不明	70	35	18	14	0	3
	100.0%	50.0%	25.7%	20.0%	0.0%	4.3%	

ク ロ ス 【職業・同居家族の年齢・住居形態】

職業で見ると、社会福祉関係は「事情が許せば住み続けたい」が最も高く、その他の職業では「住み続けるつもりでいる」が半数以上と最も高くなっている。また、農林水産業、製造業など建設・土木業以外、派遣社員・パート・アルバイト、学生では第2位が「事情が許せば転出したい」となっている。

同居家族の年齢で見ると、全年齢において「住み続けるつもりでいる」が最も高くなっている。

住居形態で見ると、持家一戸建て、持家分譲マンション、同居・間借り・住み込みでは「住み続けるつもりでいる」、賃貸一戸建ては「事情が許せば転出したい」、それ以外では「事情が許せば住み続けたい」が最も高くなっている。

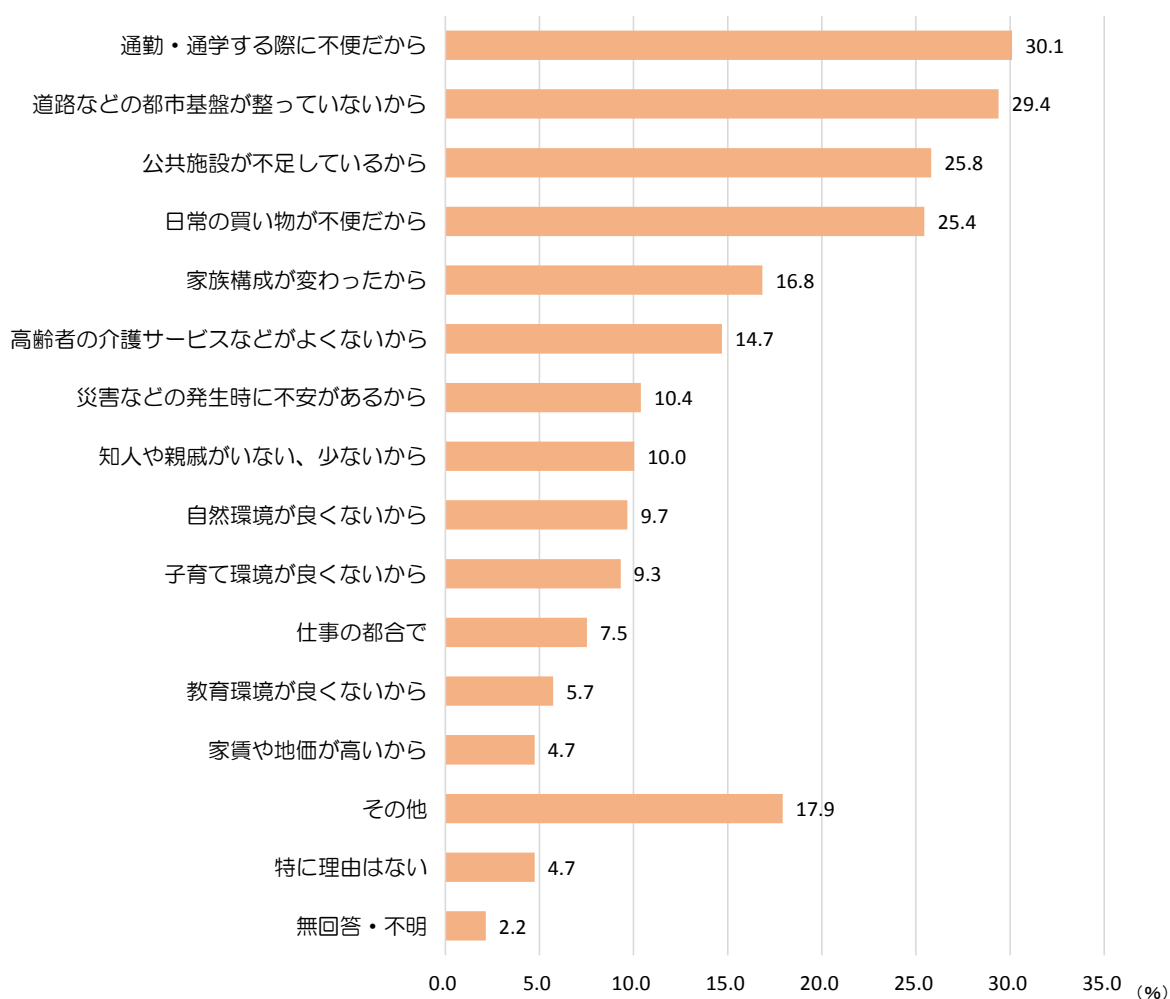
	合計	住み続けるつもり	事情が許せば住み続けたい	事情が許せば転出したい	転出するつもり	無回答・不明	
全体	1,495	876 58.6%	321 21.5%	241 16.1%	34 2.3%	23 1.5%	
職業	農林水産業 (第1次産業)	11	9 81.8%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	
	建設・土木業 (第2次産業)	47	28 59.6%	10 21.3%	7 14.9%	2 4.3%	
	製造業など建設・土木業以外 (第2次産業)	96	49 51.0%	21 21.9%	23 24.0%	3 3.1%	
	社会福祉関係 (第3次産業)	56	17 30.4%	25 44.6%	10 17.9%	4 7.1%	
	商業・サービス業など 社会福祉関係以外 (第3次産業)	249	129 51.8%	65 26.1%	45 18.1%	8 3.2%	
	派遣社員・パート・アルバイト	221	135 61.1%	32 14.5%	48 21.7%	4 1.8%	
	学生	40	16 40.0%	10 25.0%	12 30.0%	2 5.0%	
	専業主婦・専業主夫	309	197 63.8%	66 21.4%	34 11.0%	6 1.9%	
	無職	323	220 68.1%	51 15.8%	41 12.7%	2 0.6%	
	その他	71	41 57.7%	22 31.0%	5 7.0%	3 4.2%	
	無回答・不明	72	35 48.6%	19 26.4%	14 19.4%	0 0.0%	
	同居家族の年齢	0~6歳	196	114 58.2%	41 20.9%	33 16.8%	7 3.6%
		7~15歳	226	146 64.6%	48 21.2%	27 11.9%	2 0.9%
16~19歳		143	78 54.5%	30 21.0%	28 19.6%	4 2.8%	
20~64歳		1,046	600 57.4%	230 22.0%	179 17.1%	26 2.5%	
65歳以上		622	406 65.3%	119 19.1%	78 12.5%	9 1.4%	
無回答・不明		99	49 49.5%	27 27.3%	17 17.2%	1 1.0%	
住居形態	持家一戸建て	1,144	753 65.8%	184 16.1%	169 14.8%	21 1.8%	
	賃貸一戸建て	27	7 25.9%	9 33.3%	11 40.7%	0 0.0%	
	持家分譲マンション	101	47 46.5%	38 37.6%	14 13.9%	1 1.0%	
	民間賃貸マンション・アパート	96	21 21.9%	40 41.7%	23 24.0%	11 11.5%	
	公団 (UR) 賃貸住宅	26	1 3.8%	17 65.4%	7 26.9%	1 3.8%	
	県営住宅・市営住宅	8	3 37.5%	4 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	
	社宅・公務員宿舎	4	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	
	同居・間借り・住み込み	21	10 47.6%	8 38.1%	3 14.3%	0 0.0%	
	その他	5	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	
	無回答・不明	63	31 49.2%	17 27.0%	11 17.5%	0 0.0%	

(5) 転出したい理由

問4 前問で「3. 事情が許せば転出したい」、あるいは「4. 転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。次の中から最大3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

転出したい理由についてたずねたところ、「通勤・通学する際に不便だから」の30.1%が最も多く、次いで、「道路などの都市基盤が整っていないから」29.4%、「公共施設が不足しているから」25.8%、「日常の買い物が不便だから」25.4%が主な理由となっている。

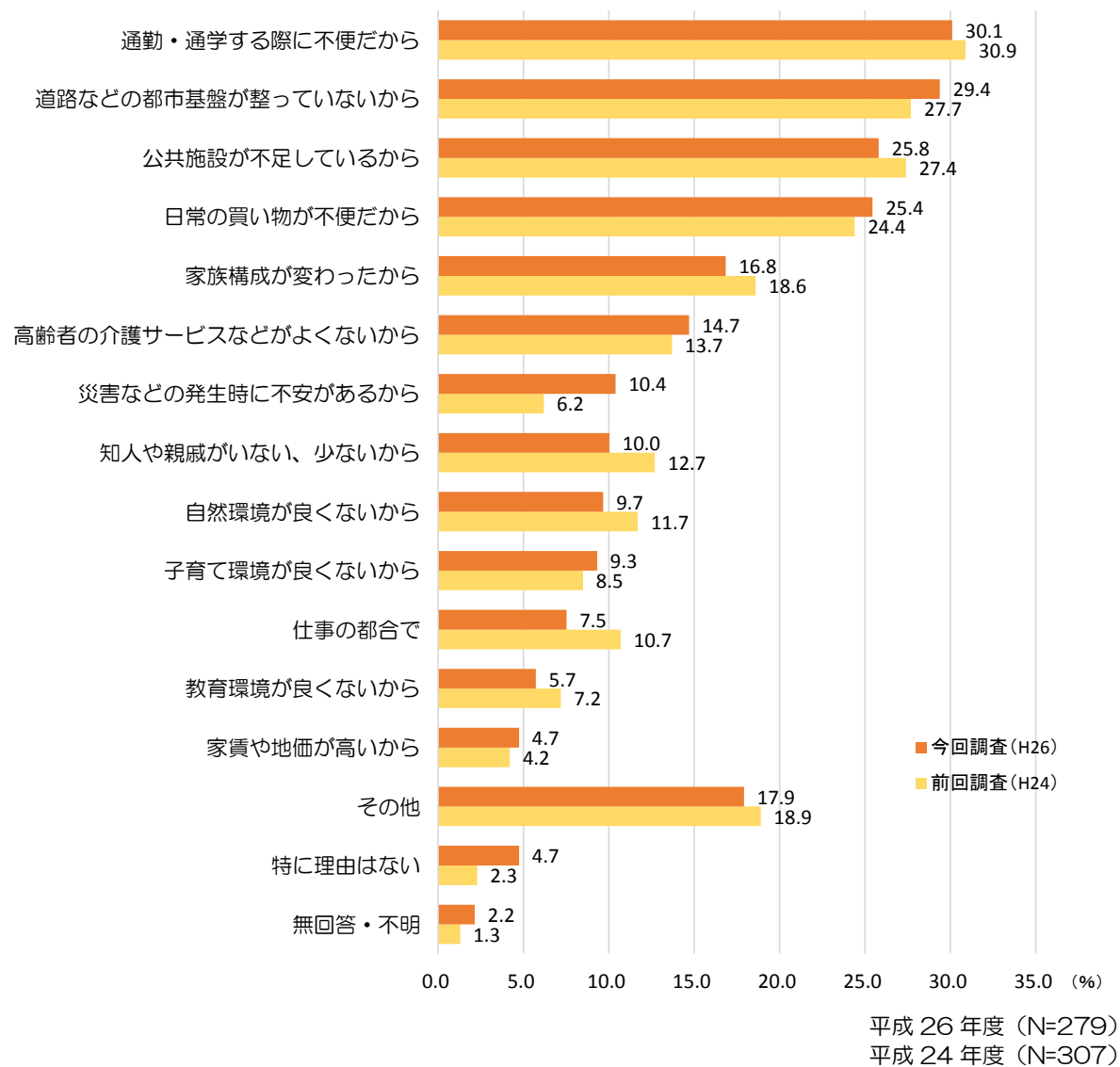


(N=279)

【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）と比較すると、「仕事の都合で」「知人や親戚がいない、少ないから」「自然環境が良くないから」「教育環境が良くないから」等、減少した項目が目立つ。

一方で、「災害などの発生時に不安があるから」「道路などの都市基盤が整っていないから」では以前より増加している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性では「道路などの都市基盤が整っていないから」、女性では「通勤・通学する際に不便だから」が最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、40歳～49歳では「通勤・通学する際に不便だから」、30歳～39歳では「道路などの都市基盤が整っていないから」「公共施設が不足しているから」「子育て環境が良くないから」、50歳～59歳、70歳～74歳では「道路などの都市基盤が整っていないから」、60歳～64歳では「家族構成が変わったから」、65歳～69歳では「公共施設が不足しているから」、75歳以上では「家族構成が変わったから」「日常の買い物が不便だから」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺では「道路などの都市基盤が整っていないから」、駅西側周辺では「公共施設が不足しているから」、日出谷地区、坂田地区、加納地区では「通勤・通学する際に不便だから」、川田谷地区では「日常の買い物が不便だから」が最も高くなっている。

	合計	家族構成が変わったから	家賃や地価が高いから	仕事の都合で	通勤・通学する際に不便だから	日常の買い物が不便だから	知人や親戚がいない、少ないから	教育環境が良くないから	高齢者の介護サービスなどがよくないから	自然環境が良くないから	道路などの都市基盤が整っていないから	公共施設が不足しているから	災害などの発生時に不安があるから	子育て環境が良くないから	その他	特に理由はない	無回答・不明	
全体	279 100.0%	47 16.8%	13 4.7%	21 7.5%	84 30.1%	71 25.4%	28 10.0%	16 5.7%	41 14.7%	27 9.7%	82 29.4%	72 25.8%	29 10.4%	26 9.3%	50 17.9%	13 4.7%	6 2.2%	
性別	男性	108 100.0%	15 13.9%	3 2.8%	10 9.3%	34 31.5%	20 18.5%	7 6.5%	4 3.7%	15 13.9%	12 11.1%	43 39.8%	36 33.3%	9 8.3%	7.4 6.7%	18 16.7%	6 5.6%	0 0.0%
	女性	150 100.0%	29 19.3%	6 4.0%	9 6.0%	47 31.3%	42 28.0%	18 12.0%	10 6.7%	22 14.7%	13 8.7%	35 23.3%	32 21.3%	15 10.0%	16 10.7%	28 18.7%	6 4.0%	6 4.0%
	無回答・不明	21 100.0%	3 14.3%	4 19.0%	2 9.5%	3 14.3%	9 42.9%	3 14.3%	2 9.5%	4 19.0%	2 9.5%	4 19.0%	4 23.8%	5 9.5%	2 19.0%	4 4.8%	1 0.0%	0 0.0%
	18歳～19歳	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%
年齢	20歳～29歳	41 100.0%	6 14.6%	2 4.9%	11 26.8%	21 51.2%	11 26.8%	2 4.9%	3 7.3%	2 4.9%	1 2.4%	5 12.2%	6 14.6%	2 4.9%	4 9.8%	6 14.6%	1 2.4%	2 4.9%
	30歳～39歳	48 100.0%	6 12.5%	4 8.3%	1 2.1%	12 25.0%	11 22.9%	5 10.4%	10 20.8%	1 2.1%	5 10.4%	13 27.1%	13 27.1%	2 4.2%	13 27.1%	5 10.4%	3 6.3%	1 2.1%
	40歳～49歳	43 100.0%	2 4.7%	2 4.7%	4 9.3%	17 39.5%	10 23.3%	3 7.0%	2 4.7%	5 11.6%	6 14.0%	14 32.6%	10 23.3%	4 9.3%	5 11.6%	8 18.6%	1 2.3%	1 2.3%
	50歳～59歳	48 100.0%	8 16.7%	3 6.3%	2 4.2%	15 31.3%	13 27.1%	5 10.4%	1 2.1%	13 27.1%	3 6.3%	18 37.5%	13 27.1%	4 8.3%	1 2.1%	11 22.9%	2 4.2%	1 2.1%
	60歳～64歳	30 100.0%	11 36.7%	0 0.0%	1 3.3%	6 20.0%	6 20.0%	2 6.7%	0 0.0%	2 6.7%	5 16.7%	6 20.0%	10 33.3%	3 10.0%	3 10.0%	9 30.0%	2 6.7%	0 0.0%
	65歳～69歳	21 100.0%	4 19.0%	0 0.0%	1 4.8%	4 19.0%	5 23.8%	5 23.8%	0 0.0%	9 42.9%	1 4.8%	9 42.9%	10 47.6%	4 19.0%	1 4.8%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳～74歳	20 100.0%	4 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	7 35.0%	2 10.0%	0 0.0%	6 30.0%	3 15.0%	10 50.0%	6 30.0%	3 15.0%	0 0.0%	2 10.0%	2 10.0%	0 0.0%
	75歳以上	11 100.0%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%	3 27.3%	1 9.1%	3 27.3%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%
	無回答・不明	10 100.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	4 40.0%	1 10.0%	4 40.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%
	地区	駅東側周辺	52 100.0%	10 19.2%	5 9.6%	4 7.7%	10 19.2%	13 25.0%	7 13.5%	0 0.0%	6 11.5%	4 7.7%	22 42.3%	13 25.0%	6 11.5%	4 7.7%	11 21.2%	1 1.9%
駅西側周辺		48 100.0%	11 22.9%	4 8.3%	3 6.3%	9 18.8%	12 25.0%	8 16.7%	3 6.3%	8 16.7%	8 16.7%	7 14.6%	14 29.2%	2 4.2%	6 12.5%	7 14.6%	0 0.0%	0 0.0%
日出谷地区		66 100.0%	6 9.1%	3 4.5%	6 9.1%	25 37.9%	9 13.6%	3 4.5%	5 7.6%	12 18.2%	6 9.1%	20 30.3%	18 27.3%	3 4.5%	9 13.6%	15 22.7%	6 9.1%	1 1.5%
坂田地区		53 100.0%	10 18.9%	1 1.9%	5 9.4%	21 39.6%	17 32.1%	4 7.5%	5 9.4%	6 11.3%	3 5.7%	19 35.8%	16 30.2%	4 7.5%	3 5.7%	13.2 25.1%	7.5 14.2%	1.9 3.6%
加納地区		30 100.0%	7 23.3%	0 0.0%	2 6.7%	13 43.3%	8 26.7%	2 6.7%	2 6.7%	4 13.3%	3 10.0%	4 13.3%	8 26.7%	5 16.7%	3 10.0%	3 10.0%	1 3.3%	3 10.0%
川田谷地区		16 100.0%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	4 25.0%	7 43.8%	2 12.5%	1 6.3%	4 25.0%	0 0.0%	5 31.3%	1 6.3%	4 25.0%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%
無回答・不明		14 100.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	5 35.7%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%	5 35.7%	2 14.3%	5 35.7%	0 0.0%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%

3. 桶川市のまちづくりについて

(1) まちづくり全般

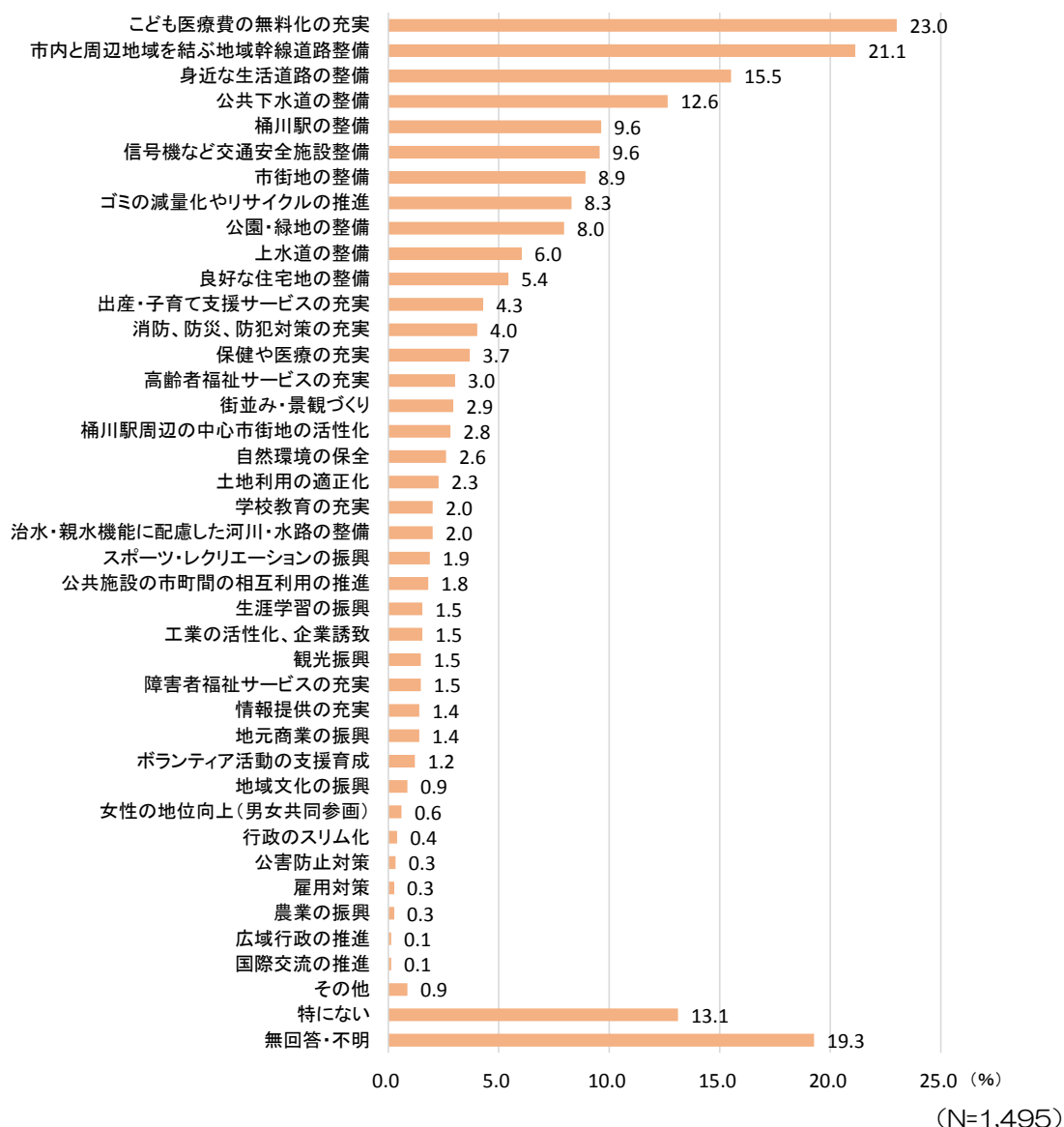
問5 下記の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つまで選んで、その番号を「回答欄ア」にご記入ください。

また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において、特に力をいれるべき項目について、下記の中から3つまで選び、その番号を「回答欄イ」にご記入ください。

① よくなったもの

全 体

「こども医療費の無料化の充実」が23.0%で最も多く、次いで「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」21.1%、「身近な生活道路の整備」15.5%、「公共下水道の整備」12.6%が主なところである。



クロス

性別で見ると、男性では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、女性では「こども医療費の無料化の充実」が最も高くなっており、次いで男性は「身近な生活道路の整備」、女性は「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、50歳～59歳、60歳～64歳では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、20歳～29歳では「特になし」、30歳～39歳、40歳～49歳では「こども医療費の無料化の充実」、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「公共下水道の整備」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺、加納地区では「こども医療費の無料化の充実」、駅西側周辺、日出谷地区、川田谷地区では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、坂田地区では「身近な生活道路の整備」が最も高くなっている。

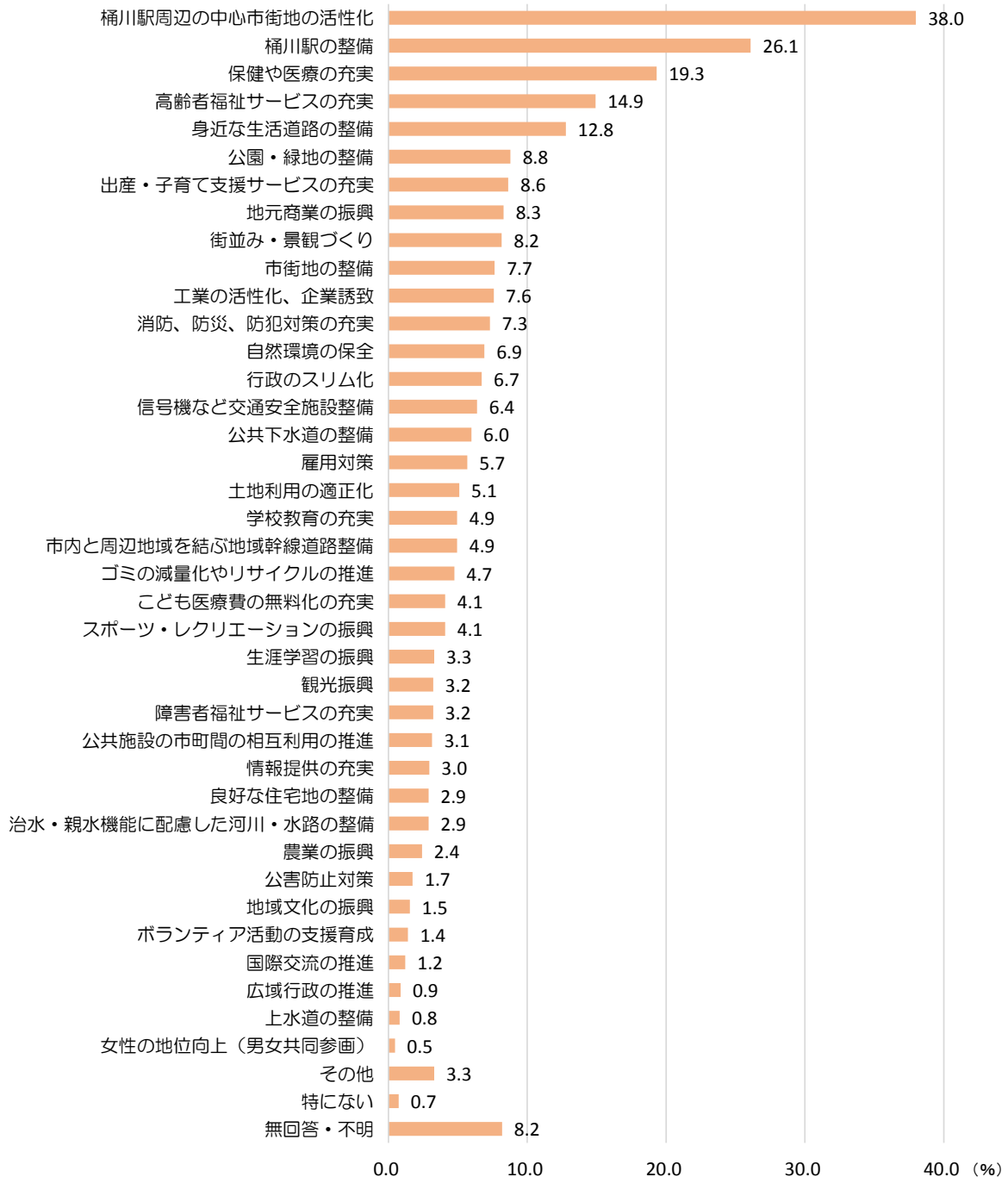
	合計	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実
全体	1,495	34	133	144	316	232	90	189	30	39	82	44	143	5	60	119	124	55	45	22	64
性別																					
男性	614	18	64	61	140	108	36	95	13	23	40	19	55	3	31	54	53	27	21	13	17
女性	790	15	62	76	166	115	42	82	15	16	40	24	79	2	27	60	61	24	20	9	47
無回答・不明	91	1	7	7	11	9	12	12	2	0	2	1	9	0	2	5	10	4	4	0	0
年齢																					
18歳～19歳	18	2	1	4	8	4	0	2	0	2	2	1	3	0	2	0	1	0	2	0	1
20歳～29歳	97	5	12	9	20	19	3	4	1	1	5	6	18	1	4	8	1	3	2	1	4
30歳～39歳	182	5	12	13	37	31	2	5	1	5	13	3	14	1	4	12	3	4	1	0	12
40歳～49歳	270	4	24	17	59	31	4	14	6	6	18	7	22	0	10	19	18	10	3	6	22
50歳～59歳	230	10	25	29	60	37	10	24	5	6	15	12	19	0	4	18	24	6	4	3	7
60歳～64歳	152	2	13	19	39	20	7	21	2	2	6	5	9	0	5	18	13	3	8	1	5
65歳～69歳	179	1	16	19	36	30	21	14	6	6	8	8	15	1	9	15	21	6	1	3	9
70歳～74歳	178	3	14	18	36	20	25	39	3	2	8	1	27	0	9	14	21	10	13	1	3
75歳以上	131	1	9	13	18	19	18	33	1	3	3	0	12	0	8	14	19	12	8	6	1
無回答・不明	58	1	7	3	6	10	0	3	2	2	4	1	4	1	4	3	3	1	3	1	0
地区																					
駅東側周辺	238	5	17	25	45	21	13	36	2	5	3	2	24	0	16	10	20	8	10	6	8
駅西側周辺	321	6	29	42	77	41	19	44	3	14	21	21	30	1	9	25	26	15	7	5	14
日出谷地区	328	13	34	34	87	58	27	45	8	5	18	5	26	1	11	26	31	4	10	5	17
坂田地区	263	3	28	14	43	65	22	41	6	4	27	10	42	0	7	33	15	11	2	2	10
加納地区	144	3	7	10	23	18	5	17	3	7	5	3	7	2	5	4	21	7	7	2	5
川田谷地区	131	3	11	15	35	19	3	2	6	2	4	2	8	0	7	18	9	3	6	1	10
無回答・不明	70	1	7	4	6	10	1	4	2	2	4	1	6	1	5	3	2	3	3	1	6

		子ども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の信仰	雇用対策	桶川駅周辺を中心とする市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特になし	無回答・不明
全体		344 23.0%	9 0.6%	21 1.4%	2 0.1%	18 1.2%	4 0.3%	23 1.5%	21 1.4%	4 0.3%	42 2.8%	22 1.5%	28 1.9%	30 2.0%	23 1.5%	13 0.9%	2 0.1%	27 1.8%	6 0.4%	13 0.9%	196 13.1%	288 19.3%
性別	男性	95 15.5%	2 0.3%	12 2.0%	1 0.2%	6 1.0%	3 0.5%	12 2.0%	11 1.8%	2 0.3%	14 2.3%	12 2.0%	15 2.4%	12 2.0%	9 1.5%	2 0.3%	2 0.3%	11 1.8%	3 0.5%	6 1.0%	90 6.4%	107 7.4%
	女性	285 29.7%	5 0.6%	8 1.0%	1 0.1%	12 1.5%	1 0.1%	11 1.4%	10 1.3%	2 0.3%	23 2.9%	9 1.1%	10 1.3%	16 2.0%	12 1.5%	10 1.3%	0 0.0%	15 1.9%	3 0.4%	7 0.9%	98 7.1%	149 10.7%
	無回答・不明	14 16.4%	2 2.2%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.5%	1 1.1%	3 3.3%	2 2.2%	2 2.2%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 8.8%	32 35.2%
年齢	18歳～19歳	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%
	20歳～29歳	18 18.6%	1 1.0%	3 3.1%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	4 4.1%	2 2.1%	4 4.1%	1 1.0%	1 1.0%	3 3.1%	3 3.1%	3 3.1%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 21.6%	7 7.2%
	30歳～39歳	68 37.4%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	4 2.2%	1 0.5%	9 4.9%	2 1.1%	1 0.5%	4 2.2%	0 0.0%	4 2.2%	0 0.0%	3 1.6%	2 1.1%	2 1.1%	42 23.1%	20 11.0%
	40歳～49歳	119 44.1%	1 0.4%	4 1.5%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	9 3.3%	4 1.5%	0 0.0%	6 2.2%	5 1.9%	3 1.1%	9 3.3%	2 0.7%	2 0.7%	0 0.0%	5 1.9%	1 0.4%	4 1.5%	43 15.9%	33 12.2%
	50歳～59歳	45 19.6%	1 0.4%	4 1.7%	0 0.0%	3 1.3%	1 0.4%	5 2.2%	5 2.2%	1 0.4%	6 2.6%	9 3.9%	3 1.3%	4 1.7%	2 0.9%	0 0.0%	1 0.4%	3 1.3%	1 0.4%	1 0.4%	23 10.0%	41 17.8%
	60歳～64歳	24 15.8%	1 0.7%	2 1.3%	1 0.7%	3 2.0%	0 0.0%	3 2.0%	2 1.3%	0 0.0%	6 3.9%	3 2.0%	6 3.9%	2 1.3%	4 2.6%	0 0.0%	1 0.7%	4 2.6%	1 0.7%	1 0.7%	17 11.2%	32 21.1%
	65歳～69歳	28 15.6%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	3 1.7%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	3 1.7%	0 0.0%	4 2.2%	5 2.8%	4 2.2%	1 0.6%	0 0.0%	6 3.4%	0 0.0%	1 0.6%	20 22.3%	40 29.2%
	70歳～74歳	19 10.7%	2 1.1%	4 2.2%	0 0.0%	4 2.2%	0 0.0%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.7%	2 1.1%	4 2.2%	2 1.1%	4 2.2%	2 1.1%	0 0.0%	3 1.7%	1 0.6%	1 0.6%	12 6.7%	52 29.2%
	75歳以上	7 5.3%	3 2.3%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	2 3.1%	0 0.0%	0 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	10 7.6%	43 32.6%
	無回答・不明	15 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	2 3.4%	0 0.0%	3 5.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	6 10.3%	20 34.5%
地区	駅東側周辺	58 24.4%	3 1.3%	4 1.7%	0 0.0%	3 1.3%	0 0.0%	3 1.3%	4 1.7%	0 0.0%	3 1.3%	5 2.1%	5 2.1%	8 3.4%	4 1.7%	2 0.8%	1 0.4%	5 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	42 17.6%	41 17.2%
	駅西側周辺	74 31.1%	1 0.3%	5 1.6%	0 0.0%	3 0.9%	0 0.0%	5 1.6%	3 0.9%	2 0.6%	18 6.6%	2 0.6%	4 1.2%	4 1.2%	4 1.2%	0 0.0%	6 1.9%	2 0.6%	2 0.6%	2 1.2%	39 16.2%	52 26.2%
	日出谷地区	82 26.0%	2 0.6%	3 0.9%	0 0.0%	3 0.9%	1 0.3%	7 2.1%	9 2.7%	1 0.3%	11 3.4%	3 0.9%	8 2.4%	6 1.8%	3 0.9%	0 0.0%	8 2.4%	0 0.0%	2 0.6%	0 0.0%	37 11.3%	57 17.4%
	坂田地区	64 24.3%	3 1.1%	5 1.9%	2 0.8%	2 1.5%	1 0.4%	2 0.8%	2 0.8%	0 0.0%	3 1.1%	9 3.4%	4 1.5%	5 1.9%	4 1.5%	4 1.5%	0 0.0%	5 1.9%	2 0.8%	7 2.7%	28 10.6%	43 16.3%
	加納地区	27 18.6%	0 0.0%	2 1.4%	0 0.0%	3 2.1%	0 0.0%	2 1.4%	2 0.7%	1 0.7%	2 1.4%	2 1.4%	2 1.4%	3 2.1%	3 2.1%	3 2.1%	1 0.7%	2 1.4%	1 0.7%	1 0.7%	24 16.7%	35 24.3%
	川田谷地区	24 18.3%	0 0.0%	2 1.5%	0 0.0%	1 0.8%	2 1.5%	4 3.1%	2 1.5%	0 0.0%	4 3.1%	1 0.8%	3 2.3%	3 3.1%	2 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	15 11.5%
無回答・不明	15 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.9%	0 0.0%	3 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	11 15.7%	24 34.3%	

② 力を入れてほしいもの

全 体

「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」38.0%が最も多く、次いで「桶川駅の整備」26.1%、「保健や医療の充実」19.3%、「高齢者福祉サービスの充実」14.9%、「身近な生活道路の整備」12.8%が続く。



(N=1,495)

【経年変化】

ここ数年でよくなったものについて、前回調査（平成24年度）よりも順位が上がっているものは「こども医療費の無料化の充実」「市街地の整備」となっており、全体的に順位が下がっている傾向となっているものの、前回調査（平成24年度）よりも比率は上がっている。また、上位10項目については変化がない。

一方、力を入れてほしいものについては、前回調査（平成24年度）より順位が上がっているものは「保健や医療の充実」「公園・緑地の整備」「出産・子育て支援サービスの充実」「街並み・景観づくり」となっている。第1位～第5位までの項目は前回調査（平成24年度）とすべて同じ項目となっており、桶川駅周辺の活性化や整備、医療・福祉サービス、道路整備のニーズが高いことがわかる。

よくなったもののランキング

順位	前回調査 (平成24年度)		今回調査 (平成26年度)		H24との 順位比較
	項目	比率	項目	比率	
1位	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	17.2%	こども医療費の無料化の充実	23.0%	↑
2位	公共下水道の整備	15.0%	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	21.1%	↓
3位	身近な生活道路の整備	13.3%	身近な生活道路の整備	15.5%	→
4位	桶川駅の整備	12.5%	公共下水道の整備	12.6%	↓
5位	こども医療費の無料化の充実	11.8%	桶川駅の整備	9.6%	↓
6位	信号機など交通安全施設整備	11.0%	信号機など交通安全施設整備	9.6%	→
7位	ゴミの減量化やリサイクルの推進	10.5%	市街地の整備	8.9%	↑
8位	公園・緑地の整備	7.2%	ゴミの減量化やリサイクルの推進	8.3%	↓
9位	市街地の整備	7.2%	公園・緑地の整備	8.0%	↓
10位	上水道の整備	7.0%	上水道の整備	6.0%	→

力を入れてほしいもののランキング

順位	前回調査 (平成24年度)		今回調査 (平成26年度)		H24との 順位比較
	項目	比率	項目	比率	
1位	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	38.0%	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	38.0%	→
2位	桶川駅の整備	23.7%	桶川駅の整備	26.1%	→
3位	高齢者福祉サービスの充実	15.1%	保健や医療の充実	19.3%	↑
4位	保健や医療の充実	14.1%	高齢者福祉サービスの充実	14.9%	↓
5位	身近な生活道路の整備	12.7%	身近な生活道路の整備	12.8%	→
6位	地元商業の振興	10.3%	公園・緑地の整備	8.8%	↑
7位	公園・緑地の整備	9.7%	出産・子育て支援サービスの充実	8.6%	↑
8位	消防、防災、防犯対策の充実	8.4%	地元商業の振興	8.3%	↓
9位	市街地の整備	8.1%	街並み・景観づくり	8.2%	↑
10位	信号機など交通安全施設整備	8.0%	市街地の整備	7.7%	↓

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっており、次いで「桶川駅の整備」となっている。

年齢で見ると、20歳～29歳を除く全年齢で「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高く、20歳～29歳では「桶川駅の整備」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「桶川駅の整備」、50歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳では「保健や医療の充実」、70歳以上では「高齢者福祉サービスの充実」となっている。

地区で見ると、全地区で「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっている。また、第2位は、駅東側周辺、坂田地区、加納地区では「桶川駅の整備」、駅西側周辺地区、日出谷地区では「保健や医療の充実」、川田谷地区では「公共下水道の整備」となっている。

	合計	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実		
全体	1,495 100.0%	76 5.1%	114 7.6%	390 26.1%	74 4.9%	191 12.8%	12 0.8%	89 6.0%	43 2.9%	103 6.9%	43 2.9%	122 8.2%	95 6.4%	26 1.7%	109 7.3%	131 8.8%	71 4.7%	288 19.3%	223 14.9%	48 3.2%	129 8.6%		
性別	男性	614 100.0%	32 5.2%	54 8.8%	162 26.4%	33 5.4%	82 13.4%	4 0.7%	37 6.0%	19 3.1%	43 7.0%	22 3.6%	60 9.8%	47 7.7%	15 2.4%	41 6.7%	101 16.4%	62 10.1%	19 3.1%	107 17.4%	78 12.7%	19 3.1%	50 8.1%
	女性	790 100.0%	41 5.2%	51 6.5%	209 26.3%	34 4.3%	100 12.7%	8 1.0%	46 5.8%	23 2.9%	55 7.0%	18 2.3%	59 7.5%	46 5.8%	8 1.0%	63 8.0%	67 8.5%	50 6.3%	169 21.4%	128 16.2%	25 3.2%	73 9.2%	
	無回答・不明	91 100.0%	3 3.3%	9 9.9%	28 30.8%	7 7.7%	9 9.9%	0 0.0%	6 6.6%	1 1.1%	5 5.3%	3 3.3%	3 3.3%	2 2.2%	3 3.3%	5 5.5%	2 2.2%	2 2.2%	12 13.2%	17 18.7%	4 4.4%	6 6.6%	
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	1 5.6%	2 11.1%	5 27.8%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%
	20歳～29歳	97 100.0%	6 6.2%	8 8.2%	43 44.3%	7 7.2%	15 15.5%	0 0.0%	2 2.1%	3 3.1%	4 4.1%	2 2.1%	9 9.3%	9 9.3%	1 1.0%	9 9.3%	10 10.3%	7 7.2%	9 9.3%	6 6.2%	2 2.1%	14 14.4%	
	30歳～39歳	182 100.0%	12 6.6%	14 7.7%	82 45.1%	6 3.3%	25 13.7%	3 1.6%	5 2.7%	4 2.2%	10 5.5%	10 5.5%	15 8.2%	8 4.4%	3 1.6%	10 5.5%	10 14.8%	27 14.8%	10 5.5%	12 6.6%	7 3.8%	25 13.7%	
	40歳～49歳	270 100.0%	11 4.1%	26 9.6%	72 26.7%	13 4.8%	38 14.1%	4 1.5%	17 6.3%	9 3.3%	20 7.4%	4 1.5%	23 8.5%	24 8.9%	9 3.3%	27 10.0%	30 11.1%	15 5.6%	49 17.8%	21 7.8%	9 3.3%	25 9.3%	
	50歳～59歳	230 100.0%	4 1.6%	18 7.8%	61 26.5%	19 8.3%	34 14.8%	2 0.9%	16 7.0%	4 1.7%	17 7.4%	12 5.2%	21 9.1%	16 7.0%	6 2.6%	23 10.0%	20 8.7%	7 3.0%	42 18.3%	46 20.0%	13 5.7%	11 4.8%	
	60歳～64歳	152 100.0%	7 4.6%	9 5.9%	36 23.7%	7 4.6%	12 7.9%	0 0.0%	12 7.9%	7 4.6%	12 7.9%	6 3.9%	15 9.9%	8 5.3%	1 0.7%	8 5.3%	9 5.9%	6 3.9%	37 24.3%	31 20.4%	4 2.6%	10 6.6%	
	65歳～69歳	179 100.0%	11 6.1%	13 7.3%	40 22.3%	8 4.5%	23 12.8%	1 0.6%	14 7.8%	7 3.9%	14 7.8%	4 2.2%	12 6.7%	13 7.3%	3 1.7%	13 7.3%	12 6.7%	10 5.6%	42 23.5%	35 19.6%	4 2.2%	8 4.5%	
	70歳～74歳	178 100.0%	9 4.4%	14 8.1%	32 17.4%	6 3.4%	21 11.8%	1 1.1%	8 4.5%	12 6.7%	12 6.7%	1 1.1%	15 8.4%	12 6.7%	4 2.2%	9 5.1%	12 6.7%	8 4.5%	29 16.3%	34 19.1%	6 3.4%	7 3.9%	
	75歳以上	131 100.0%	2 1.5%	7 5.3%	29 22.1%	4 3.1%	14 10.7%	0 0.0%	4 3.1%	1 0.8%	6 4.6%	3 2.3%	8 6.1%	4 3.1%	3 2.3%	6 4.6%	5 3.8%	4 3.1%	17 13.0%	31 23.7%	1 0.8%	2 1.5%	
	無回答・不明	58 100.0%	1 1.7%	3 5.2%	20 34.5%	4 6.9%	6 10.3%	0 0.0%	4 6.9%	0 0.0%	6 10.3%	0 0.0%	2 3.4%	1 1.7%	0 0.0%	4 6.9%	4 6.9%	4 6.9%	9 15.5%	6 10.3%	1 1.7%	4 6.9%	
地区	駅東側周辺	238 100.0%	14 5.9%	26 10.9%	90 37.8%	9 3.8%	27 11.3%	2 0.8%	3 1.3%	1 0.4%	7 2.9%	10 4.2%	23 9.7%	15 6.3%	3 1.3%	20 8.4%	24 10.1%	8 3.4%	40 16.8%	24 10.1%	4 1.7%	21 8.8%	
	駅西側周辺	321 100.0%	14 4.4%	26 8.1%	56 17.4%	19 5.9%	30 9.3%	1 0.3%	3 0.9%	28 8.7%	8 2.5%	8 2.5%	27 8.4%	16 5.0%	7 2.2%	30 9.3%	25 7.8%	16 5.0%	79 24.7%	52 16.2%	12 3.7%	26 8.1%	
	日出谷地区	328 100.0%	21 6.4%	14 4.3%	50 15.2%	19 5.8%	39 11.9%	4 1.2%	21 6.4%	19 5.8%	27 8.2%	9 2.7%	23 7.0%	21 6.4%	8 2.4%	28 8.5%	23 7.0%	18 5.5%	76 23.2%	68 20.7%	16 4.9%	37 11.3%	
	坂田地区	263 100.0%	8 3.0%	25 9.5%	103 39.2%	15 5.7%	43 16.3%	0 0.0%	3 1.1%	8 3.0%	17 6.5%	7 2.7%	29 11.0%	18 6.8%	3 1.1%	9 3.4%	32 12.2%	16 6.1%	44 16.7%	28 10.6%	6 2.3%	22 8.4%	
	加納地区	144 100.0%	7 4.9%	16 11.1%	51 35.4%	2 1.4%	24 16.7%	1 0.7%	22 15.3%	0 0.0%	9 6.3%	4 2.8%	10 6.9%	9 6.3%	3 2.1%	7 4.9%	17 11.8%	4 2.8%	19 13.2%	19 13.2%	4 2.8%	6 4.2%	
	川田谷地区	131 100.0%	11 8.4%	4 3.1%	17 13.0%	5 3.8%	20 15.3%	4 3.1%	27 20.6%	12 9.2%	10 7.6%	5 3.8%	8 6.1%	15 11.5%	1 0.8%	10 7.6%	5 3.8%	5 3.8%	22 16.8%	24 18.3%	4 3.1%	13 9.9%	
無回答・不明	70 100.0%	1 1.4%	3 4.3%	23 32.9%	5 7.1%	8 11.4%	0 0.0%	6 8.6%	0 0.0%	5 7.1%	0 0.0%	2 2.9%	1 1.4%	1 1.4%	5 7.1%	5 7.1%	4 5.7%	14 20.0%	9 12.9%	2 2.9%	4 5.7%		

	子ども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の信仰	雇用対策	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特になし	無回答・不明		
全体	61 4.1%	7 0.5%	44 2.9%	18 1.2%	21 1.4%	36 2.4%	113 7.6%	124 8.3%	85 5.7%	568 38.0%	48 3.2%	61 4.1%	74 4.9%	49 3.3%	23 1.5%	13 0.9%	47 3.1%	100 6.7%	49 3.3%	11 0.7%	123 8.2%		
性別	男性	28 4.6%	3 0.5%	21 3.4%	7 1.1%	5 0.8%	16 2.6%	57 9.3%	52 8.5%	33 38.8%	19 3.1%	39 6.4%	27 4.4%	11 1.8%	9 1.5%	10 1.6%	17 2.8%	47 7.7%	18 2.9%	3 0.5%	42 6.8%		
	女性	28 3.5%	4 0.5%	19 2.4%	11 1.4%	14 1.8%	19 2.4%	51 6.5%	66 8.4%	45 5.7%	301 38.1%	23 2.9%	21 2.7%	35 4.4%	13 1.6%	3 0.4%	30 3.8%	50 6.3%	29 3.7%	6 0.8%	62 7.8%		
	無回答・不明	5 5.5%	0 0.0%	4 4.4%	0 0.0%	2 2.2%	1 1.1%	5 5.6%	6 6.6%	7 7.7%	29 31.9%	6 6.6%	1 1.1%	0 0.0%	3 3.3%	1 1.1%	0 0.0%	3 3.3%	2 2.2%	2 2.2%	19 20.9%		
	18歳～19歳	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%	7 5.6%	11 22.2%	8 38.5%	2 11.1%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.6%	11 11.1%	2 5.6%	1 0.0%	0 0.0%	
年齢	20歳～29歳	3 5.2%	1 1.0%	0 0.0%	3 3.1%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	7 7.2%	4 4.1%	6 3.7%	3 3.1%	8 6.2%	2 2.1%	2 2.1%	0 0.0%	3 3.1%	3 3.1%	2 2.1%	5 5.2%	2 2.1%		
	30歳～39歳	16 8.8%	2 1.1%	3 1.6%	4 2.2%	1 0.5%	2 1.1%	7 3.8%	11 6.0%	15 8.2%	5 31.9%	3 1.8%	7 3.8%	23 12.6%	3 1.6%	2 0.5%	5 2.7%	10 5.5%	4 4.4%	8 0.5%	1 4.4%		
	40歳～49歳	12 4.4%	0 0.0%	9 3.3%	6 2.2%	2 0.7%	3 2.6%	11 5.9%	24 8.9%	15 5.6%	89 37.3%	1 3.3%	9 6.3%	17 10.0%	7 3.7%	1 1.5%	8 3.0%	10 3.7%	14 5.2%	1 0.4%	9 3.3%		
	50歳～59歳	4 1.7%	2 0.9%	6 2.3%	2 0.9%	3 1.3%	8 2.6%	17 9.1%	17 7.4%	13 5.7%	9 37.7%	1 0.4%	9 3.9%	5 2.2%	7 3.0%	1 0.4%	6 2.2%	7 3.9%	11 4.8%	1 4.8%	11 4.8%		
	60歳～64歳	5 3.3%	1 0.7%	8 5.3%	1 0.7%	4 2.6%	6 3.9%	15 9.9%	13 8.6%	10 6.6%	52 34.2%	6 3.9%	6 3.9%	2 1.3%	7 4.6%	3 2.0%	8 5.3%	8 5.3%	5 3.3%	1 0.7%	14 9.2%		
	65歳～69歳	6 3.4%	0 0.0%	5 2.8%	0 0.0%	1 0.6%	4 2.2%	14 7.8%	13 7.3%	7 3.9%	83 48.4%	5 2.8%	7 3.9%	4 2.2%	10 5.6%	2 1.1%	8 4.8%	23 12.8%	3 1.7%	3 1.7%	1 0.6%	13 7.3%	
	70歳～74歳	9 5.1%	1 0.6%	3 1.7%	2 1.1%	2 3.4%	2 1.1%	18 10.1%	20 11.2%	7 3.9%	68 38.2%	8 4.5%	3 1.7%	2 1.1%	6 3.4%	5 2.8%	2 1.1%	5 2.8%	20 11.2%	3 1.7%	0 0.0%	26 14.6%	
	75歳以上	2 1.5%	0 0.0%	4 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 4.6%	14 10.7%	14 10.7%	4 1.5%	57 48.5%	4 3.1%	5 3.8%	3 2.3%	3 2.3%	1 0.8%	2 1.5%	3 2.3%	2 1.5%	0 0.0%	8 8.2%		
	無回答・不明	2 3.4%	0 0.0%	3 5.2%	0 0.0%	3 6.9%	1 1.7%	5 8.6%	4 6.9%	4 13.8%	17 23.3%	4 6.9%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.4%	2 3.4%	1 1.7%	3 3.4%	1 1.7%	3 3.4%	1 1.7%	9 15.5%	
	地区	駅東側周辺	4 1.7%	0 0.0%	4 1.7%	0 0.0%	0 0.8%	4 1.7%	20 8.4%	29 12.2%	7 2.9%	121 50.8%	11 4.6%	10 4.2%	11 4.6%	7 2.9%	1 0.4%	6 2.5%	13 5.5%	3 3.4%	8 9.2%	0 0.0%	16 6.7%
		駅西側周辺	15 4.7%	2 0.6%	9 2.8%	5 1.6%	6 1.9%	8 2.5%	23 7.2%	30 9.3%	24 6.9%	134 41.7%	10 3.1%	11 3.4%	17 5.3%	7 2.2%	4 1.2%	13 4.0%	19 5.9%	11 3.4%	4 1.2%	21 6.5%	
日出谷地区		18 5.5%	2 0.6%	11 3.4%	7 2.1%	3 0.9%	5 1.5%	14 4.3%	26 7.9%	26 7.9%	92 28.0%	13 4.0%	19 5.8%	16 4.9%	10 3.0%	7 2.1%	2 0.6%	10 3.0%	29 8.8%	14 4.3%	3 0.9%	28 8.5%	
坂田地区		8 3.0%	0 0.0%	12 4.6%	4 1.5%	4 1.5%	5 1.9%	22 8.4%	17 6.5%	10 3.8%	105 39.9%	2 0.8%	17 6.5%	18 6.8%	9 3.4%	1 0.4%	7 2.7%	18 6.8%	8 3.0%	8 0.8%	2 7.2%		
加納地区		5 3.5%	2 1.4%	3 2.1%	2 1.4%	2 1.4%	6 4.2%	15 10.4%	12 8.3%	4 2.8%	60 41.7%	4 2.8%	3 2.1%	6 4.2%	1 0.7%	4 2.8%	1 0.7%	7 4.9%	9 6.3%	3 2.1%	0 0.0%	12 8.3%	
川田谷地区		9 6.9%	1 0.8%	2 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	7 5.3%	13 9.9%	6 4.6%	6 4.6%	34 26.0%	4 3.1%	1 0.8%	5 3.8%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	3 2.3%	9 6.9%	3 2.3%	1 0.8%	16 12.2%	
無回答・不明	2 2.9%	0 0.0%	3 4.3%	0 0.0%	0 5.7%	4 1.4%	6 8.6%	4 5.7%	10 14.3%	22 31.4%	4 5.7%	0 0.0%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	1 1.4%	3 4.3%	2 2.9%	1 1.4%	11 15.7%		

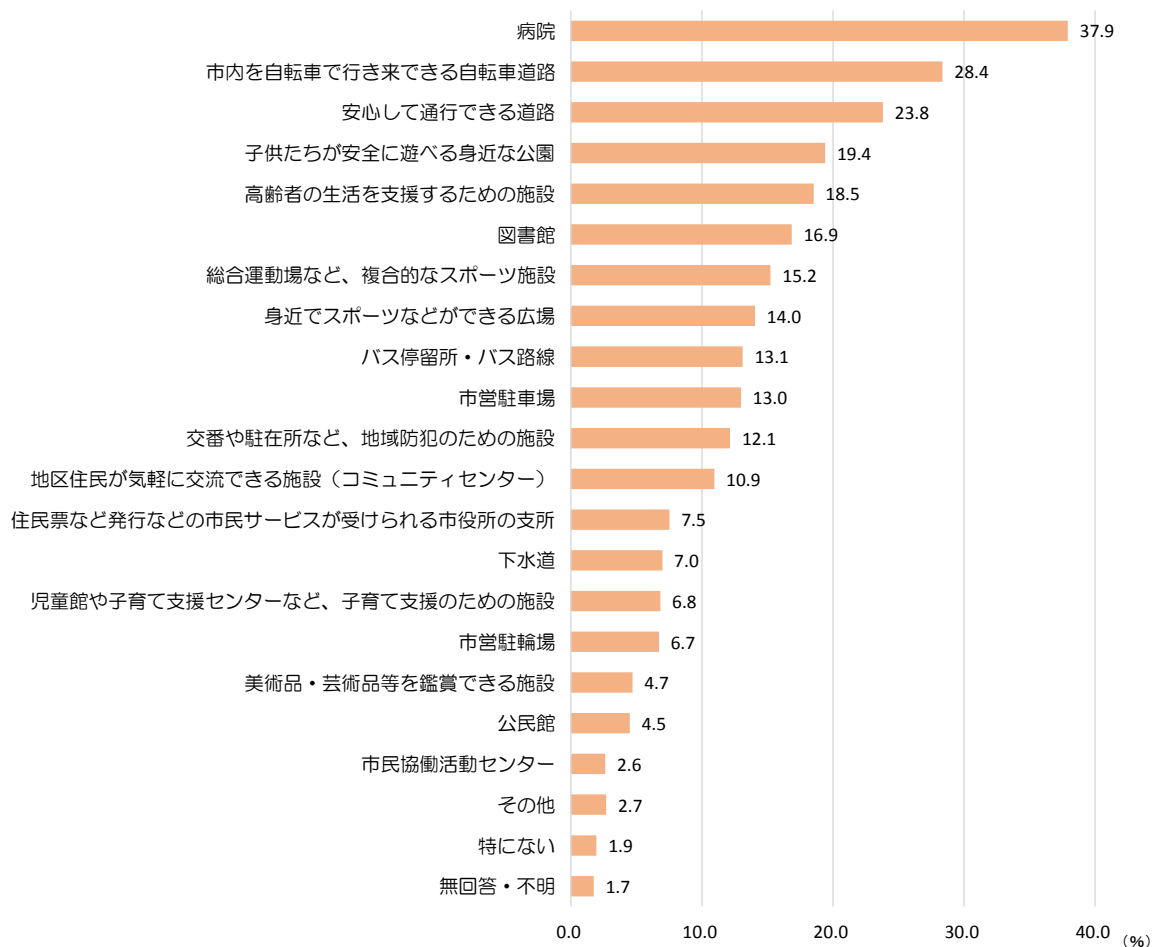
4. 分野ごとの状況について

(1) 都市整備

問6 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設はありますか。次の中から3つまでを選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「病院」の回答が37.9%と最も多く、次いで「市内を自転車で行き来できる自転車道路」28.4%、「安心して通行できる道路」23.8%が主なところである。



(N=1,495)

【経年変化】

市内で整備を望む公共施設について、前回調査（平成24年度）と比較すると「市内を自転車で行き来できる自転車道路」「子供たちが安全に遊べる身近な公園」「図書館」「身近でスポーツなどができる広場」「バス停留所・バス路線」「市営駐車場」が上がっている。また、上位5項目については、前回調査（平成24年度）と同じ項目となっている。

「交番や駐在所など、地域防犯のための施設」が上位10項目外となったものの、「市営駐車場」が上位10項目に入った。

順位	前回調査 (平成24年度)		今回調査 (平成26年度)		H24との 順位比較
	施設名	割合	施設名	割合	
1位	病院	29.9%	病院	37.9%	→
2位	安心して通行できる道路	28.2%	市内を自転車で行き来できる自転車道路	28.4%	↗
3位	市内を自転車で行き来できる自転車道路	26.3%	安心して通行できる道路	23.8%	↘
4位	高齢者の生活を支援するための施設	22.4%	子供たちが安全に遊べる身近な公園	19.4%	↗
5位	子供たちが安全に遊べる身近な公園	20.0%	高齢者の生活を支援するための施設	18.5%	↘
6位	交番や駐在所など、地域防犯のための施設	15.7%	図書館	16.9%	↗
7位	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	14.9%	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	15.2%	→
8位	図書館	14.6%	身近でスポーツなどができる広場	14.0%	↗
9位	身近でスポーツなどができる広場	12.3%	バス停留所・バス路線	13.1%	↗
10位	バス停留所・バス路線	12.1%	市営駐車場	13.0%	↗

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「病院」が最も高くなっており、次いで「市内を自転車で行き来できる自転車道路」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「身近でスポーツなどができる広場」、20歳～29歳では「総合運動場など、複合的なスポーツ施設」、30歳～39歳では「子供たちが安全に遊べる身近な公園」、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳では「病院」、75歳以上では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳、30歳～39歳では「病院」、20歳～29歳では「図書館」、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」、75歳以上では「病院」「高齢者の生活を支援するための施設」となっている。

地区で見ると、全地区で「病院」が最も高くなっている。また、第2位は、駅東側周辺地区では「子供たちが安全に遊べる身近な公園」、その他の地区では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」となっている。

	合計	市営駐車場	市営駐騎場	公民館	市民協働活動センター	地区住民が気軽に交流できる施設（コミュニティセンター）	図書館	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	身近でスポーツなどができる広場	子供たちが安全に遊べる身近な公園	病院	高齢者の生活を支援するための施設	住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の支所	美術品・芸術品等を鑑賞できる施設	市内を自転車で行き来できる自転車道路	交番や駐在所など、地域防犯のための施設	バス停留所・バス路線	安心して通行できる道路	児童館や子育て支援センターなど、子育て支援のための施設	下水道	その他	持たない	無回答・不明
全体	1,495	194	100	67	39	163	252	227	210	290	567	277	112	70	424	182	196	356	102	104	40	29	26
性別	100%	13%	7%	4%	3%	11%	17%	15%	14%	19%	38%	18%	8%	5%	28%	12%	13%	24%	7%	7%	3%	2%	2%
男性	614	84	49	24	18	70	103	110	107	117	229	109	42	32	169	83	60	133	39	45	21	11	10
女性	791	98	47	38	19	82	142	109	96	183	301	146	60	33	273	125	125	203	59	50	17	15	12
無回答・不明	91	12	4	5	2	11	7	8	7	15	37	22	10	5	20	12	11	20	4	9	2	3	4
18歳～19歳	18	2	3	0	0	0	5	4	2	6	2	1	0	5	3	3	3	0	0	0	0	0	0
20歳～29歳	97	16	12	1	0	3	26	27	20	22	23	5	12	6	16	9	15	16	8	1	2	4	1
30歳～39歳	182	23	13	9	1	7	28	27	20	22	23	5	12	6	16	9	15	16	8	1	2	4	1
40歳～49歳	270	29	22	4	1	15	61	60	46	65	92	24	12	11	61	31	39	73	20	17	11	3	2
50歳～59歳	230	26	18	6	3	22	54	30	24	28	41	8	7	8	65	32	31	56	8	13	5	1	6
60歳～64歳	152	19	5	9	9	25	24	18	12	26	71	30	13	11	40	19	17	39	11	10	3	2	3
65歳～69歳	179	30	8	9	5	29	14	22	26	30	67	45	12	7	58	27	20	39	12	19	4	5	3
70歳～74歳	178	19	7	11	6	33	16	16	23	32	71	51	12	12	57	20	21	42	8	18	5	4	5
75歳以上	131	17	5	12	8	20	12	14	15	15	46	46	15	8	47	23	14	25	2	9	1	5	3
無回答・不明	58	13	7	6	1	9	4	6	9	9	18	9	2	2	19	4	5	17	0	7	2	1	1
地区	100%	22%	12%	10%	1%	15%	6%	10%	15%	15%	31%	15%	3%	3%	32%	10%	10%	29%	0%	12%	3%	1%	1%
駅東側周辺	238	21	16	12	5	25	30	34	46	52	91	47	13	61	40	14	16	63	8	6	3	5	5
駅西側周辺	321	30	18	15	10	44	69	50	45	44	144	63	13	21	84	38	56	25	5	3	4	2	1
日出谷地区	328	47	16	18	3	42	63	40	39	50	127	69	25	14	101	50	54	67	23	22	12	2	4
坂田地区	263	38	33	11	10	19	54	55	45	55	87	35	20	10	83	20	34	61	20	4	7	6	5
加納地区	144	19	6	1	4	14	26	27	19	28	49	19	7	5	39	20	24	32	8	27	2	2	4
川田谷地区	131	27	5	3	6	10	6	15	7	27	47	27	11	5	98	8	25	27	14	31	3	3	1
無回答・不明	70	12	6	7	1	9	4	6	9	10	27	10	2	2	41	6	9	28	0	8	2	3	2

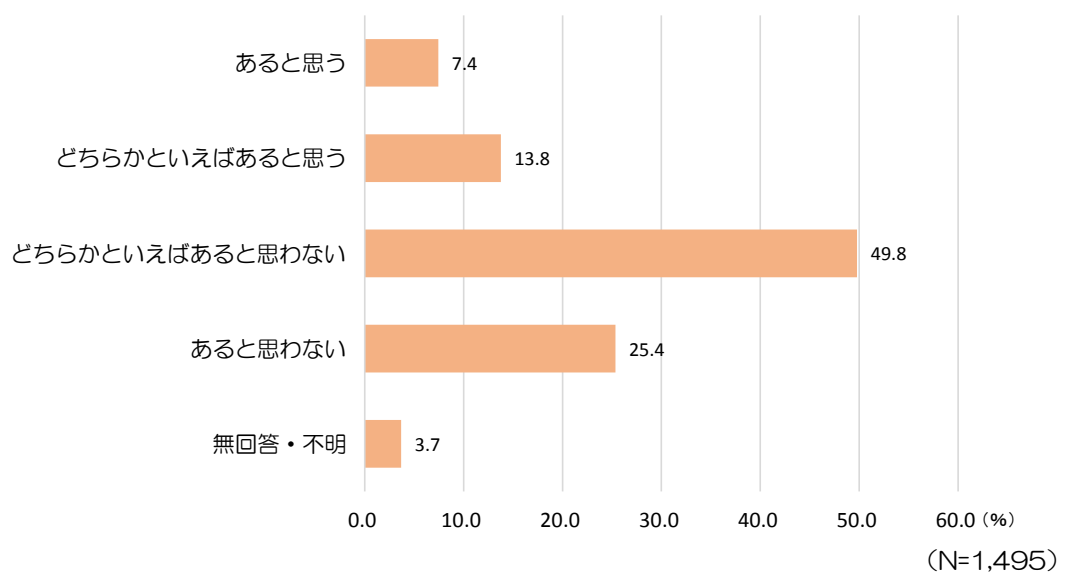
(2) 景観

問7 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

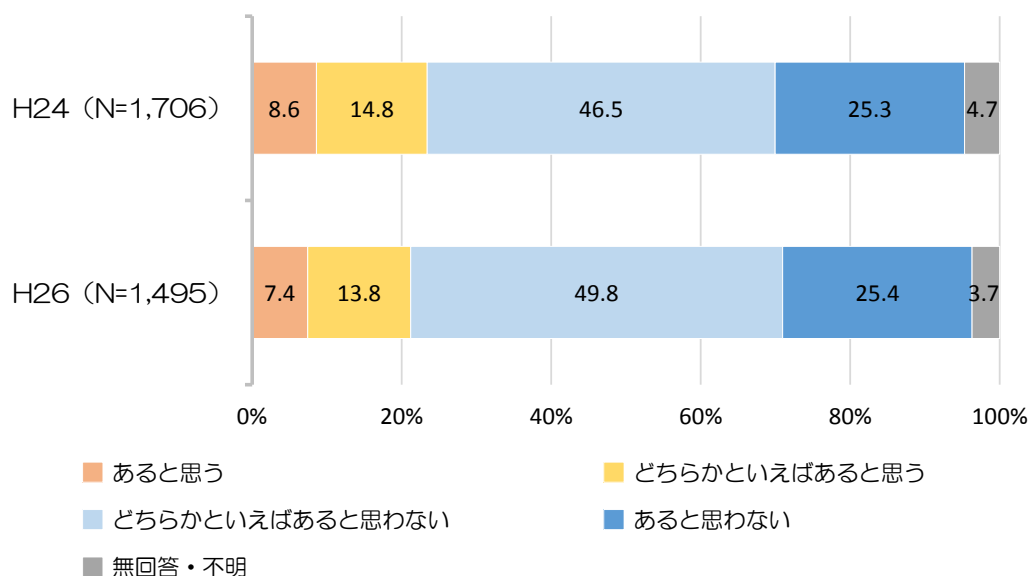
「どちらかといえばあると思わない」との回答が 49.8%と最も多く、次いで「あると思わない」25.4%、「どちらかといえばあると思う」13.8%となっている。

『あると思わない』（「どちらかといえばあると思わない」＋「あると思わない」）は 75.2%と、全体の7割以上は優れた景観がないとしている。



【経年変化】

「どちらかといえばあると思わない」「あると思わない」が前回調査（平成 24 年度）より増えており、一方で、「あると思う」「どちらかといえばあると思う」が減少している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばあると思わない」が最も高くなっており、次いで「あると思わない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「あると思わない」、その他の年齢では「どちらかといえばあると思わない」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区で「どちらかといえばあると思わない」が最も高くなっている。また、第2位は、川田谷地区では「あると思う」、その他の地区では「あると思わない」となっている。

	合計	あると思う	どちらかといえばある	どちらかといえばある	あると思わない	無回答・不明	
全体	1,495	111	206	744	379	55	
	100.0%	7.4%	13.8%	49.8%	25.4%	3.7%	
性別	男性	614	53	85	294	169	13
		100.0%	8.6%	13.8%	47.9%	27.5%	2.1%
	女性	790	49	111	401	192	37
		100.0%	6.2%	14.1%	50.8%	24.3%	4.7%
無回答・不明	91	9	10	49	18	5	
	100.0%	9.9%	11.0%	53.8%	19.8%	5.5%	
年齢	18歳～19歳	18	2	3	6	7	0
		100.0%	11.1%	16.7%	33.3%	38.9%	0.0%
	20歳～29歳	97	4	12	44	37	0
		100.0%	4.1%	12.4%	45.4%	38.1%	0.0%
	30歳～39歳	182	12	28	94	47	1
		100.0%	6.6%	15.4%	51.6%	25.8%	0.5%
	40歳～49歳	270	20	43	147	53	7
		100.0%	7.4%	15.9%	54.4%	19.6%	2.6%
	50歳～59歳	230	23	33	117	52	5
		100.0%	10.0%	14.3%	50.9%	22.6%	2.2%
	60歳～64歳	152	11	24	80	31	6
	100.0%	7.2%	15.8%	52.6%	20.4%	3.9%	
65歳～69歳	179	12	20	93	45	9	
	100.0%	6.7%	11.2%	52.0%	25.1%	5.0%	
70歳～74歳	178	12	14	90	50	12	
	100.0%	6.7%	7.9%	50.6%	28.1%	6.7%	
75歳以上	131	11	24	46	42	8	
	100.0%	8.4%	18.3%	35.1%	32.1%	6.1%	
無回答・不明	58	4	5	27	15	7	
	100.0%	6.9%	8.6%	46.6%	25.9%	12.1%	
地区	駅東側周辺	238	15	36	109	74	4
		100.0%	6.3%	15.1%	45.8%	31.1%	1.7%
	駅西側周辺	321	24	48	162	77	10
		100.0%	7.5%	15.0%	50.5%	24.0%	3.1%
	日出谷地区	328	22	50	162	81	13
		100.0%	6.7%	15.2%	49.4%	24.7%	4.0%
	坂田地区	263	17	32	129	74	11
		100.0%	6.5%	12.2%	49.0%	28.1%	4.2%
加納地区	144	8	14	81	35	6	
	100.0%	5.6%	9.7%	56.3%	24.3%	4.2%	
川田谷地区	131	21	18	67	20	5	
	100.0%	16.0%	13.7%	51.1%	15.3%	3.8%	
無回答・不明	70	4	8	34	18	6	
	100.0%	5.7%	11.4%	48.6%	25.7%	8.6%	

問8 問7で、「1.あると思う」、あるいは、「2.どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

全 体

べに花畑や豊富な緑などといった「自然・河川」に関する意見が最も多く、次いで「城山公園」に関して、古い町並みが残る「中山道・宿場町」に関して、市内各地から望める富士山などの「眺望景観」に関して、自然豊かで四季の移ろいを感じられる「荒川及びその周辺」に関することが主なところである。

【主な意見】

自然・河川について（46件）	<ul style="list-style-type: none"> ・べに花畑。 ・篠津桜。 ・自然環境が良い。緑が豊かな公園や河川敷にある散歩道など等がとてもすばらしい。 ・江川周辺の環境が良い。 	等
城山公園について（44件）	<ul style="list-style-type: none"> ・城山公園。 ・城山公園など自然豊かな緑溢れる公園。 ・城山公園の桜や池など。 	等
中山道・宿場町について（39件）	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場町としての古い町並み。 ・桶川宿を前面に出し、古い景観を保ってほしい。 ・長く続いている祭。 	等
眺望景観について（37件）	<ul style="list-style-type: none"> ・太郎右衛門橋からの富士山や秩父、群馬、栃木などの山々を望む眺望。 ・田園や荒川から望む富士山。 ・べにばな陸橋からみえる富士山。 	等
荒川及びその周辺について（37件）	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川河川敷及びその周辺の景観。（自然、菜の花、富士山などを一望できる眺望など） ・荒川付近の景観は周辺に建物等がなく、自然に溢れており、日常を忘れさせてくれる。 ・土手に沿って春は野バラ、秋はススキなど風情があると思う。遊歩道やトイレ、ベンチなどもっと整備されるとよい。 	等
駅西口公園・市民ホールについて（28件）	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が沢山あり、子供が遊べて老人が休めて、とても良い。 ・春の新緑と秋の紅葉の景観が良い。 ・緑が豊かであるが、夜は駅からの帰り道が暗く、不安を感じる。 	等
川田谷・加納地区の景観について（22件）	<ul style="list-style-type: none"> ・川田谷と加納の雑木林などによる自然豊かな風景が良い。 ・のどかで美しい田園風景を今後も継承してほしい。 	等

道路・街路樹について（17件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・篠津や赤堀などの桜並木。 ・サイクリングロード。 ・駅から若宮交差点までの景観は並木が美しく、また、ハナミズキ通り等は花が咲く頃はとても美しく景観に優れている。 	等
田畑・田園風景について（16件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市部と違い、適度な空き地や畑・田んぼ等の緑が残っていて空が広く感じられる。 ・江川、泉福寺から望む田園風景。 	等
泉福寺について（14件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・宿場町としての古い町並み。 ・桶川宿を前面に出し、古い景観を保ってほしい。 ・長く続いている祭。 	等
公園・公共施設について（8件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園が良い。 ・各小中学校の校庭の桜や木々、子供達の声はとても元気になる。 	等
べに花ふるさと館について（8件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・べに花ふるさと館が良い。 	等
ホンダエアポート・旧陸軍桶川飛行場について（8件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホンダエアポートが良い。 ・旧陸軍桶川飛行場のよう、関東周辺でここまで保存されている軍事関連施設はないと思う。市民でも知らない方も多いため、今のままではもったいない。 	等
寺社仏閣について（6件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・明星院、加納天神、普門寺。 	等
その他（28件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・原山古墳群の周辺が良い。 ・田園の中を走る新幹線。 ・西口駅前のライトアップ。 	等

※主な内容別に分類しています。また、掲載については、主な意見のみとなります。

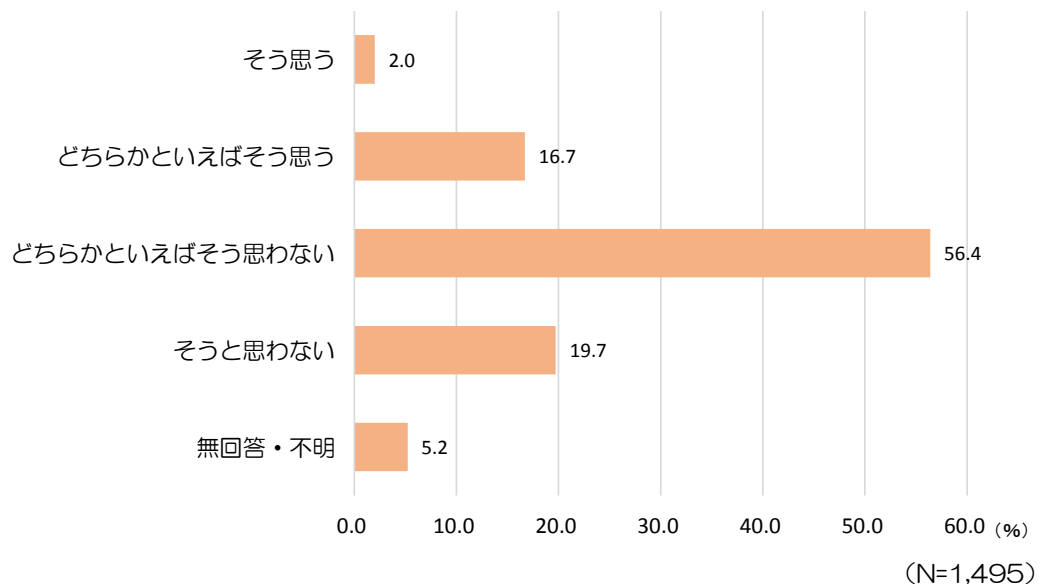
(3) 協働のまちづくり

問9 あなたは、桶川市では、協働*のまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

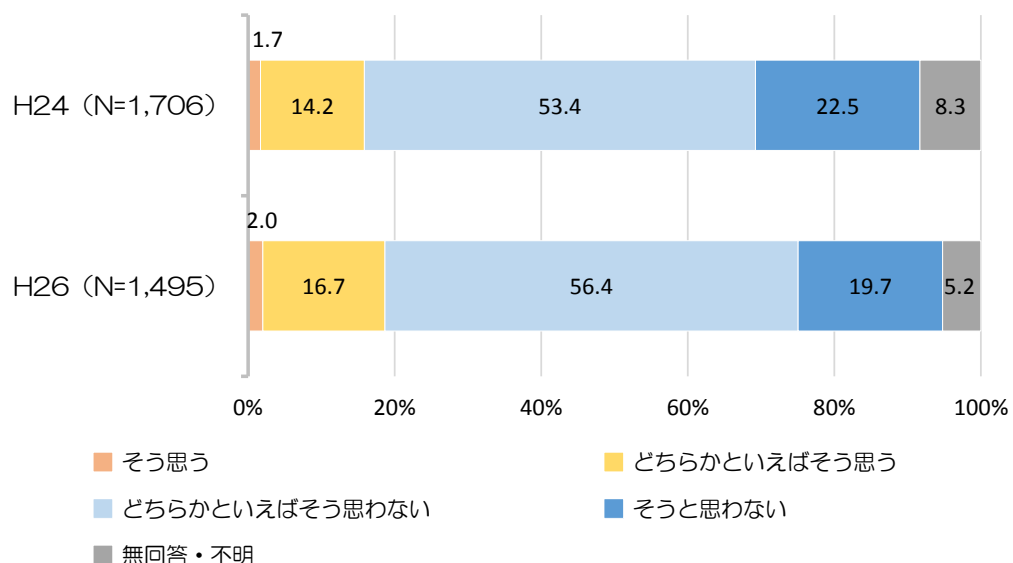
「どちらかといえばそう思わない」との回答が 56.4%と最も多く、次いで「そうと思わない」19.7%、「どちらかといえばそう思う」16.7%となっている。「そう思う」との回答はわずかである。

『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そうと思わない」）は 76.1%で、全体の7割以上は協働のまちづくりは進んでいないとしている。



【経年変化】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が前回調査（平成 24 年度）よりわずかに増えており、20%近くとなっている。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思わない」が半数以上と最も高くなっており、次いで「そうと思わない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「そうと思わない」、その他の年齢では「どちらかといえばそう思わない」が最も高くなっている。

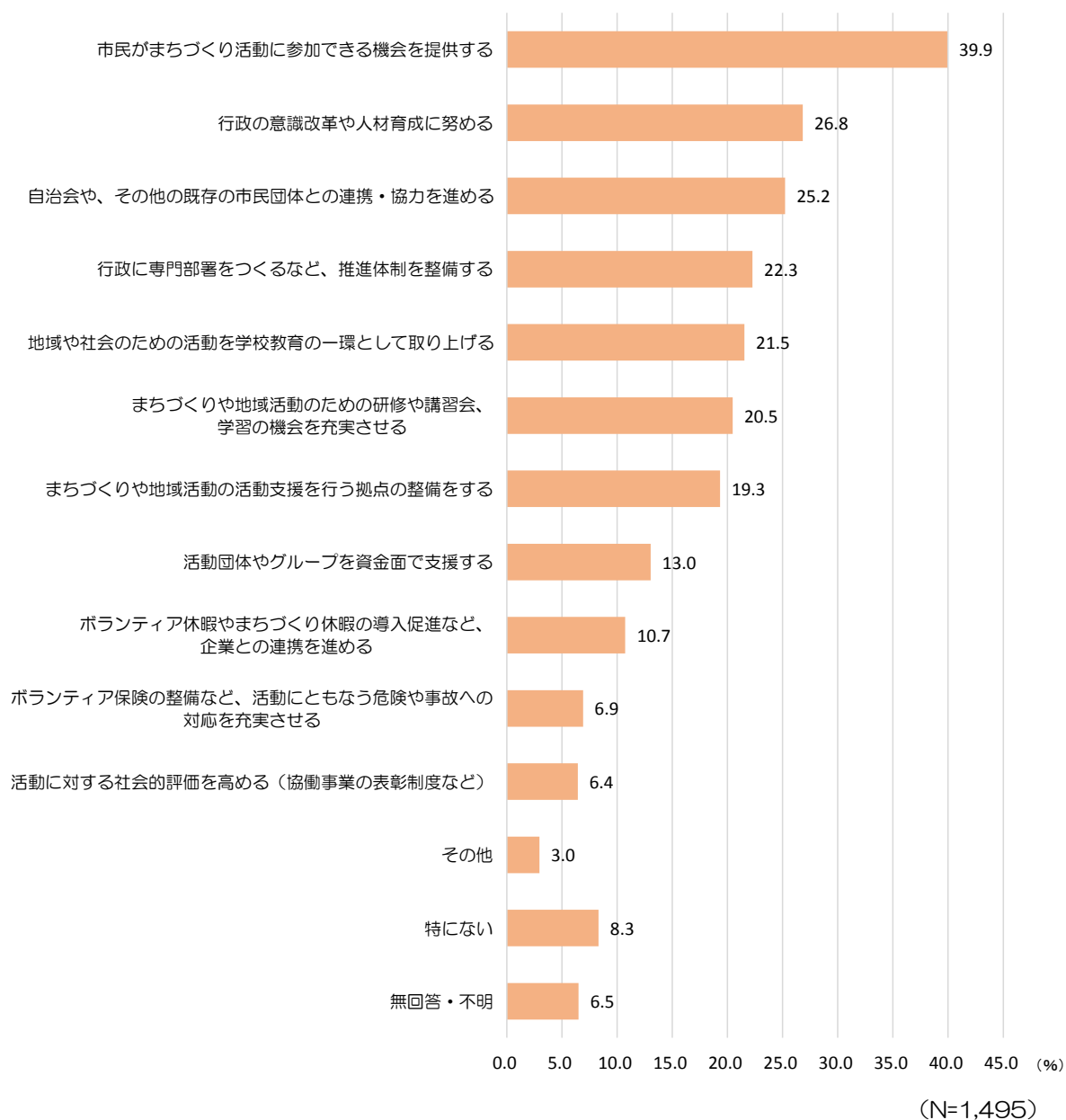
地区で見ると、全地区で「どちらかといえばそう思わない」が最も高くなっている。

	合計	そう思う	どちらか 思う え	どちら か わ た い え	そう と 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明	
全体	1,495 100.0%	30 2.0%	249 16.7%	843 56.4%	295 19.7%	78 5.2%	
性別	男性	614 100.0%	14 2.3%	88 14.3%	364 59.3%	128 20.8%	20 3.3%
	女性	790 100.0%	11 1.4%	147 18.6%	437 55.3%	149 18.9%	46 5.8%
	無回答・不明	91 100.0%	5 5.5%	14 15.4%	42 46.2%	18 19.8%	12 13.2%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	0 0.0%	5 27.8%	5 27.8%	8 44.4%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	2 2.1%	21 21.6%	48 49.5%	24 24.7%	2 2.1%
	30歳～39歳	182 100.0%	1 0.5%	23 12.6%	106 58.2%	49 26.9%	3 1.6%
	40歳～49歳	270 100.0%	1 0.4%	44 16.3%	178 65.9%	35 13.0%	12 4.4%
	50歳～59歳	230 100.0%	8 3.5%	37 16.1%	128 55.7%	49 21.3%	8 3.5%
	60歳～64歳	152 100.0%	4 2.6%	20 13.2%	90 59.2%	29 19.1%	9 5.9%
	65歳～69歳	179 100.0%	4 2.2%	29 16.2%	98 54.7%	38 21.2%	10 5.6%
	70歳～74歳	178 100.0%	4 2.2%	30 16.9%	100 56.2%	29 16.3%	15 8.4%
	75歳以上	131 100.0%	5 3.8%	32 24.4%	58 44.3%	23 17.6%	13 9.9%
	無回答・不明	58 100.0%	1 1.7%	8 13.8%	32 55.2%	11 19.0%	6 10.3%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	1 0.4%	33 13.9%	138 58.0%	54 22.7%	12 5.0%
	駅西側周辺	321 100.0%	12 3.7%	46 14.3%	182 56.7%	68 21.2%	13 4.0%
	日出谷地区	328 100.0%	5 1.5%	60 18.3%	192 58.5%	56 17.1%	15 4.6%
	坂田地区	263 100.0%	4 1.5%	45 17.1%	145 55.1%	54 20.5%	15 5.7%
	加納地区	144 100.0%	2 1.4%	25 17.4%	76 52.8%	32 22.2%	9 6.3%
	川田谷地区	131 100.0%	5 3.8%	32 24.4%	72 55.0%	16 12.2%	6 4.6%
	無回答・不明	70 100.0%	1 1.4%	8 11.4%	38 54.3%	15 21.4%	8 11.4%

**問 10 今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことはな
んだと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。**

全 体

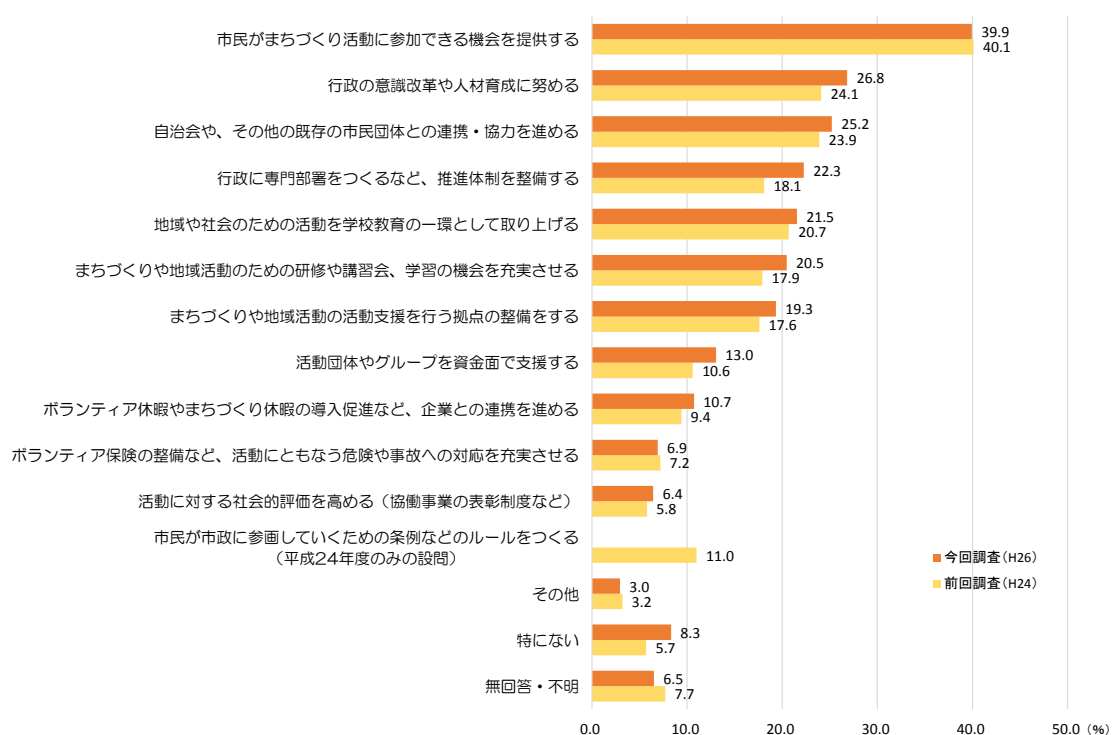
「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」との回答が 39.9%と最も多い。次いで「行政の意識改革や人材育成に努める」26.8%、「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」25.2%が主なところである。



【経年変化】

前回調査（平成24年度）と比較すると、「行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する」「行政の意識改革や人材育成に努める」「まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる」等、増加した項目が目立つ。

一方で、「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」は最も多いものの、わずかに減少している。



平成26年度 (N=1,495)
平成24年度 (N=1,706)

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっており、次いで「行政の意識改革や人材育成に努める」となっている。

年齢で見ると、70歳～74歳を除く全年齢で「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」、70歳～74歳では「自治会や、その他の既存の市民団地との連携・協力を進める」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区で「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっている。

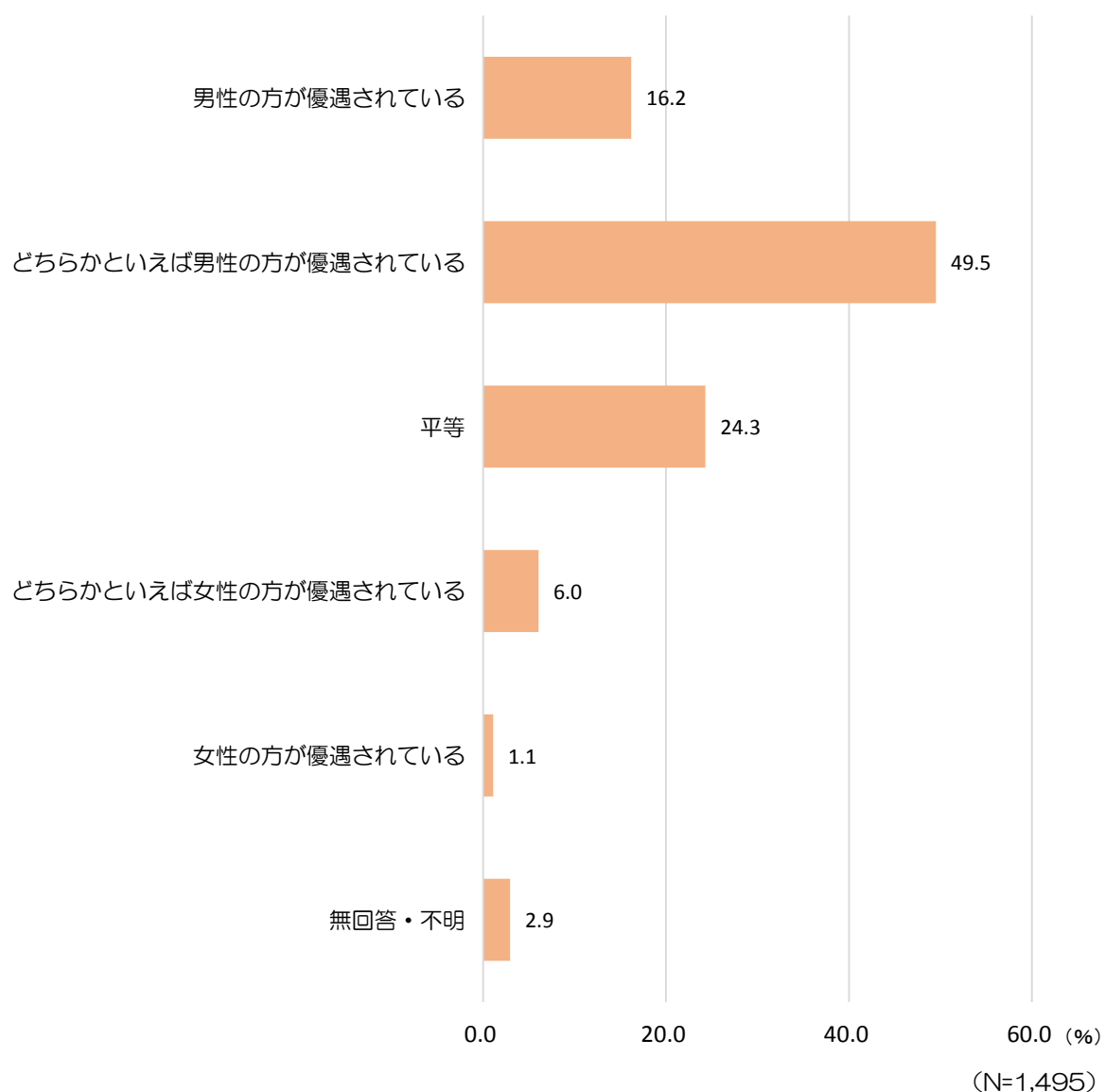
	合計	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	自治会や、その他の既存の市民団地との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	活動に対する社会的評価を高める（表彰制度など）	業との連携を進める	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める	ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動団体やグループを資金面で支援する	推進体制を整備するなど、行政に専門部署をつくるなど、	行政の意識改革や人材育成に努める	その他	特になし	無回答・不明
全体	1,495 100.0%	597 39.9%	288 19.3%	306 20.5%	377 25.2%	322 21.5%	96 6.4%	160 10.7%	103 6.9%	195 13.0%	333 22.3%	401 26.8%	45 3.0%	124 8.3%	97 6.5%	
性別	男性	614 100.0%	239 38.9%	128 20.8%	143 23.3%	154 25.1%	47 7.7%	64 10.4%	42 6.8%	77 12.5%	154 25.1%	168 27.4%	31 5.0%	42 6.8%	27 4.4%	
	女性	790 100.0%	327 41.4%	146 18.5%	151 19.1%	201 25.4%	168 21.3%	43 5.4%	87 11.0%	58 7.3%	109 13.8%	162 20.5%	211 26.7%	10 1.3%	73 9.2%	53 6.7%
	無回答・不明	91 100.0%	31 34.1%	14 15.4%	12 13.2%	22 24.2%	14 15.4%	6 6.6%	9 9.9%	3 3.3%	9 9.9%	17 18.7%	22 24.2%	4 4.4%	9 9.9%	17 18.7%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	9 50.0%	1 5.6%	4 22.2%	5 27.8%	3 16.7%	2 11.1%	5 27.8%	2 11.1%	4 22.2%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%
	20歳～29歳	97 100.0%	45 46.4%	13 13.4%	12 12.4%	12 12.4%	25 25.8%	6 6.2%	21 21.6%	5 5.2%	11 11.3%	15 15.5%	22 22.7%	5 5.2%	13 13.4%	2 2.1%
	30歳～39歳	182 100.0%	80 44.0%	32 17.6%	32 17.6%	34 18.7%	43 23.6%	13 7.1%	27 14.8%	6 3.3%	22 12.1%	39 21.4%	58 31.9%	3 1.6%	17 9.3%	6 3.3%
	40歳～49歳	270 100.0%	105 38.9%	52 19.3%	38 14.1%	69 25.6%	61 22.6%	15 5.6%	31 11.5%	15 5.6%	32 11.9%	57 21.1%	61 22.6%	8 3.0%	21 7.8%	12 4.4%
	50歳～59歳	230 100.0%	93 40.4%	56 24.3%	56 24.3%	55 23.9%	52 22.6%	23 10.0%	23 10.0%	14 6.1%	23 10.0%	49 21.3%	60 26.1%	11 4.8%	13 5.7%	12 5.2%
	60歳～64歳	152 100.0%	64 42.1%	28 18.4%	38 25.0%	43 28.3%	38 25.0%	10 6.6%	16 10.5%	9 5.9%	24 15.8%	34 22.4%	49 32.2%	4 2.6%	15 9.9%	5 3.3%
	65歳～69歳	179 100.0%	79 44.1%	41 22.9%	47 26.3%	48 26.8%	35 19.6%	8 4.5%	11 6.1%	15 8.4%	23 12.8%	57 31.8%	48 26.8%	5 2.8%	10 5.6%	9 5.0%
	70歳～74歳	178 100.0%	56 31.5%	36 20.2%	38 21.3%	57 32.0%	32 18.0%	7 3.9%	11 6.2%	19 10.7%	33 18.5%	38 21.3%	52 29.2%	4 2.2%	19 10.7%	21 11.8%
	75歳以上	131 100.0%	41 31.3%	23 17.6%	29 22.1%	40 30.5%	27 20.6%	8 6.1%	8 6.1%	13 9.9%	13 9.9%	29 22.1%	32 24.4%	3 2.3%	12 9.2%	22 16.8%
	無回答・不明	58 100.0%	25 43.1%	6 10.3%	12 20.7%	14 24.1%	6 10.3%	4 6.9%	7 12.1%	5 8.6%	10 17.2%	14 24.1%	16 27.6%	2 3.4%	3 5.2%	7 12.1%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	92 38.7%	42 17.6%	58 24.4%	63 26.5%	48 20.2%	13 5.5%	19 8.0%	15 6.3%	39 16.4%	55 23.1%	58 24.4%	6 2.5%	22 9.2%	13 5.5%
	駅西側周辺	321 100.0%	138 43.0%	57 17.8%	72 22.4%	73 22.7%	71 22.1%	23 7.2%	39 12.1%	23 7.2%	32 10.0%	71 22.1%	84 26.2%	9 2.8%	29 9.0%	14 4.4%
	日出谷地区	328 100.0%	131 39.9%	76 23.2%	72 22.0%	81 24.7%	77 23.5%	25 7.6%	31 9.5%	29 8.8%	44 13.4%	68 20.7%	93 28.4%	10 3.0%	28 8.5%	21 6.4%
	坂田地区	263 100.0%	102 38.8%	55 20.9%	43 16.3%	69 26.2%	57 21.7%	15 5.7%	36 13.7%	13 4.9%	32 12.2%	60 22.8%	72 27.4%	10 3.8%	17 6.5%	21 8.0%
	加納地区	144 100.0%	59 41.0%	28 19.4%	27 18.8%	38 26.4%	37 25.7%	8 5.6%	16 11.1%	11 7.6%	16 11.1%	39 27.1%	40 27.8%	2 1.4%	7 4.9%	10 6.9%
	川田谷地区	131 100.0%	50 38.2%	23 17.6%	20 15.3%	38 29.0%	25 19.1%	8 6.1%	12 9.2%	6 4.6%	22 16.8%	25 19.1%	34 26.0%	4 3.1%	15 11.5%	9 6.9%
	無回答・不明	70 100.0%	25 35.7%	7 10.0%	14 20.0%	15 21.4%	7 10.0%	4 5.7%	7 10.0%	6 8.6%	10 14.3%	15 21.4%	20 28.6%	4 5.7%	6 8.6%	9 12.9%

問 11 あなたは、社会全体における男女の地位について、どのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が49.5%と最も多い。次いで「平等」24.3%、「男性の方が優遇されている」16.2%となっている。

『女性が優遇』（「女性の方が優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）については1割に満たない。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっており、次いで男性は「平等」、女性は「男性の方が優遇されている」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳を除く全年齢で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、18歳～19歳では「平等」が最も高くなっている。

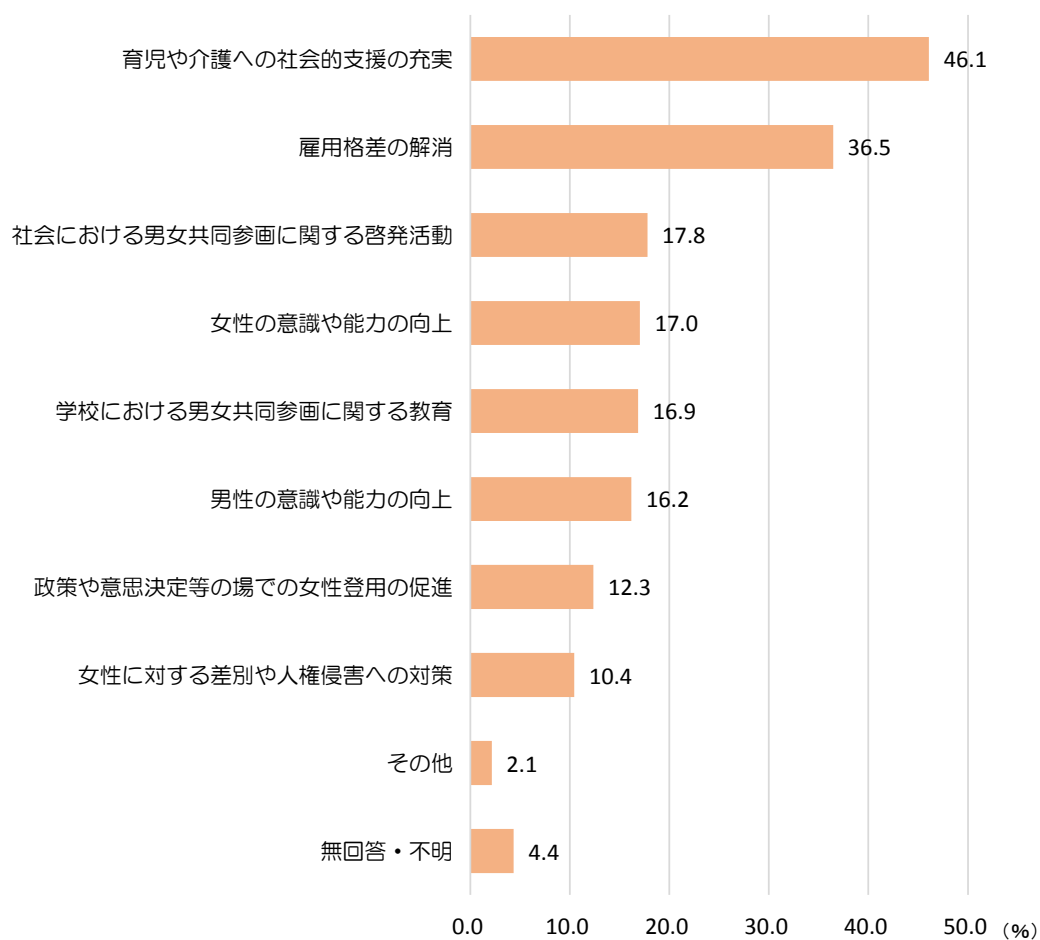
地区で見ると、全地区で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっており、次いで「平等」となっている。

		合計	男性の方が優遇されている	どちらかかといえは男性の方が優遇されている	平等	どちらかかといえは女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	無回答・不明
全体		1,495 100.0%	242 16.2%	740 49.5%	363 24.3%	90 6.0%	16 1.1%	44 2.9%
性別	男性	614 100.0%	75 12.2%	266 43.3%	194 31.6%	57 9.3%	7 1.1%	15 2.4%
	女性	790 100.0%	157 19.9%	436 55.2%	139 17.6%	29 3.7%	8 1.0%	21 2.7%
	無回答・不明	91 100.0%	10 11.0%	38 41.8%	30 33.0%	4 4.4%	1 1.1%	8 8.8%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	3 16.7%	6 33.3%	9 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	9 9.3%	47 48.5%	22 22.7%	14 14.4%	4 4.1%	1 1.0%
	30歳～39歳	182 100.0%	36 19.8%	86 47.3%	41 22.5%	14 7.7%	2 1.1%	3 1.6%
	40歳～49歳	270 100.0%	47 17.4%	129 47.8%	65 24.1%	19 7.0%	4 1.5%	6 2.2%
	50歳～59歳	230 100.0%	47 20.4%	120 52.2%	46 20.0%	10 4.3%	1 0.4%	6 2.6%
	60歳～64歳	152 100.0%	30 19.7%	90 59.2%	25 16.4%	4 2.6%	1 0.7%	2 1.3%
	65歳～69歳	179 100.0%	26 14.5%	95 53.1%	45 25.1%	8 4.5%	0 0.0%	5 2.8%
	70歳～74歳	178 100.0%	21 11.8%	90 50.6%	49 27.5%	9 5.1%	2 1.1%	7 3.9%
	75歳以上	131 100.0%	16 12.2%	54 41.2%	46 35.1%	4 3.1%	0 0.0%	11 8.4%
	無回答・不明	58 100.0%	7 12.1%	23 39.7%	15 25.9%	8 13.8%	2 3.4%	3 5.2%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	45 18.9%	115 48.3%	56 23.5%	17 7.1%	4 1.7%	1 0.4%
	駅西側周辺	321 100.0%	50 15.6%	162 50.5%	73 22.7%	23 7.2%	3 0.9%	10 3.1%
	日出谷地区	328 100.0%	57 17.4%	164 50.0%	78 23.8%	17 5.2%	2 0.6%	10 3.0%
	坂田地区	263 100.0%	46 17.5%	122 46.4%	74 28.1%	13 4.9%	1 0.4%	7 2.7%
	加納地区	144 100.0%	14 9.7%	79 54.9%	33 22.9%	8 5.6%	3 2.1%	7 4.9%
	川田谷地区	131 100.0%	18 13.7%	71 54.2%	33 25.2%	4 3.1%	1 0.8%	4 3.1%
	無回答・不明	70 100.0%	12 17.1%	27 38.6%	16 22.9%	8 11.4%	2 2.9%	5 7.1%

問 12 男女共同参画社会のために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

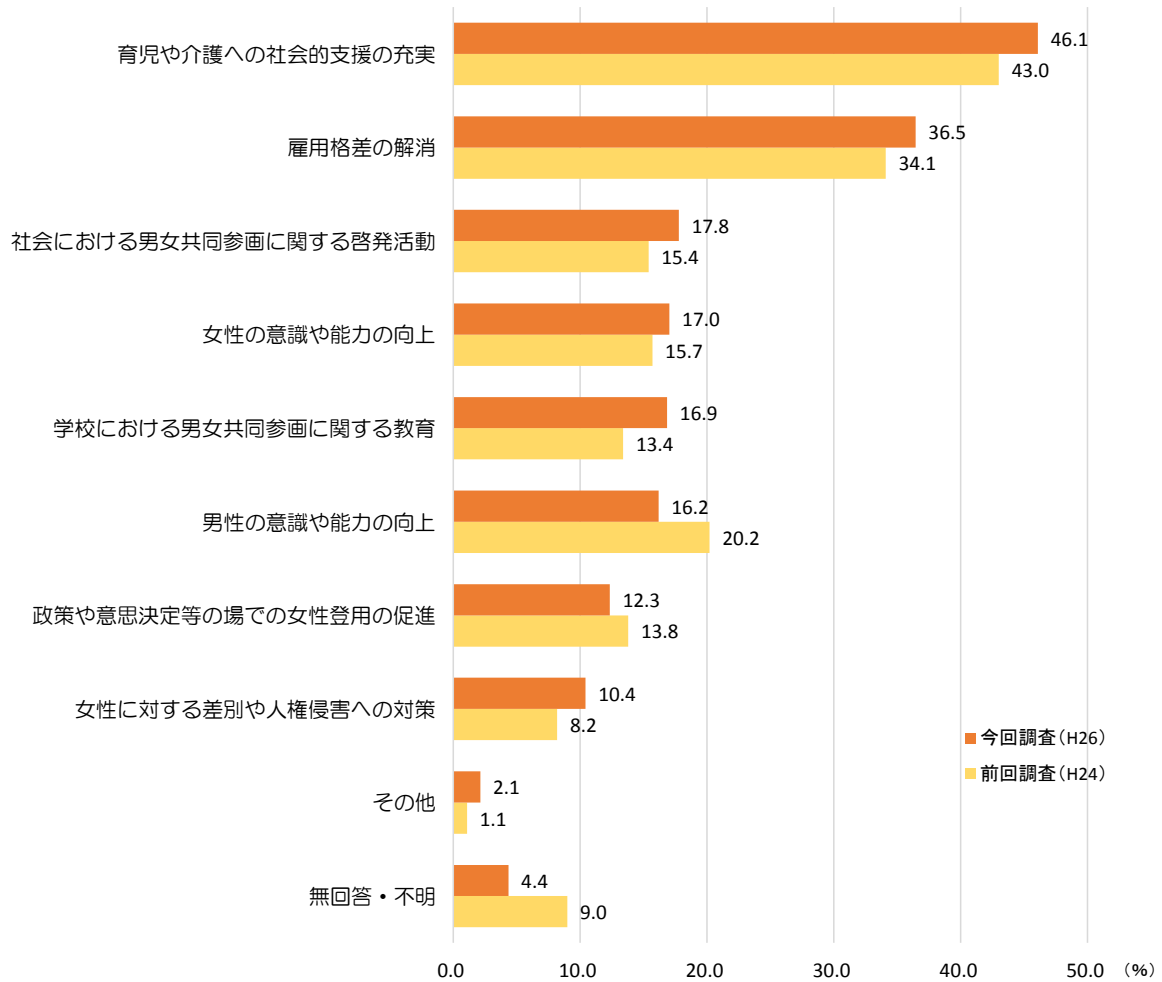
「育児や介護への社会的支援の充実」との回答が 46.1%と最も多く、次いで「雇用格差の解消」36.5%が主なところである。



(N=1,495)

【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）と比較すると、「男性の意識や能力の向上」「政策や意思決定等での女性登用の促進」を除き、増加している。特に大きく増加した項目として、「学校における男女共同参画に関する教育」「育児や介護への社会的支援の充実」があげられる。



平成 26 年度 (N=1,495)
平成 24 年度 (N=1,706)

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「育児や介護への社会的支援の充実」が最も高くなっており、次いで「雇用格差の解消」となっている。

年齢で見ると、20歳～29歳を除く全年齢で「育児や介護への社会的支援の充実」、20歳～29歳では「雇用格差の解消」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区で「育児や介護への社会的支援の充実」が最も高くなっており、次いで「雇用格差の解消」となっている。

	合計	社会における男女共同参画に関する啓発活動	学校における男女共同参画に関する教育	雇用格差の解消	政策や意思決定等の場での女性登用の促進	女性の意識や能力の向上	男性の意識や能力の向上	育児や介護への社会的支援の充実	女性に対する差別や人権侵害への対策	その他	無回答・不明	
全体	1,495 100.0%	266 17.8%	252 16.9%	545 36.5%	184 12.3%	254 17.0%	242 16.2%	689 46.1%	156 10.4%	32 2.1%	66 4.4%	
性別	男性	614 100.0%	127 20.7%	122 19.9%	192 31.3%	79 12.9%	113 18.4%	110 17.9%	253 41.2%	49 8.0%	21 3.4%	25 4.1%
	女性	790 100.0%	120 15.2%	119 15.1%	318 40.3%	96 12.2%	129 16.3%	123 15.6%	405 51.3%	100 12.7%	7 0.9%	30 3.8%
	無回答・不明	91 100.0%	19 20.9%	11 12.1%	35 38.5%	9 9.9%	12 13.2%	9 9.9%	31 34.1%	7 7.7%	4 4.4%	11 12.1%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	3 16.7%	1 5.6%	6 33.3%	3 16.7%	3 16.7%	7 38.9%	9 50.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	7 7.2%	17 17.5%	43 44.3%	10 10.3%	19 19.6%	13 13.4%	42 43.3%	17 17.5%	3 3.1%	2 2.1%
	30歳～39歳	182 100.0%	19 10.4%	30 16.5%	71 39.0%	22 12.1%	34 18.7%	40 22.0%	96 52.7%	15 8.2%	1 0.5%	5 2.7%
	40歳～49歳	270 100.0%	46 17.0%	39 14.4%	102 37.8%	25 9.3%	36 13.3%	52 19.3%	136 50.4%	31 11.5%	8 3.0%	5 1.9%
	50歳～59歳	230 100.0%	43 18.7%	38 16.5%	86 37.4%	26 11.3%	45 19.6%	42 18.3%	106 46.1%	30 13.0%	2 0.9%	5 2.2%
	60歳～64歳	152 100.0%	27 17.8%	27 17.8%	50 32.9%	24 15.8%	22 14.5%	22 14.5%	78 51.3%	13 8.6%	5 3.3%	8 5.3%
	65歳～69歳	179 100.0%	32 17.9%	32 17.9%	65 36.3%	24 13.4%	39 21.8%	23 12.8%	86 48.0%	21 11.7%	2 1.1%	5 2.8%
	70歳～74歳	178 100.0%	41 23.0%	31 17.4%	62 34.8%	24 13.5%	34 19.1%	19 10.7%	66 37.1%	11 6.2%	4 2.2%	20 11.2%
	75歳以上	131 100.0%	34 26.0%	29 22.1%	38 29.0%	21 16.0%	15 11.5%	15 11.5%	41 31.3%	14 10.7%	4 3.1%	13 9.9%
	無回答・不明	58 100.0%	14 24.1%	8 13.8%	22 37.9%	5 8.6%	7 12.1%	9 15.5%	29 50.0%	3 5.2%	3 5.2%	3 5.2%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	36 15.1%	34 14.3%	91 38.2%	27 11.3%	46 19.3%	43 18.1%	109 45.8%	22 9.2%	7 2.9%	5 2.1%
	駅西側周辺	321 100.0%	62 19.3%	52 16.2%	118 36.8%	47 14.6%	49 15.3%	45 14.0%	157 48.9%	33 10.3%	8 2.5%	13 4.0%
	日出谷地区	328 100.0%	62 18.9%	64 19.5%	113 34.5%	38 11.6%	58 17.7%	60 18.3%	145 44.2%	34 10.4%	6 1.8%	14 4.3%
	坂田地区	263 100.0%	38 14.4%	45 17.1%	105 39.9%	28 10.6%	51 19.4%	42 16.0%	118 44.9%	32 12.2%	4 1.5%	12 4.6%
	加納地区	144 100.0%	34 23.6%	26 18.1%	47 32.6%	30 20.8%	18 12.5%	20 13.9%	63 43.8%	15 10.4%	1 0.7%	9 6.3%
	川田谷地区	131 100.0%	19 14.5%	19 14.5%	47 35.9%	9 6.9%	25 19.1%	19 14.5%	65 49.6%	15 11.5%	3 2.3%	8 6.1%
	無回答・不明	70 100.0%	15 21.4%	12 17.1%	24 34.3%	5 7.1%	7 10.0%	13 18.6%	32 45.7%	5 7.1%	3 4.3%	5 7.1%

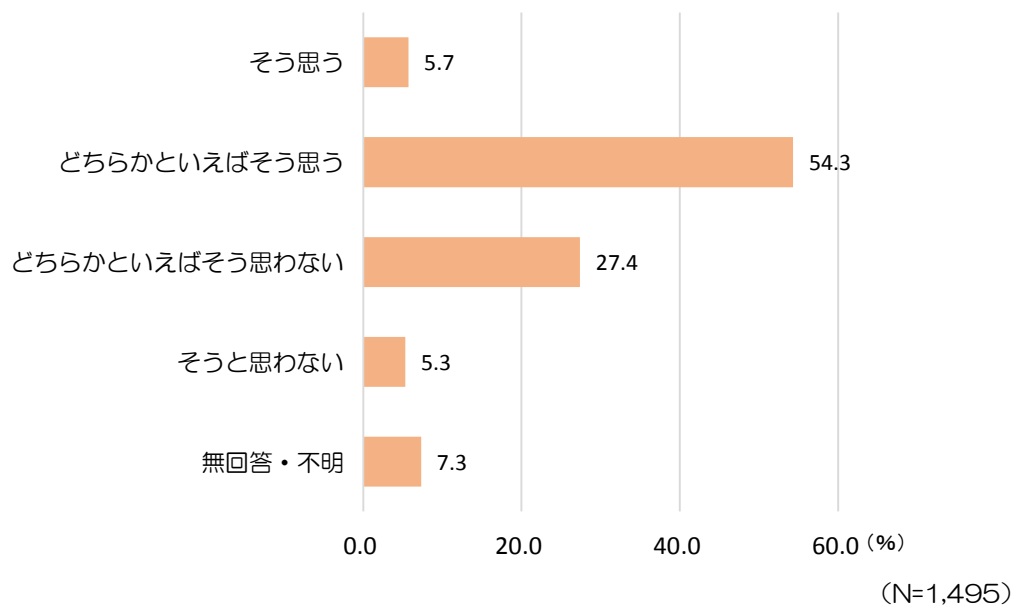
(4) 子育て支援

問 13 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

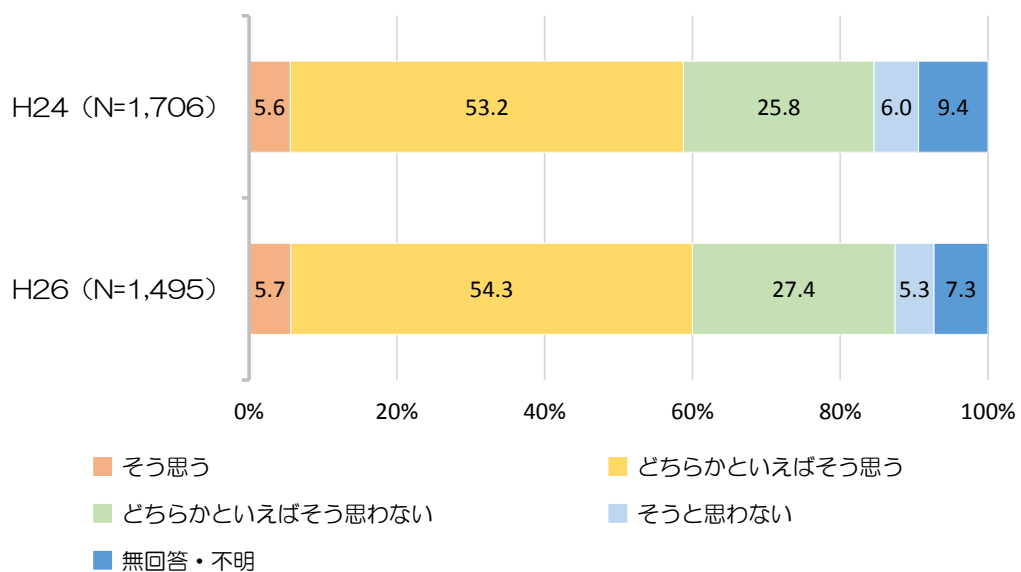
「どちらかといえばそう思う」54.3%との回答が最も多く、半数以上を占める。次いで「どちらかといえばそう思わない」27.4%となっている。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は60.0%、一方『そうと思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そうと思わない」）との回答は32.7%と、桶川市が安心して子育てしやすいまちだと思うとの回答が多くなっている。



【経年変化】

前回調査（平成24年度）より「そうと思わない」が減少している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで18歳～19歳を除いた全年齢で「どちらかといえばそう思わない」、18歳～19歳で「そう思う」となっている。

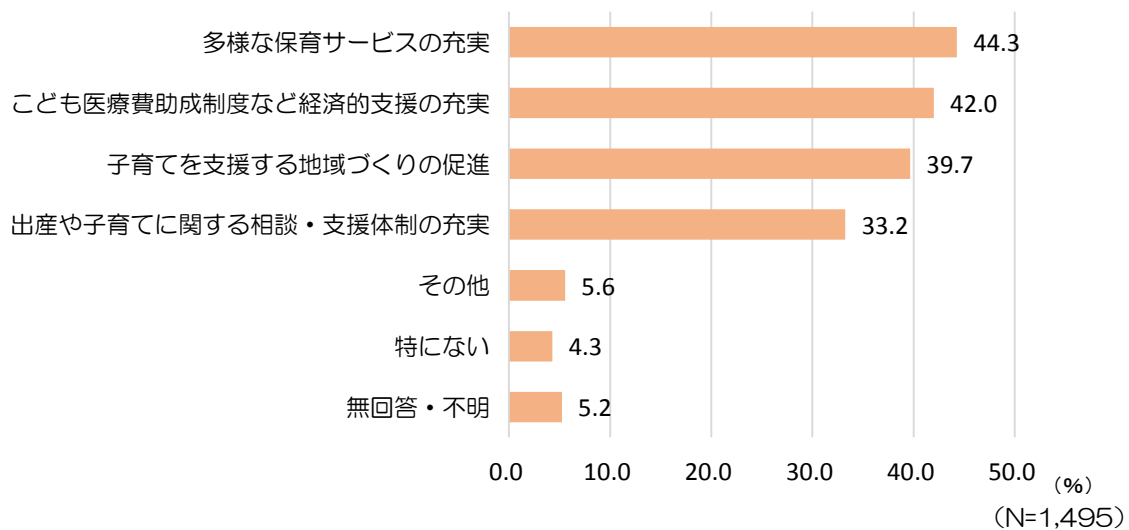
地区で見ると、全地区で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

		合計	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か わ か と い え ば	そ う と 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明
全体		1,495 100.0%	85 5.7%	812 54.3%	410 27.4%	79 5.3%	109 7.3%
性別	男性	614 100.0%	44 7.2%	331 53.9%	168 27.4%	35 5.7%	36 5.9%
	女性	790 100.0%	36 4.6%	444 56.2%	209 26.5%	41 5.2%	60 7.6%
	無回答・不明	91 100.0%	5 5.5%	37 40.7%	33 36.3%	3 3.3%	13 14.3%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	4 22.2%	11 61.1%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	6 6.2%	53 54.6%	28 28.9%	8 8.2%	2 2.1%
	30歳～39歳	182 100.0%	9 4.9%	94 51.6%	57 31.3%	17 9.3%	5 2.7%
	40歳～49歳	270 100.0%	12 4.4%	154 57.0%	83 30.7%	9 3.3%	12 4.4%
	50歳～59歳	230 100.0%	11 4.8%	123 53.5%	75 32.6%	11 4.8%	10 4.3%
	60歳～64歳	152 100.0%	11 7.2%	82 53.9%	42 27.6%	7 4.6%	10 6.6%
	65歳～69歳	179 100.0%	6 3.4%	109 60.9%	42 23.5%	10 5.6%	12 6.7%
	70歳～74歳	178 100.0%	10 5.6%	90 50.6%	45 25.3%	11 6.2%	22 12.4%
	75歳以上	131 100.0%	10 7.6%	70 53.4%	19 14.5%	3 2.3%	29 22.1%
	無回答・不明	58 100.0%	6 10.3%	26 44.8%	16 27.6%	3 5.2%	7 12.1%
	地区	駅東側周辺	238 100.0%	9 3.8%	122 51.3%	75 31.5%	14 5.9%
駅西側周辺		321 100.0%	24 7.5%	182 56.7%	76 23.7%	13 4.0%	26 8.1%
日出谷地区		328 100.0%	22 6.7%	182 55.5%	78 23.8%	22 6.7%	24 7.3%
坂田地区		263 100.0%	9 3.4%	144 54.8%	76 28.9%	14 5.3%	20 7.6%
加納地区		144 100.0%	8 5.6%	72 50.0%	47 32.6%	10 6.9%	7 4.9%
川田谷地区		131 100.0%	8 6.1%	79 60.3%	37 28.2%	3 2.3%	4 3.1%
無回答・不明		70 100.0%	5 7.1%	31 44.3%	21 30.0%	3 4.3%	10 14.3%

**問 14 安心して子供を育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だ
 と思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。**

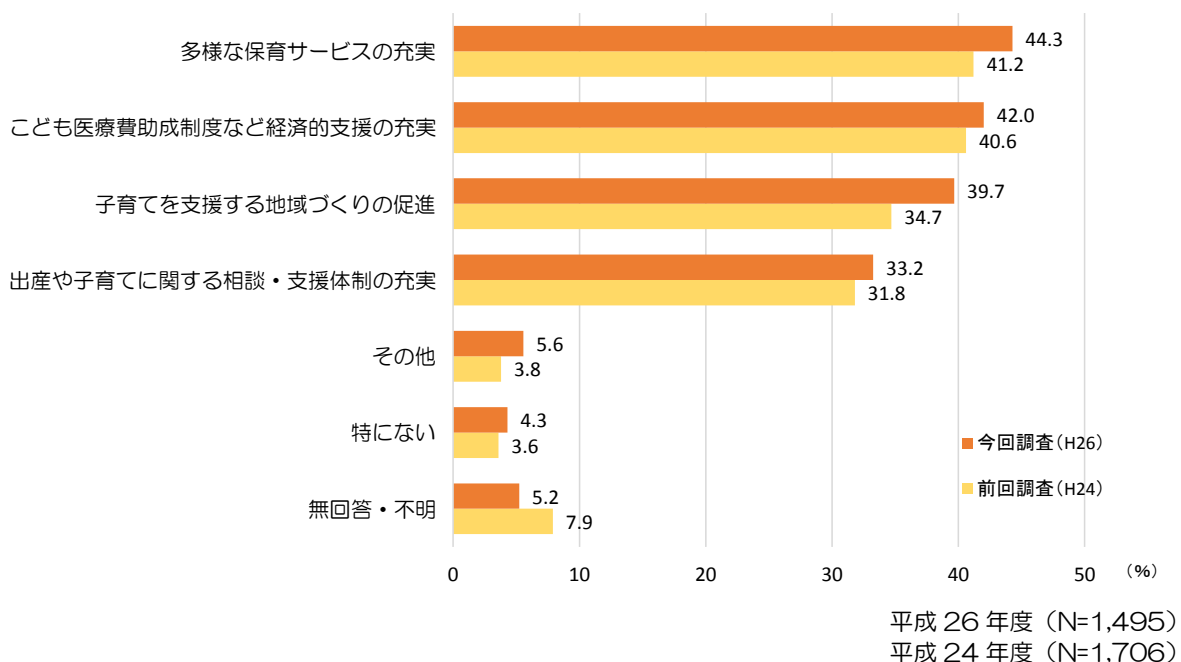
全 体

「多様な保育サービスの充実」44.3%が最も多く、次いで「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」42.0%、「子育てを支援する地域づくりの促進」39.7%、「出産や子育てに関する相談・援助体制の充実」33.2%であって、いずれも3～4割台となっており、すべての項目が重要と捉えられていることがうかがえる。



【経年変化】

いずれの項目も増加しており、特に「子育てを支援する地域づくりの促進」が前回調査（平成24年度）より大きく増加している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「多様な保育サービスの充実」が最も高くなっており、次いで男性は「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、女性は「子育てを支援する地域づくりの促進」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、50歳～59歳、70歳～74歳では「多様な保育サービスの充実」、30歳～39歳、40歳～49歳では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、60歳～64歳、75歳以上では「子育てを支援する地域づくりの促進」、65歳～69歳では「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺地区では「子育てを支援する地域づくりの促進」「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、加納地区では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、その他の地区では「多様な保育サービスの充実」が最も高くなっている。

	合計	出産や子育てに関する相談・支援体制の充実	多様な保育サービスの充実	子育てを支援する地域づくりの促進	こども医療費助成制度など経済的支援の充実	その他	特になし	無回答・不明	
全体	1,495	497	662	593	628	83	64	78	
	100.0%	33.2%	44.3%	39.7%	42.0%	5.6%	4.3%	5.2%	
性別	男性	614	199	279	236	274	31	25	
		100.0%	32.4%	45.4%	38.4%	44.6%	5.2%	4.1%	
	女性	790	266	349	326	319	47	29	41
	100.0%	33.7%	44.2%	41.3%	40.4%	5.9%	3.7%	5.2%	
無回答・不明	91	32	34	31	35	4	4	12	
	100.0%	35.2%	37.4%	34.1%	38.5%	4.4%	4.4%	13.2%	
年齢	18歳～19歳	18	6	10	7	9	1	0	0
		100.0%	33.3%	55.6%	38.9%	50.0%	5.6%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	97	30	52	39	43	4	4	0
		100.0%	30.9%	53.6%	40.2%	44.3%	4.1%	4.1%	0.0%
	30歳～39歳	182	47	89	75	92	13	6	4
		100.0%	25.8%	48.9%	41.2%	50.5%	7.1%	3.3%	2.2%
	40歳～49歳	270	73	121	97	135	29	12	6
		100.0%	27.0%	44.8%	35.9%	50.0%	10.7%	4.4%	2.2%
	50歳～59歳	230	74	118	87	87	11	6	9
		100.0%	32.2%	51.3%	37.8%	37.8%	4.8%	2.6%	3.9%
60歳～64歳	152	61	56	69	67	5	10	5	
	100.0%	40.1%	36.8%	45.4%	44.1%	3.3%	6.6%	3.3%	
65歳～69歳	179	82	77	75	62	5	7	8	
	100.0%	45.8%	43.0%	41.9%	34.6%	2.8%	3.9%	4.5%	
70歳～74歳	178	65	70	65	66	7	9	21	
	100.0%	36.5%	39.3%	36.5%	37.1%	3.9%	5.1%	11.8%	
75歳以上	131	46	43	54	47	1	8	20	
	100.0%	35.1%	32.8%	41.2%	35.9%	0.8%	6.1%	15.3%	
無回答・不明	58	13	26	25	20	7	2	5	
	100.0%	22.4%	44.8%	43.1%	34.5%	12.1%	3.4%	8.6%	
地区	駅東側周辺	238	73	91	98	98	17	16	12
		100.0%	30.7%	38.2%	41.2%	41.2%	7.1%	6.7%	5.0%
	駅西側周辺	321	109	147	128	130	13	16	16
		100.0%	34.0%	45.8%	39.9%	40.5%	4.0%	5.0%	5.0%
	日出谷地区	328	115	147	129	141	22	9	18
		100.0%	35.1%	44.8%	39.3%	43.0%	6.7%	2.7%	5.5%
	坂田地区	263	90	128	101	111	14	11	11
		100.0%	34.2%	46.8%	38.4%	42.2%	5.3%	4.2%	4.2%
加納地区	144	48	61	56	70	6	3	9	
	100.0%	33.3%	42.4%	38.9%	48.6%	4.2%	2.1%	6.3%	
川田谷地区	131	46	64	54	56	4	6	4	
	100.0%	35.1%	48.9%	41.2%	42.7%	3.1%	4.6%	3.1%	
無回答・不明	70	16	29	27	22	7	3	8	
	100.0%	22.9%	41.4%	38.6%	31.4%	10.0%	4.3%	11.4%	

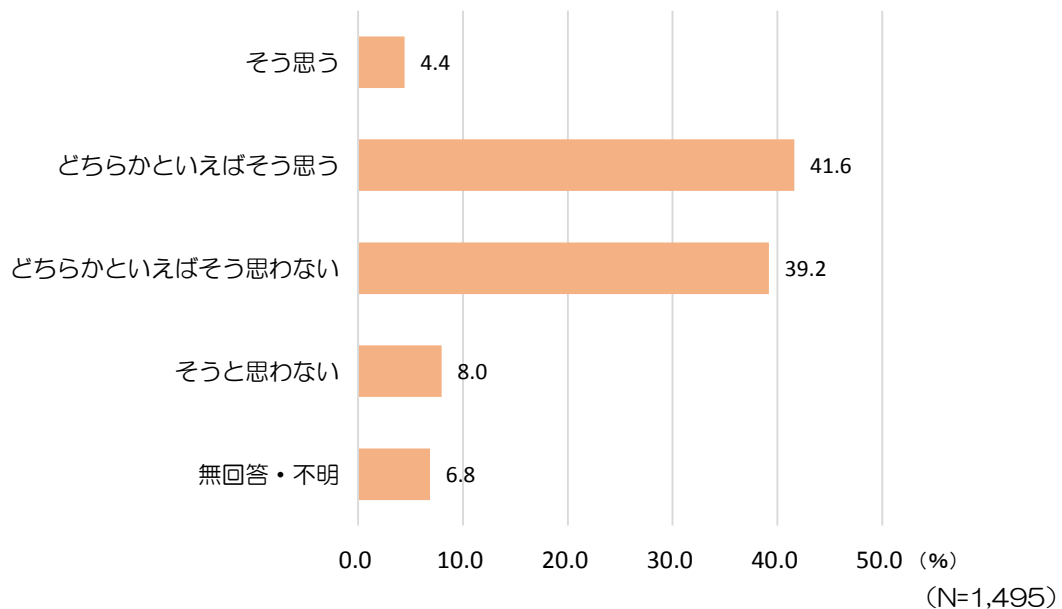
(5) 高齢者の生活

問 15 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

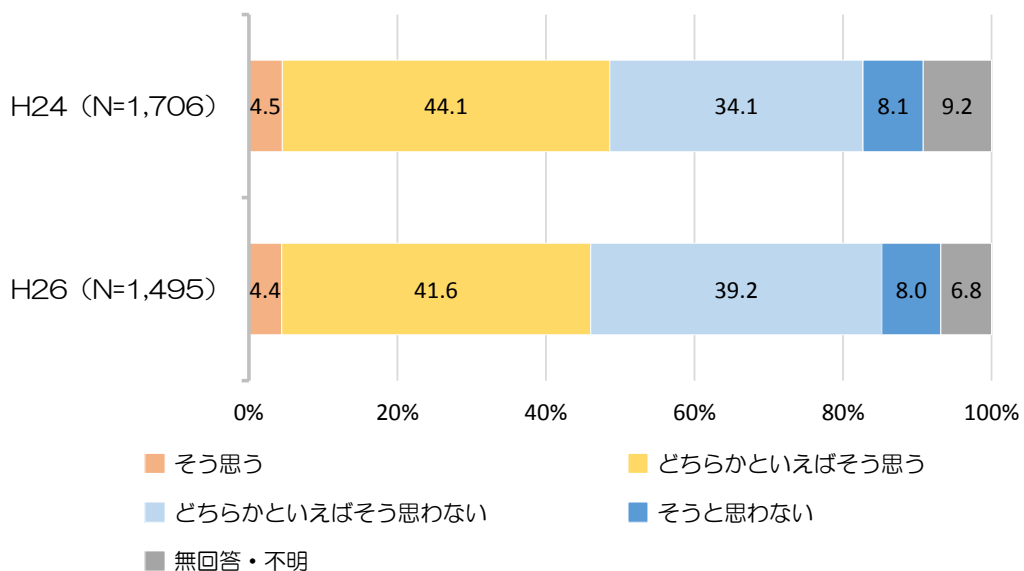
「どちらかといえばそう思う」との回答が 41.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」39.2%が多くなっている。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答が 46.0%に対し、『そうと思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そうと思わない」）は 47.2%と、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思ふとの回答がやや下回る。



【経年変化】

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が前回調査（平成 24 年度）よりわずかに減少している。一方で、「どちらかといえばそう思わない」が大きく増加している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、75歳以上では「どちらかといえばそう思う」、60歳～64歳、65歳～69歳では「どちらかといえばそう思わない」、70歳～74歳では「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が最も高くなっている。

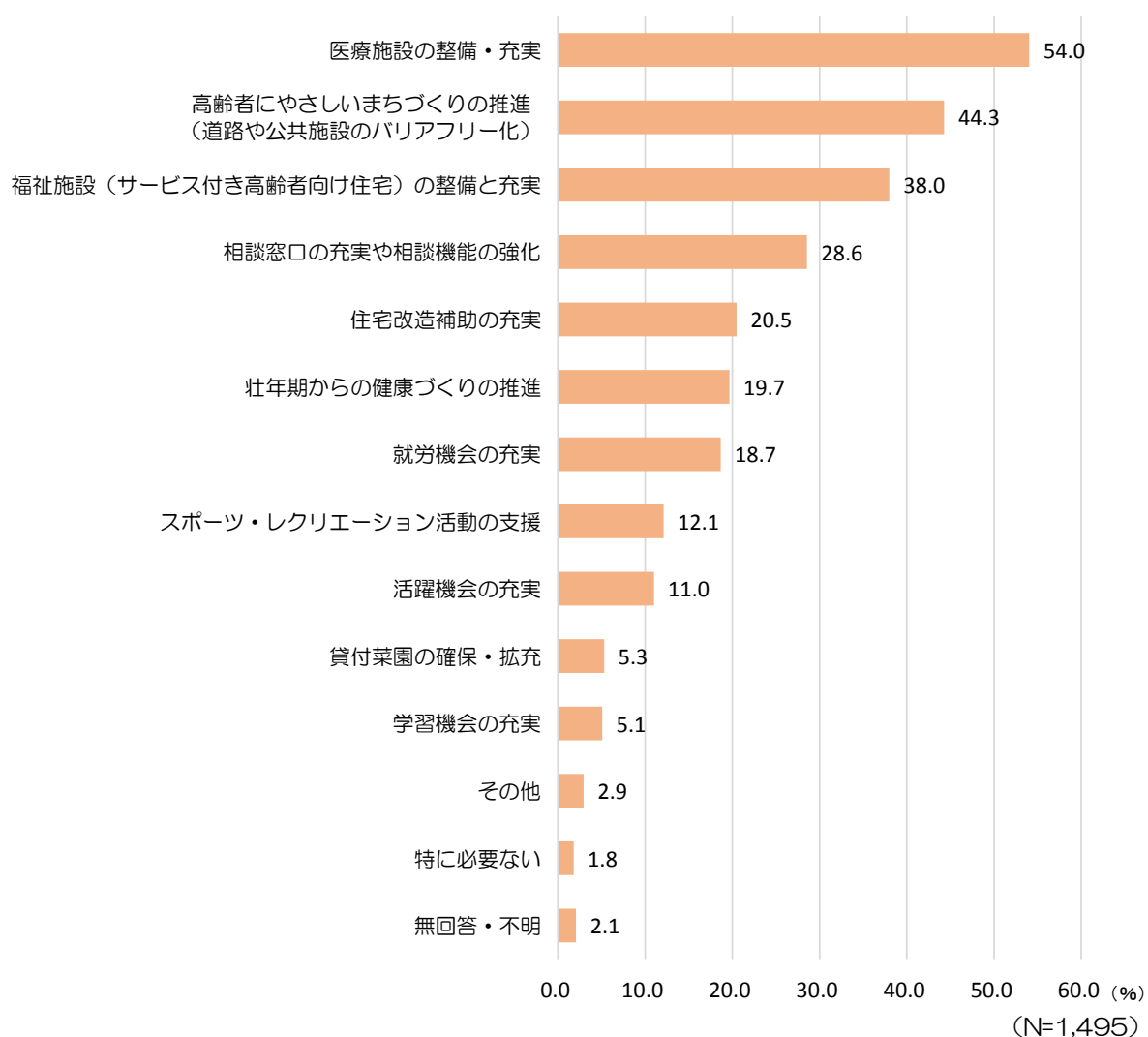
地区で見ると、駅東側周辺地区、加納地区では「どちらかといえばそう思わない」、その他の地区では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。

	合計	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う と 思 わ な い	無 回 答 ・ 不 明	
全体	1,495 100.0%	66 4.4%	622 41.6%	586 39.2%	119 8.0%	102 6.8%	
性別	男性	614 100.0%	29 4.7%	259 42.2%	234 38.1%	58 9.4%	34 5.5%
	女性	790 100.0%	32 4.1%	333 42.2%	313 39.6%	52 6.6%	60 7.6%
	無回答・不明	91 100.0%	5 5.5%	30 33.0%	39 42.9%	9 9.9%	8 8.8%
	18歳～19歳	18 100.0%	2 11.1%	10 55.6%	6 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
20歳～29歳	97 100.0%	8 8.2%	43 44.3%	35 36.1%	7 7.2%	4 4.1%	
30歳～39歳	182 100.0%	6 3.3%	90 49.5%	69 37.9%	8 4.4%	9 4.9%	
40歳～49歳	270 100.0%	8 3.0%	120 44.4%	113 41.9%	17 6.3%	12 4.4%	
50歳～59歳	230 100.0%	11 4.8%	91 39.6%	87 37.8%	28 12.2%	13 5.7%	
60歳～64歳	152 100.0%	4 2.6%	58 38.2%	64 42.1%	12 7.9%	14 9.2%	
65歳～69歳	179 100.0%	4 2.2%	64 35.8%	72 40.2%	19 10.6%	20 11.2%	
70歳～74歳	178 100.0%	8 4.5%	72 40.4%	72 40.4%	14 7.9%	12 6.7%	
75歳以上	131 100.0%	11 8.4%	55 42.0%	45 34.4%	9 6.9%	11 8.4%	
無回答・不明	58 100.0%	4 6.9%	19 32.8%	23 39.7%	5 8.6%	7 12.1%	
地区	駅東側周辺	238 100.0%	7 2.9%	92 38.7%	100 42.0%	24 10.1%	15 6.3%
	駅西側周辺	321 100.0%	17 5.3%	134 41.7%	124 38.6%	27 8.4%	19 5.9%
	日出谷地区	328 100.0%	14 4.3%	143 43.6%	124 37.8%	26 7.9%	21 6.4%
	坂田地区	263 100.0%	7 2.7%	117 44.5%	105 39.9%	12 4.6%	22 8.4%
	加納地区	144 100.0%	5 3.5%	56 38.9%	61 42.4%	10 6.9%	12 8.3%
	川田谷地区	131 100.0%	11 8.4%	58 44.3%	45 34.4%	12 9.2%	5 3.8%
	無回答・不明	70 100.0%	5 7.1%	22 31.4%	27 38.6%	8 11.4%	8 11.4%

問 16 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「医療施設の整備・充実」との回答が 54.0%と最も多く、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」44.3%、「福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実」38.0%、「相談窓口の充実や相談機能の強化」28.6%が主なところであり、施設整備や道路・公共施設のバリアフリー化など、ハード面に関する項目が上位にある。

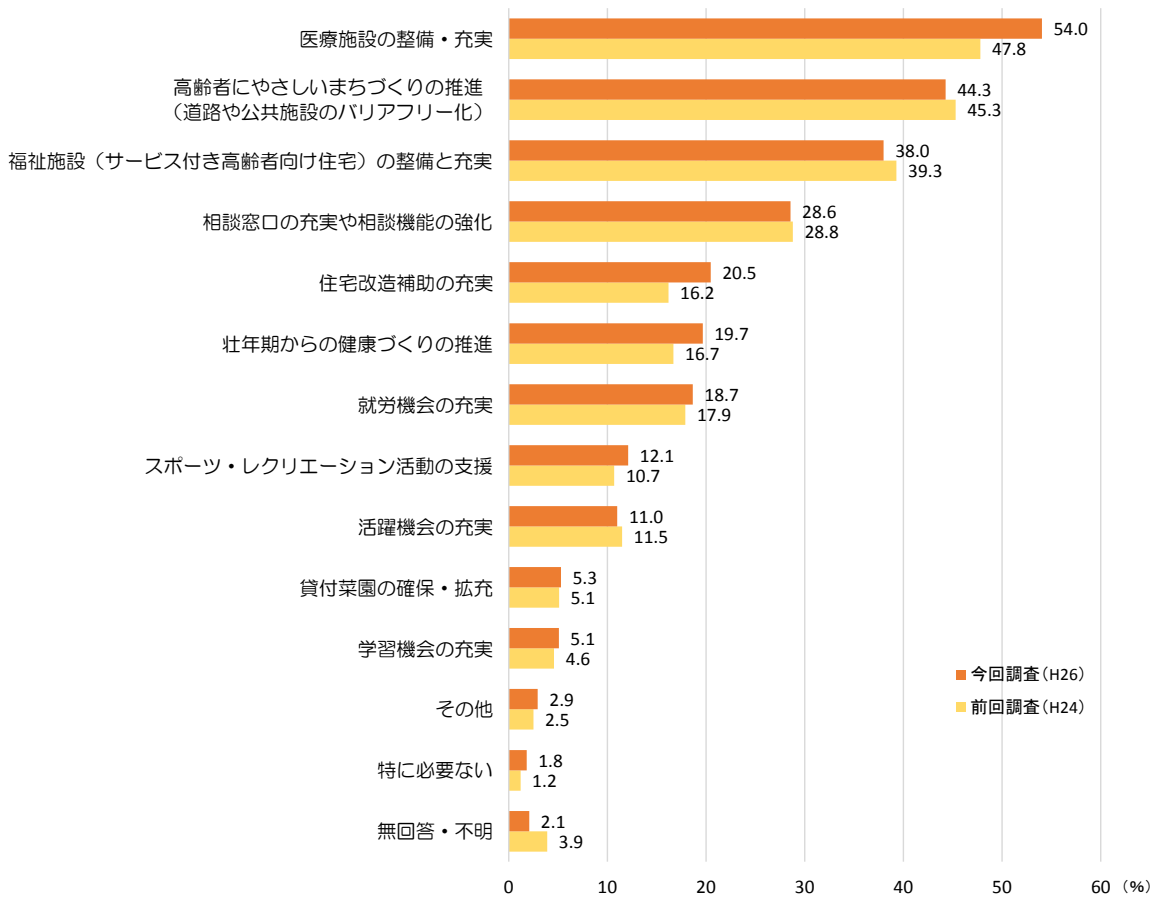


【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）と比較すると、「医療施設の整備・充実」が大きく増加しており、また「住宅改造補助の充実」「壮年期からの健康づくりの推進」「就労機会の充実」「スポーツ・レクリエーション活動の支援」も増加している。

一方で、上位項目の「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」「福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実」「相談窓口の充実や相談機能の強化」は、前回調査（平成 24 年度）より減少している。

全体的に医療・福祉に関する項目が増加している。



平成 26 年度 (N=1,495)
平成 24 年度 (N=1,706)

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「医療施設の整備・充実」が最も高くなっており、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、40歳～49歳では「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」、その他の年齢では「医療施設の整備・充実」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳、20歳～29歳、40歳～49歳では「医療施設の整備・充実」、30歳～39歳、60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」、50歳～59歳では「福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実」となっている。

地区で見ると、全地区で「医療施設の整備・充実」が最も高くなっている。

	合計	相談窓口の充実や相談機能の強化	壮年期からの健康づくりの推進	学習機会の充実	スポーツ・レクリエーション活動の支援	就労機会の充実	活躍機会の充実	福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実	住宅改造補助の充実	高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）	医療施設の整備・充実	貸付菜園の確保・拡充	その他	特に必要ない	無回答・不明	
全体	1,495	427	294	76	181	279	164	568	306	662	808	79	44	27	31	
	100.0%	28.6%	19.7%	5.1%	12.1%	18.7%	11.0%	38.0%	20.5%	44.3%	54.0%	5.3%	2.9%	1.8%	2.1%	
性別	男性	614	160	123	39	86	126	83	216	108	279	332	41	20	12	9
		100.0%	26.1%	20.0%	6.4%	14.0%	20.5%	13.5%	35.2%	17.6%	45.4%	54.1%	6.7%	3.3%	2.0%	1.5%
	女性	790	237	154	36	84	139	78	319	181	346	429	33	23	12	16
	100.0%	30.0%	19.5%	4.6%	10.6%	17.6%	9.9%	40.4%	22.9%	43.8%	54.3%	4.2%	2.9%	1.5%	2.0%	
無回答・不明	91	30	17	1	11	14	3	33	17	37	47	5	1	3	6	
	100.0%	33.0%	18.7%	1.1%	12.1%	15.4%	3.3%	36.3%	18.7%	40.7%	51.6%	5.5%	1.1%	3.3%	6.6%	
年齢	18歳～19歳	18	2	3	1	3	5	4	4	3	9	6	2	2	0	0
		100.0%	11.1%	16.7%	5.6%	16.7%	27.8%	22.2%	16.7%	16.7%	50.0%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	97	18	9	1	17	17	10	37	21	49	42	7	3	7	0
		100.0%	18.6%	9.3%	1.0%	17.5%	17.5%	10.3%	38.1%	21.6%	50.5%	43.3%	7.2%	3.1%	7.2%	0.0%
	30歳～39歳	182	38	27	7	18	48	17	74	46	84	92	9	2	3	4
		100.0%	20.9%	14.8%	3.8%	9.9%	26.4%	9.3%	40.7%	25.3%	46.2%	50.5%	4.9%	1.1%	1.6%	2.2%
	40歳～49歳	270	74	38	11	23	75	33	98	53	135	121	14	12	4	7
		100.0%	27.4%	14.1%	4.1%	8.5%	27.8%	12.2%	36.3%	19.6%	50.0%	44.8%	5.2%	4.4%	1.5%	2.6%
	50歳～59歳	230	68	42	15	26	45	34	58	46	85	133	12	9	2	4
		100.0%	29.6%	18.3%	6.5%	11.3%	19.6%	14.8%	42.6%	20.0%	37.0%	57.8%	5.2%	3.9%	0.9%	1.7%
	60歳～64歳	152	47	37	5	15	26	24	50	35	63	94	7	8	1	3
	100.0%	30.9%	24.3%	3.3%	9.9%	17.1%	15.8%	32.9%	23.0%	41.4%	61.8%	4.6%	5.3%	0.7%	2.0%	
65歳～69歳	179	54	54	17	25	24	21	67	30	71	106	10	0	0	3	
	100.0%	30.2%	30.2%	9.5%	14.0%	13.4%	11.7%	37.4%	16.8%	39.7%	59.2%	5.6%	0.0%	0.0%	1.7%	
70歳～74歳	178	63	44	12	22	13	10	71	39	80	108	9	6	2	5	
	100.0%	35.4%	24.7%	6.7%	12.4%	7.3%	5.6%	39.9%	21.9%	44.9%	60.7%	5.1%	3.4%	1.1%	2.8%	
75歳以上	131	50	30	5	20	15	8	50	24	67	76	6	0	5	3	
	100.0%	38.2%	22.9%	3.8%	15.3%	11.5%	6.1%	38.2%	18.3%	43.5%	58.0%	4.6%	0.0%	3.8%	2.3%	
無回答・不明	58	13	10	2	12	11	3	19	9	29	30	3	2	3	2	
	100.0%	22.4%	17.2%	3.4%	20.7%	19.0%	5.2%	32.8%	15.5%	50.0%	51.7%	5.2%	3.4%	5.2%	3.4%	
地区	駅東側周辺	238	63	45	8	36	44	28	92	34	119	126	9	8	7	6
		100.0%	26.5%	18.9%	3.4%	15.1%	18.5%	11.8%	38.7%	14.3%	50.0%	52.9%	3.8%	3.4%	2.9%	2.5%
	駅西側周辺	321	97	47	19	27	64	46	147	66	131	171	18	10	5	6
		100.0%	30.2%	14.6%	5.9%	8.4%	19.9%	14.3%	45.8%	20.6%	40.8%	53.3%	5.6%	3.1%	1.6%	1.9%
	日出谷地区	328	101	70	19	40	57	30	132	68	131	198	19	5	7	3
		100.0%	30.8%	21.3%	5.8%	12.2%	17.4%	9.1%	40.2%	20.7%	39.9%	60.4%	5.8%	1.5%	2.1%	0.9%
	坂田地区	263	72	55	15	38	46	28	83	64	132	153	11	8	1	5
	100.0%	27.4%	20.9%	5.7%	14.4%	17.5%	10.6%	31.6%	24.3%	50.2%	58.2%	4.2%	3.0%	0.4%	1.9%	
加納地区	144	39	25	5	16	33	13	45	34	68	71	9	5	0	4	
	100.0%	27.1%	17.4%	3.5%	11.1%	22.9%	9.0%	31.3%	23.6%	47.2%	49.3%	6.3%	3.5%	0.0%	2.8%	
川田谷地区	131	41	41	7	11	23	16	48	29	48	52	10	6	4	3	
	100.0%	31.3%	31.3%	5.3%	8.4%	17.6%	12.2%	36.6%	22.1%	36.6%	39.7%	7.6%	4.6%	3.1%	2.3%	
無回答・不明	70	14	11	3	13	12	3	21	11	33	37	3	2	3	4	
	100.0%	20.0%	15.7%	4.3%	18.6%	17.1%	4.3%	30.0%	15.7%	47.1%	52.9%	4.3%	2.9%	4.3%	5.7%	

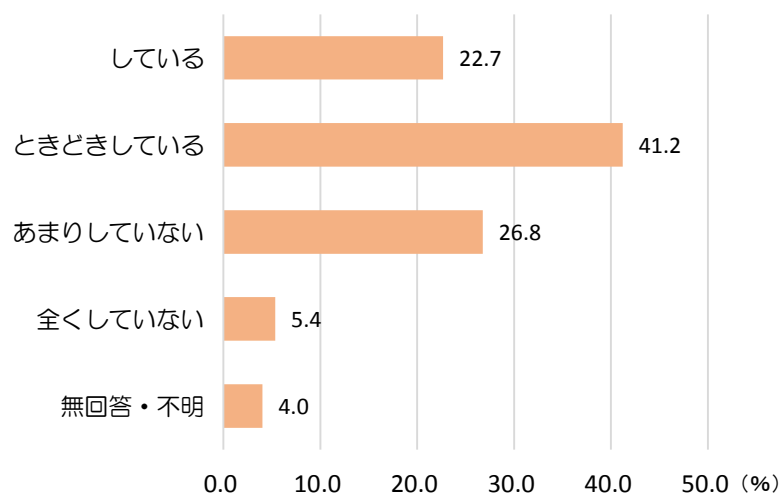
(6) 地球温暖化への取り組み

問 17 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「ときどきしている」との回答が41.2%と最も多く、次いで「あまりしていない」26.8%、「している」22.7%などが主であり、「全くしていない」は5.4%にとどまる。

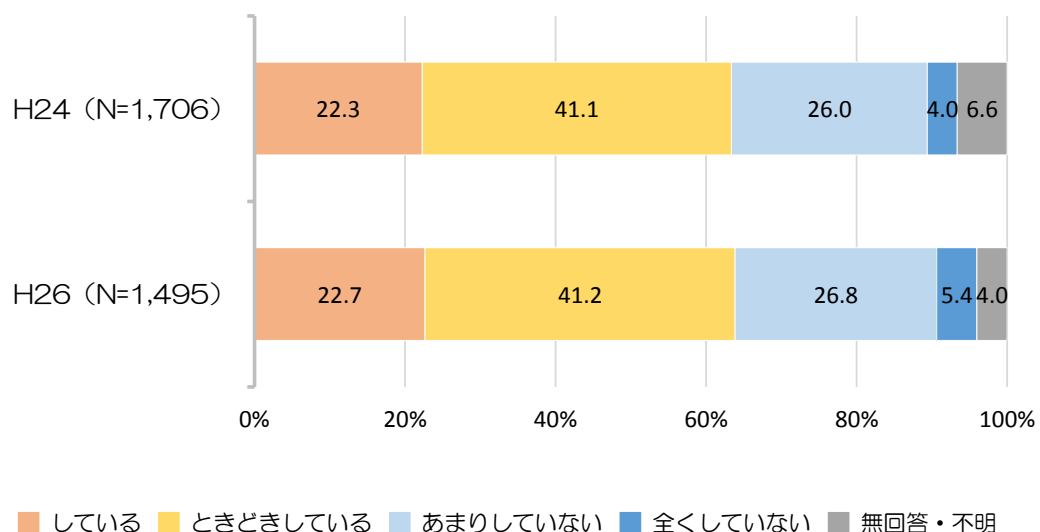
『している』（「している」＋「ときどきしている」）は63.9%と、全体の6割以上は地球温暖化への取り組みを行っていると回答している。



(N=1,495)

【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）と比較すると、大きく変化している項目はないが、『している』（「している」＋「ときどきしている」）がわずかに増加している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「ときどきしている」が最も高くなっており、次いで「あまりしていない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳では「あまりしていない」、その他の年齢では「ときどきしている」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳、20歳～29歳では「ときどきしている」、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳では「あまりしていない」、50歳～59歳、75歳以上では「している」となっている。

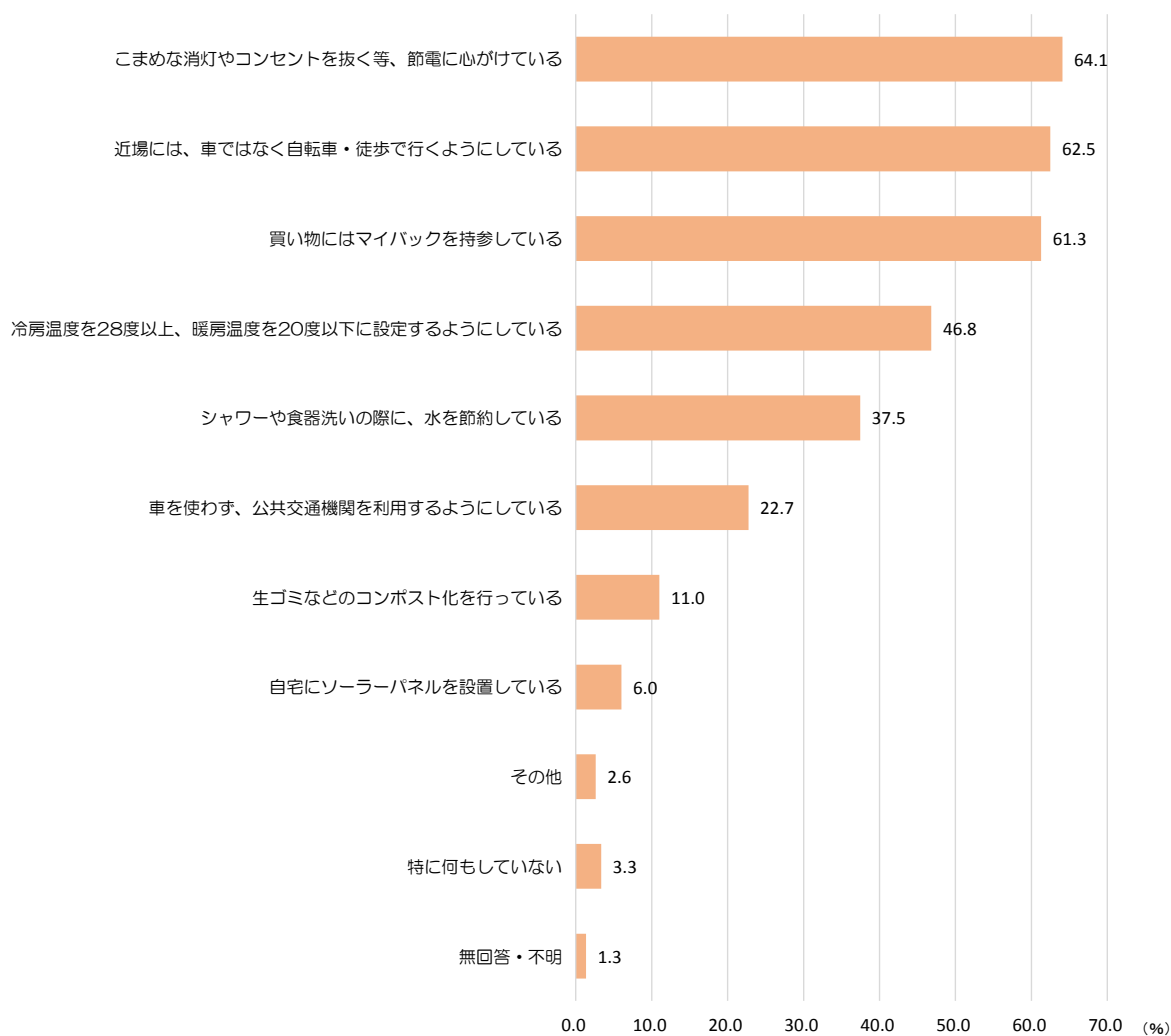
地区で見ると、全地区で「ときどきしている」が最も高くなっている。また、第2位は駅西側周辺地区では「している」となっており、その他の地区では「あまりしていない」となっている。

	合計	している	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない	無回答・不明	
全体	1,495	339	616	400	80	60	
	100.0%	22.7%	41.2%	26.8%	5.4%	4.0%	
性別	男性	614	141	219	197	40	17
		100.0%	23.0%	35.7%	32.1%	6.5%	2.8%
	女性	790	181	354	182	36	37
	100.0%	22.9%	44.8%	23.0%	4.6%	4.7%	
無回答・不明	91	17	43	21	4	6	
	100.0%	18.7%	47.3%	23.1%	4.4%	6.6%	
年齢	18歳～19歳	18	3	6	8	1	0
		100.0%	16.7%	33.3%	44.4%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳	97	15	33	36	12	1
		100.0%	15.5%	34.0%	37.1%	12.4%	1.0%
	30歳～39歳	182	29	73	60	15	5
		100.0%	15.9%	40.1%	33.0%	8.2%	2.7%
	40歳～49歳	270	57	125	74	9	5
		100.0%	21.1%	46.3%	27.4%	3.3%	1.9%
	50歳～59歳	230	63	109	47	5	6
		100.0%	27.4%	47.4%	20.4%	2.2%	2.6%
60歳～64歳	152	38	59	44	4	7	
	100.0%	25.0%	38.8%	28.9%	2.6%	4.6%	
65歳～69歳	179	43	72	44	9	11	
	100.0%	24.0%	40.2%	24.6%	5.0%	6.1%	
70歳～74歳	178	40	64	45	17	12	
	100.0%	22.5%	36.0%	25.3%	9.6%	6.7%	
75歳以上	131	37	49	30	6	9	
	100.0%	28.2%	37.4%	22.9%	4.6%	6.9%	
無回答・不明	58	14	26	12	2	4	
	100.0%	24.1%	44.8%	20.7%	3.4%	6.9%	
地区	駅東側周辺	238	52	91	71	17	7
		100.0%	21.8%	38.2%	29.8%	7.1%	2.9%
	駅西側周辺	321	85	129	77	17	13
		100.0%	26.5%	40.2%	24.0%	5.3%	4.0%
	日出谷地区	328	75	138	84	19	12
		100.0%	22.9%	42.1%	25.6%	5.8%	3.7%
	坂田地区	263	54	113	72	13	11
	100.0%	20.5%	43.0%	27.4%	4.9%	4.2%	
加納地区	144	30	57	41	9	7	
	100.0%	20.8%	39.6%	28.5%	6.3%	4.9%	
川田谷地区	131	28	55	42	2	4	
	100.0%	21.4%	42.0%	32.1%	1.5%	3.1%	
無回答・不明	70	15	33	13	3	6	
	100.0%	21.4%	47.1%	18.6%	4.3%	8.6%	

問 18 次のうち、あなたが行っているものはありますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。

全 体

「こまめな消灯や、コンセントを抜く等節電に心がけている」との回答が 64.1%と最も多く、次いで「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」62.5%、「買い物にはマイバッグを持参している」61.3%、「冷房温度を 28 度以上、暖房温度を 20 度以下に設定するようにしている」46.8%が主な回答となっている。

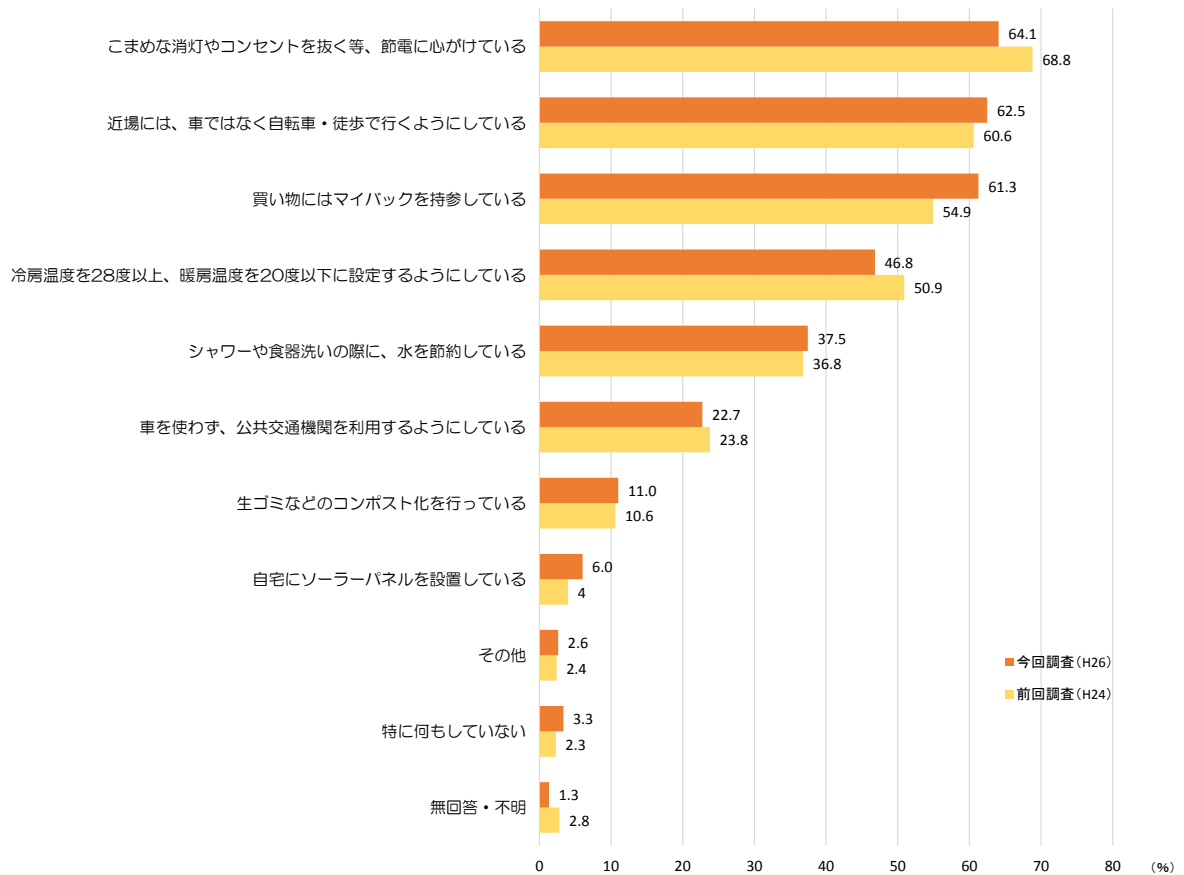


(N=1,495)

【経年変化】

「買い物にはマイバックを持参している」は、前回調査（平成 24 年度）より大きく増加している。

前回調査（平成 24 年度）と比較すると、「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」「冷房温度を 28 度以上、暖房温度を 20 度以下に設定するようにしている」「車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている」が前回調査（平成 24 年度）より減少している。



平成 26 年度 (N=1,495)
平成 24 年度 (N=1,706)

ク ロ ス

性別で見ると、男性では「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」、女性では「買い物にはマイバックを持参している」が最も高くなっており、次いで男性は「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」、女性は「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、65歳～69歳では「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳では「買い物にはマイバックを持参している」、40歳～49歳、50歳～59歳、70歳～74歳、75歳以上では「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺地区、駅西側周辺地区、坂田地区では「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」、日出谷地区では「買い物にはマイバックを持参している」、加納地区、川田谷地区では「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」が最も高くなっている。

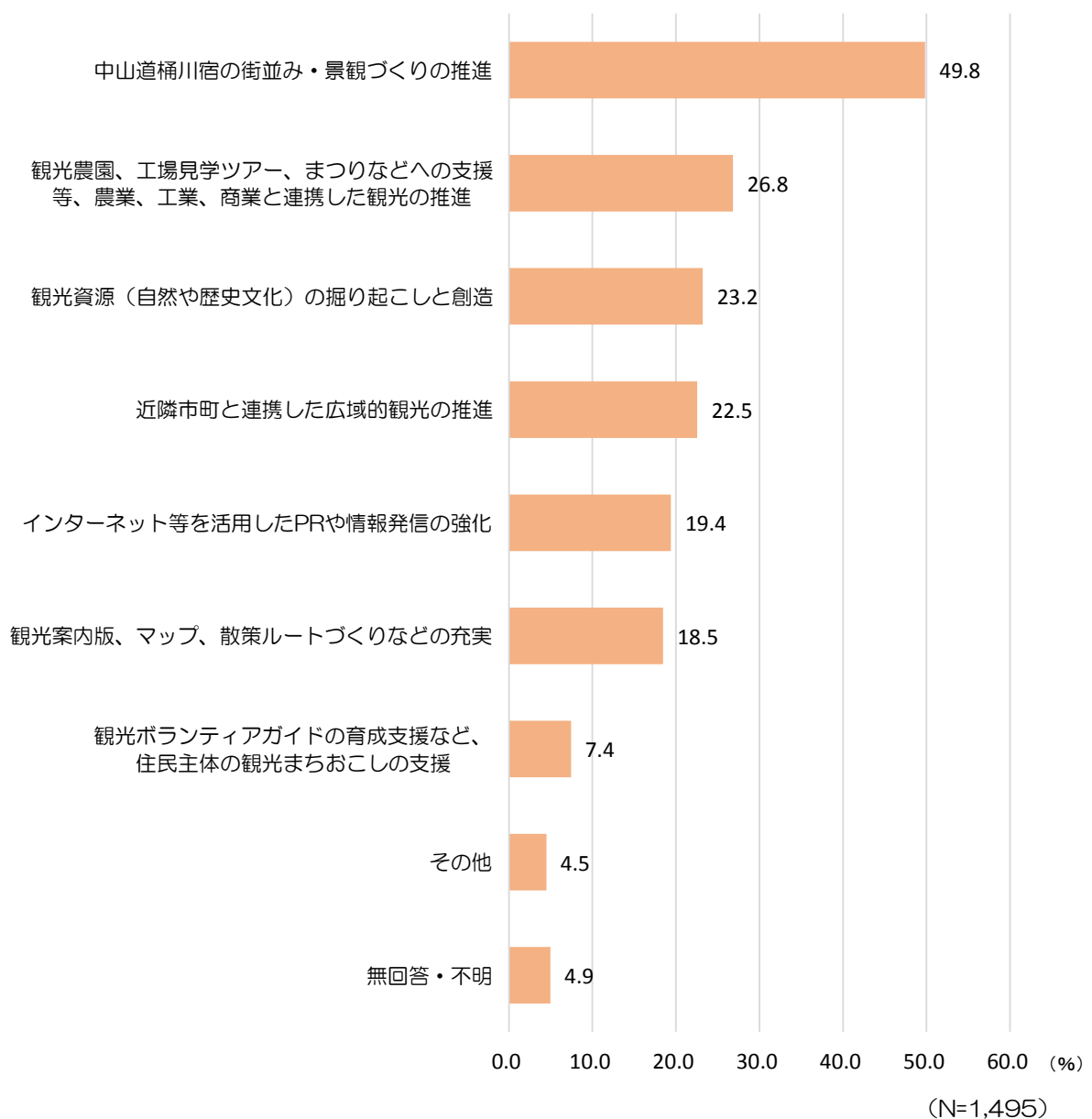
	合計	車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている	近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている	買い物にはマイバックを持参している	冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている	こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている	自宅にソーラーパネルを設置している	シャワーや食器洗いの際に、水を節約している	生ゴミなどのコンポスト化を行っている	その他	特に何もしていない	無回答・不明	
全体	1,495	340	934	916	700	958	90	560	164	39	50	20	
	100.0%	22.7%	62.5%	61.3%	46.8%	64.1%	6.0%	37.5%	11.0%	2.6%	3.3%	1.3%	
性別	男性	614	136	364	278	268	379	42	192	63	16	30	7
		100.0%	22.1%	59.3%	45.3%	43.6%	61.7%	6.8%	31.3%	10.3%	2.6%	4.9%	1.1%
	女性	790	187	522	588	392	523	46	339	85	22	18	7
		100.0%	23.7%	66.1%	74.4%	49.6%	66.2%	5.8%	42.9%	10.8%	2.8%	2.3%	0.9%
無回答・不明	91	17	48	50	40	56	2	29	16	1	2	6	
	100.0%	18.7%	52.7%	54.9%	44.0%	61.5%	2.2%	31.9%	17.6%	1.1%	2.2%	6.6%	
年齢	18歳～19歳	18	6	16	4	7	6	0	4	0	0	1	0
		100.0%	33.3%	88.9%	22.2%	38.9%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
	20歳～29歳	97	35	56	40	35	50	9	24	3	3	9	1
		100.0%	36.1%	57.7%	41.2%	36.1%	51.5%	9.3%	24.7%	3.1%	3.1%	9.3%	1.0%
	30歳～39歳	182	39	96	121	70	106	13	59	7	2	10	3
		100.0%	21.4%	52.7%	66.5%	38.5%	58.2%	7.1%	32.4%	3.8%	1.1%	5.5%	1.6%
	40歳～49歳	270	49	160	172	121	172	20	106	13	9	10	1
		100.0%	18.1%	59.3%	63.7%	44.8%	63.7%	7.4%	39.3%	4.8%	3.3%	3.7%	0.4%
	50歳～59歳	230	47	143	149	108	155	13	89	22	5	1	6
		100.0%	20.4%	62.2%	64.8%	47.0%	67.4%	5.7%	38.7%	9.6%	2.2%	0.4%	2.6%
	60歳～64歳	152	30	98	100	83	94	10	63	19	6	2	2
	100.0%	19.7%	64.5%	65.8%	54.6%	61.8%	6.6%	41.4%	12.5%	3.9%	1.3%	1.3%	
65歳～69歳	179	47	120	105	98	118	11	71	34	7	5	2	
	100.0%	26.3%	67.0%	58.7%	54.7%	65.9%	6.1%	39.7%	19.0%	3.9%	2.8%	1.1%	
70歳～74歳	178	39	120	111	93	124	7	72	23	4	6	2	
	100.0%	21.9%	67.4%	62.4%	52.2%	69.7%	3.9%	40.4%	12.9%	2.2%	3.4%	1.1%	
75歳以上	131	33	91	81	62	98	5	53	30	2	4	2	
	100.0%	25.2%	69.5%	61.8%	47.3%	74.8%	3.8%	40.5%	22.9%	1.5%	3.1%	1.5%	
無回答・不明	58	15	34	33	23	35	2	19	13	1	2	1	
	100.0%	25.9%	58.6%	56.9%	39.7%	60.3%	3.4%	32.8%	22.4%	1.7%	3.4%	1.7%	
地区	駅東側周辺	238	64	167	141	104	146	6	75	17	5	11	5
		100.0%	26.9%	70.2%	59.2%	43.7%	61.3%	2.5%	31.5%	7.1%	2.1%	4.6%	2.1%
	駅西側周辺	321	99	229	185	157	198	10	137	26	10	9	1
		100.0%	30.8%	71.3%	57.6%	48.9%	61.7%	3.1%	42.7%	8.1%	3.1%	2.8%	0.3%
	日出谷地区	328	71	204	220	169	216	28	115	25	11	10	3
		100.0%	21.6%	62.2%	67.1%	51.5%	65.9%	8.5%	35.1%	7.6%	3.4%	3.0%	0.9%
	坂田地区	263	55	173	166	126	170	24	107	23	5	9	3
		100.0%	20.9%	65.8%	63.1%	47.9%	64.6%	9.1%	40.7%	8.7%	1.9%	3.4%	1.1%
加納地区	144	15	79	86	59	98	6	45	29	3	6	3	
	100.0%	10.4%	54.9%	59.7%	41.0%	68.1%	4.2%	31.3%	20.1%	2.1%	4.2%	2.1%	
川田谷地区	131	18	43	78	59	87	14	59	31	3	3	3	
	100.0%	13.7%	32.8%	59.5%	45.0%	66.4%	10.7%	45.0%	23.7%	2.3%	2.3%	2.3%	
無回答・不明	70	18	39	40	26	43	2	22	13	2	2	2	
	100.0%	25.7%	55.7%	57.1%	37.1%	61.4%	2.9%	31.4%	18.6%	2.9%	2.9%	2.9%	

(7) 観光振興

問 19 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

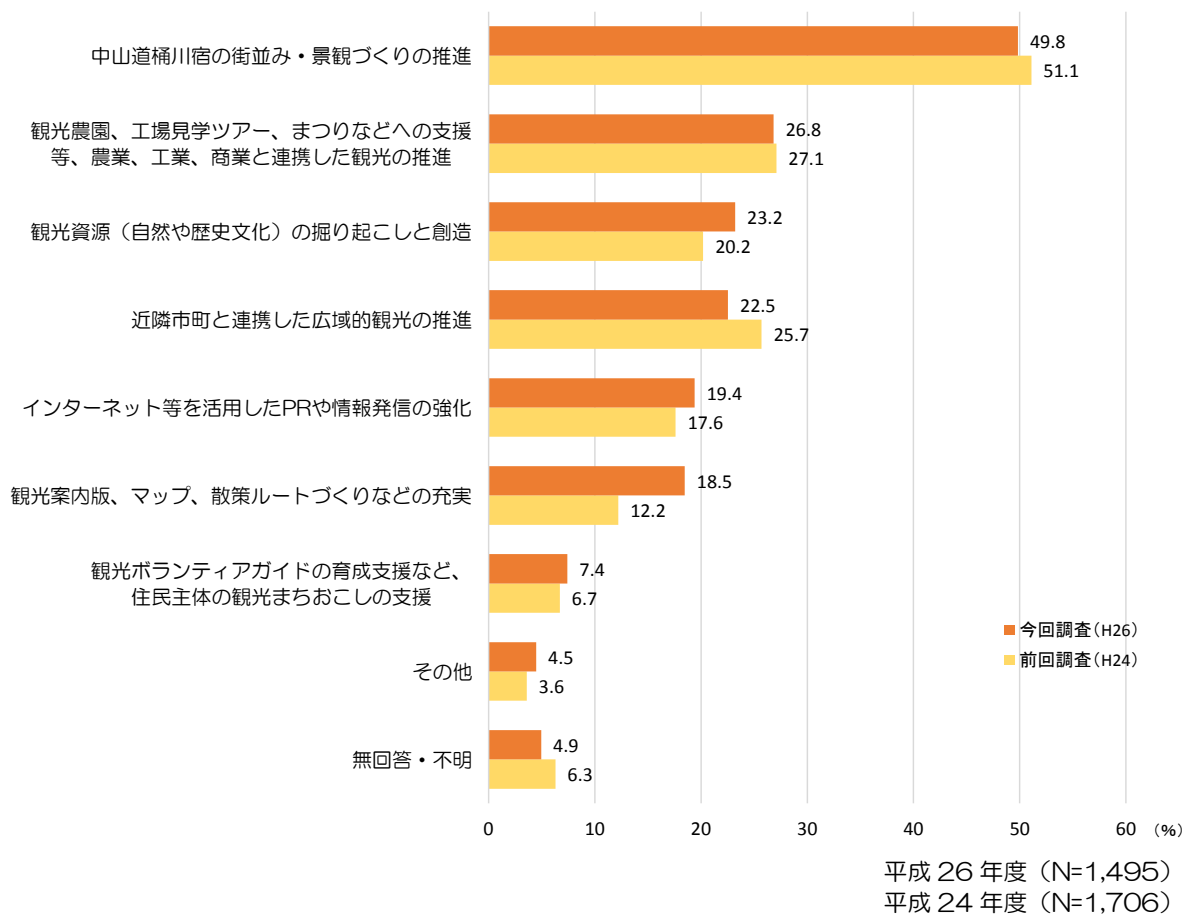
「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」との回答が49.8%と最も多くなっている。次いで、「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」26.8%、「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」23.2%、「近隣市町と連携した広域的観光の促進」22.5%が主な回答となっている。



【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）と比較すると、「観光案内版、マップ、散策ルートづくりなどの充実」「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」「インターネット等を活用したPRや情報発信の強化」「観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援」が前回調査（平成 24 年度）より増加している。

一方で、「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」「近隣市町と連携した広域的観光の推進」は前回調査（平成 24 年度）より減少している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」が最も高くなっており、次いで男性は「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」、女性は「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳では「インターネット等を活用したPRや情報発信の強化」、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳では「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携」、50歳～59歳、65歳～69歳、70歳～74歳では「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」、75歳以上では「近隣市町と連携した広域的観光の推進」となっている。

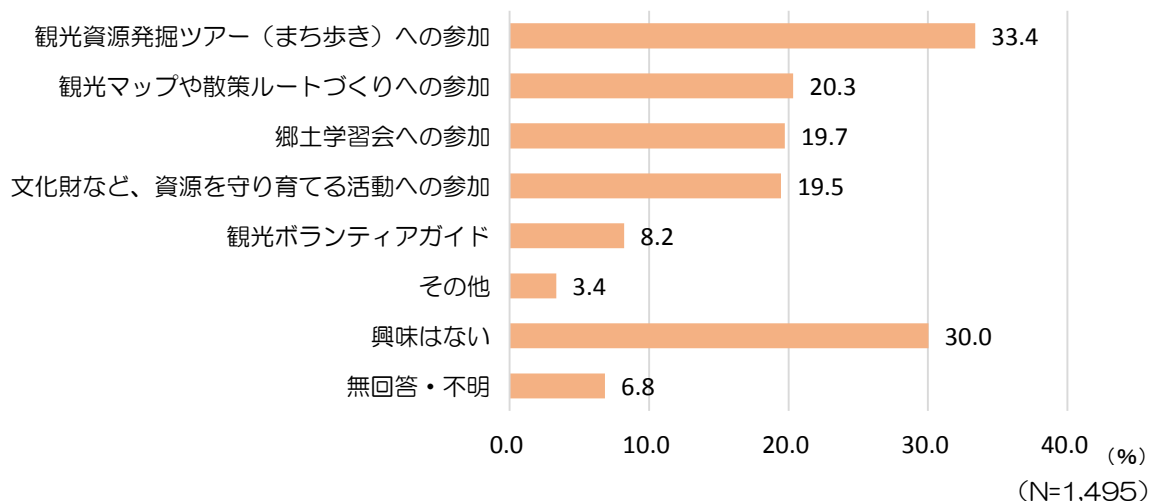
地区で見ると、全地区において「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」が最も高くなっている。

	合計	インターネット等を活用したPRや情報発信の強化	中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進	観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携	観光主体の観光まちおこしの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援	観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造	近隣市町と連携した広域的観光の推進	観光案内版、マップ、散策ルートづくりなど観光の実	その他	無回答・不明	
全体	1,495	290	745	401	111	347	337	276	67	74	
	100.0%	19.4%	49.8%	26.8%	7.4%	23.2%	22.5%	18.5%	4.5%	4.9%	
性別	男性	614	115	296	159	50	170	136	114	34	26
		100.0%	18.7%	48.2%	25.9%	8.1%	27.7%	22.1%	18.6%	5.5%	4.2%
	女性	790	163	400	226	52	158	185	142	33	34
	100.0%	20.6%	50.6%	28.6%	6.6%	20.0%	23.4%	18.0%	4.2%	4.3%	
無回答・不明	91	12	49	16	9	19	16	20	0	14	
	100.0%	13.2%	53.8%	17.6%	9.9%	20.9%	17.6%	22.0%	0.0%	15.4%	
年齢	18歳～19歳	18	8	12	5	1	3	2	0	0	
		100.0%	44.4%	66.7%	27.8%	5.6%	16.7%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	97	24	58	30	6	17	14	12	8	1
		100.0%	24.7%	59.8%	30.9%	6.2%	17.5%	14.4%	12.4%	8.2%	1.0%
	30歳～39歳	182	39	89	76	9	28	41	21	11	8
		100.0%	21.4%	48.9%	41.8%	4.9%	15.4%	22.5%	11.5%	6.0%	4.4%
	40歳～49歳	270	56	134	98	21	57	51	45	17	7
		100.0%	20.7%	49.6%	32.6%	7.8%	21.1%	18.9%	16.7%	6.3%	2.6%
	50歳～59歳	230	43	120	58	13	69	52	47	9	8
		100.0%	18.7%	52.2%	25.2%	5.7%	30.0%	22.6%	20.4%	3.9%	3.5%
60歳～64歳	152	29	69	41	15	39	32	34	8	6	
	100.0%	19.1%	45.4%	27.0%	9.9%	25.7%	21.1%	22.4%	5.3%	3.9%	
65歳～69歳	179	38	82	35	17	47	39	42	3	13	
	100.0%	21.2%	45.8%	19.6%	9.5%	26.3%	21.8%	23.5%	1.7%	7.3%	
70歳～74歳	178	30	85	35	14	50	49	34	5	11	
	100.0%	16.9%	47.8%	19.7%	7.9%	28.1%	27.5%	19.1%	2.8%	6.2%	
75歳以上	131	15	67	23	6	26	40	26	4	16	
	100.0%	11.5%	51.1%	17.6%	4.6%	19.8%	30.5%	19.8%	3.1%	12.2%	
無回答・不明	58	8	29	10	9	11	16	13	2	4	
	100.0%	13.8%	50.0%	17.2%	15.5%	19.0%	27.6%	22.4%	3.4%	6.9%	
地区	駅東側周辺	238	49	129	70	20	50	60	40	5	8
		100.0%	20.6%	54.2%	29.4%	8.4%	21.0%	25.2%	16.8%	2.1%	3.4%
	駅西側周辺	321	71	164	98	17	79	70	58	15	10
		100.0%	22.1%	51.1%	27.4%	5.3%	24.6%	21.8%	18.1%	4.7%	3.1%
	日出谷地区	328	58	159	82	22	82	69	60	21	18
		100.0%	17.7%	48.5%	25.0%	6.7%	25.0%	21.0%	18.3%	6.4%	5.5%
	坂田地区	263	49	134	71	22	57	59	51	12	13
		100.0%	18.6%	51.0%	27.0%	8.4%	21.7%	22.4%	19.4%	4.6%	4.9%
加納地区	144	28	73	40	8	28	33	29	6	9	
	100.0%	19.4%	50.7%	27.8%	5.6%	19.4%	22.9%	20.1%	4.2%	6.3%	
川田谷地区	131	27	53	40	12	37	28	23	5	8	
	100.0%	20.6%	40.5%	30.5%	9.2%	28.2%	21.4%	17.6%	3.8%	6.1%	
無回答・不明	70	8	33	10	10	14	18	15	3	8	
	100.0%	11.4%	47.1%	14.3%	14.3%	20.0%	25.7%	21.4%	4.3%	11.4%	

問 20 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

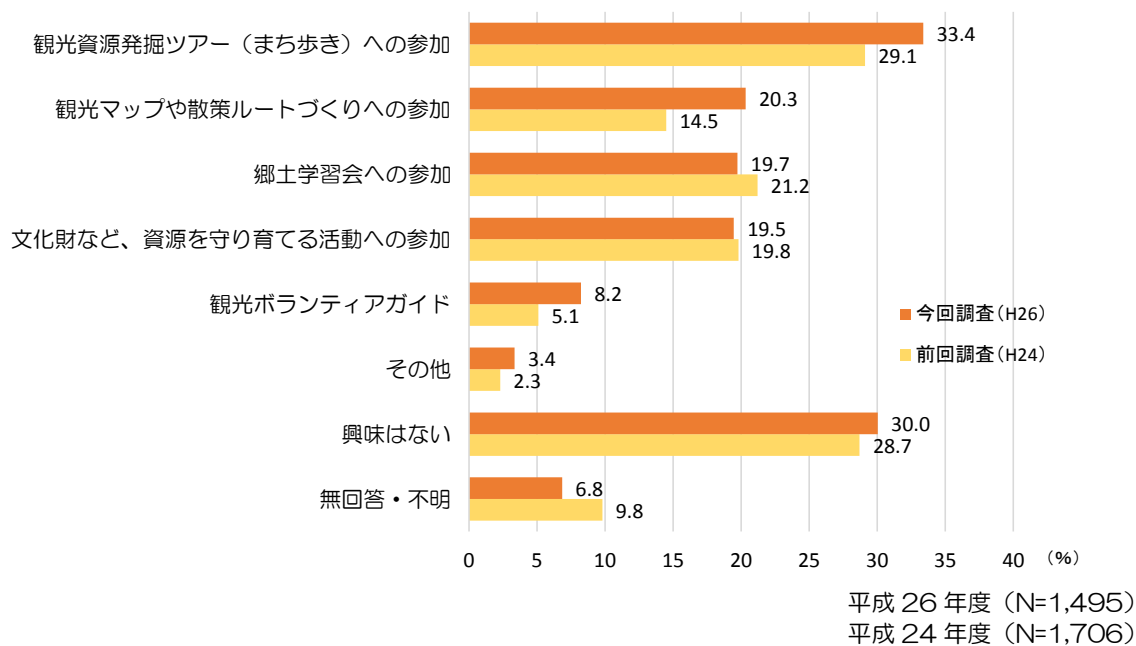
「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」との回答が 33.4%と最も多く、次いで「興味はない」30.0%、「観光マップや散策ルートづくりへの参加」20.3%、「郷土学習会への参加」19.7%、「文化財など、資源を守り育てる活動への参加」19.5%が主な回答となっている。



【経年変化】

前回調査（平成 24 年度）と比較すると、「観光マップや散策ルートづくりへの参加」が大きく増加している。また、「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」「観光ボランティアガイド」でも増加がみられる。

一方で、「郷土学習会への参加」「文化財など、資源を守り育てる活動への参加」においては減少している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」が最も高くなっており、次いで「興味はない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「興味がない」、50歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」が最も高くなっており、若い世代の関心の低さが伺える。

地区で見ると、川田谷地区では「興味はない」、その他の地区では「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」が最も高くなっており、

	合計	郷土学習会への参加	観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加	観光マップや散策ルートづくりへの参加	文化財など、資源を守り育てる活動への参加	観光ボランティアガイド	その他	興味はない	無回答・不明	
全体	1,495	295	499	304	291	123	51	449	102	
	100.0%	19.7%	33.4%	20.3%	19.5%	8.2%	3.4%	30.0%	6.8%	
性別	男性	614	115	206	131	134	42	25	190	41
		100.0%	18.7%	33.6%	21.3%	21.8%	6.8%	4.1%	30.9%	6.7%
	女性	790	163	263	159	136	72	23	239	47
	100.0%	20.6%	33.3%	20.1%	17.2%	9.1%	2.9%	30.1%	5.9%	
無回答・不明	91	17	30	14	21	9	3	21	14	
	100.0%	18.7%	33.0%	15.4%	23.1%	9.9%	3.3%	23.1%	15.4%	
年齢	18歳～19歳	18	3	2	5	5	2	0	8	0
		100.0%	16.7%	11.1%	27.8%	27.8%	11.1%	0.0%	44.4%	0.0%
	20歳～29歳	97	12	23	12	15	10	3	48	0
		100.0%	12.4%	23.7%	12.4%	15.5%	10.3%	3.1%	49.5%	0.0%
	30歳～39歳	182	25	46	31	27	12	5	77	7
		100.0%	13.7%	25.3%	17.0%	14.8%	6.6%	2.7%	42.3%	3.8%
	40歳～49歳	270	41	84	64	46	21	13	88	13
		100.0%	15.2%	31.1%	23.7%	17.0%	7.8%	4.8%	32.6%	4.8%
	50歳～59歳	230	50	76	55	50	28	3	65	12
		100.0%	21.7%	33.0%	23.9%	21.7%	12.2%	1.3%	28.3%	5.2%
60歳～64歳	152	33	54	35	27	12	8	44	7	
	100.0%	21.7%	35.5%	23.0%	17.8%	7.9%	5.3%	28.9%	4.6%	
65歳～69歳	179	45	81	41	36	16	5	35	13	
	100.0%	25.1%	45.3%	22.9%	20.1%	8.9%	2.8%	19.6%	7.3%	
70歳～74歳	178	45	69	22	31	10	6	49	23	
	100.0%	25.3%	38.8%	12.4%	17.4%	5.6%	3.4%	27.5%	12.9%	
75歳以上	131	31	45	25	37	9	6	20	22	
	100.0%	23.7%	34.4%	19.1%	28.2%	6.9%	4.6%	15.3%	16.8%	
無回答・不明	58	10	19	14	17	3	2	15	5	
	100.0%	17.2%	32.8%	24.1%	29.3%	5.2%	3.4%	25.9%	8.6%	
地区	駅東側周辺	238	55	79	57	46	16	3	71	21
		100.0%	23.1%	33.2%	23.9%	19.3%	6.7%	1.3%	29.8%	8.8%
	駅西側周辺	321	64	101	60	54	26	19	97	21
		100.0%	19.9%	31.5%	18.7%	16.8%	8.1%	5.9%	30.2%	6.5%
	日出谷地区	328	61	108	65	51	33	11	107	22
		100.0%	18.6%	32.9%	19.8%	15.5%	10.1%	3.4%	32.6%	6.7%
	坂田地区	263	44	102	58	54	23	12	70	15
		100.0%	16.7%	38.8%	22.1%	20.5%	8.7%	4.6%	26.6%	5.7%
加納地区	144	28	49	30	35	10	2	40	12	
	100.0%	19.4%	34.0%	20.8%	24.3%	6.9%	1.4%	27.8%	8.3%	
川田谷地区	131	32	41	19	32	12	2	42	4	
	100.0%	24.4%	31.3%	14.5%	24.4%	9.2%	1.5%	32.1%	3.1%	
無回答・不明	70	11	19	15	19	3	2	22	7	
	100.0%	15.7%	27.1%	21.4%	27.1%	4.3%	2.9%	31.4%	10.0%	

5. 市政について

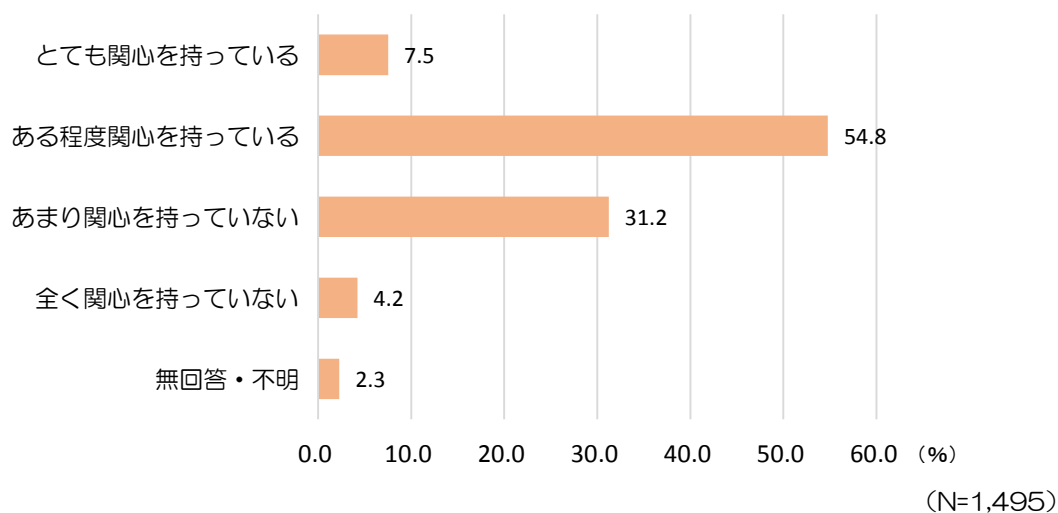
(1) 市政全般への関心度

問 21 市政全般に対するあなたの関心度について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「ある程度関心を持っている」との回答が 54.8%と最も多く、次いで「あまり関心を持っていない」31.2%となっている。

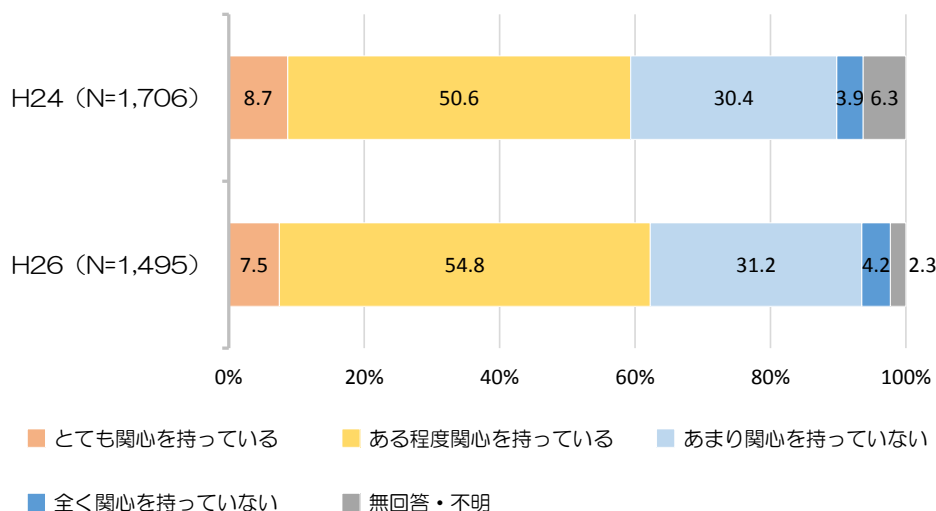
『関心あり』(「とても関心を持っている」+「ある程度関心を持っている」)との回答は 62.3%と、全体の約6割が市政に関心を持っているとなっている。



【経年変化】

「とても関心を持っている」は前回調査(平成24年度)と比べ減少しているものの、「ある程度関心を持っている」は増加しており、『関心を持っている』(「とても関心を持っている」+「ある程度関心を持っている」)は増加している。

一方で、「あまり関心を持っていない」「全く関心を持っていない」も増加している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「ある程度関心を持っている」が半数以上と最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「あまり関心を持っていない」、その他の年齢では「ある程度関心を持っている」が最も高くなっており、若い世代の関心が低くなっている。

地区で見ると、全地区において「ある程度関心を持っている」が最も高くなっている。

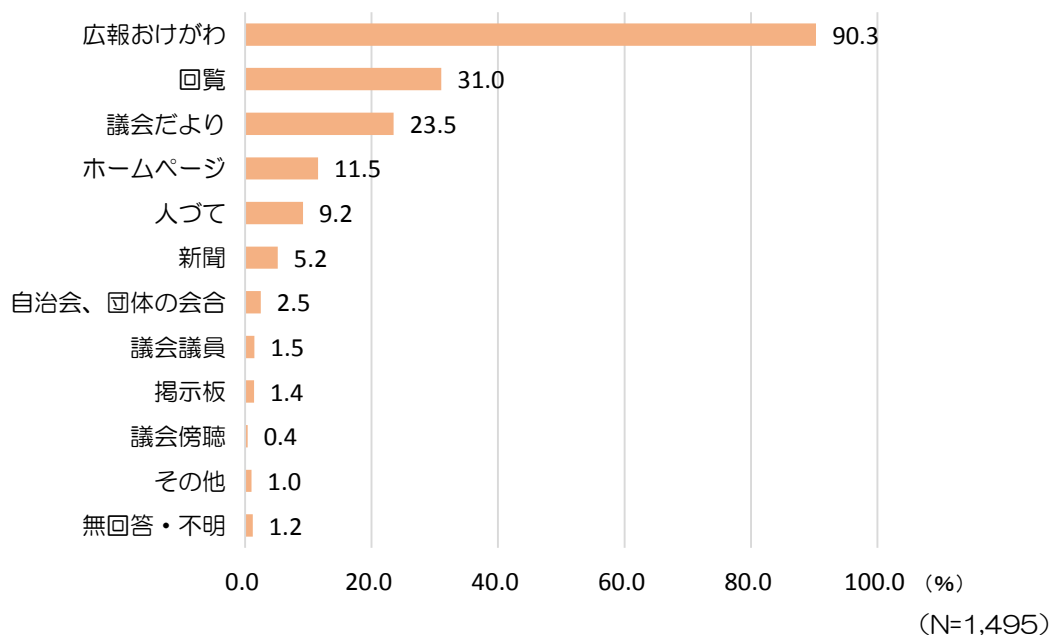
		合計	とても関心を持っている	ある程度関心を持っている	あまり関心を持っていない	全く関心を持っていない	無回答・不明
全体		1,495 100.0%	112 7.5%	819 54.8%	467 31.2%	63 4.2%	34 2.3%
性別	男性	614 100.0%	67 10.9%	338 55.0%	168 27.4%	30 4.9%	11 1.8%
	女性	790 100.0%	37 4.7%	424 53.7%	278 35.2%	31 3.9%	20 2.5%
	無回答・不明	91 100.0%	8 8.8%	57 62.6%	21 23.1%	2 2.2%	3 3.3%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	1 5.6%	5 27.8%	8 44.4%	4 22.2%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	1 1.0%	25 25.8%	54 55.7%	16 16.5%	1 1.0%
	30歳～39歳	182 100.0%	10 5.5%	71 39.0%	85 46.7%	15 8.2%	1 0.5%
	40歳～49歳	270 100.0%	13 4.8%	135 50.0%	109 40.4%	9 3.3%	4 1.5%
	50歳～59歳	230 100.0%	14 6.1%	134 58.3%	72 31.3%	6 2.6%	4 1.7%
	60歳～64歳	152 100.0%	14 9.2%	85 55.9%	44 28.9%	6 3.9%	3 2.0%
	65歳～69歳	179 100.0%	14 7.8%	120 67.0%	36 20.1%	2 1.1%	7 3.9%
	70歳～74歳	178 100.0%	19 10.7%	128 71.9%	23 12.9%	4 2.2%	4 2.2%
	75歳以上	131 100.0%	18 13.7%	83 63.4%	22 16.8%	0 0.0%	8 6.1%
	無回答・不明	58 100.0%	8 13.8%	33 56.9%	14 24.1%	1 1.7%	2 3.4%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	18 7.6%	131 55.0%	66 27.7%	16 6.7%	7 2.9%
	駅西側周辺	321 100.0%	17 5.3%	176 54.8%	112 34.9%	12 3.7%	4 1.2%
	日出谷地区	328 100.0%	28 8.5%	180 54.9%	105 32.0%	9 2.7%	6 1.8%
	坂田地区	263 100.0%	21 8.0%	143 54.4%	81 30.8%	11 4.2%	7 2.7%
	加納地区	144 100.0%	10 6.9%	80 55.6%	40 27.8%	6 4.2%	8 5.6%
	川田谷地区	131 100.0%	10 7.6%	69 52.7%	46 35.1%	6 4.6%	0 0.0%
	無回答・不明	70 100.0%	8 11.4%	40 57.1%	17 24.3%	3 4.3%	2 2.9%

(2) 市政情報

問 22 市役所の市政情報（行政サービス）などについて、何から情報を得ていますか。次の中から主なものを2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「広報おけがわ」との回答が90.3%と圧倒的に多く、全体の9割以上を占める。次いで「回覧」31.0%、「議会だより」23.5%が主なところである。



【経年変化】

市の行政サービスなどについての情報源は、前回調査（平成24年度）と比較すると、「自治会、団体の会合」「議会議員」「掲示板」の順位が変わっているものの、全体的に大きな変化はない。また、今回調査で上位5項目については、いずれも割合が増加している。

	前回調査 (平成24年度)		今回調査 (平成26年度)		H24との 順位比較
	情報源	割合 (%)	情報源	割合 (%)	
1位	広報おけがわ	85.0%	広報おけがわ	90.3%	→
2位	回覧	27.0%	回覧	31.0%	→
3位	議会だより	21.4%	議会だより	23.5%	→
4位	ホームページ	9.2%	ホームページ	11.5%	→
5位	人づて	8.0%	人づて	9.2%	→
6位	新聞	5.4%	新聞	5.2%	→
7位	掲示板	2.8%	自治会、団体の会合	2.5%	↗
8位	自治会、団体の会合	1.9%	議会議員	1.5%	↗
9位	議会議員	1.3%	掲示板	1.4%	↘
10位	議会傍聴	0.2%	議会傍聴	0.4%	→

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「広報おけがわ」が9割程度と突出して高くなっており、次いで「回覧」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「広報おけがわ」が突出して高くなっており、次いで50歳～59歳では「議会だより」、その他の年齢では「回覧」となっている。

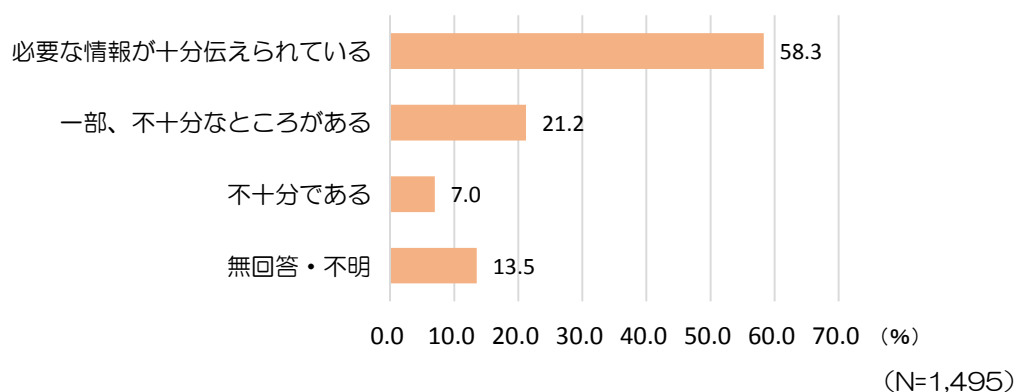
地区で見ると、全地区において「広報おけがわ」が最も高くなっており、次いで駅西側周辺地区では「議会だより」、その他の地区では「回覧」となっている。

	合計	広報おけがわ	議会だより	回覧	新聞	掲示板	ホームページ	議会傍聴	議会議員	自治会、団体の会合	人づて	その他	無回答・不明	
全体	1,495 100.0%	1,350 90.3%	351 23.5%	464 31.0%	77 5.2%	21 1.4%	172 11.5%	6 0.4%	22 1.5%	37 2.5%	137 9.2%	15 1.0%	18 1.2%	
性別	男性	614 100.0%	545 88.8%	160 26.1%	171 27.9%	32 5.2%	6 1.0%	78 12.7%	2 0.3%	11 1.8%	17 2.8%	56 9.1%	9 1.5%	9 1.5%
	女性	790 100.0%	726 91.9%	165 20.9%	268 33.9%	40 5.1%	11 1.4%	89 11.3%	4 0.5%	9 1.1%	15 1.9%	74 9.4%	5 0.6%	6 0.8%
	無回答・不明	91 100.0%	79 86.8%	26 28.6%	25 27.5%	5 5.5%	4 4.4%	5 5.5%	0 0.0%	2 2.2%	5 5.5%	7 7.7%	1 1.1%	3 3.3%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	12 66.7%	1 5.6%	7 38.9%	1 5.6%	0 0.0%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	70 72.2%	5 5.2%	33 34.0%	8 8.2%	0 0.0%	10 10.3%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	17 17.5%	7 7.2%	2 2.1%
	30歳～39歳	182 100.0%	146 80.2%	18 9.9%	48 26.4%	8 4.4%	2 1.1%	37 20.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.6%	30 16.5%	3 1.6%	3 1.6%
	40歳～49歳	270 100.0%	245 90.7%	53 19.6%	64 23.7%	13 4.8%	2 0.7%	54 20.0%	0 0.0%	2 0.7%	3 1.1%	25 9.3%	1 0.4%	5 1.9%
	50歳～59歳	230 100.0%	217 94.3%	64 27.8%	63 27.4%	8 3.5%	3 1.3%	33 14.3%	0 0.0%	4 1.7%	4 1.7%	19 8.3%	0 0.0%	2 0.9%
	60歳～64歳	152 100.0%	142 93.4%	39 25.7%	54 35.5%	8 5.3%	3 2.0%	15 9.9%	2 1.3%	4 2.6%	5 3.3%	12 7.9%	2 1.3%	1 0.7%
	65歳～69歳	179 100.0%	174 97.2%	57 31.8%	58 32.4%	11 6.1%	5 2.8%	7 3.9%	1 0.6%	1 0.6%	3 3.4%	6 5.6%	1 0.6%	2 1.1%
	70歳～74歳	178 100.0%	169 94.9%	57 32.0%	68 38.2%	8 4.5%	2 1.1%	7 3.9%	2 1.1%	5 2.8%	9 5.1%	8 4.5%	1 0.6%	0 0.0%
	75歳以上	131 100.0%	121 92.4%	43 32.8%	47 35.9%	10 7.6%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	3 2.3%	6 4.6%	8 6.1%	0 0.0%	2 1.5%
	無回答・不明	58 100.0%	54 93.1%	14 24.1%	22 37.9%	2 3.4%	3 5.2%	4 6.9%	0 0.0%	2 3.4%	1 1.7%	5 8.6%	0 0.0%	1 1.7%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	209 87.8%	48 20.2%	76 31.9%	8 3.4%	3 1.3%	30 12.6%	1 0.4%	2 0.8%	7 2.9%	26 10.9%	5 2.1%	4 1.7%
	駅西側周辺	321 100.0%	291 90.7%	81 25.2%	77 24.0%	20 6.2%	7 2.2%	36 11.2%	0 0.0%	6 1.9%	8 2.5%	25 7.8%	2 0.6%	3 0.9%
	日出谷地区	328 100.0%	299 91.2%	85 25.9%	108 32.9%	11 3.4%	4 1.2%	37 11.3%	3 0.9%	7 2.1%	5 1.5%	35 10.7%	1 0.3%	1 0.3%
	坂田地区	263 100.0%	238 90.5%	60 22.8%	81 30.8%	20 7.6%	2 0.8%	32 12.2%	1 0.4%	3 1.1%	7 2.7%	24 9.1%	3 1.1%	5 1.9%
	加納地区	144 100.0%	131 91.0%	35 24.3%	54 37.5%	10 6.9%	1 0.7%	15 10.4%	0 0.0%	1 0.7%	3 2.1%	9 6.3%	0 0.0%	3 2.1%
	川田谷地区	131 100.0%	120 91.6%	28 21.4%	44 33.6%	4 3.1%	1 0.8%	17 13.0%	1 0.8%	1 0.8%	5 3.8%	10 7.6%	3 2.3%	1 0.8%
	無回答・不明	70 100.0%	62 88.6%	14 20.0%	24 34.3%	4 5.7%	3 4.3%	5 7.1%	0 0.0%	2 2.9%	2 2.9%	8 11.4%	1 1.4%	1 1.4%

問 23 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけいただき、「不十分なところ」については、()内に具体的にお書きください。

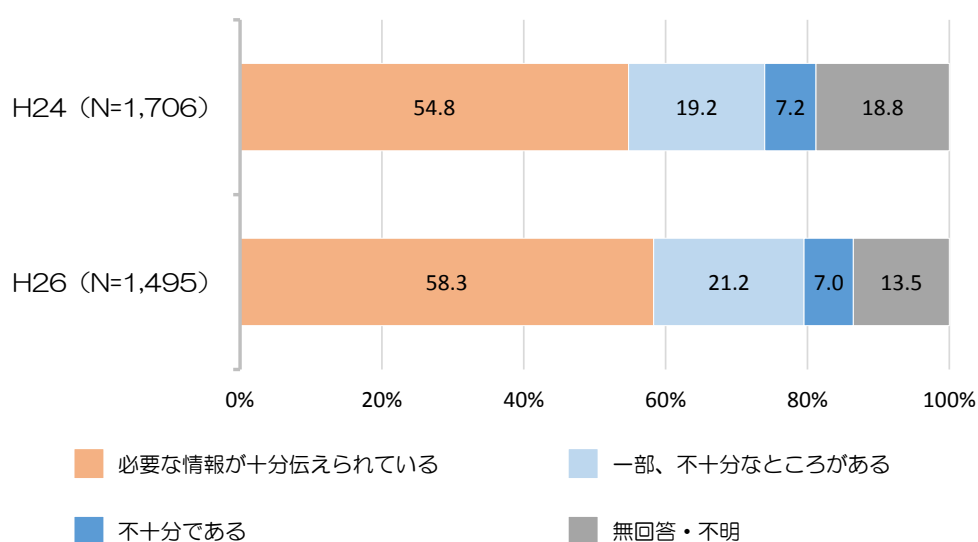
全 体

「必要な情報が十分に伝えられている」との回答が 58.3%と最も多く、全体の半数以上を占めている。次いで「一部、不十分なところがある」21.2%、「不十分である」7.0%となっているが、一方で「無回答」も 13.5%と多い。



【経年変化】

市役所からの情報提供については、「必要な情報が十分に伝えられている」「一部、不十分なところがある」が前回調査（平成 24 年度）と比較して増加している。また、「不十分である」はわずかに減少している。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「必要な情報が十分に伝えられている」が半数以上と最も高くなっており、次いで「一部、不十分なところがある」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「必要な情報が十分に伝えられている」が最も高くなっており、次いで「一部、不十分なところがある」となっている。

地区で見ると、性別と年齢と同様に全地区において「必要な情報が十分に伝えられている」が最も高くなっており、次いで「一部、不十分なところがある」となっている。

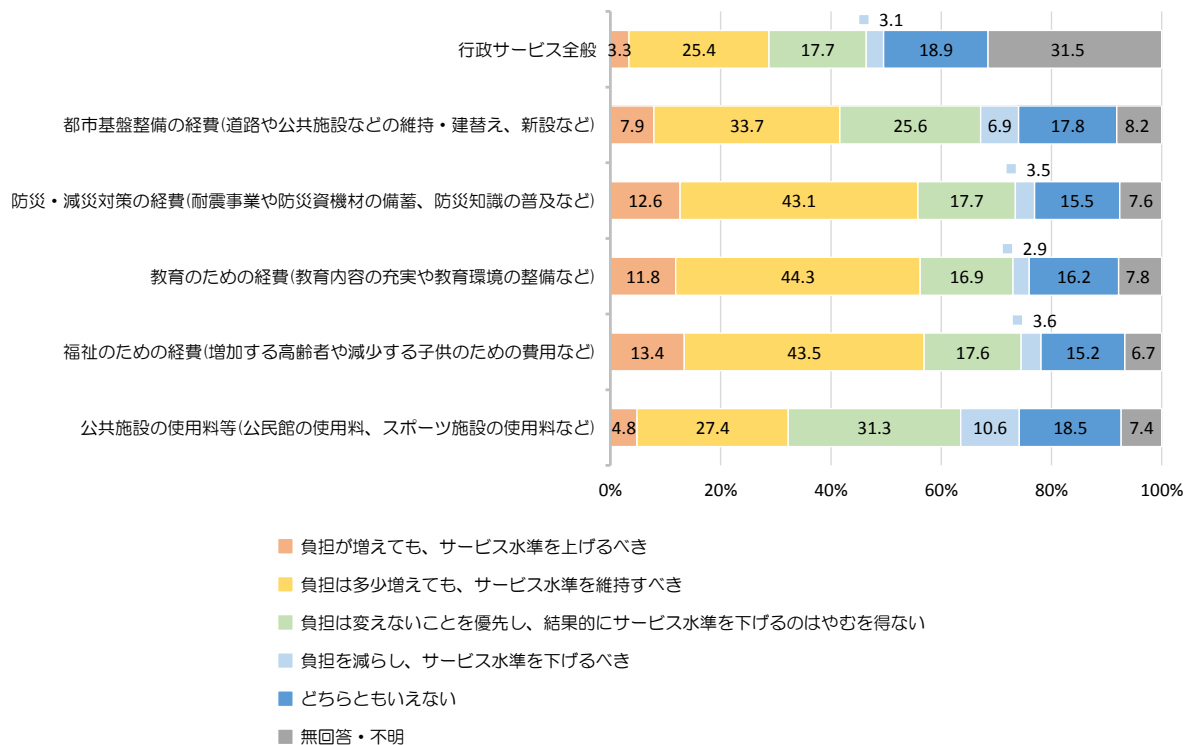
		合計	必要な情報が十分に伝えられている	一部、不十分なところがある	不十分である	無回答・不明
全体		1,495	872	317	104	202
		100.0%	58.3%	21.2%	7.0%	13.5%
性別	男性	614	365	120	59	70
		100.0%	59.4%	19.5%	9.6%	11.4%
	女性	790	461	177	41	111
		100.0%	58.4%	22.4%	5.2%	14.1%
	無回答・不明	91	46	20	4	21
		100.0%	50.5%	22.0%	4.4%	23.1%
年齢	18歳～19歳	18	13	4	0	1
		100.0%	72.2%	22.2%	0.0%	5.6%
	20歳～29歳	97	57	16	15	9
		100.0%	58.8%	16.5%	15.5%	9.3%
	30歳～39歳	182	99	46	19	18
		100.0%	54.4%	25.3%	10.4%	9.9%
	40歳～49歳	270	165	61	17	27
		100.0%	61.1%	22.6%	6.3%	10.0%
	50歳～59歳	230	120	56	19	35
		100.0%	52.2%	24.3%	8.3%	15.2%
	60歳～64歳	152	78	31	13	30
	100.0%	51.3%	20.4%	8.6%	19.7%	
65歳～69歳	179	100	38	6	35	
	100.0%	55.9%	21.2%	3.4%	19.6%	
70歳～74歳	178	125	28	9	16	
	100.0%	70.2%	15.7%	5.1%	9.0%	
75歳以上	131	80	25	3	23	
	100.0%	61.1%	19.1%	2.3%	17.6%	
	無回答・不明	58	35	12	3	8
		100.0%	60.3%	20.7%	5.2%	13.8%
地区	駅東側周辺	238	148	48	20	22
		100.0%	62.2%	20.2%	8.4%	9.2%
	駅西側周辺	321	189	73	19	40
		100.0%	58.9%	22.7%	5.9%	12.5%
	日出谷地区	328	184	67	28	49
		100.0%	56.1%	20.4%	8.5%	14.9%
	坂田地区	263	153	59	15	36
		100.0%	58.2%	22.4%	5.7%	13.7%
加納地区	144	84	26	12	22	
	100.0%	58.3%	18.1%	8.3%	15.3%	
川田谷地区	131	74	29	7	21	
	100.0%	56.5%	22.1%	5.3%	16.0%	
	無回答・不明	70	40	15	3	12
		100.0%	57.1%	21.4%	4.3%	17.1%

(3) 行政サービスと負担

問 24 あなたは、今後の税の使途や負担について、どのようなお考えをお持ちですか。次の各事項について、最もあてはまると思われる番号1つに○印をおつけください。

全 体

行政サービス全般については、無回答・不明が31.5%で最も多く、「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が25.4%で続く。その他全ての項目でも「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が3割から4割を占め、最も多くなっているが、「公共施設等の使用料等（公民館の使用料、スポーツ施設の使用料など）」のみは、「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」が31.3%で最多である。



(N=1,495)

ク ロ ス

【行政サービス全般】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで男性では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、女性では「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳では「どちらともいえない」、その他の年齢では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、また、川田谷地区では「どちらともいえない」も最も高くなっている。

	合計	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答・不明	
全体	1,495 100.0%	50 3.3%	380 25.4%	264 17.7%	47 3.1%	283 18.9%	471 31.5%	
性別	男性	614 100.0%	27 4.4%	176 28.7%	130 21.2%	17 2.8%	89 14.5%	175 28.5%
	女性	790 100.0%	19 2.4%	185 23.4%	121 15.3%	28 3.5%	181 22.9%	256 32.4%
	無回答・不明	91 100.0%	4 4.4%	19 20.9%	13 14.3%	2 2.2%	13 14.3%	40 44.0%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	0 0.0%	3 16.7%	3 16.7%	0 0.0%	6 33.3%	6 33.3%
	20歳～29歳	97 100.0%	6 6.2%	20 20.6%	9 9.3%	4 4.1%	25 25.8%	33 34.0%
	30歳～39歳	182 100.0%	3 1.6%	50 27.5%	31 17.0%	4 2.2%	44 24.2%	50 27.5%
	40歳～49歳	270 100.0%	8 3.0%	66 24.4%	43 15.9%	12 4.4%	55 20.4%	86 31.9%
	50歳～59歳	230 100.0%	15 6.5%	64 27.8%	37 16.1%	11 4.8%	32 13.9%	71 30.9%
	60歳～64歳	152 100.0%	3 2.0%	37 24.3%	31 20.4%	4 2.6%	27 17.8%	50 32.9%
	65歳～69歳	179 100.0%	4 2.2%	52 29.1%	39 21.8%	5 2.8%	25 14.0%	54 30.2%
	70歳～74歳	178 100.0%	8 4.5%	47 26.4%	30 16.9%	1 0.6%	34 19.1%	58 32.6%
	75歳以上	131 100.0%	2 1.5%	31 23.7%	25 19.1%	4 3.1%	23 17.6%	46 35.1%
	無回答・不明	58 100.0%	1 1.7%	10 17.2%	16 27.6%	2 3.4%	12 20.7%	17 29.3%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	5 2.1%	67 28.2%	38 16.0%	9 3.8%	45 20.2%	71 29.8%
	駅西側周辺	321 100.0%	13 4.0%	84 26.2%	70 21.8%	9 2.8%	61 19.0%	84 26.2%
	日出谷地区	328 100.0%	12 3.7%	81 24.7%	49 14.9%	13 4.0%	64 19.5%	109 33.2%
	坂田地区	263 100.0%	13 4.9%	64 24.3%	34 12.9%	6 2.3%	50 19.0%	96 36.5%
	加納地区	144 100.0%	1 0.7%	43 29.9%	32 22.2%	2 1.4%	17 11.8%	49 34.0%
	川田谷地区	131 100.0%	5 3.8%	27 20.6%	24 18.3%	6 4.6%	27 20.6%	42 32.1%
	無回答・不明	70 100.0%	1 1.4%	14 20.0%	17 24.3%	2 2.9%	16 22.9%	20 28.6%

【都市基盤整備の経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。

地区で見ると、日出谷地区では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、その他の地区では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。

	合計	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答・不明
全体	1,495	118	504	382	103	266	122
	100.0%	7.9%	33.7%	25.6%	6.9%	17.8%	8.2%
性別	男性	614	66	225	154	55	76
		100.0%	10.7%	36.6%	25.1%	9.0%	12.4%
	女性	790	48	252	212	42	173
		100.0%	6.1%	31.9%	26.8%	5.3%	21.9%
無回答・不明	91	4	27	16	6	17	
	100.0%	4.4%	29.7%	17.6%	6.6%	18.7%	
年齢	18歳～19歳	18	3	6	4	1	4
		100.0%	16.7%	33.3%	22.2%	5.6%	22.2%
	20歳～29歳	97	13	36	21	5	18
		100.0%	13.4%	37.1%	21.6%	5.2%	18.6%
	30歳～39歳	182	20	57	41	15	45
		100.0%	11.0%	31.3%	22.5%	8.2%	24.7%
	40歳～49歳	270	22	86	78	27	44
		100.0%	8.1%	31.9%	28.9%	10.0%	16.3%
	50歳～59歳	230	19	82	66	16	36
		100.0%	8.3%	35.7%	28.7%	7.0%	15.7%
	60歳～64歳	152	5	58	38	9	28
		100.0%	3.3%	38.2%	25.0%	5.9%	18.4%
65歳～69歳	179	10	62	55	8	30	
	100.0%	5.6%	34.6%	30.7%	4.5%	16.8%	
70歳～74歳	178	10	66	38	9	28	
	100.0%	5.6%	37.1%	21.3%	5.1%	15.7%	
75歳以上	131	11	40	29	8	17	
	100.0%	8.4%	30.5%	22.1%	6.1%	13.0%	
無回答・不明	58	5	11	12	5	16	
	100.0%	8.6%	19.0%	20.7%	8.6%	27.6%	
地区	駅東側周辺	238	25	77	66	15	43
		100.0%	10.5%	32.4%	27.7%	6.3%	18.1%
	駅西側周辺	321	19	117	86	30	52
		100.0%	5.9%	36.4%	26.8%	9.3%	16.2%
	日出谷地区	328	22	91	97	25	62
		100.0%	6.7%	27.7%	29.6%	7.6%	18.9%
	坂田地区	263	33	100	49	11	47
		100.0%	12.5%	38.0%	18.6%	4.2%	17.9%
加納地区	144	6	58	42	7	19	
	100.0%	4.2%	40.3%	29.2%	4.9%	13.2%	
川田谷地区	131	8	47	29	9	24	
	100.0%	6.1%	35.9%	22.1%	6.9%	18.3%	
無回答・不明	70	5	14	13	6	19	
	100.0%	7.1%	20.0%	18.6%	8.6%	27.1%	

【防災・減災対策の経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで男性は「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、女性は「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「どちらともいえない」、40歳～49歳では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」、その他の年齢では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」となっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。

	合計	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答・不明
全体	1,495 100.0%	189 12.6%	645 43.1%	264 17.7%	52 3.5%	231 15.5%	114 7.6%
性別	男性	614 100.0%	89 14.5%	265 43.2%	125 20.4%	28 4.6%	71 11.6%
	女性	790 100.0%	96 12.2%	355 44.9%	121 15.3%	19 2.4%	140 17.7%
	無回答・不明	91 100.0%	4 4.4%	25 27.5%	18 19.8%	5 5.5%	20 22.0%
	無回答・不明	18 100.0%	2 11.1%	8 44.4%	3 16.7%	1 5.6%	4 22.2%
年齢	18歳～19歳	97 100.0%	18 18.6%	37 38.1%	15 15.5%	4 4.1%	19 19.6%
	20歳～29歳	182 100.0%	18 9.9%	90 49.5%	20 11.0%	9 4.9%	41 22.5%
	30歳～39歳	270 100.0%	45 16.7%	121 44.8%	43 15.9%	12 4.4%	39 14.4%
	40歳～49歳	230 100.0%	40 17.4%	93 40.4%	51 22.2%	8 3.5%	28 12.2%
	50歳～59歳	152 100.0%	14 9.2%	62 40.8%	34 22.4%	4 2.6%	26 17.1%
	60歳～64歳	179 100.0%	17 9.5%	80 44.7%	37 20.7%	2 1.1%	26 14.5%
	65歳～69歳	178 100.0%	17 9.6%	80 44.9%	31 17.4%	6 3.4%	20 11.2%
	70歳～74歳	131 100.0%	13 9.9%	51 38.9%	20 15.3%	5 3.8%	15 11.5%
	75歳以上	58 100.0%	5 8.6%	23 39.7%	10 17.2%	1 1.7%	13 22.4%
	無回答・不明	238 100.0%	32 13.4%	102 42.9%	43 18.1%	9 3.8%	36 15.1%
地区	駅東側周辺	321 100.0%	51 15.9%	144 44.9%	58 18.1%	10 3.1%	42 13.1%
	駅西側周辺	328 100.0%	28 8.5%	133 40.5%	63 19.2%	14 4.3%	61 18.6%
	日出谷地区	263 100.0%	37 14.1%	118 44.9%	38 14.4%	9 3.4%	39 14.8%
	坂田地区	144 100.0%	19 13.2%	66 45.8%	29 20.1%	3 2.1%	18 12.5%
	加納地区	131 100.0%	17 13.0%	57 43.5%	21 16.0%	6 4.6%	18 13.7%
	川田谷地区	70 100.0%	5 7.1%	25 35.7%	12 17.1%	1 1.4%	17 24.3%
	無回答・不明	16 100.0%	1 6.3%	9 56.3%	2 12.5%	1 6.3%	10 63.0%
	無回答・不明	70 100.0%	5 7.1%	25 35.7%	12 17.1%	1 1.4%	17 24.3%

【教育のための経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで男性は「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、女性は「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「どちらともいえない」、その他の年齢では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」となっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。

	合計	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答・不明	
全体	1,495 100.0%	177 11.8%	663 44.3%	252 16.9%	44 2.9%	242 16.2%	117 7.8%	
性別	男性	614 100.0%	76 12.4%	295 48.0%	110 17.9%	21 3.4%	73 11.9%	39 6.4%
	女性	790 100.0%	92 11.6%	339 42.9%	130 16.5%	20 2.5%	153 19.4%	56 7.1%
	無回答・不明	91 100.0%	9 9.9%	29 31.9%	12 13.2%	3 3.3%	16 17.6%	22 24.2%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	1 5.6%	8 44.4%	2 11.1%	0 0.0%	7 38.9%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	16 16.5%	38 39.2%	14 14.4%	4 4.1%	21 21.6%	4 4.1%
	30歳～39歳	182 100.0%	26 14.3%	82 45.1%	22 12.1%	5 2.7%	43 23.6%	4 2.2%
	40歳～49歳	270 100.0%	42 15.6%	126 46.7%	46 17.0%	9 3.3%	34 12.6%	13 4.8%
	50歳～59歳	230 100.0%	28 12.2%	105 45.7%	41 17.8%	9 3.9%	38 16.5%	9 3.9%
	60歳～64歳	152 100.0%	9 5.9%	71 46.7%	30 19.7%	3 2.0%	28 18.4%	11 7.2%
	65歳～69歳	179 100.0%	17 9.5%	86 48.0%	31 17.3%	7 3.9%	23 12.8%	15 8.4%
	70歳～74歳	178 100.0%	16 9.0%	87 48.9%	25 14.0%	3 1.7%	20 11.2%	27 15.2%
	75歳以上	131 100.0%	14 10.7%	47 35.9%	26 19.8%	3 2.3%	14 10.7%	27 20.6%
	無回答・不明	58 100.0%	8 13.8%	13 22.4%	15 25.9%	1 1.7%	14 24.1%	7 12.1%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	37 15.5%	99 41.6%	44 18.5%	8 3.4%	35 14.7%	15 6.3%
	駅西側周辺	321 100.0%	42 13.1%	152 47.4%	51 19.0%	8 2.5%	41 12.8%	17 5.3%
	日出谷地区	328 100.0%	34 10.4%	137 41.8%	57 17.4%	10 3.0%	57 17.4%	33 10.1%
	坂田地区	263 100.0%	29 11.0%	126 47.9%	31 11.8%	8 3.0%	46 17.5%	23 8.7%
	加納地区	144 100.0%	15 10.4%	70 48.6%	22 15.3%	4 2.8%	26 18.1%	7 4.9%
	川田谷地区	131 100.0%	12 9.2%	62 47.3%	22 16.8%	5 3.8%	19 14.5%	11 8.4%
	無回答・不明	70 100.0%	8 11.4%	17 24.3%	15 21.4%	1 1.4%	18 25.7%	11 15.7%

【福祉のための経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで男性は「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、女性は「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。また、第2位は、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「どちらともいえない」、50歳～59歳では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」、その他の年齢では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」となっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。

	合計	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答・不明	
全体	1,495	200	651	263	54	227	100	
	100.0%	13.4%	43.5%	17.6%	3.6%	15.2%	6.7%	
性別	男性	614	86	288	114	24	71	
		100.0%	14.0%	46.9%	18.6%	3.9%	11.6%	5.0%
	女性	790	103	331	139	27	140	50
	100.0%	13.0%	41.9%	17.6%	3.4%	17.7%	6.3%	
	無回答・不明	91	11	32	10	3	16	
	100.0%	12.1%	35.2%	11.0%	3.3%	17.6%	20.9%	
年齢	18歳～19歳	18	1	10	2	0	5	
		100.0%	5.6%	55.6%	11.1%	0.0%	27.8%	0.0%
	20歳～29歳	97	16	28	18	7	24	4
		100.0%	16.5%	28.9%	18.6%	7.2%	24.7%	4.1%
	30歳～39歳	182	28	71	26	9	44	4
		100.0%	15.4%	39.0%	14.3%	4.9%	24.2%	2.2%
	40歳～49歳	270	40	123	52	12	34	9
		100.0%	14.8%	45.6%	19.3%	4.4%	12.6%	3.3%
	50歳～59歳	230	43	107	34	8	30	8
		100.0%	18.7%	46.5%	14.8%	3.5%	13.0%	3.5%
	60歳～64歳	152	14	68	28	4	26	12
	100.0%	9.2%	44.7%	18.4%	2.6%	17.1%	7.9%	
65歳～69歳	179	14	92	36	5	20	12	
	100.0%	7.8%	51.4%	20.1%	2.8%	11.2%	6.7%	
70歳～74歳	178	17	89	27	4	20	21	
	100.0%	9.6%	50.0%	15.2%	2.2%	11.2%	11.8%	
75歳以上	131	19	49	26	3	11	23	
	100.0%	14.5%	37.4%	19.8%	2.3%	8.4%	17.6%	
	無回答・不明	58	8	14	14	2	13	
	100.0%	13.8%	24.1%	24.1%	3.4%	22.4%	12.1%	
地区	駅東側周辺	238	28	105	43	10	39	
		100.0%	11.8%	44.1%	18.1%	4.2%	16.4%	5.5%
	駅西側周辺	321	51	147	61	13	38	11
		100.0%	15.9%	45.8%	19.0%	4.0%	11.8%	3.4%
	日出谷地区	328	36	134	62	11	56	29
		100.0%	11.0%	40.9%	18.9%	3.4%	17.1%	8.8%
	坂田地区	263	39	124	31	8	40	21
		100.0%	14.8%	47.1%	11.8%	3.0%	15.2%	8.0%
加納地区	144	19	65	30	6	19	5	
	100.0%	13.2%	45.1%	20.8%	4.2%	13.2%	3.5%	
川田谷地区	131	20	57	22	4	18	10	
	100.0%	15.3%	43.5%	16.8%	3.1%	13.7%	7.6%	
	無回答・不明	70	7	19	14	2	17	
	100.0%	10.0%	27.1%	20.0%	2.9%	24.3%	15.7%	

【公共施設の使用料等】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」が最も高くなっており、次いで「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、30歳～39歳、60歳～64歳では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」、その他の年齢では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」が最も高くなっている。

地区で見ると、坂田地区、加納地区、川田谷地区では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」、加納地区を含む上記以外の地区では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」が最も高くなっている。

	合計	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答・不明	
全体	1,495 100.0%	72 4.8%	410 27.4%	468 31.3%	159 10.6%	276 18.5%	110 7.4%	
性別	男性	614 100.0%	44 7.2%	167 27.2%	202 32.9%	76 12.4%	89 14.5%	36 5.9%
	女性	790 100.0%	25 3.2%	223 28.2%	246 31.1%	75 9.5%	165 20.9%	56 7.1%
	無回答・不明	91 100.0%	3 3.3%	20 22.0%	20 22.0%	8 8.8%	22 24.2%	18 19.8%
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	0 0.0%	7 38.9%	5 27.8%	0 0.0%	6 33.3%	0 0.0%
	20歳～29歳	97 100.0%	11 11.3%	20 20.6%	27 27.8%	10 10.3%	25 25.8%	4 4.1%
	30歳～39歳	182 100.0%	7 3.8%	50 27.5%	48 26.4%	25 13.7%	49 26.9%	3 1.6%
	40歳～49歳	270 100.0%	9 3.3%	71 26.3%	96 35.6%	37 13.7%	46 17.0%	11 4.1%
	50歳～59歳	230 100.0%	16 7.0%	65 29.6%	70 30.4%	30 13.0%	39 17.0%	7 3.0%
	60歳～64歳	152 100.0%	6 3.9%	49 32.2%	43 28.3%	10 6.6%	31 20.4%	13 8.6%
	65歳～69歳	179 100.0%	7 3.9%	48 26.8%	69 38.5%	16 8.9%	25 14.0%	14 7.8%
	70歳～74歳	178 100.0%	5 2.8%	53 29.8%	54 30.3%	16 9.0%	24 13.5%	26 14.6%
	75歳以上	131 100.0%	8 6.1%	32 24.4%	35 26.7%	12 9.2%	19 14.5%	25 19.1%
	無回答・不明	58 100.0%	3 5.2%	12 20.7%	21 36.2%	3 5.2%	12 20.7%	7 12.1%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	18 7.6%	66 27.7%	71 29.8%	27 11.3%	42 17.6%	14 5.9%
	駅西側周辺	321 100.0%	10 3.1%	98 30.5%	105 32.7%	42 13.1%	49 15.3%	17 5.3%
	日出谷地区	328 100.0%	13 4.0%	74 22.6%	115 35.1%	35 10.7%	62 18.9%	29 8.8%
	坂田地区	263 100.0%	19 7.2%	75 28.5%	74 28.1%	24 9.1%	51 19.4%	20 7.6%
	加納地区	144 100.0%	5 3.5%	44 30.6%	44 30.6%	14 9.7%	28 19.4%	9 6.3%
	川田谷地区	131 100.0%	4 3.1%	40 30.5%	36 27.5%	13 9.9%	28 21.4%	10 7.6%
	無回答・不明	70 100.0%	3 4.3%	13 18.6%	23 32.9%	4 5.7%	16 22.9%	11 15.7%

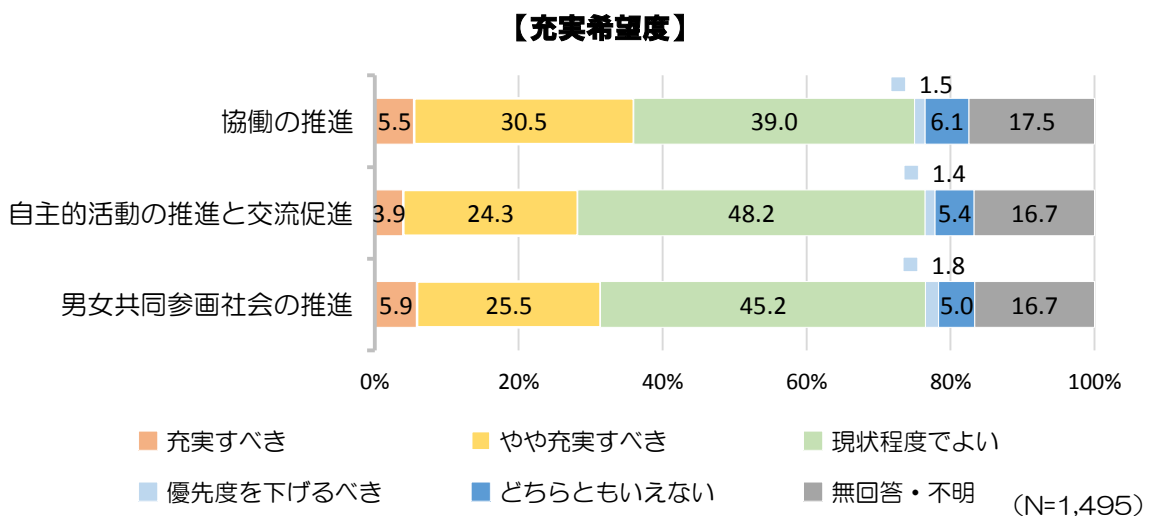
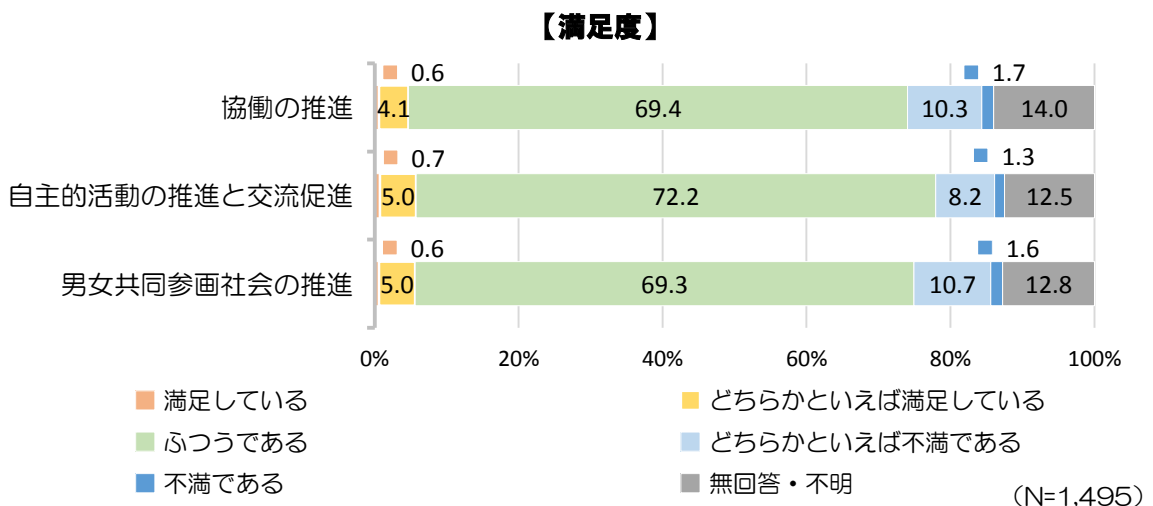
(4) 施策の満足度と充実希望度

問 25 「桶川市第五次総合振興計画・前期基本計画」の施策に関する以下の 40 項目について、「満足度」と「充実希望度」を、それぞれ回答してください。「満足度」と「充実希望度」を 5 段階で評価したときのあなたの考えに最も近いものを、それぞれ 1 つずつ選んでください。
なお、「充実希望度」は「今後、桶川市がどの程度充実していくべきか」という観点でお答えください。

① 参画・協働

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が 7 割前後を占めており、特に「自主的活動の推進と交流促進」が高くなっている。「協働の推進」「男女共同参画社会の推進」においては、『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）が 1 割強となっている。

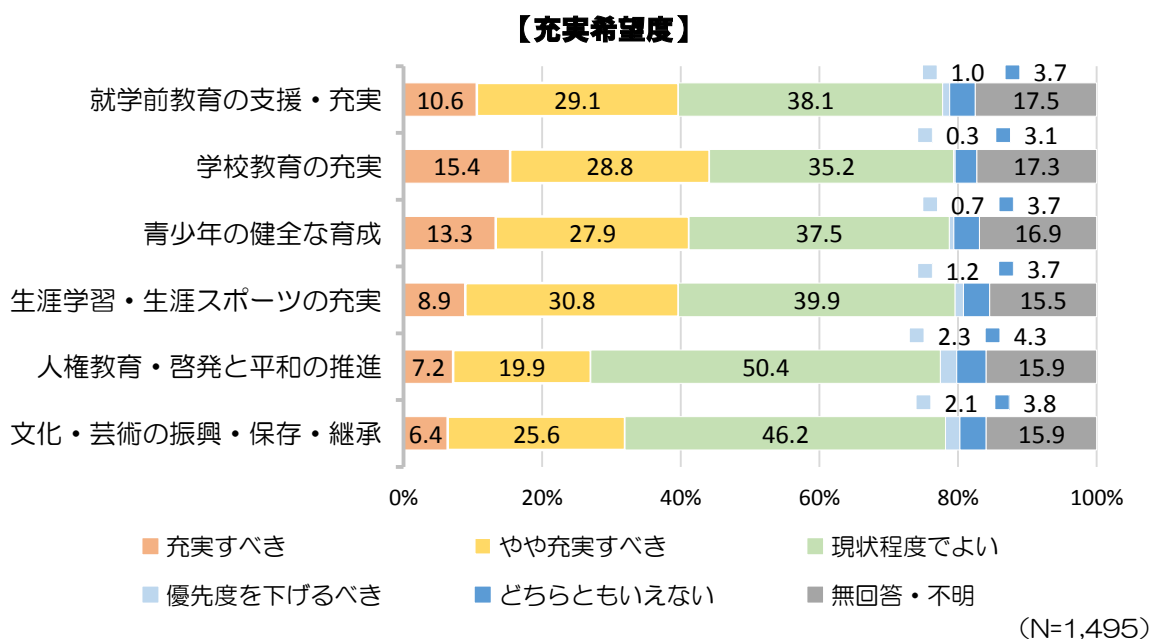
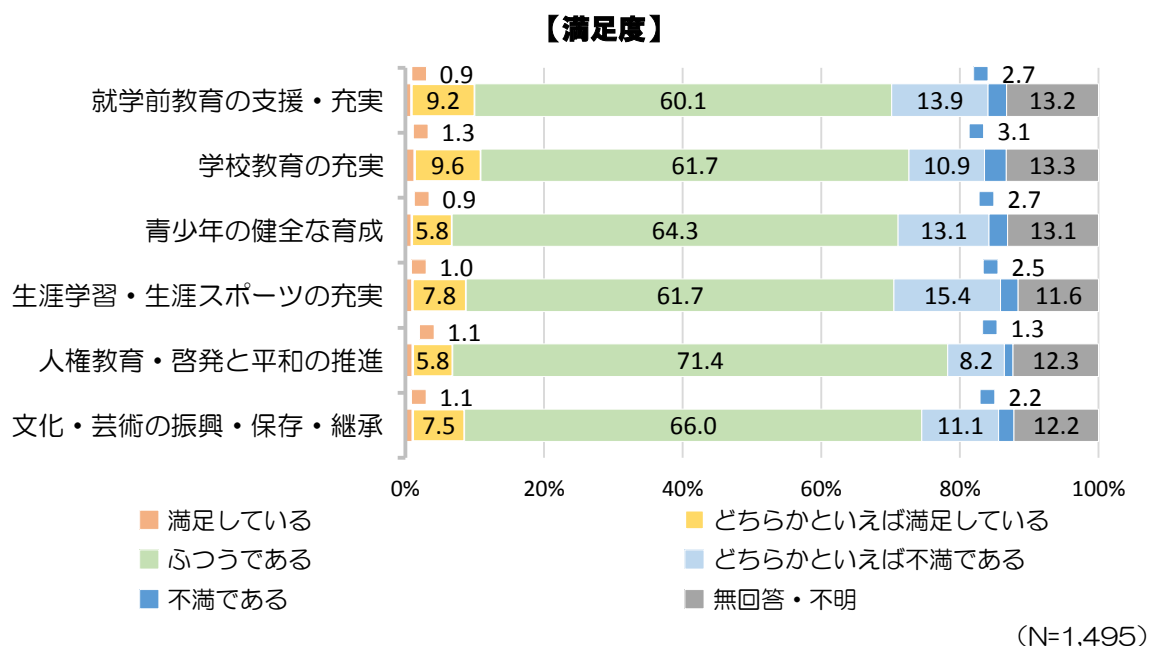
充実希望度において、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「協働の推進」となっており、次いで「男女共同参画社会の推進」となっている。また、それぞれの項目において、「現状程度でよい」が最も高い割合を占めている。



②教育・文化

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が約6割～7割を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合が最も高いものは「学校教育の充実」となっており、次いで「就学前教育の支援・充実」となっている。一方で、「生涯学習・生涯スポーツの充実」は『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）が他に比べて多くなっている。

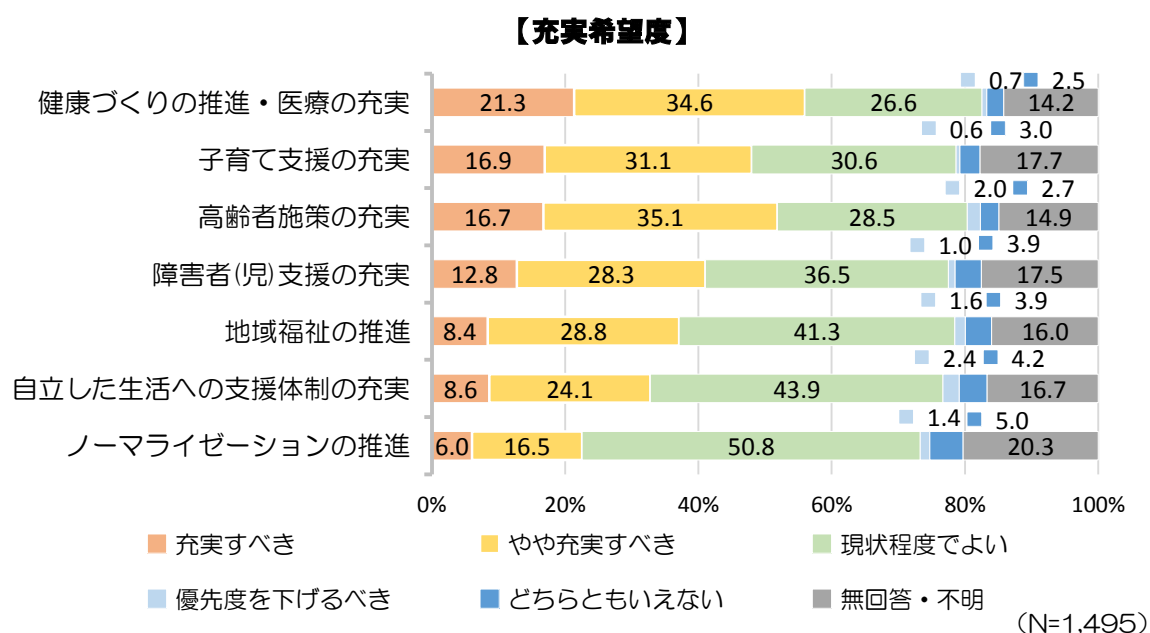
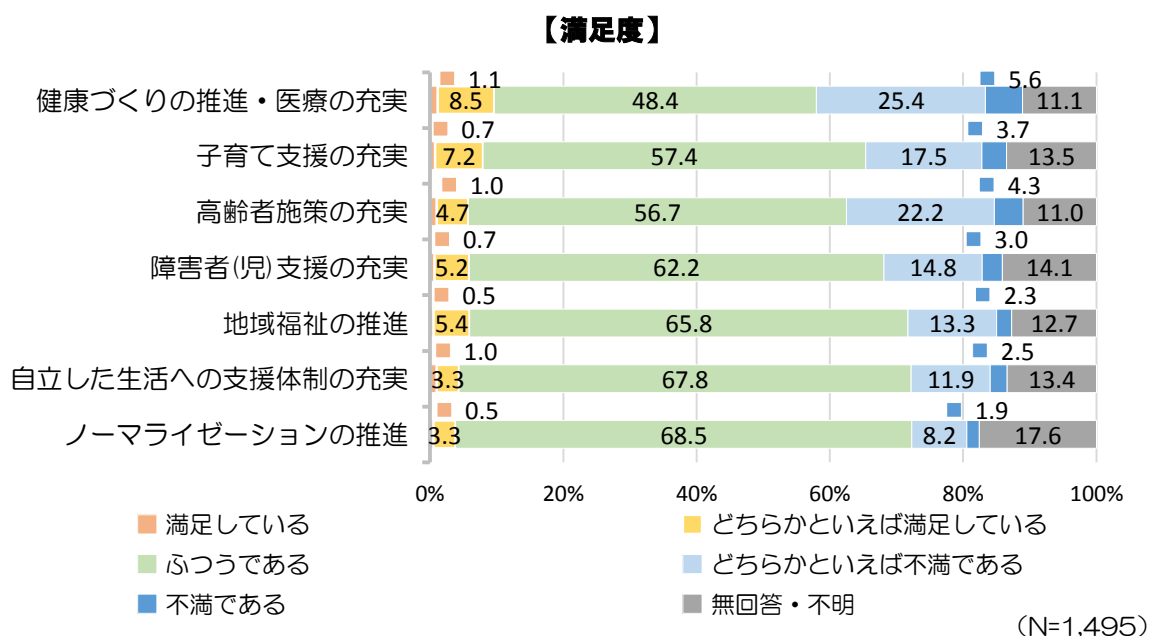
充実希望度において、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「学校教育の充実」となっており、次いで「青少年の健全な育成」「就学前教育の支援・充実」「生涯学習・生涯スポーツの充実」と続いている。また、「人権教育・啓発と平和の推進」「文化・芸術の振興・保存・継承」は「現状程度でよい」が5割前後を占めている。



③健康・福祉

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が5割前後～7割近くを占めており、特に「自立した生活への支援体制の充実」「ノーマライゼーションの推進」においては7割近くを占めている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いものとしては、「健康づくりの推進・医療の充実」「高齢者施策の充実」が3割前後となっている。

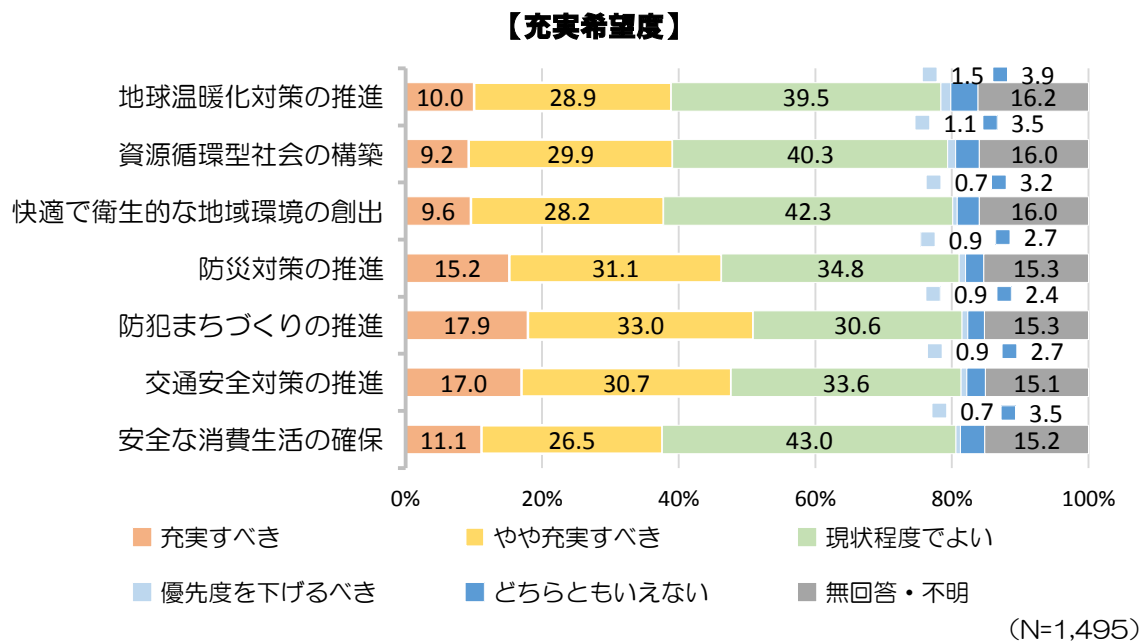
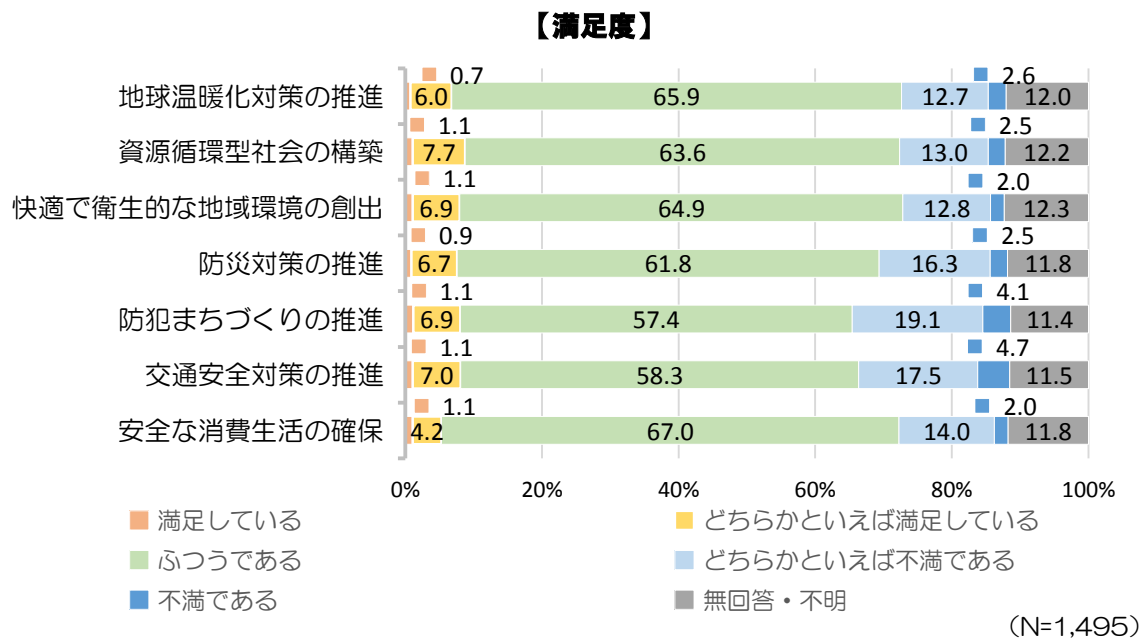
充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「健康づくりの推進・医療の充実」となっており、次いで「高齢者施策の充実」となっている。また、「ノーマライゼーションの推進」は「現状程度でよい」が5割以上を占めている。



④市民生活

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が5割～概ね6割を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合は全項目で同程度となっており、『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いものとしては、「防犯まちづくりの推進」「交通安全対策の推進」となっている。

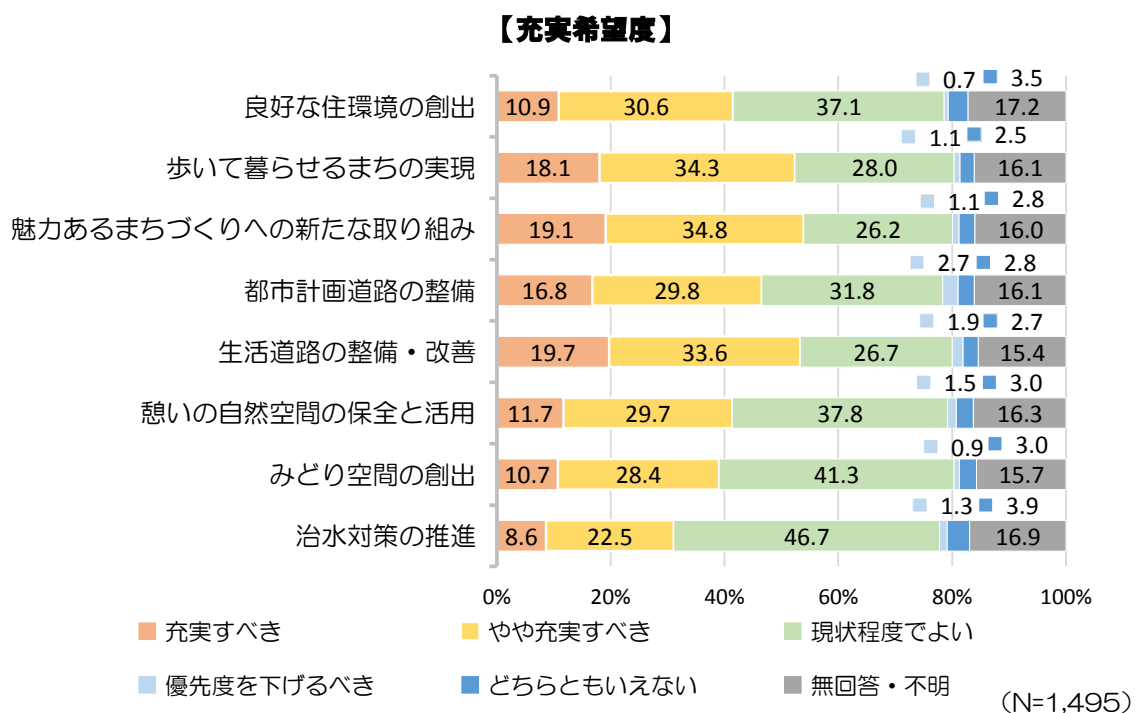
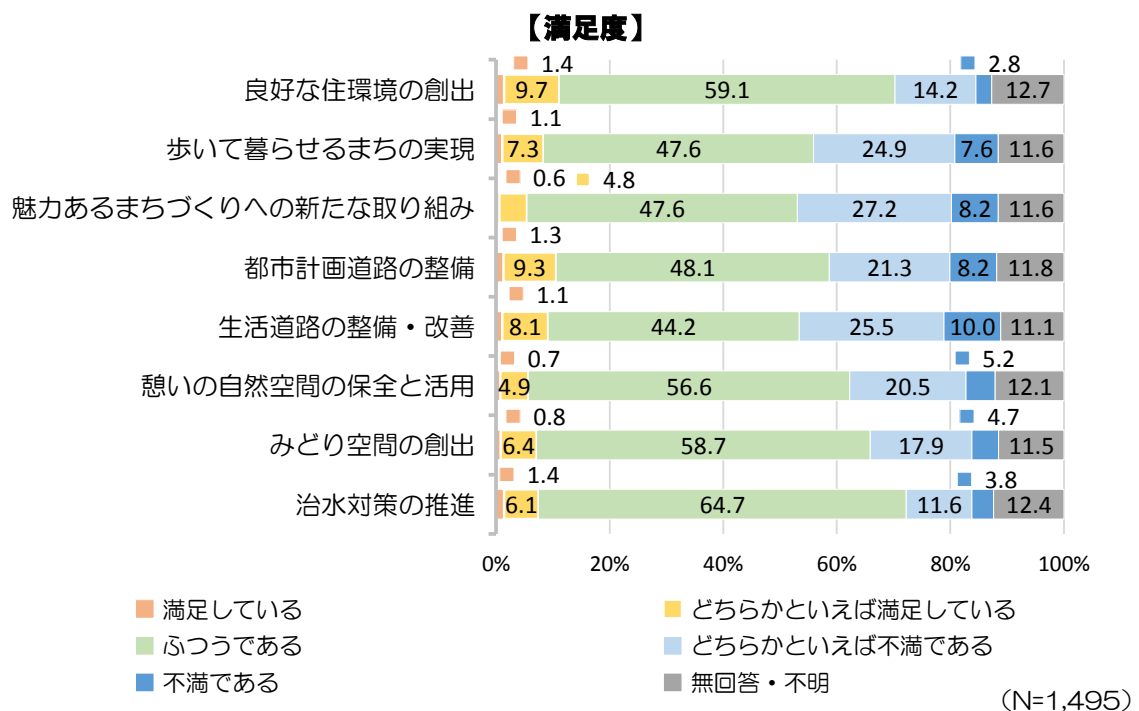
充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「防犯まちづくりの推進」となっており、次いで「交通安全対策の推進」「防災対策の推進」となっている。また、「安全な消費生活の確保」「快適で衛生的な地域環境の創出」「資源循環型社会の構築」は「現状程度でよい」が4割以上を占めている。



⑤みどり・都市基盤

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が4割～概ね6割を占めている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いものとしては、「生活道路の整備・改善」となっており、次いで「魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「歩いて暮らせるまちの実現」と続いている。

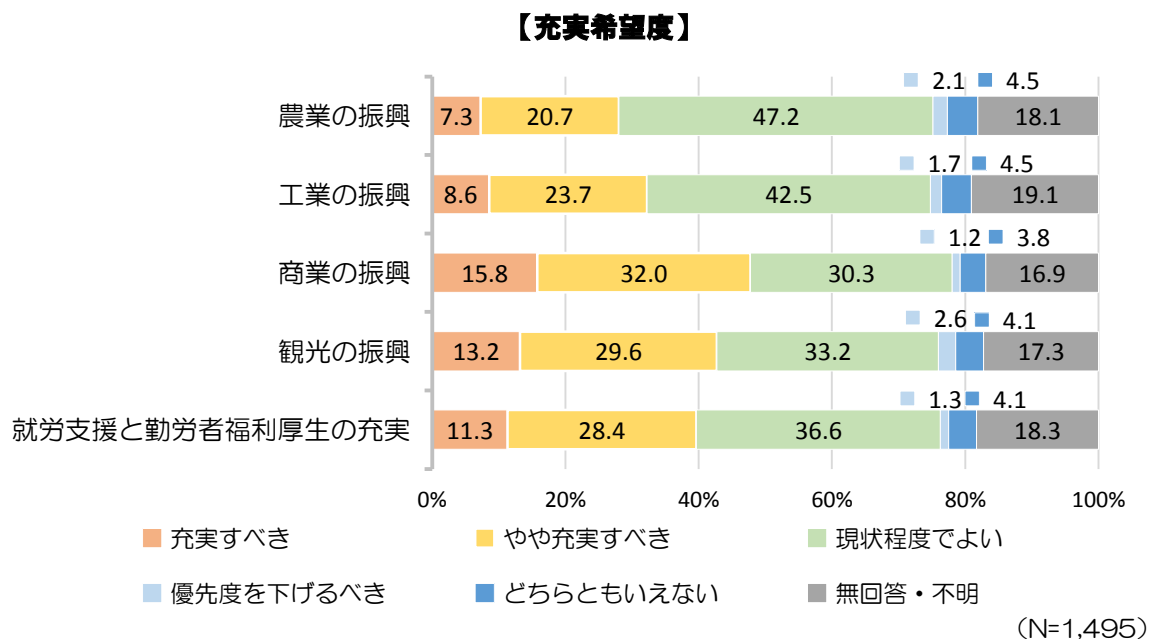
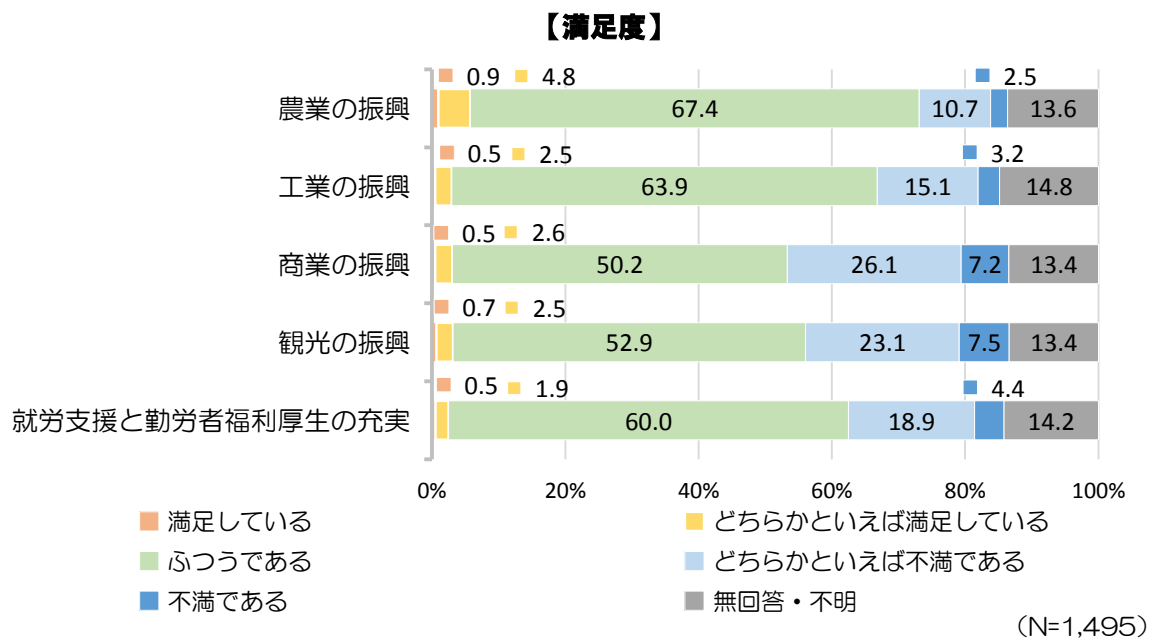
充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」となっており、次いで「生活道路の整備・改善」「歩いて暮らせるまちの実現」となっている。また、「治水対策の推進」「みどり空間の創出」は「現状程度でよい」が4割以上を占めている。



⑥産業

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が5割～7割近くを占めている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いものとしては、「商業の振興」「観光の振興」となっている。

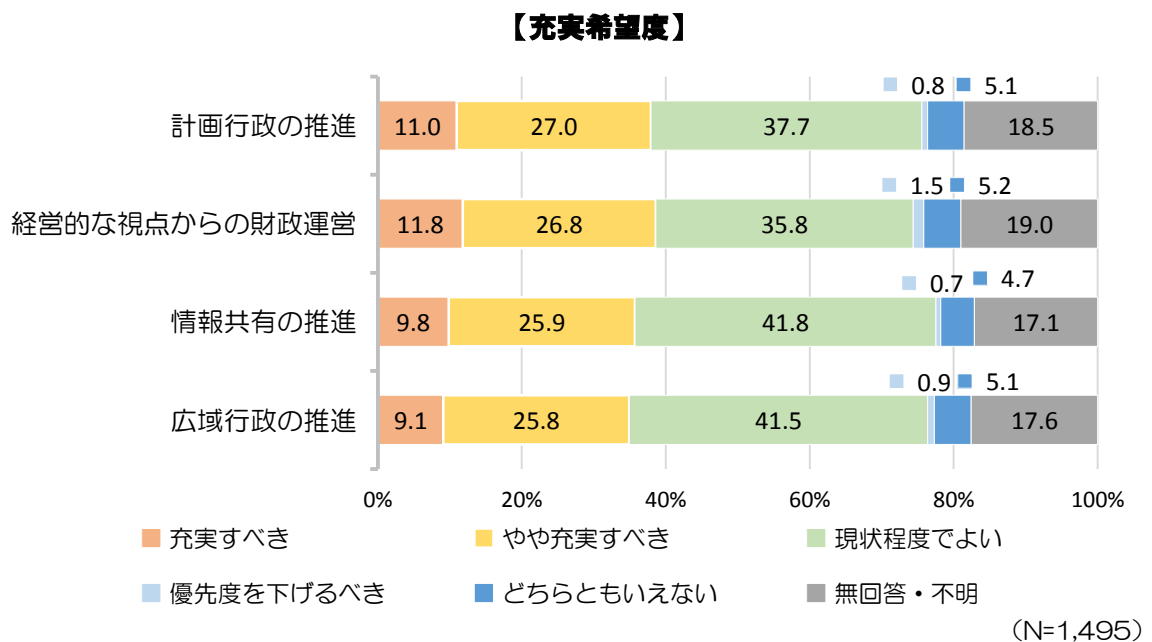
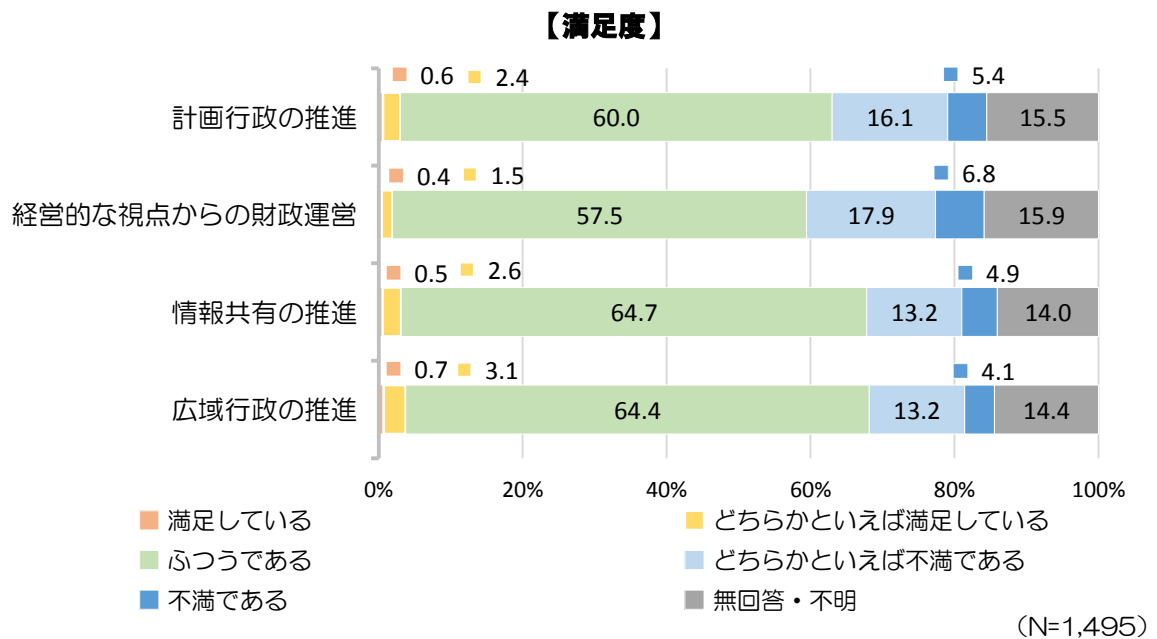
充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「商業の振興」となっており、次いで「観光の振興」「就労支援と勤労者福利厚生の実」となっている。また、「農業の振興」「工業の振興」は「現状程度でよい」が4割以上を占めている。



⑦行財政運営

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が6割程度を占めている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いものとしては、「経営的な視点からの財政運営」「計画行政の推進」となっている。

充実希望度においては、全ての項目で『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が4割近くとなっており、最も高いのは「経営的な視点からの財政運営」となっている。また、「情報共有の推進」「広域行政の推進」は「現状程度でよい」が4割以上を占めている。



【満足度と充実希望度の関係】

桶川市第五次総合振興計画・前期基本計画の施策に関する40項目の満足度、充実希望度について指数化し、相関関係を4象限で表した。

指数の計算方法、図の見方などは以下のとおりである。

□ 指数の算出について

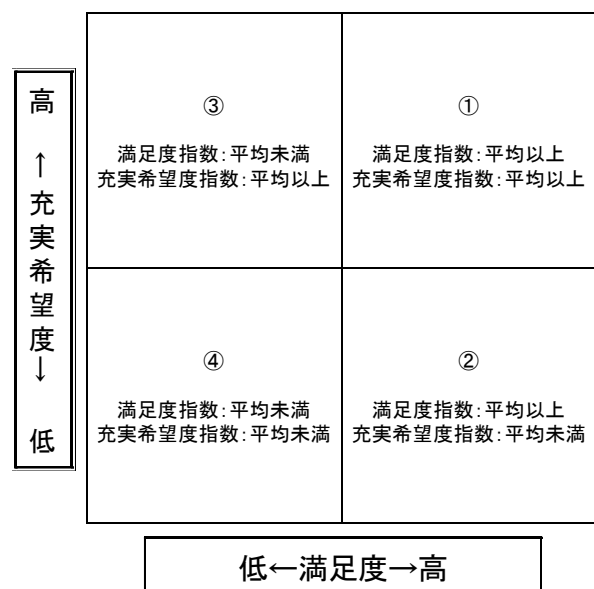
- ✓ 満足度指数は各項目の回答を、満足している(+4)、どちらかといえば満足している(+2)、ふつうである(0)、どちらかといえば不満である(-2)、不満である(-4)、無回答・不明(0)として、その項目に対する回答者数の合計で除した。

(例)「協働の推進」について、9人は「満足している」、61人は「どちらかといえば満足している」、1,037人が「ふつうである」、154人は「どちらかといえば不満である」、25人は「不満である」、209人は「無回答・不明」と回答した。回答者数は1,495人中1,286人である。この場合、満足度指数は…

$$(9人 \times 4点 + 61人 \times 2点 + 1,037人 \times 0点 + 154人 \times -2点 + 25人 \times -4点 + 209人 \times 0点) \div 1,286人 = 約-0.19$$

- ✓ 充実希望度指数は各項目の回答を、充実すべき(+4)、やや充実すべき(+2)、現状程度でよい(0)、優先度を下げるべき(-2)、どちらともいえない(-4)、無回答・不明(0)として、その項目に対する回答者数の合計で除した。
- ✓ 図の原点は各指数の平均となっている。

□ 図の見かた1



①満足度・充実希望度ともに比較的高い
満足度を低下させないために、現在の水準を維持・向上させることが求められる可能性がある。

②満足度は比較的高いが、充実希望度は低い
社会的意義や法律的な義務付け等への配慮は必要であるものの、財政状況によっては見直しを行う可能性がある。

③満足度が比較的低いが、充実希望度は高い
住民の期待に対して十分対応できていないことが考えられ、住民満足度を向上するために最も優先して取り組まなければならない可能性がある。

④満足度・充実希望度ともに比較的低い
充実希望度(住民の期待)が低いため、満足度を上げるための対策は必ずしも緊急ではない可能性がある。

□ 図の見かた2

図中の番号と40項目との関係は以下となる。

参画・ 協働	1	協働の推進	市民生活	21	防犯まちづくりの推進
	2	自主的活動の推進と交流促進		22	交通安全対策の推進
	3	男女共同参画社会の推進		23	安全な消費生活の確保
教育・ 文化	4	就学前教育の支援・充実	みどり・ 都市基盤	24	良好な住環境の創出と保全
	5	学校教育の充実		25	歩いて暮らせるまちの実現
	6	青少年の健全な育成		26	魅力あるまちづくりへの新たな取り組み
	7	生涯学習・生涯スポーツの充実		27	都市計画道路の整備
	8	人権教育・啓発と平和の推進		28	生活道路の整備・改善
	9	文化・芸術の振興・保存・継承		29	憩いの自然空間の保全と活用
	10	健康づくりの推進		30	みどり空間の創出
健康・ 福祉	11	子育て支援の充実	産業	31	治水対策の推進
	12	高齢者施策の充実		32	農業の振興
	13	障害者（児）支援の充実		33	工業の振興
	14	地域福祉の推進		34	商業の振興
	15	自立した生活への支援体制の充実		35	観光の振興
	16	ノーマライゼーションの推進		36	就労支援と勤労者福利厚生者の充実
市民生活	17	地球温暖化対策の推進	行財政運営	37	計画行政の推進
	18	資源循環型社会の構築		38	経営的な視点からの財政運営
	19	快適で衛生的な地域環境の創出		39	情報共有の推進
	20	防災対策の推進		40	広域行政の推進

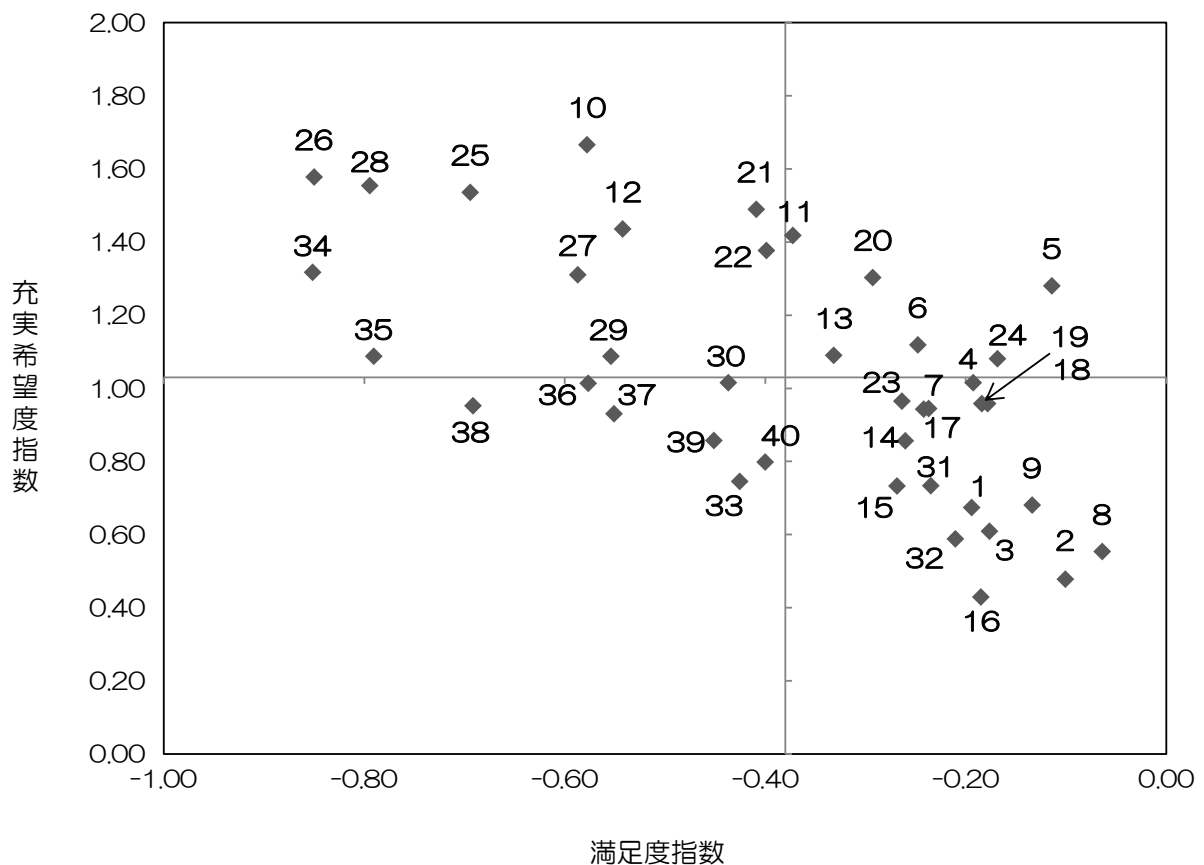
総 合

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「20 防災対策の推進」「24 良好な住環境の創出と保全」などであり、さらなる重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「2 自主的活動の推進と交流促進」「9 文化・芸術の振興・保存・継承」「3 男女共同参画社会の推進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが充実希望度は高い項目は「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「34 商業の振興」「28 生活道路の整備・改善」「25 歩いて暮らせるまちの実現」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「33 工業の振興」「38 経営的な視点からの財政運営」などである。



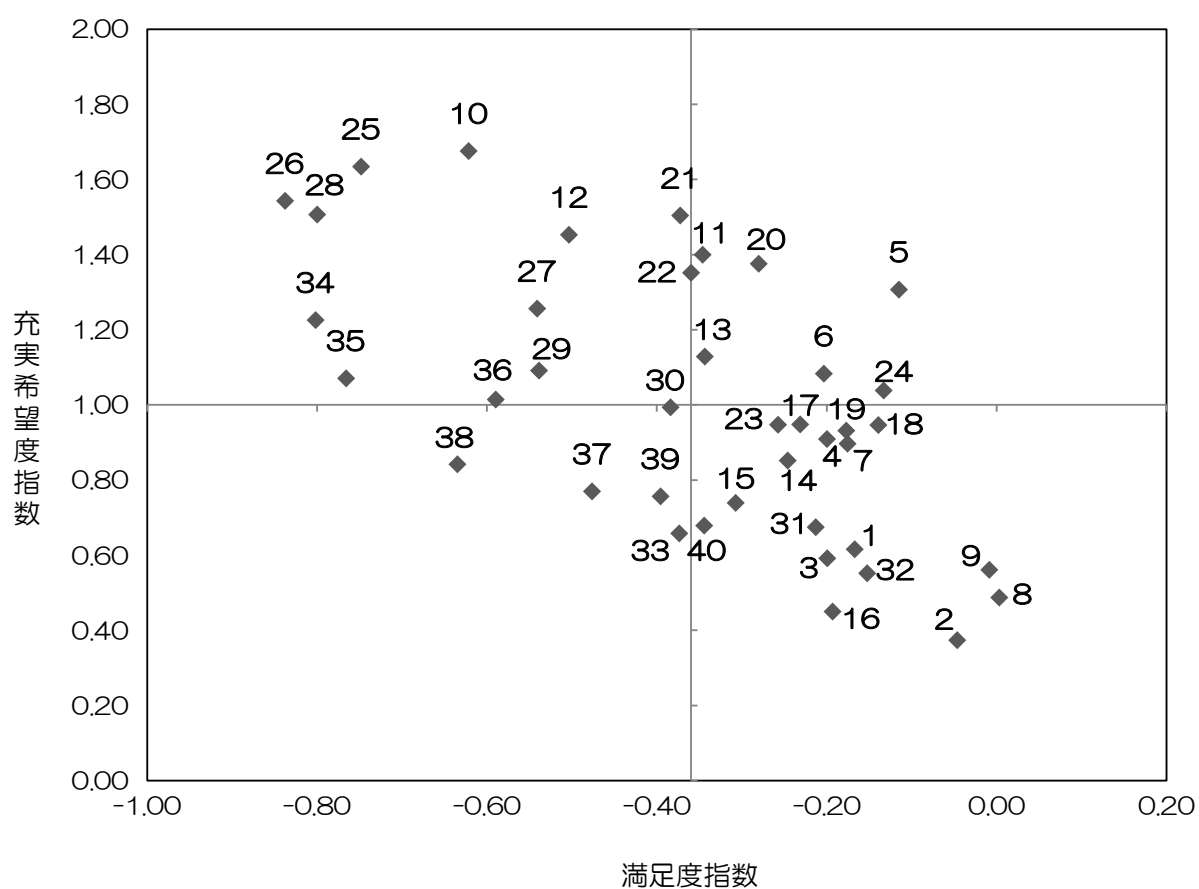
【性別：女性】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「20 防災対策の推進」「24 良好な住環境の創出と保全」「6 青少年の健全な育成」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「9 文化・芸術の振興・保存・継承」「2 自主的活動の推進と交流促進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」「25 歩いて暮らせるまちの実現」「34 商業の振興」「35 観光の振興」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「33 工業の振興」「38 経営的な視点からの財政運営」「37 計画行政の推進」「39 情報共有の推進」である。



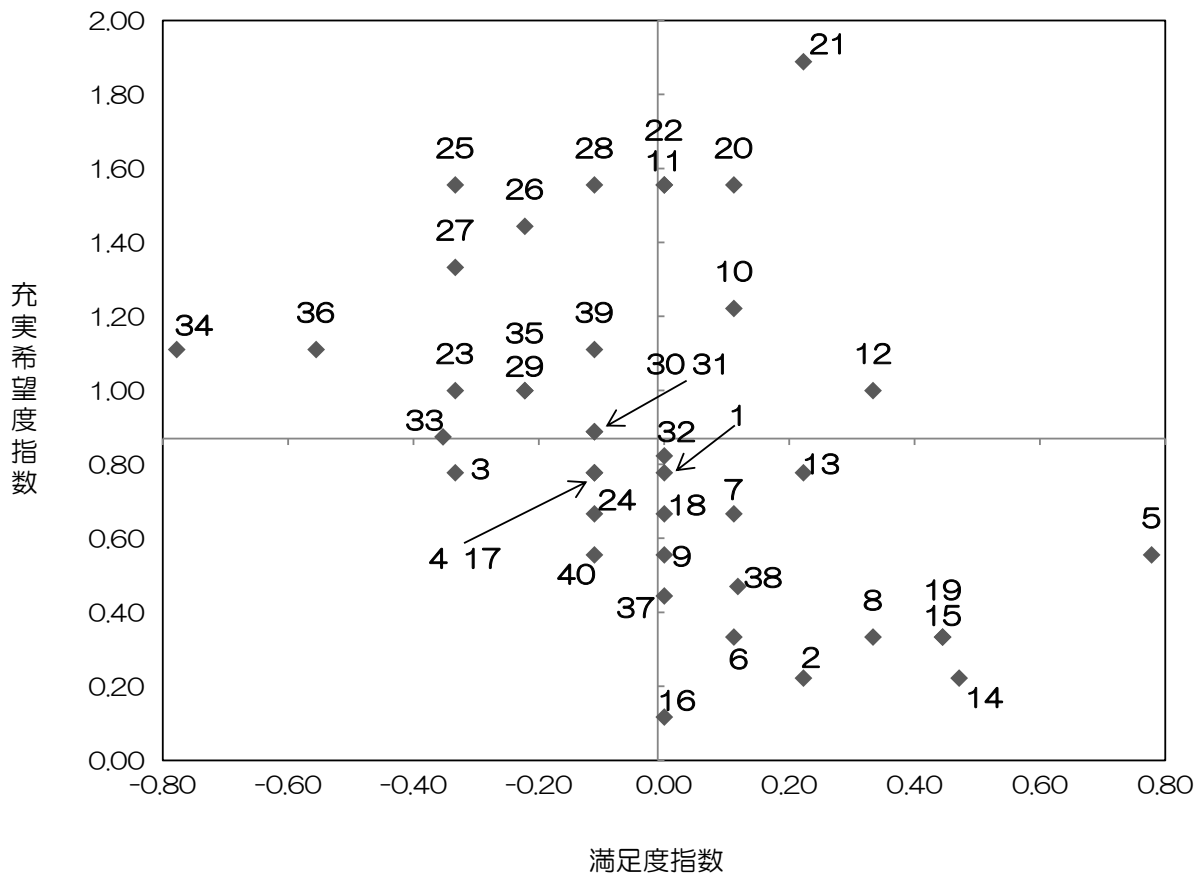
【年齢：18歳～19歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「21 防犯まちづくりの推進」「12 高齢者施策の充実」「20 防災対策の推進」「10 健康づくりの推進・医療の充実」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「5 学校教育の充実」「14 地域福祉の推進」「15 自立した生活への支援体制の充実」「19 快適で衛生的な地域環境の創出」「8 人権教育・啓発と平和の推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「34 商業の振興」「36 就労支援と勤労者福利厚生 of 充実」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「40 広域行政の推進」「24 良好な住環境の創出と保全」「4 就学前教育の支援・充実」「17 地球温暖化対策の推進」「3 男女共同参画社会の推進」である。



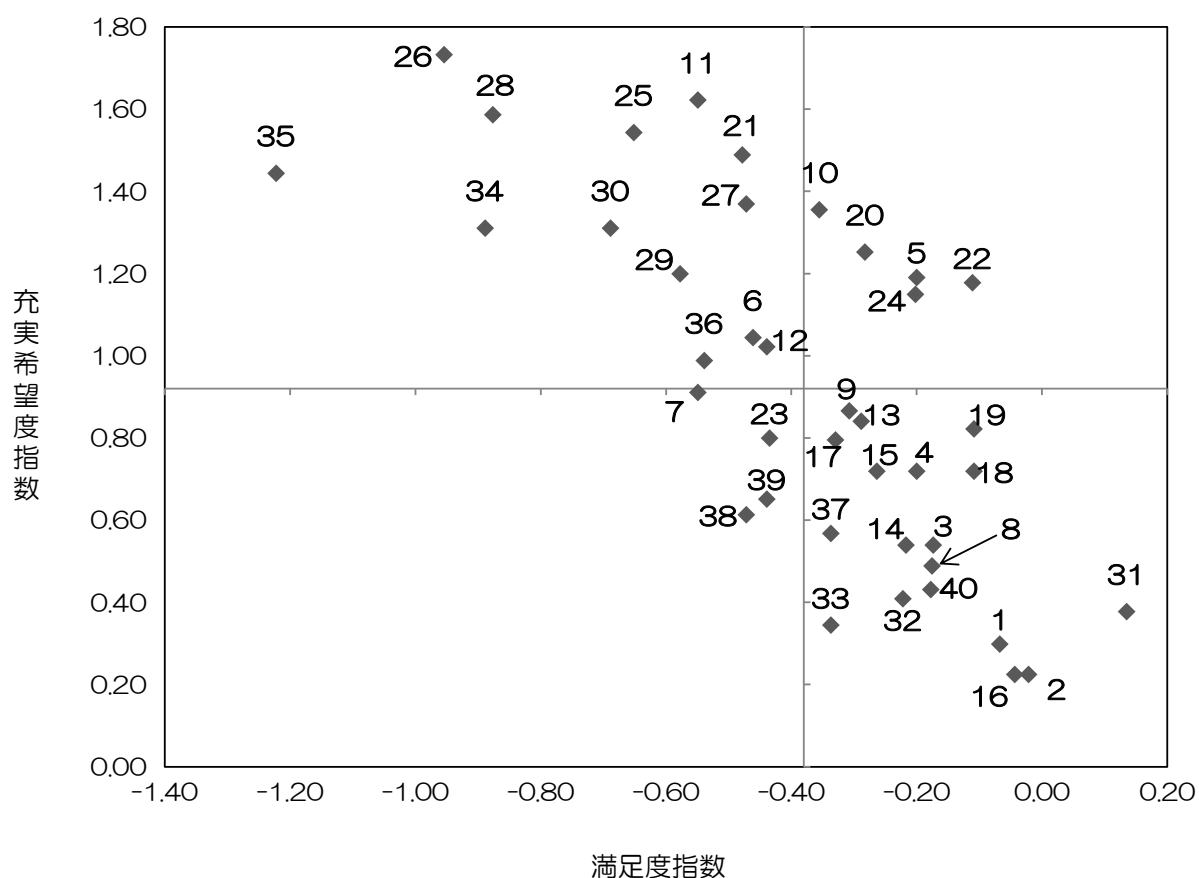
【年齢：20歳～29歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「22 交通安全対策の推進」「5 学校教育の充実」「24 良好な住環境の創出と保全」「20 防災対策の推進」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「31 治水対策の推進」「2 自主的活動の推進と交流促進」「16 ノーマライゼーションの推進」「1 協働の推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「35 観光の振興」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」「34 商業の振興」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「38 経営的な視点からの財政運営」「39 情報共有の推進」「23 安全な消費生活の確保」である。



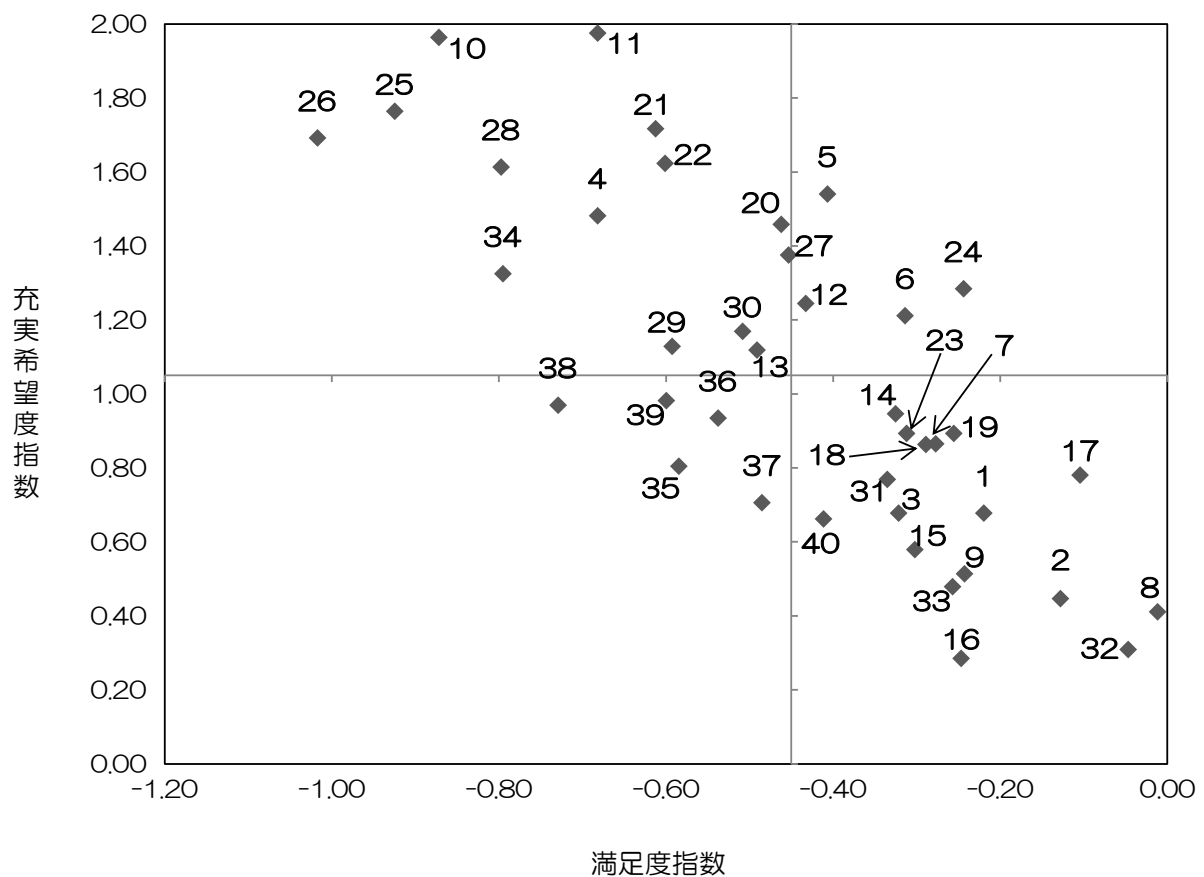
【年齢：30歳～39歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「24 良好な住環境の創出と保全」「6 青少年の健全な育成」「5 学校教育の充実」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「32 農業の振興」「17 地球温暖化対策の推進」「2 自主的活動の推進と交流促進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「25 歩いて暮らせるまちの実現」「10 健康づくりの推進・医療の充実」「28 生活道路の整備・改善」「34 商業の振興」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「37 計画行政の推進」「35 観光の振興」「38 経営的な視点からの財政運営」「39 情報共有の推進」などである。



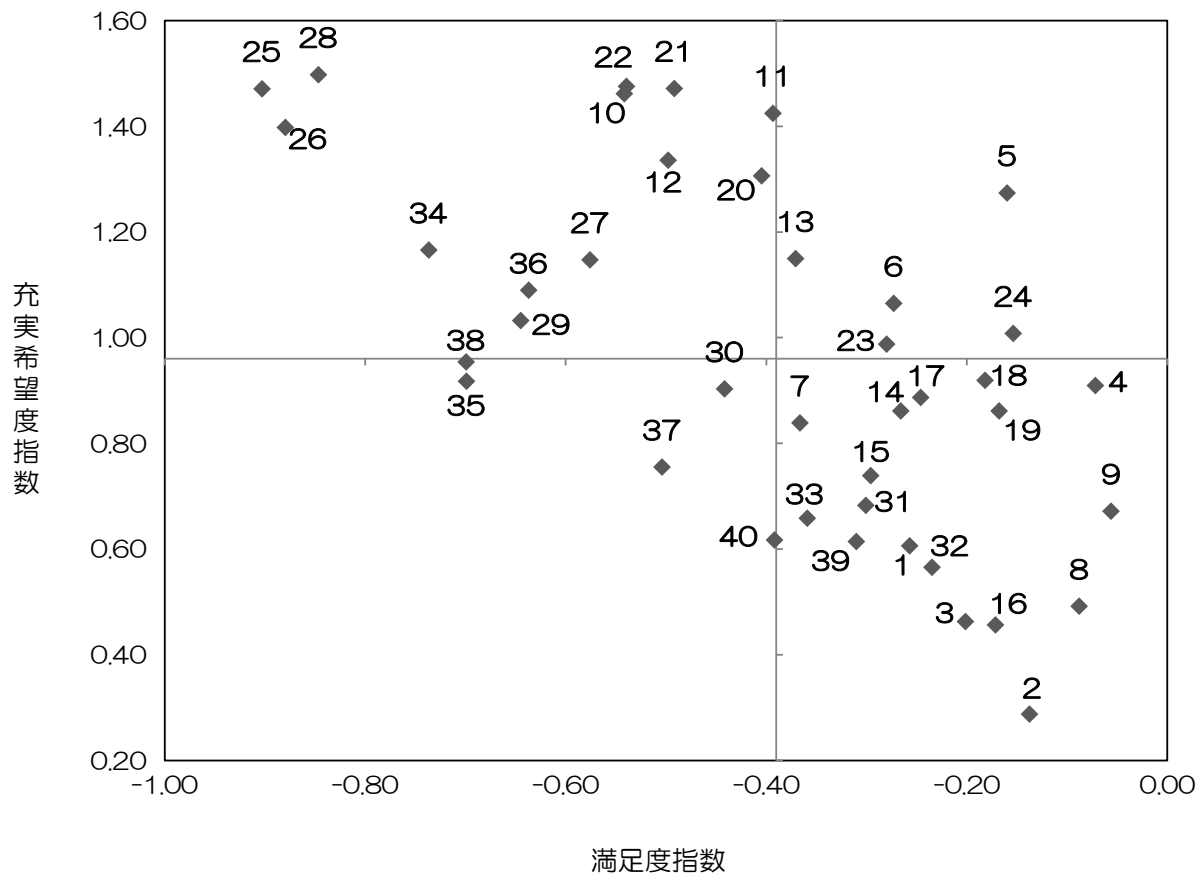
【年齢：40歳～49歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「24 良好な住環境の創出と保全」「6 青少年の健全な育成」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「9 文化・芸術の振興・保存・継承」「8 人権教育・啓発と平和の推進」「4 就学前教育の支援・充実」「2 自主的活動の推進と交流促進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「25 歩いて暮らせるまちの実現」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「37 計画行政の推進」「35 観光の振興」「30 みどり空間の創出」などである。



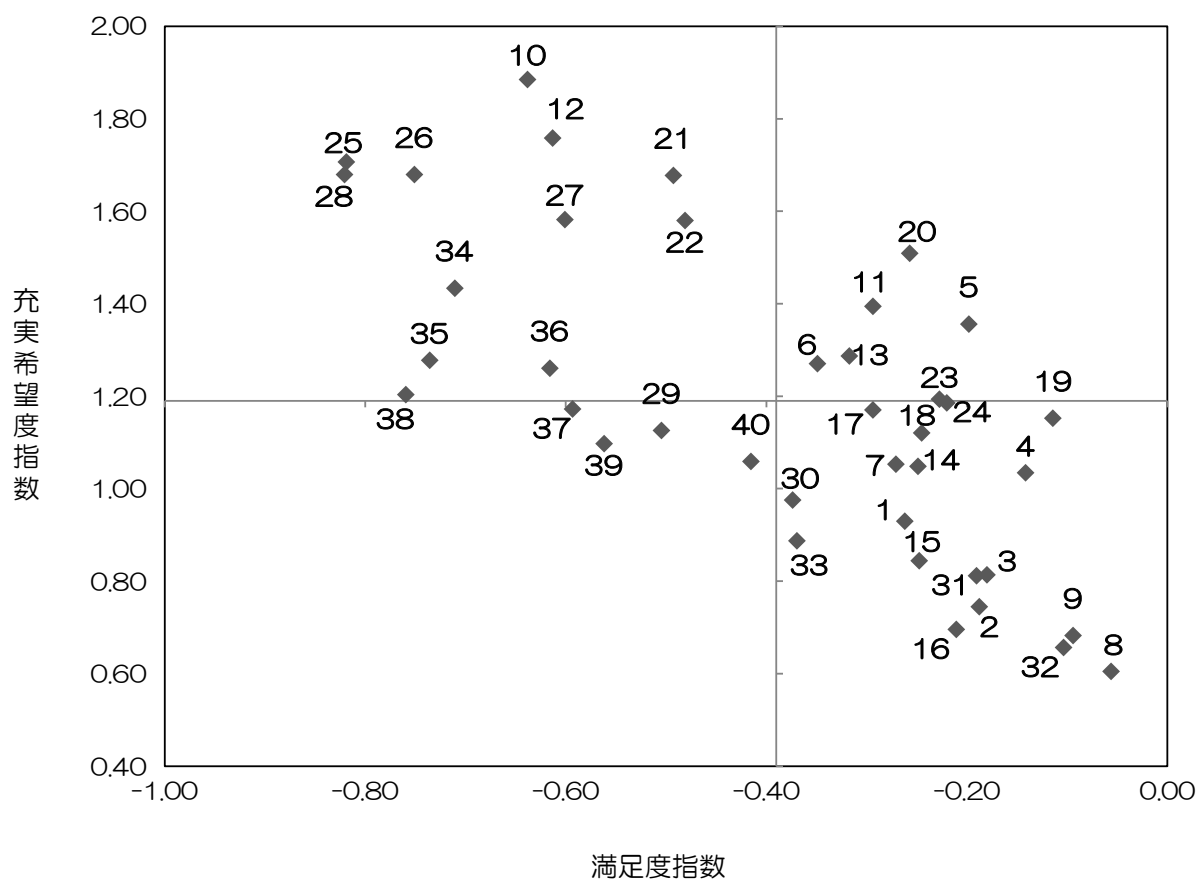
【年齢：50歳～59歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「20 防災対策の推進」「11 子育て支援の充実」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「9 文化・芸術の振興・保存・継承」「32 農業の振興」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「25 歩いて暮らせるまちの実現」「28 生活道路の整備・改善」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「40 広域行政の推進」「29 憩いの自然空間の保全と活用」「39 情報共有の推進」「37 計画行政の推進」である。



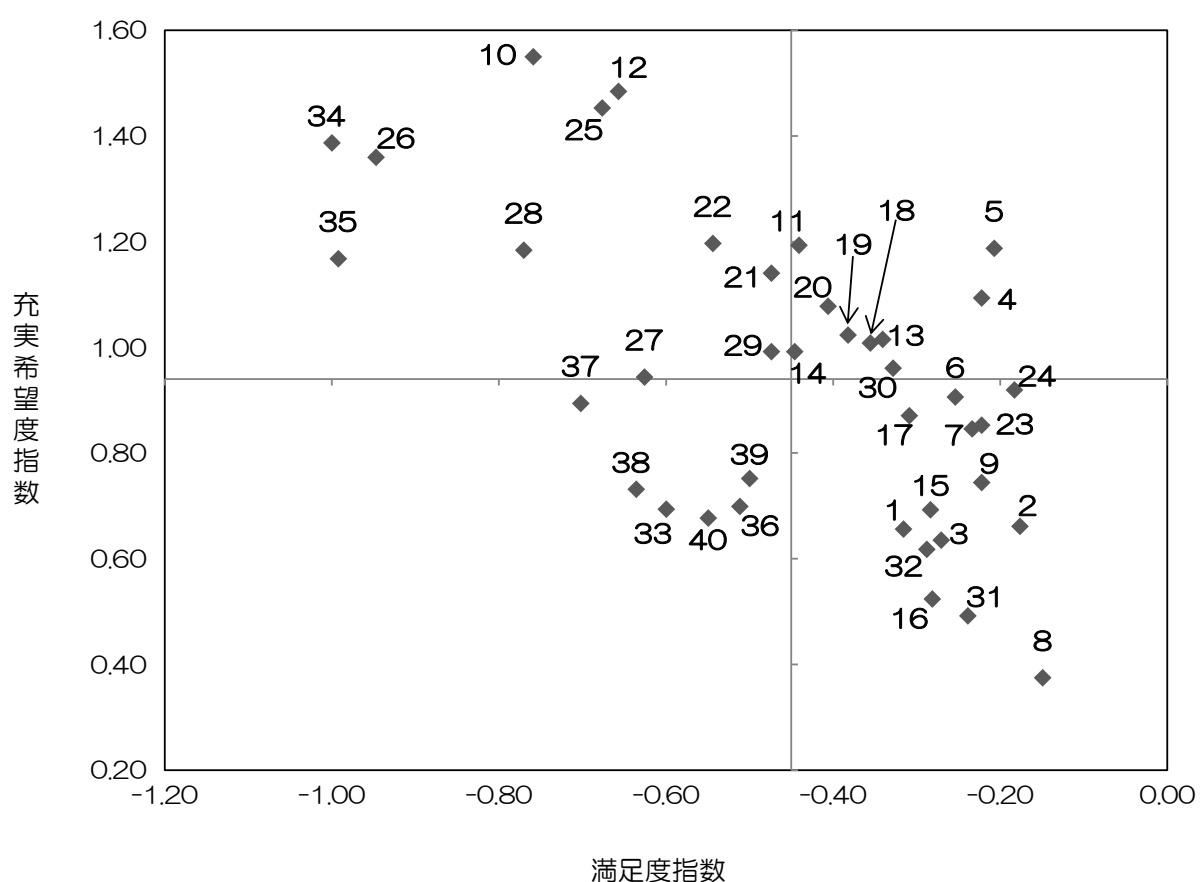
【年齢：60歳～64歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「4 就学前教育の支援・充実」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「2 自主的活動の推進と交流促進」「31 治水対策の推進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「34 商業の振興」「35 観光の振興」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「10 健康づくりの推進・医療の充実」「28 生活道路の整備・改善」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「40 広域行政の推進」「33 工業の振興」「36 就労支援と勤労者福利厚生の実現」などである。



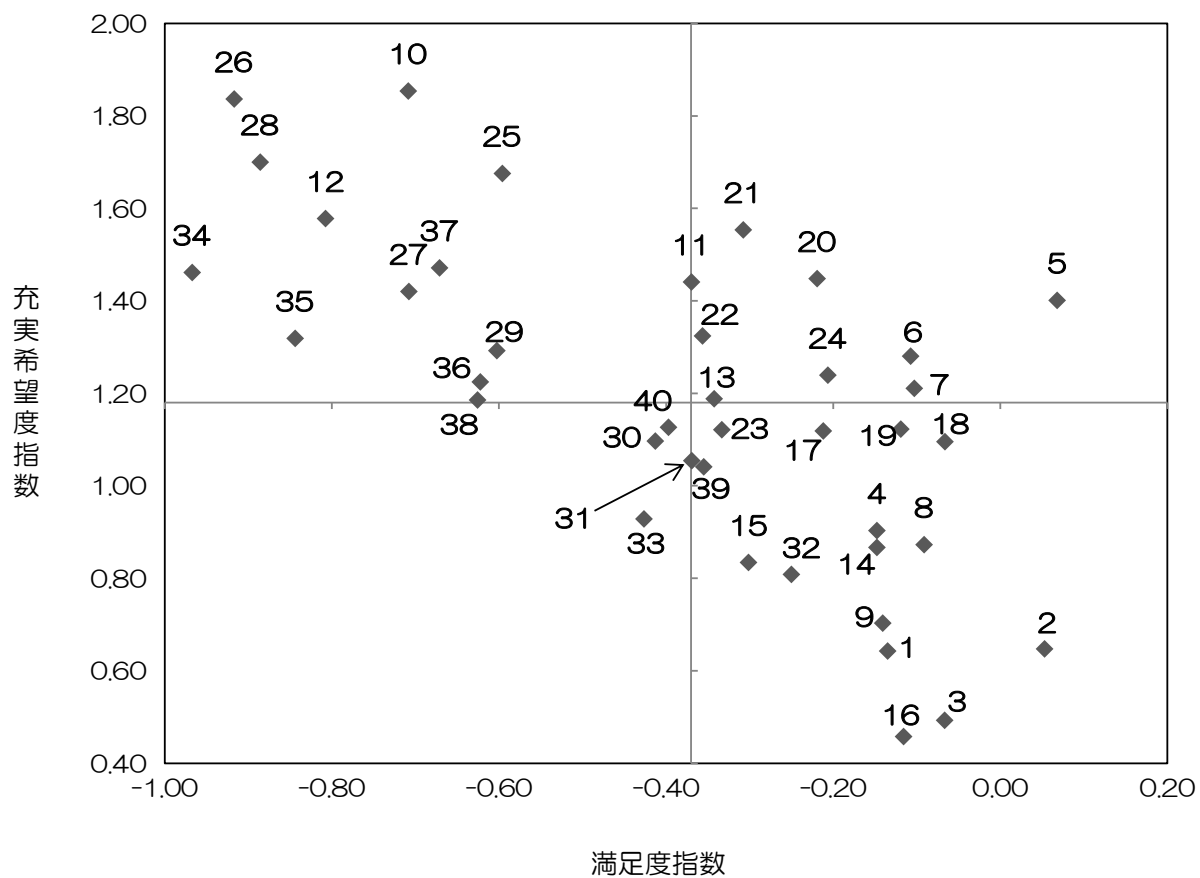
【年齢：65歳～69歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「6 青少年の健全な育成」「20 防災対策の推進」「21 防犯まちづくりの推進」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「2 自主的活動の推進と交流促進」「3 男女共同参画社会の推進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「34 商業の振興」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」「12 高齢者施策の充実」「10 健康づくりの推進・医療の充実」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「33 工業の振興」である。



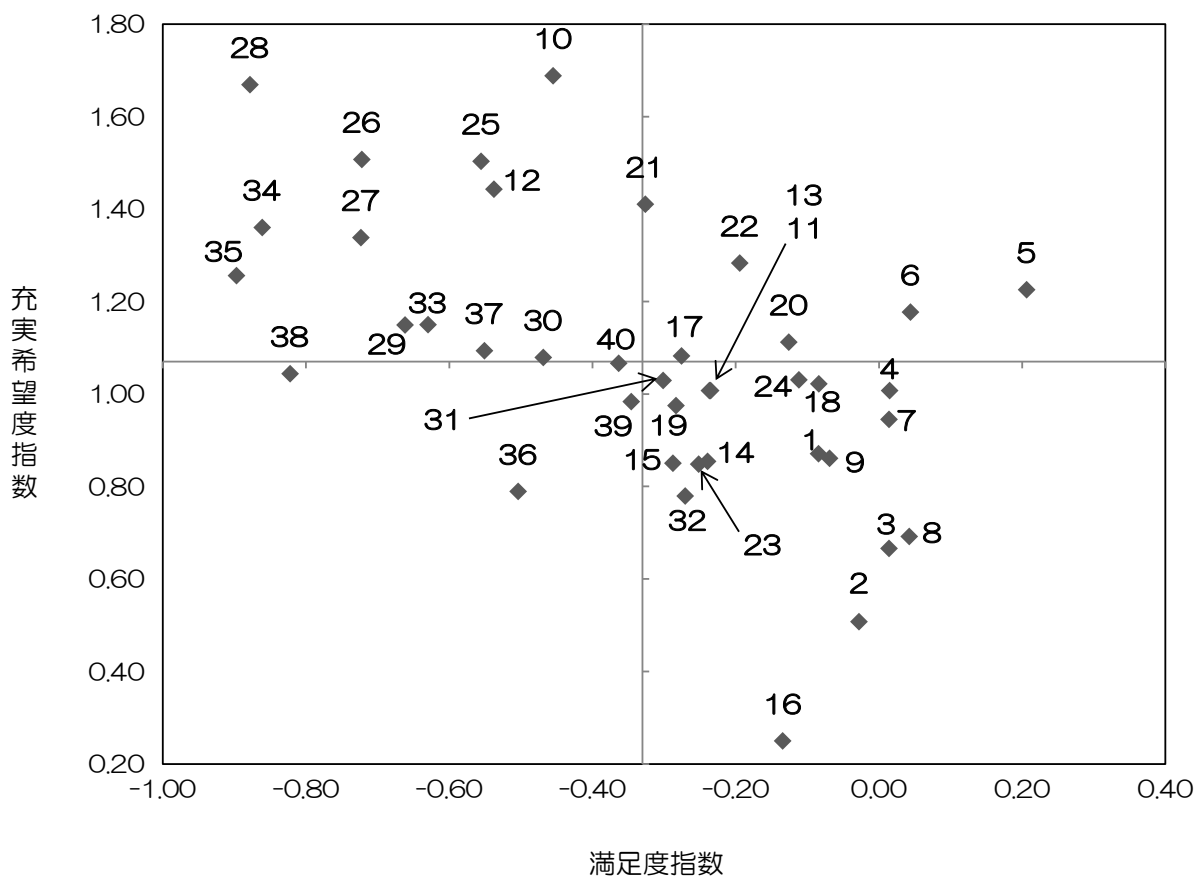
【年齢：70歳～74歳】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「6 青少年の健全な育成」「22 交通安全対策の推進」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「3 男女共同参画社会の推進」「2 自主的活動の推進と交流促進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「28 生活道路の整備・改善」「34 商業の振興」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「35 観光の振興」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「36 就労支援と勤労者福利厚生充実」である。



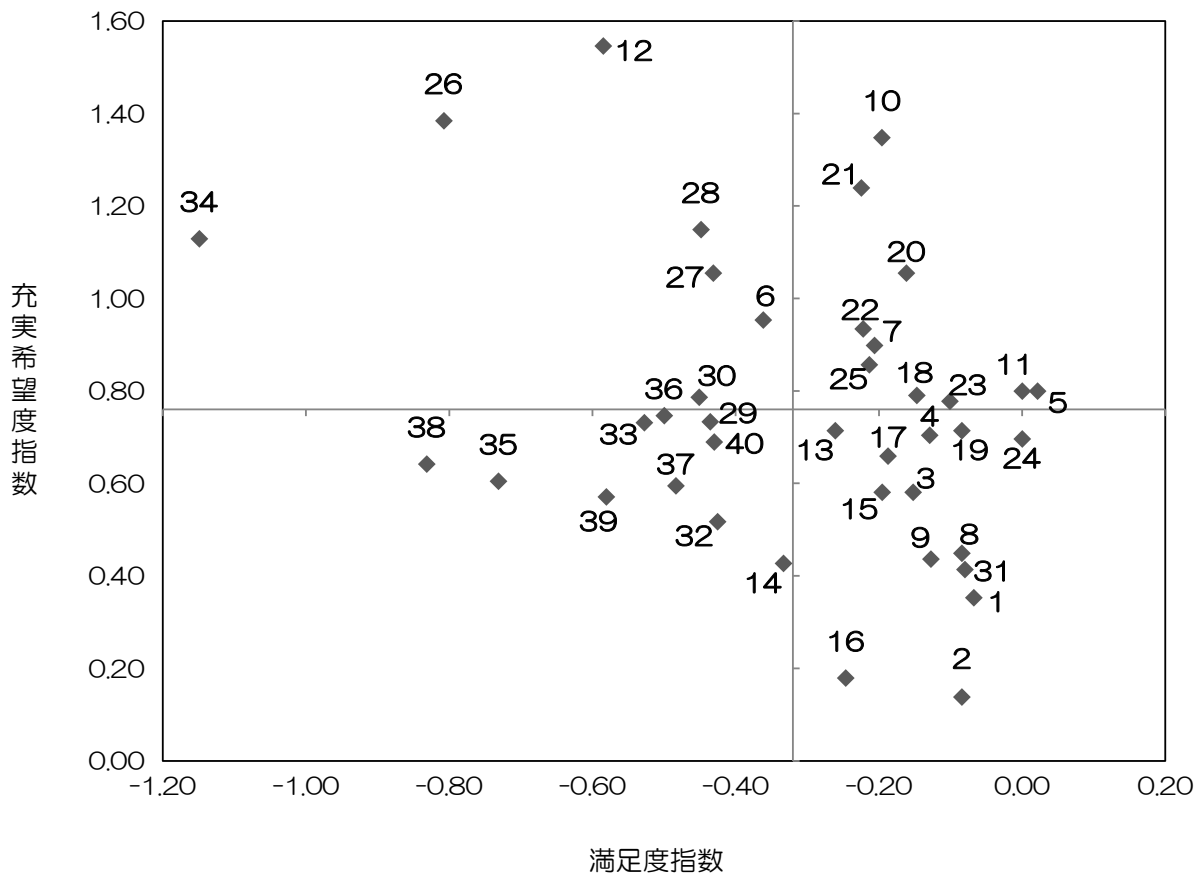
【年齢：75歳以上】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「10 健康づくりの推進・医療の充実」「21 防犯まちづくりの推進」「20 防災対策の推進」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「2 自主的活動の推進と交流促進」「1 協働の推進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「34 商業の振興」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「12 高齢者施策の充実」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「38 経営的な視点からの財政運営」「35 観光の振興」「39 情報共有の推進」などである。



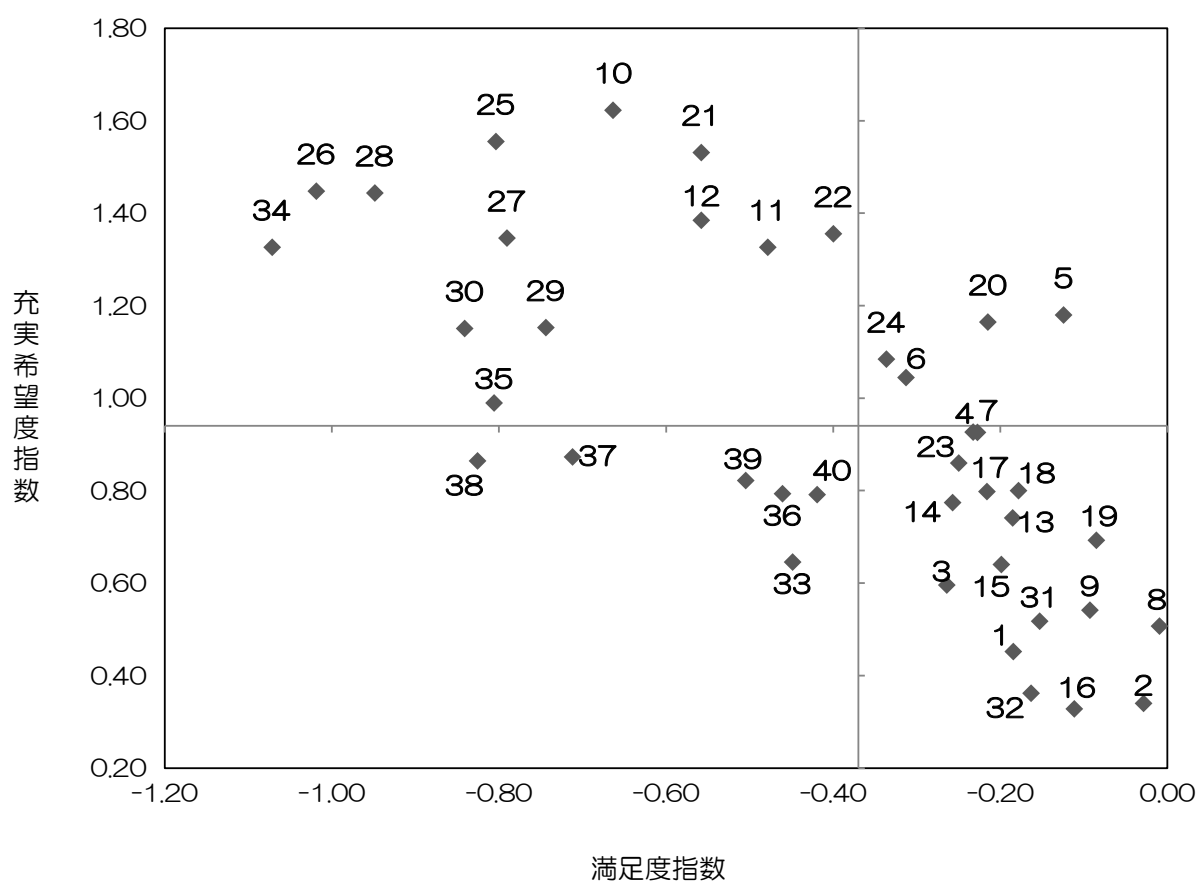
【地区： 駅東側周辺地区】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「20 防災対策の推進」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「2 自主的活動の推進と交流促進」「16 ノーマライゼーションの推進」「8 人権教育・啓発と平和の推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「34 商業の振興」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」「25 歩いて暮らせるまちの実現」「10 健康づくりの推進・医療の充実」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「33 工業の振興」「38 経営的な視点からの財政運営」「37 計画行政の推進」などである。



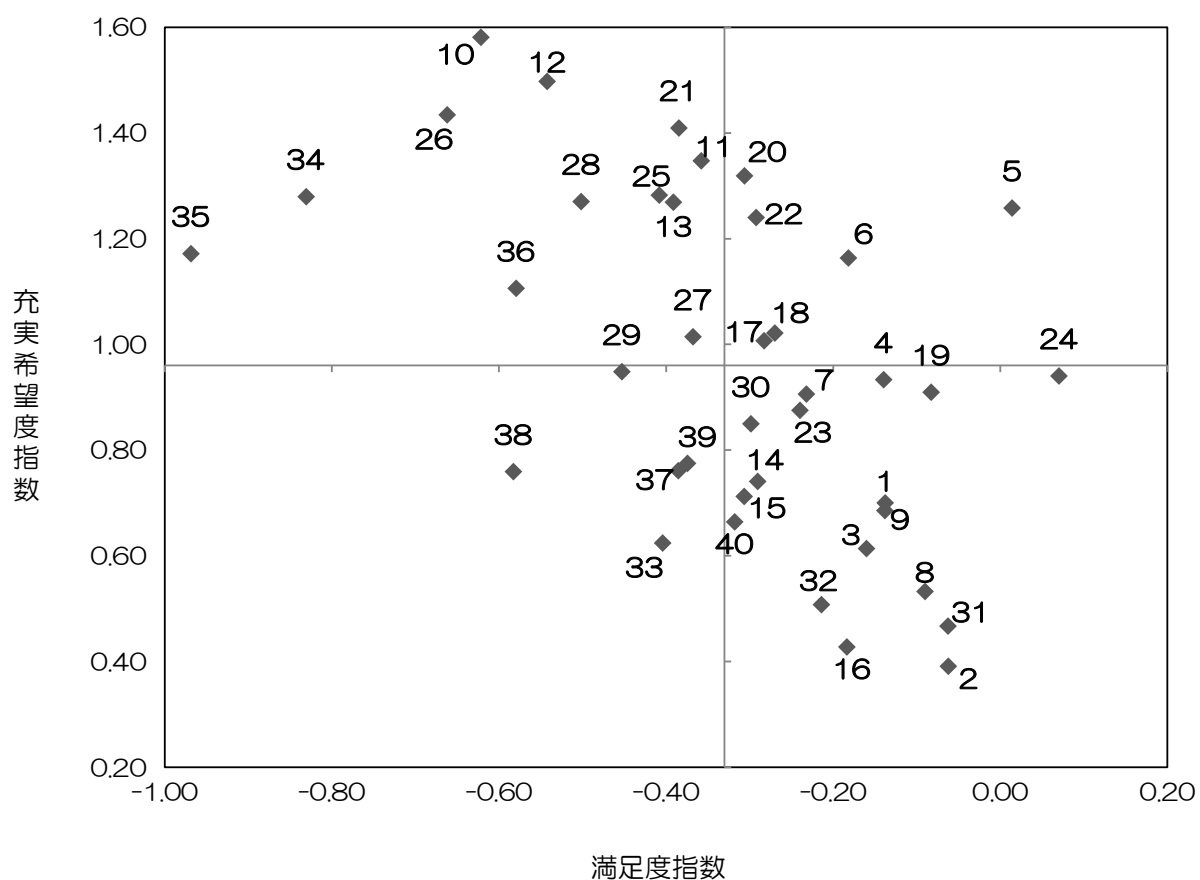
【地区： 駅西側周辺地区】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「6 青少年の健全な育成」「20 防災対策の推進」「22 交通安全対策の推進」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「2 自主的活動の推進と交流促進」「31 治水対策の推進」「8 人権教育・啓発と平和の推進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「35 観光の振興」「34 商業の振興」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「10 健康づくりの推進・医療の充実」「12 高齢者施策の充実」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「33 工業の振興」「37 計画行政の推進」「38 経営的な視点からの財政運営」「39 情報共有の推進」などである。



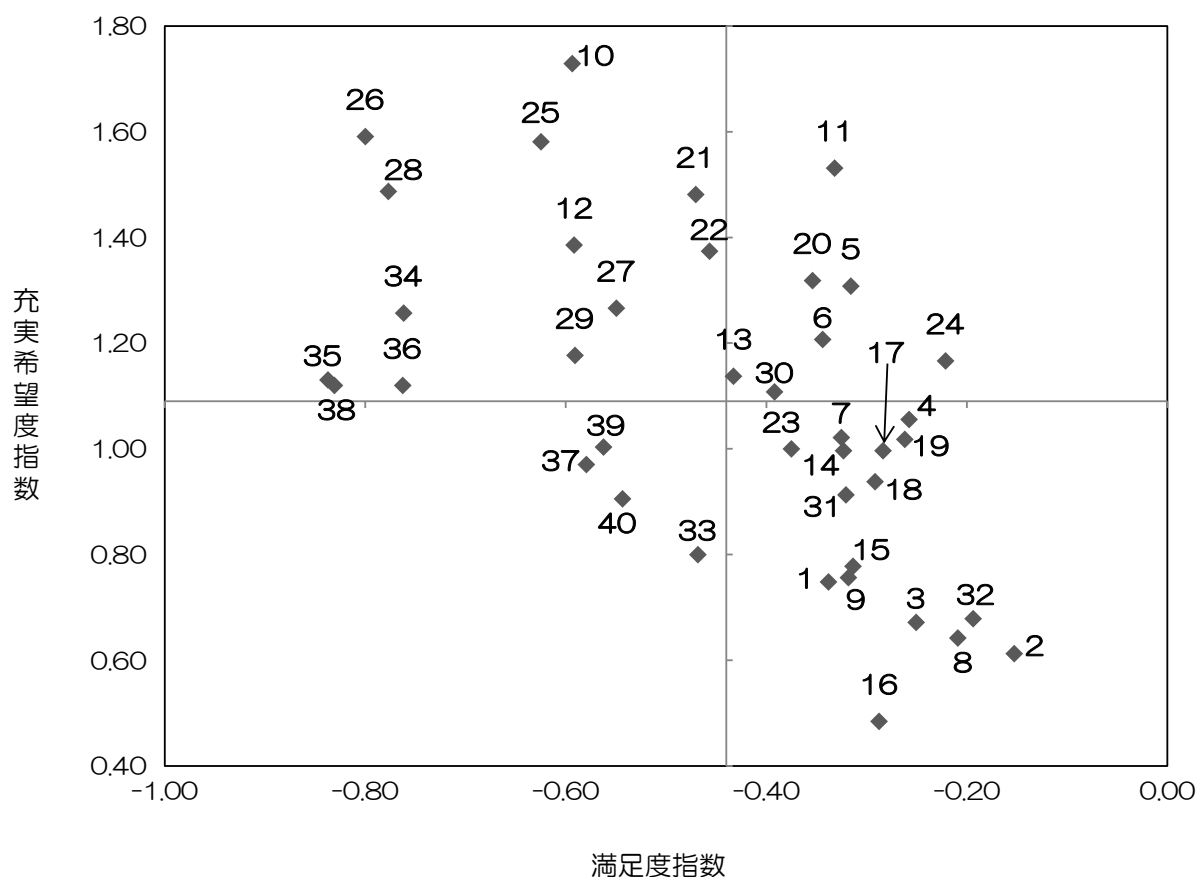
【地区：日出谷地区】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「11 子育て支援の充実」「20 防災対策の推進」「5 学校教育の充実」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「2 自主的活動の推進と交流促進」「32 農業の振興」「8 人権教育・啓発と平和の推進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」「25 歩いて暮らせるまちの実現」「10 健康づくりの推進・医療の充実」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「40 広域行政の推進」「33 工業の振興」「37 計画行政の推進」などである。



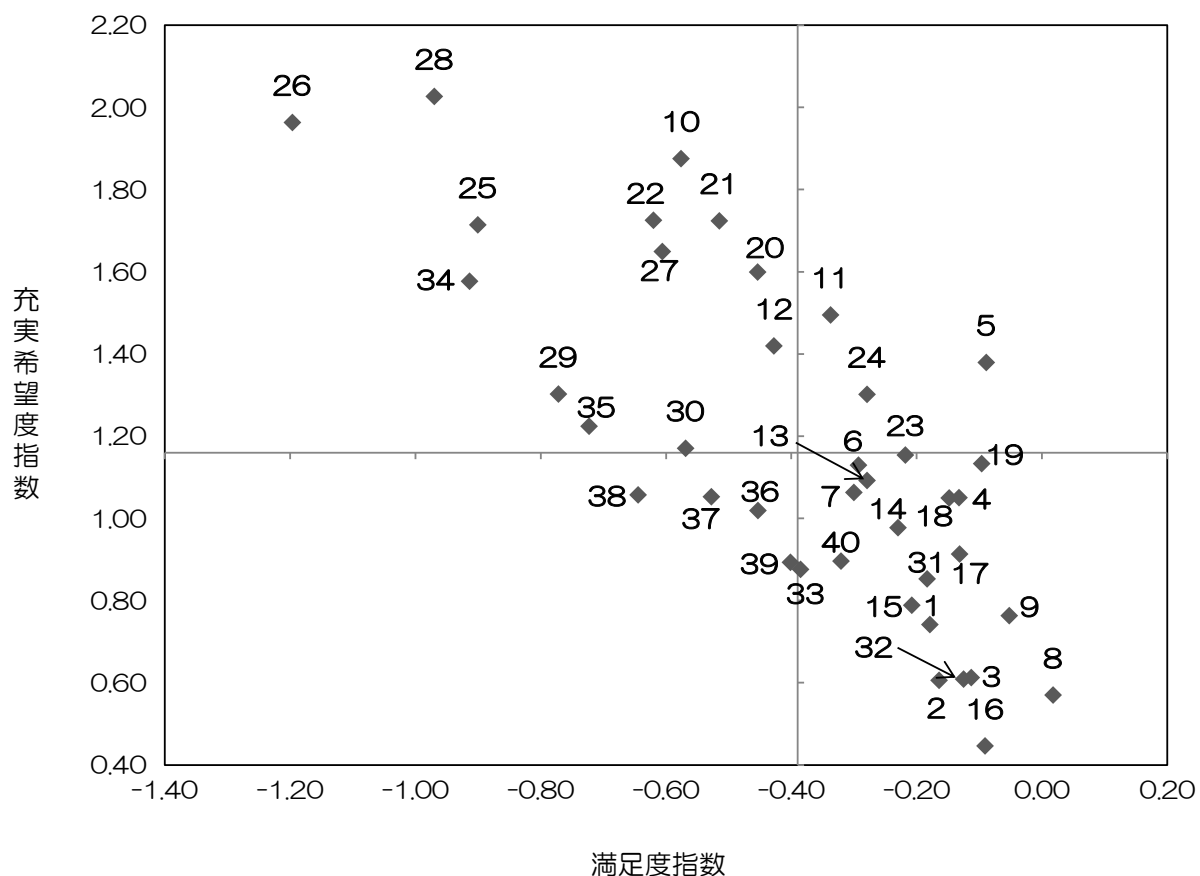
【地区：坂田地区】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「11 子育て支援の充実」「24 良好な住環境の創出と保全」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「16 ノーマライゼーションの推進」「3 男女共同参画社会の推進」「2 自主的活動の推進と交流促進」「32 農業の振興」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」「25 歩いて暮らせるまちの実現」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「38 経営的な視点からの財政運営」「37 計画行政の推進」などである。



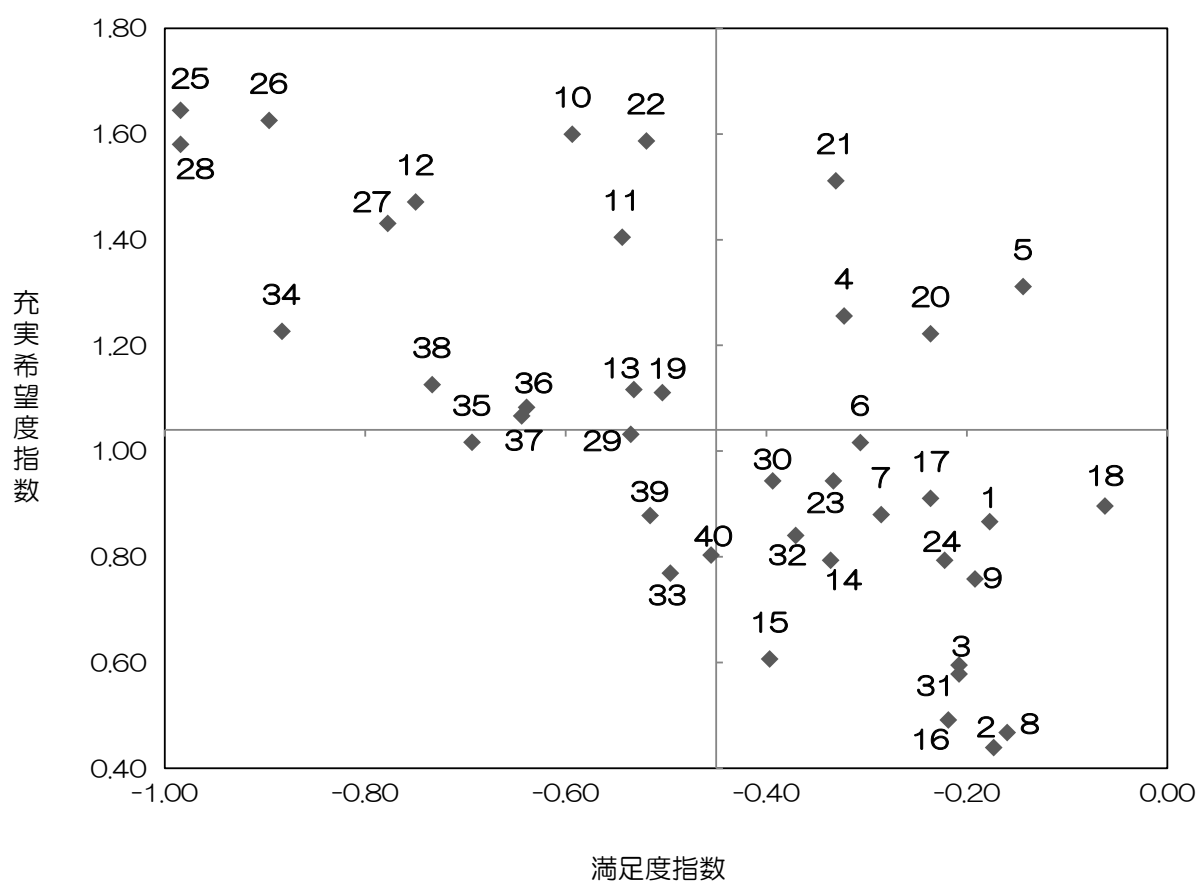
【地区：加納地区】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「21 防犯まちづくりの推進」「20 防災対策の推進」「4 就学前教育の支援・充実」であり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「2 自主的活動の推進と交流促進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「25 歩いて暮らせるまちの実現」「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」「28 生活道路の整備・改善」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「33 工業の振興」「39 情報共有の推進」などである。



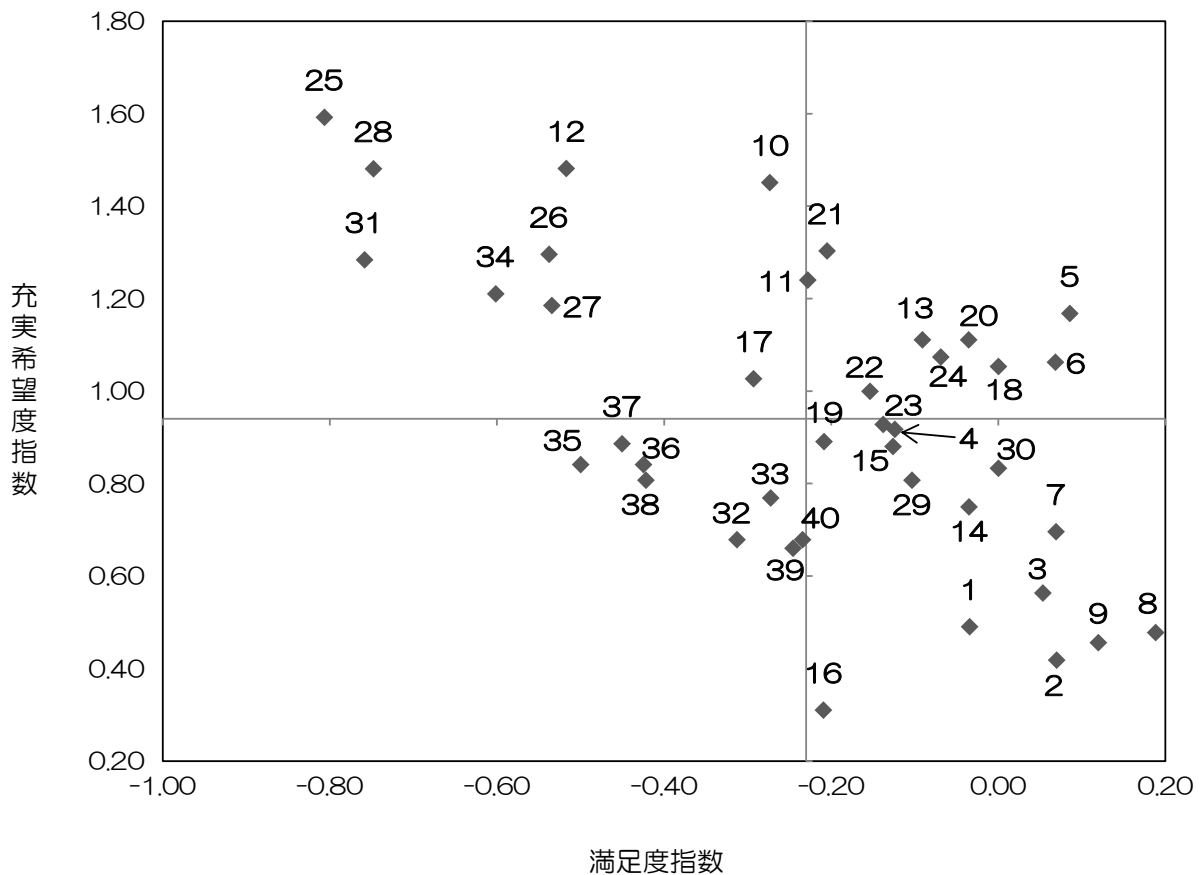
【地区：川田谷地区】

満足度、充実希望度ともに比較的高い項目は「5 学校教育の充実」「6 青少年の健全な育成」「21 防犯まちづくりの推進」「20 防災対策の推進」などであり、重点的な強化が求められる。

満足度は比較的高いが充実希望度が低い項目は「8 人権教育・啓発と平和の推進」「9 文化・芸術の振興・保存・継承」「2 自主的活動の推進と交流促進」「16 ノーマライゼーションの推進」などである。

満足度が比較的低いが、充実希望度は高い項目は「25 歩いて暮らせるまちの実現」「28 生活道路の整備・改善」「31 治水対策の推進」「12 高齢者施策の充実」などであり、重点的な改善が求められる。

満足度、充実希望度ともに比較的低い項目は「32 農業の振興」「39 情報共有の推進」「38 経営的な視点からの財政運営」などである。



【教育・文化 × 同居家族の年齢】

「就学前教育の支援・充実」の満足度が最も低く充実希望度が最も高いのは、0～6歳の家族と同居している方となっている。

「学校教育の充実」「青少年の健全な育成」「生涯学習・生涯スポーツの充実」の満足度が最も低いのは、7～15歳の家族と同居している方となっている。また、「学校教育の充実」「青少年の健全な育成」の充実希望度が最も高いのは、7～15歳の家族と同居している方となっており、「生涯学習・生涯スポーツの充実」の充実希望度が最も高いのは、16～19歳の家族と同居している方となっている。

分野	項目	0～6歳		7～15歳		16～19歳		20～64歳		65歳以上	
		満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度
教育・文化	就学前教育の支援・充実	-0.63	<u>1.63</u>	-0.36	1.36	-0.13	0.93	-0.21	1.07	-0.11	0.89
	学校教育の充実	-0.32	1.59	-0.39	<u>1.72</u>	-0.05	1.32	-0.14	1.32	-0.05	1.16
	青少年の健全な育成	-0.36	1.41	-0.47	<u>1.45</u>	-0.31	1.17	-0.28	1.15	-0.18	1.11
	生涯学習・生涯スポーツの充実	-0.36	1.02	-0.42	1.03	-0.39	<u>1.21</u>	-0.28	0.95	-0.12	0.85
	人権教育・啓発と平和の推進	0.01	0.45	-0.07	0.59	0.02	<u>0.73</u>	-0.04	0.53	-0.10	0.60
	文化・芸術の振興・保存・継承	-0.11	0.53	-0.16	0.66	-0.17	<u>0.94</u>	-0.15	0.67	-0.11	0.72

※満足度の太字は項目における最も低い値で、充実希望度の下線は項目における最も高い値を表す。

【健康・福祉 × 同居家族の年齢】

「健康づくりの推進」「子育て支援の充実」の満足度が最も低く充実希望度が最も高いのは、0～6歳の家族と同居している方となっている。

「高齢者施策の充実」「障害者（児）支援の充実」「地域福祉の推進」「自立した生活への支援体制の充実」の満足度が最も低いのは、65歳以上の家族と同居している方となっている。また、「高齢者施策の充実」「自立した生活への支援体制の充実」の充実希望度が最も高いのは、65歳以上の家族と同居している方となっており、「地域福祉の推進」の充実希望度が最も高いのは、0～6歳の家族と同居している方となっている。

分野	項目	0～6歳		7～15歳		16～19歳		20～64歳		65歳以上	
		満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度
健康・福祉	健康づくりの推進	-0.76	<u>1.78</u>	-0.52	1.52	-0.22	1.42	-0.55	1.67	-0.56	1.67
	子育て支援の充実	-0.73	<u>2.20</u>	-0.54	1.80	-0.31	1.50	-0.40	1.51	-0.34	1.22
	高齢者施策の充実	-0.45	1.14	-0.38	1.27	-0.32	1.56	-0.50	1.39	-0.68	<u>1.63</u>
	障害者（児）支援の充実	-0.30	1.01	-0.27	1.11	-0.28	<u>1.28</u>	-0.31	1.09	-0.36	1.04
	地域福祉の推進	-0.21	<u>0.90</u>	-0.24	0.86	-0.03	0.81	-0.24	0.84	-0.27	0.88
	自立した生活への支援体制の充実	-0.23	0.47	-0.25	0.75	-0.11	0.77	-0.24	0.69	-0.31	<u>0.85</u>
	ノーマライゼーションの推進	-0.20	0.31	-0.18	0.53	-0.13	<u>0.68</u>	-0.17	0.46	-0.16	0.32

※満足度の太字は項目における最も低い値で、充実希望度の下線は項目における最も高い値を表す。

【産業 × 職業】

「農業の振興」の満足度が最も低く充実希望度が最も高いのは、農林水産業（第1次産業）となっており、また、「商業の振興」の満足度も最も低くなっている。

「工業の振興」「観光の振興」の満足度が最も低いのは、社会福祉関係（第3次産業）となっており、「工業の振興」「観光の振興」の充実希望度が最も高いのは、農林水産業（第1次産業）となっている。

「就労支援と勤労者福利厚生」の満足度が最も低く、充実希望度が最も高いのは、社会福祉関係（第3次産業）となっている。

分野	項目	農林水産業 (第1次産業)		建設・土木業 (第2次産業)		製造業など建設・ 土木業以外 (第2次産業)		社会福祉関係 (第3次産業)		商業・サービス業 など社会福祉関係 以外 (第3次産業)		派遣社員・パート・ アルバイト		学生		専業主婦・専業主 夫		無職		その他	
		満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度	満足度	充実希望度
産業	農業の振興	-1.80	<u>2.00</u>	-0.43	0.78	-0.13	0.67	-0.35	0.64	-0.24	0.56	-0.15	0.45	0.00	0.67	-0.10	0.59	-0.26	0.56	-0.26	0.75
	工業の振興	-0.40	<u>1.20</u>	-0.36	0.59	-0.43	0.88	-0.50	0.40	-0.42	0.73	-0.38	0.57	-0.32	0.80	-0.42	0.66	-0.48	0.94	-0.33	1.00
	商業の振興	-1.33	1.33	-0.86	1.24	-1.03	<u>1.69</u>	-1.12	1.24	-0.90	1.40	-0.74	1.11	-0.89	1.51	-0.71	1.19	-0.93	1.37	-0.87	1.61
	観光の振興	-0.80	<u>2.00</u>	-0.91	1.20	-0.64	0.94	-1.23	1.48	-0.82	1.12	-0.66	0.83	-0.79	1.46	-0.83	1.04	-0.78	1.13	-0.81	1.31
	就労支援と勤労者福利厚生	-0.80	1.00	-0.40	0.89	-0.52	1.06	-1.19	<u>1.52</u>	-0.58	0.99	-0.75	1.40	-0.43	1.19	-0.51	0.81	-0.46	0.85	-0.42	0.94

※満足度の太字は項目における最も低い値で、充実希望度の下線は項目における最も高い値を表す。

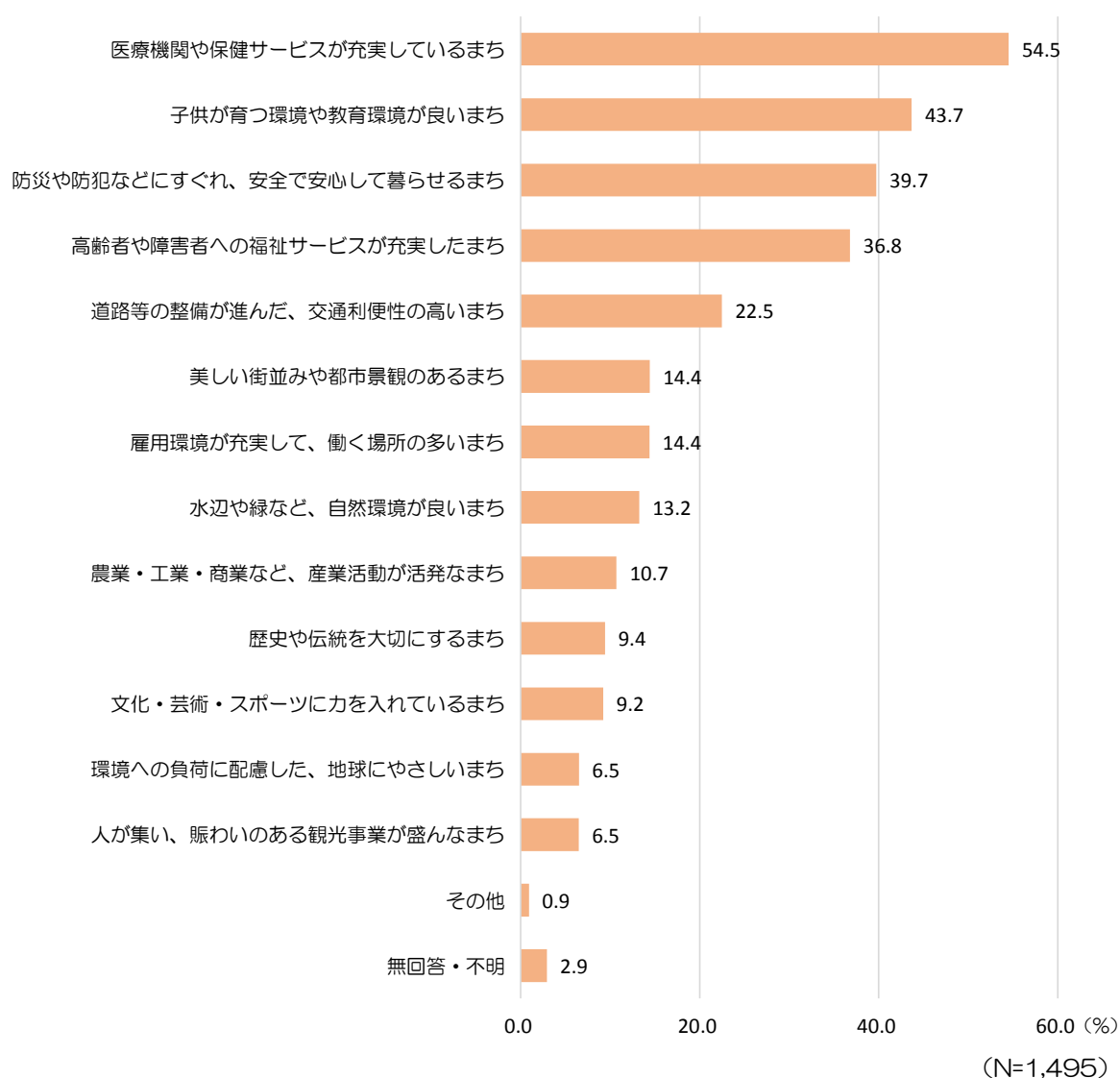
6. 桶川市の将来像について

(1) 桶川市の将来像

問 26 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「医療機関や保健サービスが充実しているまち」との回答が54.5%と最も多く、次いで「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」43.7%、「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」39.7%、「高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち」36.8%が主なところである。



【経年変化】

前回調査（平成24年度）と比較すると、上位2項目については順位の変化がなく、いずれも前回調査より割合が増加している。また、上位5項目においては、順位の変動はあるものの、項目の構成に変化はない。

	前回調査 (平成24年度)		今回調査 (平成26年度)		H24との 順位比較
1位	医療機関や保健サービスが充実しているまち	44.4%	医療機関や保健サービスが充実しているまち	54.5%	→
2位	子供が育つ環境や教育環境が良いまち	42.6%	子供が育つ環境や教育環境が良いまち	43.7%	→
3位	高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち	35.7%	防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち	39.7%	↗
4位	防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち	30.9%	高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち	36.8%	↘
5位	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	21.7%	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	22.5%	→
6位	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	16.8%	美しい街並みや都市景観のあるまち	14.4%	↗
7位	水辺や緑など、自然環境が良いまち	15.5%	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	14.4%	↘
8位	美しい街並みや都市景観のあるまち	14.2%	水辺や緑など、自然環境が良いまち	13.2%	↘
9位	歴史や伝統を大切にするまち	10.8%	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	10.7%	↗
10位	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	10.4%	歴史や伝統を大切にするまち	9.4%	↘

ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっており、次いで「子供が育つ環境や教育環境が良いまち」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「子供が育つ環境や教育環境が良いまち」、その他の年齢では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっている。また、18歳～19歳では「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」も最も高くなっている。第2位は、40歳～49歳では「子供が育つ環境や教育環境が良いまち」、50歳～59歳、65歳～69歳では「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」、60歳～64歳、70歳～74歳、75歳以上では「高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち」、それ以外の年齢では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」となっている。

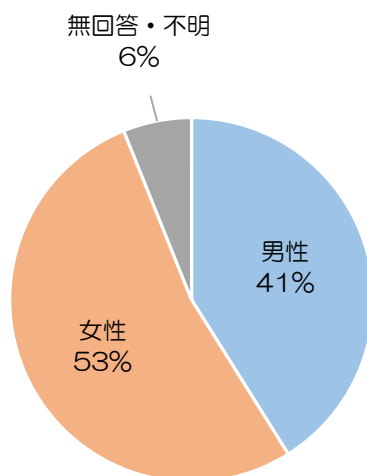
地区で見ると、全地区において「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっており、次いで坂田地区では「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」、それ以外の地区では「子供が育つ環境や教育環境が良いまち」となっている。

	合計	子供が育つ環境や教育環境が良いまち	文化・芸術・スポーツに力を入れているまち	歴史や伝統を大切にしているまち	医療機関や保健サービスが充実しているまち	福祉サービスが充実したまち	高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち	地球にやさしいまち	防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち	美しい街並みや都市景観のあるまち	道路利便性の高いまち	水辺や緑など、自然環境の良いまち	産業・工業・商業などが活況を呈しているまち	観光事業が盛んなまち	人が美しい、賑わいのあるまち	働く場所の多いまち	その他	無回答・不明
全体	1,495 100.0%	653 43.7%	138 9.2%	141 9.4%	815 54.5%	550 36.8%	97 6.5%	594 39.7%	215 14.4%	336 22.5%	198 13.2%	160 10.7%	97 6.5%	215 14.4%	14 0.9%	44 2.9%		
性別	男性	614 100.0%	267 43.5%	66 10.7%	74 12.1%	315 51.3%	222 36.2%	35 5.7%	232 37.8%	107 17.4%	152 24.8%	103 16.8%	72 11.7%	38 6.2%	78 12.7%	7 1.1%	7 1.1%	
	女性	790 100.0%	360 45.6%	65 8.2%	63 8.0%	465 58.9%	300 38.0%	54 6.8%	342 43.3%	174 22.0%	174 22.0%	90 11.4%	83 10.5%	55 7.0%	124 15.7%	6 0.8%	7 0.9%	
	無回答・不明	91 100.0%	26 28.6%	7 7.7%	4 4.4%	35 38.5%	28 30.8%	8 8.8%	20 22.0%	9 9.9%	10 11.0%	5 5.5%	5 5.5%	4 4.4%	13 14.3%	1 1.1%	30 33.0%	
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	8 44.4%	4 22.2%	4 22.2%	7 38.9%	3 16.7%	1 5.6%	8 44.4%	3 16.7%	4 22.2%	3 16.7%	2 11.1%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	
	20歳～29歳	97 100.0%	49 50.5%	11 11.3%	10 10.3%	43 44.3%	25 25.8%	7 7.2%	38 39.2%	20 20.6%	25 25.8%	13 13.4%	13 13.4%	9 9.3%	17 17.5%	0 0.0%	1 1.0%	
	30歳～39歳	182 100.0%	122 67.0%	14 7.7%	14 7.7%	103 56.6%	44 24.2%	6 3.3%	75 41.2%	30 16.5%	46 25.3%	24 13.2%	17 9.3%	13 7.1%	23 12.6%	0 0.0%	2 1.1%	
	40歳～49歳	270 100.0%	128 47.4%	26 9.6%	19 7.0%	138 51.1%	90 33.3%	16 5.9%	117 43.3%	42 15.6%	65 24.1%	32 11.9%	21 7.8%	17 6.3%	37 13.7%	5 1.9%	7 2.6%	
	50歳～59歳	230 100.0%	81 35.2%	14 6.1%	27 11.7%	139 60.4%	94 40.9%	16 7.0%	98 42.6%	39 17.0%	55 23.9%	27 11.7%	22 9.6%	16 7.0%	30 13.0%	2 0.9%	4 1.7%	
	60歳～64歳	152 100.0%	57 37.5%	14 9.2%	18 11.8%	84 55.3%	61 40.1%	13 8.6%	52 34.2%	22 14.5%	30 19.7%	22 14.5%	28 18.4%	13 8.6%	20 13.2%	1 0.7%	4 2.6%	
	65歳～69歳	179 100.0%	78 43.6%	16 8.9%	14 7.8%	103 57.5%	70 39.1%	12 6.7%	84 46.9%	18 10.1%	37 20.7%	30 16.8%	17 9.5%	10 5.6%	26 14.5%	0 0.0%	2 1.1%	
	70歳～74歳	178 100.0%	68 38.2%	18 10.1%	14 7.9%	106 59.6%	80 44.9%	8 4.5%	64 36.0%	22 12.4%	33 18.5%	23 12.9%	22 12.4%	8 4.5%	25 14.0%	4 2.2%	7 3.9%	
	75歳以上	131 100.0%	45 34.4%	16 12.2%	13 9.9%	72 55.0%	61 46.6%	10 7.6%	47 35.9%	12 9.2%	26 19.8%	17 13.0%	14 10.7%	6 4.6%	18 13.7%	1 0.8%	8 6.1%	
	無回答・不明	58 100.0%	17 29.3%	5 8.6%	8 13.8%	20 34.5%	22 37.9%	8 13.8%	11 19.0%	7 12.1%	15 25.9%	7 12.1%	4 6.9%	5 8.6%	17 29.3%	1 1.7%	8 13.8%	
地区	駅東側周辺	238 100.0%	104 43.7%	20 8.4%	23 9.7%	125 52.5%	90 37.8%	12 5.0%	95 39.9%	35 14.7%	59 24.8%	29 12.2%	27 11.3%	18 7.6%	37 15.5%	2 0.8%	4 1.7%	
	駅西側周辺	321 100.0%	145 45.2%	31 9.7%	33 10.3%	189 58.9%	125 38.9%	22 6.9%	131 40.8%	55 17.1%	60 18.7%	32 10.0%	36 11.2%	20 6.2%	37 11.5%	2 0.6%	7 2.2%	
	日出谷地区	328 100.0%	158 48.2%	32 9.8%	20 6.1%	196 59.8%	122 37.2%	16 4.9%	141 43.0%	41 12.5%	68 20.7%	49 14.9%	22 6.7%	24 7.3%	47 14.3%	5 1.5%	5 1.5%	
	坂田地区	263 100.0%	107 40.7%	34 12.9%	24 9.1%	131 49.8%	81 30.8%	13 4.9%	116 43.7%	41 15.6%	72 27.4%	31 11.8%	30 11.4%	16 6.1%	37 14.1%	2 0.8%	10 3.8%	
	加納地区	144 100.0%	66 45.8%	6 4.2%	15 10.4%	83 57.6%	54 37.5%	7 4.9%	51 35.4%	25 17.4%	28 19.4%	26 18.1%	20 13.9%	7 4.9%	21 14.6%	2 1.4%	3 2.1%	
	川田谷地区	131 100.0%	54 41.2%	9 6.9%	18 13.7%	65 49.6%	52 39.7%	19 14.5%	47 35.9%	11 8.4%	29 22.1%	24 18.3%	21 16.0%	7 5.3%	14 10.7%	0 0.0%	5 3.8%	
	無回答・不明	70 100.0%	19 27.1%	6 8.6%	8 11.4%	26 37.1%	26 37.1%	8 11.4%	14 20.0%	7 10.0%	20 28.6%	7 10.0%	4 5.7%	5 7.1%	22 31.4%	1 1.4%	10 14.3%	

7. 回答者の属性

F1 性別

男性が614人（41%）、女性が790人（53%）となっている。



(N=1,495)

クロス

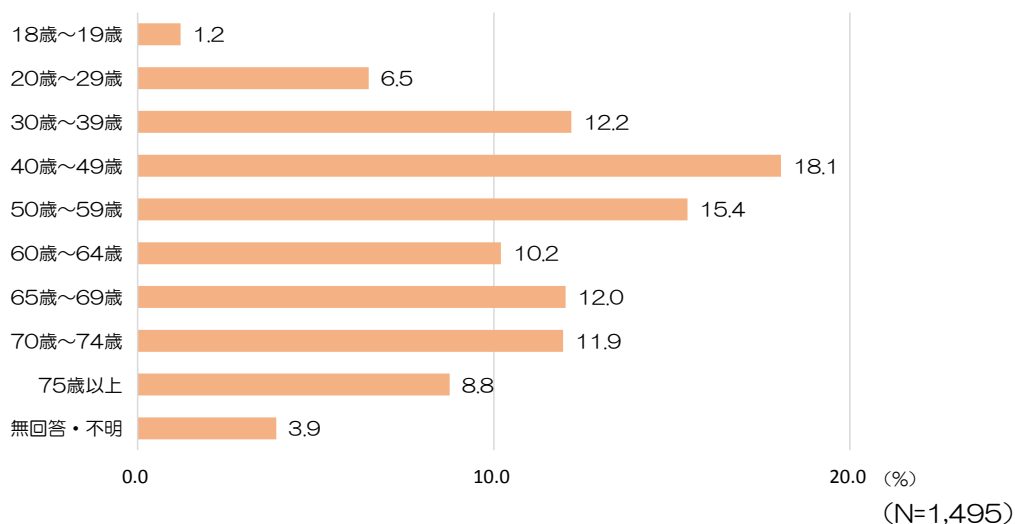
年齢で見ると、18歳～19歳、75歳以上では「男性」の割合が高くなっている。

地区で見ると、全地区において「女性」の割合が最も高くなっている。

	合計	男性	女性	無回答・不明	
全体	1,495 100.0%	614 41.1%	790 52.8%	91 6.1%	
年齢	18歳～19歳	18 100.0%	10 55.6%	6 33.3%	2 11.1%
	20歳～29歳	97 100.0%	36 37.1%	60 61.9%	1 1.0%
	30歳～39歳	182 100.0%	66 36.3%	112 61.5%	4 2.2%
	40歳～49歳	270 100.0%	117 43.3%	145 53.7%	8 3.0%
	50歳～59歳	230 100.0%	92 40.0%	126 54.8%	12 5.2%
	60歳～64歳	152 100.0%	62 40.8%	86 56.6%	4 2.6%
	65歳～69歳	179 100.0%	72 40.2%	97 54.2%	10 5.6%
	70歳～74歳	178 100.0%	78 43.8%	83 46.6%	17 9.6%
	75歳以上	131 100.0%	62 47.3%	52 39.7%	17 13.0%
	無回答・不明	58 100.0%	19 32.8%	23 39.7%	16 27.6%
地区	駅東側周辺	238 100.0%	106 44.5%	121 50.8%	11 4.6%
	駅西側周辺	321 100.0%	143 44.5%	167 52.0%	11 3.4%
	日出谷地区	328 100.0%	123 37.5%	194 59.1%	11 3.4%
	坂田地区	263 100.0%	107 40.7%	137 52.1%	19 7.2%
	加納地区	144 100.0%	64 44.4%	70 48.6%	10 6.9%
	川田谷地区	131 100.0%	51 38.9%	70 53.4%	10 7.6%
	無回答・不明	70 100.0%	20 28.6%	31 44.3%	19 27.1%

F 2 年齢

「40歳～49歳」が270人（18.1%）と最も多く、次いで「50歳～59歳」の230人（15.4%）、「30歳～39歳」の182人（12.2%）、「65～69歳」の179人（12.0%）などの順であり、30歳から59歳が45.7%と半数近くを占める。



クロス

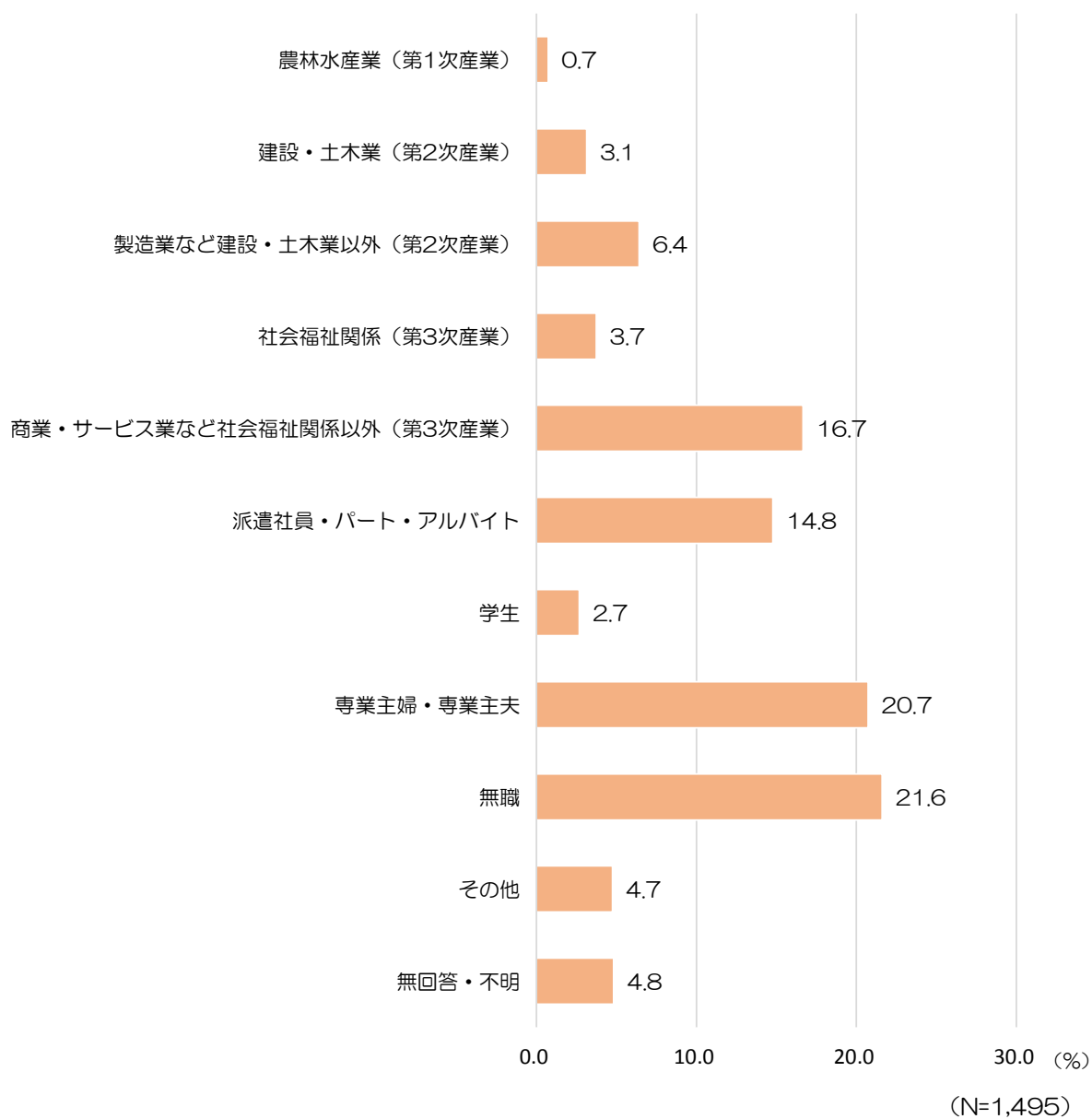
性別で見ると、男性・女性ともに「40歳～49歳」が2割近くで最も高くなっており、次いで「50歳～59歳」となっている。

地区で見ると、川田谷地区を除く全地区において「40歳～49歳」が最も高くなっており、川田谷地区では「50歳～59歳」が最も高くなっている。

	合計	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答・不明	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
全体	1,495	1.2%	6.5%	12.2%	18.1%	15.4%	10.2%	12.0%	11.9%	8.8%	3.9%	
性別	男性	614	1.6%	5.9%	10.7%	19.1%	15.0%	10.1%	11.7%	12.7%	10.1%	3.1%
	女性	790	0.8%	7.6%	14.2%	18.4%	15.9%	10.9%	12.3%	10.5%	6.6%	2.9%
	無回答・不明	91	2.2%	1.1%	4.4%	8.8%	13.2%	4.4%	11.0%	18.7%	18.7%	17.6%
地区	駅東側周辺	238	0.4%	8.4%	10.9%	18.5%	16.4%	10.5%	10.9%	12.2%	11.8%	0.0%
	駅西側周辺	321	1.2%	6.9%	13.1%	20.2%	17.4%	10.3%	9.7%	11.8%	9.0%	0.3%
	日出谷地区	328	1.2%	5.8%	13.4%	19.2%	14.0%	11.6%	12.8%	14.6%	7.3%	0.0%
	坂田地区	263	1.5%	6.8%	15.2%	17.9%	15.6%	7.2%	13.3%	11.0%	11.4%	0.0%
	加納地区	144	2.1%	6.3%	13.2%	18.1%	13.9%	12.5%	14.6%	11.8%	7.6%	0.0%
	川田谷地区	131	1.5%	5.3%	7.6%	17.6%	18.3%	14.5%	16.8%	11.5%	6.9%	0.0%
	無回答・不明	70	0.0%	2.9%	1.4%	2.9%	5.7%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	81.4%

F 3 職業

「無職」が323人(21.6%)と最も多く、次いで「専業主婦・専業主夫」の309人(20.7%)、「商業・サービス業など社会福祉関係以外(第3次産業)」の249人(16.7%)、「派遣社員・パート・アルバイト」の221人(14.8%)などが主な職業である。



ク ロ ス

性別で見ると、男性は「無職」、女性は「専業主婦・専業主夫」が最も高くなっており、次いで男性は「商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）」、女性は「派遣社員・パート・アルバイト」となっている。

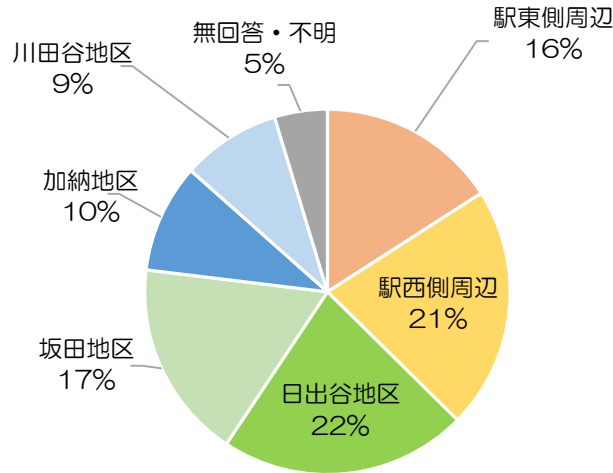
年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳では「学生」、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）」、60歳～64歳では「派遣社員・パート・アルバイト」「専業主婦・専業主夫」、その他の年齢では「無職」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺地区、駅西側周辺地区、坂田地区では「無職」、それ以外の地区では「専業主婦・専業主夫」が最も高くなっている。また、加納地区では「派遣社員・パート・アルバイト」も最も高くなっている。

	合計	農林水産業 (第1次産業)	建設・土木業 (第2次産業)	製造業など建設・土木業以外 (第2次産業)	社会福祉関係 (第3次産業)	商業・サービス業など社会福祉関係以外 (第3次産業)	派遣社員・パート・アルバイト	学生	専業主婦・専業主夫	無職	その他	無回答・不明
全体	1,495	11	47	96	56	249	221	40	309	323	71	72
	100.0%	0.7%	3.1%	6.4%	3.7%	16.7%	14.8%	2.7%	20.7%	21.6%	4.7%	4.8%
性別	男性	614	6	31	67	17	176	41	1	189	40	27
		100.0%	1.0%	5.0%	10.9%	2.8%	28.5%	6.7%	0.2%	30.8%	6.5%	4.4%
	女性	790	4	13	20	36	68	171	19	288	112	31
		100.0%	0.5%	1.6%	2.5%	4.6%	8.6%	21.6%	2.4%	36.5%	14.2%	3.9%
無回答・不明	91	1	3	9	3	6	9	1	20	22	0	17
	100.0%	1.1%	3.3%	9.9%	3.3%	6.6%	9.9%	1.1%	22.0%	24.2%	0.0%	18.7%
年齢	18歳～19歳	18	0	0	0	0	0	17	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	97	0	1	9	10	21	13	21	7	6	7
		100.0%	0.0%	1.0%	9.3%	10.3%	21.6%	13.4%	21.6%	7.2%	6.2%	7.2%
	30歳～39歳	182	0	7	17	14	52	33	0	40	10	9
		100.0%	0.0%	3.8%	9.3%	7.7%	28.6%	18.1%	0.0%	22.0%	5.5%	4.9%
	40歳～49歳	270	0	15	30	17	72	59	0	44	12	19
		100.0%	0.0%	5.6%	11.1%	6.3%	26.7%	21.9%	0.0%	16.3%	4.4%	7.0%
	50歳～59歳	230	1	8	24	10	64	51	0	48	4	15
		100.0%	0.4%	3.5%	10.4%	4.3%	27.8%	22.2%	0.0%	20.9%	1.7%	6.5%
60歳～64歳	152	1	7	5	3	21	40	0	40	29	6	
	100.0%	0.7%	4.6%	3.3%	2.0%	13.8%	26.3%	0.0%	26.3%	19.1%	3.9%	
65歳～69歳	179	5	6	8	2	5	15	0	55	72	9	
	100.0%	2.8%	3.4%	4.5%	1.1%	2.8%	8.4%	0.0%	30.7%	40.2%	5.0%	
70歳～74歳	178	2	2	1	0	10	7	1	49	101	2	
	100.0%	1.1%	1.1%	0.6%	0.0%	5.6%	3.9%	0.6%	27.5%	56.7%	1.1%	
75歳以上	131	2	1	2	0	4	3	0	25	88	4	
	100.0%	1.5%	0.8%	1.5%	0.0%	3.1%	2.3%	0.0%	19.1%	67.2%	3.1%	
無回答・不明	58	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	
地区	駅東側周辺	238	0	5	14	8	50	33	4	52	56	14
		100.0%	0.0%	2.1%	5.9%	3.4%	21.0%	13.9%	1.7%	21.8%	23.5%	5.9%
	駅西側周辺	321	2	9	18	12	72	43	13	65	73	13
		100.0%	0.6%	2.8%	5.6%	3.7%	22.4%	13.4%	4.0%	20.2%	22.7%	4.0%
	日出谷地区	328	1	15	26	15	48	53	9	80	72	7
		100.0%	0.3%	4.6%	7.9%	4.6%	14.6%	16.2%	2.7%	24.4%	22.0%	2.1%
	坂田地区	263	0	6	12	8	37	45	8	55	70	19
		100.0%	0.0%	2.3%	4.6%	3.0%	14.1%	17.1%	3.0%	20.9%	26.6%	7.2%
加納地区	144	3	5	11	6	19	28	4	28	27	12	
	100.0%	2.1%	3.5%	7.6%	4.2%	13.2%	19.4%	2.8%	19.4%	18.8%	8.3%	
川田谷地区	131	5	7	13	7	23	18	2	26	23	6	
	100.0%	3.8%	5.3%	9.9%	5.3%	17.6%	13.7%	1.5%	19.8%	17.6%	4.6%	
無回答・不明	70	0	0	2	0	0	1	0	3	2	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	4.3%	2.9%	0.0%	

F 4 居住地区

「日出谷地区」が328人(22%)で最も多く、次いで、「駅西側周辺」が321人(21%)、「坂田地区」は263人(17%)、「加納地区」144人(9%)である。「川田谷地区」が最も少なく131人(9%)である。



(N=1,495)

ク ロ ス

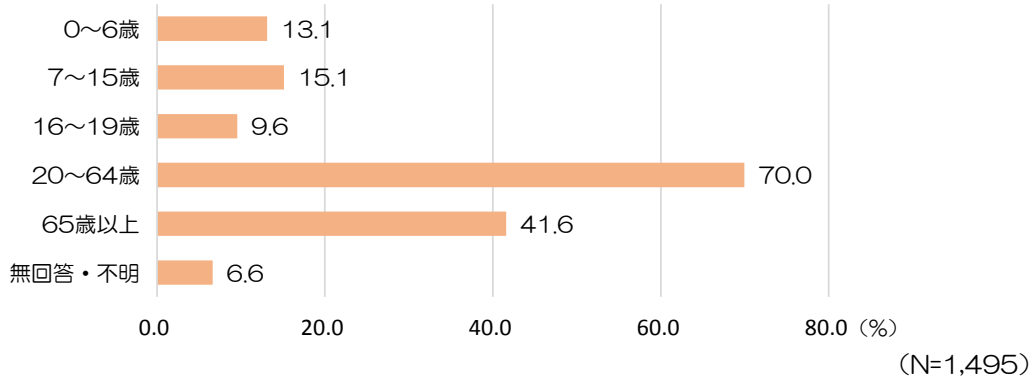
性別で見ると、男性は「駅西側周辺地区」、女性は「日出谷地区」が最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「駅西側周辺地区」「日出谷地区」「坂田地区」、20歳～29歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「駅西側周辺地区」、30歳～39歳、60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳では「日出谷地区」、75歳以上では「坂田地区」が最も高くなっている。

		合計	駅東側周辺	駅西側周辺	日出谷地区	坂田地区	加納地区	川田谷地区	無回答・不明
全体		1,495	238	321	328	263	144	131	70
		100.0%	15.9%	21.5%	21.9%	17.6%	9.6%	8.8%	4.7%
性別	男性	614	106	143	123	107	64	51	20
		100.0%	17.3%	23.3%	20.0%	17.4%	10.4%	8.3%	3.3%
	女性	790	121	167	194	137	70	70	31
	100.0%	15.3%	21.1%	24.6%	17.3%	8.9%	8.9%	3.9%	
無回答・不明		91	11	11	11	19	10	10	19
	100.0%	12.1%	12.1%	12.1%	20.9%	11.0%	11.0%	20.9%	
年齢	18歳～19歳	18	1	4	4	4	3	2	0
		100.0%	5.6%	22.2%	22.2%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%
	20歳～29歳	97	20	22	19	18	9	7	2
		100.0%	20.6%	22.7%	19.6%	18.6%	9.3%	7.2%	2.1%
	30歳～39歳	182	26	42	44	40	19	10	1
		100.0%	14.3%	23.1%	24.2%	22.0%	10.4%	5.5%	0.5%
	40歳～49歳	270	44	65	63	47	26	23	2
		100.0%	16.3%	24.1%	23.3%	17.4%	9.6%	8.5%	0.7%
	50歳～59歳	230	39	56	46	41	20	24	4
		100.0%	17.0%	24.3%	20.0%	17.8%	8.7%	10.4%	1.7%
60歳～64歳	152	25	33	38	19	18	19	0	
	100.0%	16.4%	21.7%	25.0%	12.5%	11.8%	12.5%	0.0%	
65歳～69歳	179	26	31	42	35	21	22	2	
	100.0%	14.5%	17.3%	23.5%	19.6%	11.7%	12.3%	1.1%	
70歳～74歳	178	29	38	48	29	17	15	2	
	100.0%	16.3%	21.3%	27.0%	16.3%	9.6%	8.4%	1.1%	
75歳以上	131	28	29	24	30	11	9	0	
	100.0%	21.4%	22.1%	18.3%	22.9%	8.4%	6.9%	0.0%	
無回答・不明		58	0	1	0	0	0	0	57
	100.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.3%

F 5 同居家族

「20～64歳」が最も多く1,046人(70.0%)、次いで「65歳以上」が622人(41.6%)であり、「7～15歳」が226人(15.1%)、「0～6歳」が196人(13.1%)、「16～19歳」が143人(9.6%)、「無回答・不明」が99人(6.6%)となっている。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「20～64歳」が最も高くなっており、次いで「65歳以上」となっている。

年齢で見ると、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「65歳以上」、それ以外の年齢では「20～64歳」が最も高くなっている。

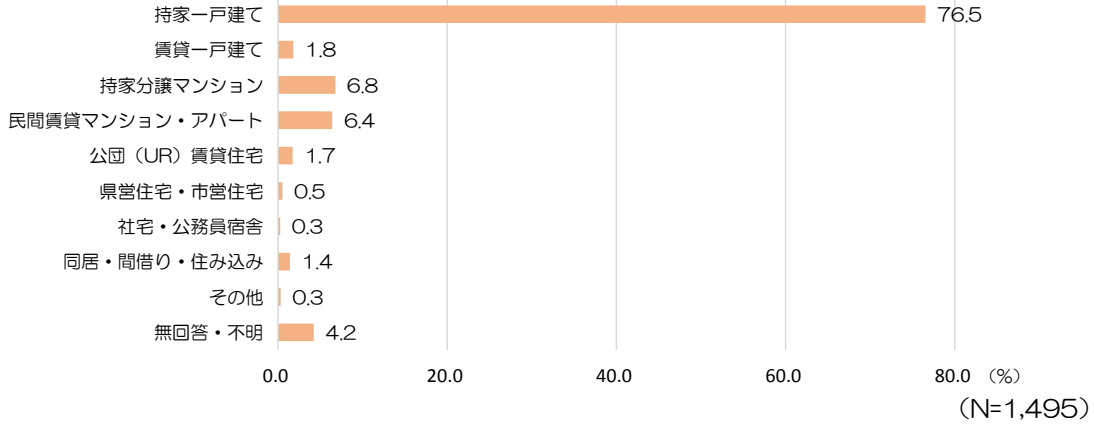
地区で見ると、全地区において「20～64歳」が最も高くなっている。

	合計	0 ～ 6 歳	7 ～ 1 5 歳	1 6 ～ 1 9 歳	2 0 ～ 6 4 歳	6 5 歳 以上	無 回 答 ・ 不 明	
全体	1,495	196	226	143	1,046	622	99	
	100.0%	13.1%	15.1%	9.6%	70.0%	41.6%	6.6%	
性別	男性	614	65	90	58	431	248	38
		100.0%	10.6%	14.7%	9.4%	70.2%	40.4%	6.2%
	女性	790	123	127	78	564	336	40
	100.0%	15.6%	16.1%	9.9%	71.4%	42.5%	5.1%	
無回答・不明	91	8	9	7	51	38	21	
	100.0%	8.8%	9.9%	7.7%	56.0%	41.8%	23.1%	
年齢	18歳～19歳	18	1	2	12	18	6	0
		100.0%	5.6%	11.1%	66.7%	100.0%	33.3%	0.0%
	20歳～29歳	97	17	5	14	94	14	1
		100.0%	17.5%	5.2%	14.4%	96.9%	14.4%	1.0%
	30歳～39歳	182	88	43	3	156	41	4
		100.0%	48.4%	23.6%	1.6%	85.7%	22.5%	2.2%
	40歳～49歳	270	55	115	62	228	80	5
		100.0%	20.4%	42.6%	23.0%	84.4%	29.6%	1.9%
	50歳～59歳	230	8	18	40	203	61	9
		100.0%	3.5%	7.8%	17.4%	88.3%	26.5%	3.9%
	60歳～64歳	152	8	2	2	125	48	1
	100.0%	5.3%	1.3%	1.3%	82.2%	31.6%	0.7%	
65歳～69歳	179	8	15	3	93	124	6	
	100.0%	4.5%	8.4%	1.7%	52.0%	69.3%	3.4%	
70歳～74歳	178	10	11	1	73	144	9	
	100.0%	5.6%	6.2%	0.6%	41.0%	80.9%	5.1%	
75歳以上	131	1	14	6	55	102	8	
	100.0%	0.8%	10.7%	4.6%	42.0%	77.9%	6.1%	
無回答・不明	58	0	1	0	1	2	56	
	100.0%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	3.4%	96.6%	
地区	駅東側周辺	238	29	43	17	170	116	12
		100.0%	12.2%	18.1%	7.1%	71.4%	48.7%	5.0%
	駅西側周辺	321	33	45	35	233	130	12
		100.0%	10.3%	14.0%	10.9%	72.6%	40.5%	3.7%
	日出谷地区	328	50	54	33	242	141	5
		100.0%	15.2%	16.5%	10.1%	73.8%	43.0%	1.5%
	坂田地区	263	48	45	32	187	108	5
		100.0%	18.3%	17.1%	12.2%	71.1%	41.1%	1.9%
加納地区	144	17	23	14	107	66	0	
	100.0%	11.8%	16.0%	9.7%	74.3%	45.8%	0.0%	
川田谷地区	131	19	16	11	101	59	2	
	100.0%	14.5%	12.2%	8.4%	77.1%	45.0%	1.5%	
無回答・不明	70	0	0	1	6	2	63	
	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%	8.6%	2.9%	90.0%	

F 6 住居形態

「持家一戸建て」が1,144人（76.5%）と最も多く、全体の7割以上を占める。

次いで「持家分譲マンション」が101人（6.8%）、「民間賃貸マンション・アパート」が96人（6.4%）となっている。



ク ロ ス

性別で見ると、男性・女性ともに「持家一戸建て」が8割近くと最も高くなっており、次いで男性では「持家分譲マンション」、女性では「持家分譲マンション」「民間賃貸マンション・アパート」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「持家一戸建て」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区において「持家一戸建て」が最も高くなっている。

同居家族の年齢で見ると、全体で「持家一戸建て」が最も高くなっている。第2位は、0~6歳では「民間賃貸マンション・アパート」、その他の年齢では「持家分譲マンション」となっている。

	合計	持家一戸建て	賃貸一戸建て	持家分譲マンション	民間賃貸マンション・アパート	公団 (UR) 賃貸住宅	県営住宅・市営住宅	社宅・公務員宿舎	同居・間借り・住み込み	その他	無回答・不明
全体	1,495	1,144	27	101	96	26	8	4	21	5	63
	100.0%	76.5%	1.8%	6.8%	6.4%	1.7%	0.5%	0.3%	1.4%	0.3%	4.2%
性別	男性	614	483	5	39	33	12	2	9	5	24
		100.0%	78.7%	0.8%	6.4%	5.4%	2.0%	0.3%	1.5%	0.8%	3.9%
	女性	790	600	20	57	57	14	5	2	11	0
	100.0%	75.9%	2.5%	7.2%	7.2%	1.8%	0.6%	0.3%	1.4%	0.0%	3.0%
無回答・不明	91	61	2	5	6	0	1	0	1	0	15
	100.0%	67.0%	2.2%	5.5%	6.6%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	16.5%
年齢	18歳~19歳	18	15	1	1	1	0	0	0	0	0
		100.0%	83.3%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳~29歳	97	89	3	6	14	2	0	1	1	1
		100.0%	71.1%	3.1%	6.2%	14.4%	2.1%	0.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	30歳~39歳	182	114	6	12	37	5	0	1	5	1
		100.0%	62.6%	3.3%	6.6%	20.3%	2.7%	0.0%	0.5%	2.7%	0.5%
	40歳~49歳	270	203	8	21	18	6	3	0	9	1
		100.0%	75.2%	3.0%	7.8%	6.7%	2.2%	1.1%	0.0%	3.3%	0.4%
	50歳~59歳	230	183	2	23	14	5	1	0	0	0
		100.0%	79.9%	0.9%	10.0%	6.1%	2.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳~64歳	152	123	2	14	4	3	1	2	2	0	
	100.0%	80.9%	1.3%	9.2%	2.6%	2.0%	0.7%	1.3%	1.3%	0.0%	
65歳~69歳	179	158	1	12	2	2	0	1	2	0	
	100.0%	88.3%	0.6%	6.7%	1.1%	1.1%	0.0%	0.6%	1.1%	0.0%	
70歳~74歳	178	158	3	8	4	2	2	0	0	0	
	100.0%	88.8%	1.7%	4.5%	2.2%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
75歳以上	131	118	1	4	2	1	1	0	2	2	
	100.0%	90.1%	0.8%	3.1%	1.5%	0.8%	0.8%	0.0%	1.5%	1.5%	
無回答・不明	58	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地区	駅東側周辺	238	168	11	27	25	0	0	3	3	0
		100.0%	70.6%	4.6%	11.3%	10.5%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%
	駅西側周辺	321	191	5	65	31	26	0	0	2	0
		100.0%	59.5%	1.6%	20.2%	9.7%	8.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
	日出谷地区	328	284	4	1	22	0	3	0	9	3
		100.0%	86.6%	1.2%	0.3%	6.7%	0.0%	0.9%	0.0%	2.7%	0.9%
	坂田地区	263	232	2	8	15	0	3	0	3	0
		100.0%	88.2%	0.8%	3.0%	5.7%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%
	加納地区	144	137	3	0	1	0	0	1	1	1
		100.0%	95.1%	2.1%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%
川田谷地区	131	122	2	0	1	0	2	0	3	1	
	100.0%	93.1%	1.5%	0.0%	0.8%	0.0%	1.5%	0.0%	2.3%	0.8%	
無回答・不明	70	10	0	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	14.3%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
同居家族の年齢	0~6歳	196	143	8	9	28	4	0	1	3	0
		100.0%	73.0%	4.1%	4.6%	14.3%	2.0%	0.0%	0.5%	1.5%	0.0%
	7~15歳	226	185	5	14	13	2	0	1	6	0
		100.0%	81.9%	2.2%	6.2%	5.8%	0.9%	0.0%	0.4%	2.7%	0.0%
	16~19歳	143	120	5	8	3	1	0	3	1	1
		100.0%	83.9%	3.5%	5.6%	2.1%	0.7%	0.0%	2.1%	0.7%	0.7%
20~64歳	1,046	820	19	83	78	17	6	3	16	1	
	100.0%	78.4%	1.8%	7.9%	7.5%	1.6%	0.6%	0.3%	1.5%	0.1%	
65歳以上	622	544	10	26	11	6	3	1	18	3	
	100.0%	87.5%	1.6%	4.2%	1.8%	1.0%	0.5%	0.2%	2.9%	0.5%	
無回答・不明	99	25	2	1	6	4	0	0	0	1	
	100.0%	25.3%	2.0%	1.0%	6.1%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	

8. 自由意見

問 27 これからの桶川市のまちづくりについて、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、自由にご意見をお書きください。

自由意見の掲載方法について

- 原則、原文のまま掲載しています。ただし、個人等を特定できる情報については削除しています。
- 同一の回答者が複数の項目について述べている意見のうち、可能なものについては施策別に分けて掲載しています。
- 自由意見は、第五次総合進行計画後期基本計画における課題把握を行うために、同計画の項目別に記載しています（以下、施策別件数を記載したリストは第五次総合進行計画の項目となっています）。

施策の大綱	施策	件数
1. だれもが主役の桶川をつくる【参画・協働】	101 協働の推進	16
	102 自主的活動の推進と交流促進	15
	103 男女共同参画社会の推進	2
2. 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる【教育・文化】	201 就学前教育の支援・充実	2
	202 学校教育の充実	11
	203 青少年の健全な育成	3
	204 生涯学習・生涯スポーツの充実	27
	205 人権教育・啓発と平和の推進	0
	206 文化・芸術の振興・保存・継承	13
3. 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる【健康・福祉】	301 健康づくりの推進・医療の充実	32
	302 子育て支援の充実	26
	303 高齢者施策の充実	19
	304 障がい者（児）支援の充実	4
	305 地域福祉の推進	7
	306 自立した生活への支援体制の充実	1
	307 ノーマライゼーションの推進	5
4. 環境にやさしく安全・安心に住み続けられる桶川をつくる【市民生活】	401 地球温暖化対策の推進	4
	402 資源循環型社会の構築	13
	403 快適で衛生的な地域環境の創出	6
	404 防災対策の推進	15
	405 防犯まちづくりの推進	30
	406 交通安全対策の推進	10
	407 安全な消費生活の確保	0
5. みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる【みどり・都市基盤】	501 良好な住環境の創出と保全	25
	502 歩いて暮らせるまちの実現	169
	503 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み	57
	504 都市計画道路の整備	22
	505 生活道路の整備・改善	37
	506 憩いの自然空間の保全と活用	20
	507 みどり空間の創出	31
	508 治水対策の推進	1
6. にぎわいと活力ある桶川をつくる【産業】	601 農業の振興	6
	602 工業の振興	9
	603 商業の振興	33
	604 観光の振興	30
	605 就労支援と勤労者福利厚生への充実	3
7. 計画的で将来を見据えた桶川をつくる【行財政運営】	701 計画行政の推進	75
	702 経営的な視点からの財政運営	28
	703 情報共有の推進	16
	704 広域行政の推進	13
8. その他意見		42
合計		878

1. だれもが主役の桶川をつくる【参画・協働】

施策 101 協働の推進（16件）

- 1.住み始めた頃に比べると圏央道が出来て、道路整備が進み便利になりました。その一方で、気に入っていた自然が減り、高齢化で田畑が荒れるなど、景観もずいぶん変化しました。他人事と思っていたまちづくりですが、協働という言葉を考えて、自分も何か努力しなければと思います。市の取り組みにも期待したいと思います。
- 2.今回、私自身が調査対象者となり、アンケートを回答していくうちに桶川市のことを知っている様で全然知らない事に気づきました。これを機に、自ら積極的に情報を収集して、市政に参加していこうと思いました。そのため、桶川市としては、どんな小さな情報でも構いませんので、どんどん情報を発信して頂きたいです。桶川市に「永住したい」と全市民が思えるように「積極的な協働」を自ら実現していきたいです。今回は調査対象にして頂き、ありがとうございます。
- 3.少子高齢化を迎え、よりよいまちづくりとは何か？桶川市ならではの2～3柱を確立し、集中特化が必要では？市民、行政、企業が一体となり活動する機会を増やし市民全員が参加・参画することが必要と思われる。（全市民が年一回ボランティアに参加とか？）協働が必要では？
- 4.長く桶川市に住んでいますが、アンケートの内容について、現状が分らない、知らないと感じる項目が多かった。住民の意見を聞いたり、どのような行政を行っているのか、もっと市から強く発信しないとだめだと思う。近所にユニが建設されたが、それに伴い区画整理で林が減り、畑なども減って不満に思っている。高台がグラウンドから人工物になったので、大雨の時どうなるのかも不安です。木を伐採している側で街路樹を植えたり、矛盾していると思う。土建業者の為に街づくりやってるんでしょう？と市民に思われては協働は上手くいかないのでは？地域は高齢者や認知症の人が増えてきているので、狭い範囲でいかに暮らしやすい環境を整えていくかが大切で、大きな開発や道路整備を必要としている人は少ないのではないかと思う。
- 5.言葉の意味がわかりません。協働。
- 6.各地域の自治会などで住民の声をまとめてもらい市に提案していく。そして、その経過報告などしてもらえれば住民意識も高まり「協働のまちづくり」に参加できるのでは。
- 7.各自治会において、決算報告等の会議、報告が住民に毎年なされていますが、その機会に市から市民への連絡事項、市民か市への要望事項等、3項目位に絞って情報交換できれば、市と住民との意見集約する良い機会になると思います。
- 8.市民の意見、要望を真摯に受け止め、対応を図る姿勢が欲しい。一方的に市の考え方を押し付けることは「まちづくり」に何の進展がない。このような状況では市政への関心が失せて行く。
- 9.自治会の内容（慣習にとらわれない）の改善を地域の方々に申し上げたい。サラリーマンのみ経験者。
- 10.金がなくても人は動く。市民を使ってほしい。
- 11.市長及び市幹部は積極的に一般市民と対話を。特に若い人の意見、希望をくみ上げよ。
- 12.ブラブラしている高齢者を今のまま遊ばせておくのはもったいない。色々な活動が身近に

- 感じられる様になったら、参画意識も深まるし、意外と戦力になるかも。
- 13.市民の意見を取り入れ、少しでも住みよい町にして欲しい。
 - 14.行政にまかせすぎでなく一人一人ができることを確実に行うまち。自分の家、空き地の樹木の管理、町的美観・防犯につながる。
 - 15.定年退職された方などの、健康で時間的余裕のある方にまちづくりにもっと参加してもらおう。(提案)例。困っている事に対して手伝ってもらおう。市民が市としても。(シルバーさんで既にやってもらっているのでしょうか)各年代で異なると思います。→広報でカバーを作り、市の方はそのつなぎ役ととなってほしい。
 - 16.青少年が積極的にまちづくりに参加できるような体制を作って欲しい。

施策 102 自主的活動の推進と交流促進 (15件)

- 1.駅前の公園の整備や、朝夕の登下校にシルバーボランティアの方々が活動されていて有り難く思っています。
- 2.農家(農業を営む方)とサラリーマンのみ経験者や商人家との交流が少なく、地域意識が強くコミュが図れない。
- 3.私の住んでいる川田谷地区は農業を中心に地元の人達がネットワークを作っていて、他の土地から移り住んできた人が疎外感を感じてしまう様な所があります。伝統を大切にすることは大事ですが、何かもう少し開かれた地域づくり、意識の改革を行政の力で出来ないものでしょうか(私は数十年前に川口市から来ました)。川田谷は自然豊かで素晴らしいところです。よその土地(町)から移り住んでみたい所になったら桶川市ももっと栄えるのではないのでしょうか。
- 4.市民が参加出来る活動を増やして顔見知りを増やせるようにして欲しい。
- 5.子供や高齢者にやさしい社会をあたり前として、他の市民もよりよくすめるように、交流できる場所をふやしてほしい。職員、市民が共に桶川市をたかめていければよいと思う。
- 6.年齢を重ねることが楽しみになるまち。先輩たちが元気にボランティア活動をしているのは、まわりに活力を与えている。
- 7.これから、高齢化が進んでいくと思いますので、高齢者が生き生きと働いたり、ボランティアできるような環境があると良いと思います。
- 8.駅前マインを拠点として地域コミュニティをつなげられる場所ができるとうい。現在、図書館、映画(年何回かやってるよう)など文化的な充実はあるが、どんな年齢の人も集まれるようなスポットとしての整備が大切ではと思う。
- 9.公民館をもっと利用しやすい場所にしてほしい。
- 10.個別訪問によるヒアリング実施。世代間格差意識をなくしていくための相互理解を深めるための土着住民と新住民の会合、文化の伝授促進。
- 11.最近お年寄りの方が町の中で増えてきたように思います。なので、生涯学習や皆さんで集まって色々できるコミュニティーセンター等をもう少し増やして欲しいと思います。足が悪い方もいらっしゃるので、一か所ではなく、数か所できるとよいかもしれません。
- 12.ある程度の環境と安全と人が優しく集える町。地域でまとまる事が基本かなと思います。
- 13.市民が生き生きと生活できるまち。高齢者でもボランティア等で体を動かす。そして子供

から高齢者・障害者が交流できる場所があるまち。

14.地域拠点の気軽な集会場の利用促進。

15.少子高齢化の波がどんどん押し進んでいます。独居老人も増えるでしょう。子供と老人が触れ合いお互いを必要とし尊重し深い愛情を双方が感じられる場、保育所・児童館・公民館をフルに活用しいろいろな出会い、老人の力の活用がお互いの幸せになると感じます。個人の家で乳幼児を預かり、保育は責任が多きく困り事の対処・判断は難しい。公の場（例えば小学校の空教室とか、気軽に親子連れ・老人と交われる場所などあったらお互いの孤立が解消できるかもしれません。

施策 103 男女共同参画社会の推進（2件）

- 1.男女同権の意識等の教育（啓蒙できる家庭がほとんどなくなった）。
- 2.女性の労働について、小さな子供を持つ親のサポート（台風で学校が休校や急病など、家に1人では不安）、方法を検討したらどうでしょうか？

2. 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる【教育・文化】

施策 201 就学前教育の支援・充実（2件）

- 1.就学前に教育が必要だとは思いません。保育としては必要だとはお見ますが、東欧のような主婦でも気兼ねなくやっていただける月制があればいいと思います。
- 2.学童期における教育格差をなくすための支援方法を考えたい。（親の貧困や非協力的なため、学習道具が揃わないなどの問題。劣悪までいかないが、グレーゾーンの家庭環境（お風呂に入っていない。住居が不衛生などの問題等〈夢〉）

施策 202 学校教育の充実（11件）

- 1.学校教育もっと楽に、かつ、学習したい人ができるようになればいいと思います。
- 2.小中学校全教室にクーラー設置ようやくでしたね。コスト面で見直しをして欲しいです。
- 3.教育は中身である。金で施設整備の充実はほぼできた。教員を増やし少人数学級にしても学力向上に結びつかないというデータも出た。金は使わなくても良い（教育再生会議の一員から先日その話を伺った）。
- 4.商業施設よりも大学、研究機関の誘致に力を。
- 5.西口の城山公園の様に、大人がお散歩したりできる場所があれば良いが、城校庭をもっと広く開放して、子供をのびのび遊ばせたい。昔と違って、校庭で薄暗くなるまで遊んでいる子供達がいらない。
- 6.子供を持つ母親ですが、現在学校では水筒までも期間が決められています。水筒の許可がなく暑い時など、遠い子供は途中の家で水を頂く事もあります。水筒を自由に持たせられたら良いと思いますが・・・？
- 7.教育について・・・子供には教育が大切と思っているので、私が小6・中学を過ごした時期は学校（桶川）全体の偏差値が低かったです。偏差値ばかりではこれから生き残れませんが、生きる力の一つとして、学校教育の充実を望みます。（他から引っ越して来た人が上位者でし

- たので、ずっと隣に住んでいる子もがんばらせる環境が良いと思います。
- 8.学校施設のたてかえを強く希望します。新しい桶川小の体育館が雨漏りしているのはなぜでしょう。建てた業者の手抜きでしょ・・・体育館が雨漏りするようでは避難場所として使えるのでしょうか。桶川はいい加減だと思いました。
 - 9.医療費無料化の範囲をこれ以上広げることなく、教育方面で経済的支援をするべきだと思いました。
 - 10.近くに東中があるのに学区の関係で納中になると言われました。まだ先の事ですが、遠すぎる中学で子供がかわいそうです。そういう見直しもして頂ければありがたいです。
 - 11.小学校の教育。教師のレベル低すぎる。サラリーマン先生ばかり。「上」しか見てない先生ばかり。既得権益構造を変えよ！制服・体操着・上履き等わざわざ高い物を買わせる仕組みを止めて欲しい。

施策 203 青少年の健全な育成（3件）

- 1.今夏の「広島」に、市町が向かったそうですが、これからも背負ってゆく若者たちに、是非広島を見る機会を与えて下さい。今迄通りに。
- 2.異年齢の子供達が集まり、親元を離れて長期間共同生活をしながら学校に通う事ができるキャンプ場があったらいいと思います。キャンプ場なので不便さを感じられ、今の生活の豊かさを再確認できたり、生活のリズムが整ったり、どんな仲間とも力を合わせて生活する力が身に付けられます。親から離れるので親への感謝の気持ちが生れたり、親離れ・子離れを体験できます。自分で考え仲間と話し合い、食う・寝る・遊ぶ・楽しむを自分たちの手で作り上げる、そんな体験が出来る場所が桶川市にあったらすてきなあとと思っています。
- 3.子供が挨拶の出来る笑顔で明るい社会・市。

施策 204 生涯学習・生涯スポーツの充実（27件）

- 1.子供、大人が色々なスポーツが出来る広場を作って欲しいです。
- 2.図書館等の一本化（例）新庁舎の一部に図書コーナー、学習室の充実化、場所の維持管理の削減になると思う。
- 3.町の中に図書館やスポーツクラブなど人が集まりやすく綺麗な施設があれば利用したいと思います。今、図書館があるのは知っていますが、あまり魅力を感じないため利用していません。気軽に人が集まれる所があればいいなと思います。
- 4.桶川市はとても住みやすい町だと思っていますが、市営のプール等、スポーツ施設があればさらに良いと思っています。
- 5.仕事でスポーツに関わっていますが、屋外のスポーツを行う場が少ないと感じられます。ナイター設備などが充実すると良い。
- 6.公園は多いと思うのですが、広場がないので欲しいです。ボール遊びやスケボーを出来るような広い所が。児童館もしょぼいと思います。
- 7.図書館の内容がひどすぎる。蔵書の充実に力を入れている様に全く見えない。駅前の図書館にも魅力がないし、予算を付けてなさすぎる。図書館の充実を真剣に望みます。あと、図書館に学習スペースが常時ないのはありえない。

- 8.桶川市内を隅から隅まで見て歩いた訳ではないので、偉そうに何かを言える立場ではありませんが、先日孫を連れて始めて北本の児童公園に行って設備の内容充実に感銘を受けました。桶川にあのような施設はあるのでしょうか？又、公園に併設された自由に使えるスポーツ広場や市で管理するプール等（市外では意外と見受けられます）があるといいと思います。桶川市もこの先間違いなく高齢化が進むので、街づくりもそこを念頭に進めて行くのが良いと思います。
- 9.色々なサークルで場所とりが大変です。コミュニティセンターを作って頂きたいと思います。
- 10.図書館を充実して欲しい。（本も古すぎて汚い！！）
- 11.城山公園荒川河川敷を利用した総合運動施設を備えた広いコミュニティセンターの建設。
老若男女が足を運びたくなる場を計画して欲しい。総合庁舎、桶川東口の整備含めて、目玉施設を検討すべき。桶川市の知名度が低すぎると思う。住居30年、住み心地がよい街なのに残念。
- 12.スポーツが気軽にできる施設が無いように思える。
- 13.中学生の時に駅西口の図書館で、勉強をしていたら、注意されました。おそらくその図書館が小さいために、本を読みに来た方の読むスペースがなくなるからなのかと思いました。理由はどうあれ、何らかの事情で学校や塾以外の場所で勉強したくなる子供達もいると思います。なので自習できるスペースをいくつか作ってほしいです。
- 14.浦和パルコにあるようなりっぱな図書館があるとうれしいです。（上尾市民までしか、本が借りられませんでした）
- 15.図書館が利用しにくい。坂田地区の辺りにも作って欲しい。
- 16.桶川中心部にあるにもかかわらず「マイン」の充実が図られていない。図書館等で学習できる環境、本の充実等整備してもらいたい。
- 17.<図書館の県>以前住んでいた市では、図書館をすごく利用していたのですが、こちらに引っ越して来てからほとんど利用しなくなり楽しみが減りました。一度行ってみた時に、周りは一方通行ばかりでなかなか駐車場にたどりつけず不便・・・他の市の図書館も色々見っていますがはっきり言ってかなり劣っていると思います。本も古い物が多く、椅子も少ない。あまりの狭さと居心地の悪さで、それ以来一度も行っていない。駅前鴻巣、パルコ内浦和、蓮田の図書館はセンスも良くて素敵な施設ですね。財政厳しいでしょうが、市民の憩いの場所なので今後是非検討して下さい！明るくて素敵な図書館が出来るといいな～。響きの森は、落ち着いていて良い雰囲気ですね。
- 18.図書館、公民館などの文化施設が充実させてほしい。カルチャー講座が他のまちと比べ、内容と数が少ないようです。
- 19.図書館がいまいちです。蔵書は少なく、自習スペースももっとほしい。
- 20.近くに図書館がないので、欲しいです。車で行こうにも駐車スペースがありません。現在は上尾図書館を利用しています。近くにあれば、あとの公共施設はいらなくらい、現在の地域に満足しています。区長さんもいろいろとがんばって下さっています。
- 21.愛知県名古屋市にある鶴舞図書館のような図書館があったら良い。世界中の本があり、地下に食堂（有料でも良い）があり、地下に冷暖房が効く広い自習室がある。各階の本棚のすぐ近くに座って読めるようなイスが設置してある。そんな図書館があると良い。

- 22.大規模な公共図書館が欲しい。
- 23.新しい設備やきれいなシャワールームを備えた体育館にして欲しい。
- 24.東口の方にもスポーツ施設があるといいですね！駅東口もできたら整備して欲しいです。
桶川に来て40年になるけど同じです。不便ですね！
- 25.高齢者や小さい子供の事だけでなく、中高生についても考えて欲しい。公民館などで自由に勉強ができるスペースなどを提供して下さればと思っております。
- 26.城山公園内のテニスコートを利用しているが、予約を現地に行かないと出来ない不便さがある。ネットなどで出来たら良いなあと。利用している人達がいつも同じ団体人達で片寄っている気がしている。他の利用者がいないのか出来ないのかと。ちなみに私は予約したくてもなかなか空時間がないなと感じています。
- 27.図書館では勉強が出来ないので他の自治体にあるような学習が出来るフロアを作って欲しい。大人も子供も使えるような。机とイスが並んで集中出来る所。

施策 205 人権教育・啓発と平和の推進（0件）

施策 206 文化・芸術の振興・保存・継承（13件）

- 1.使える自然環境の観光化（泉福寺一体）
- 2.西口に建てた「響の森」、大変な赤字と聞いている。何とか入場料を頂いて、黒字にする方法と、素人考えですが、大分お金もかかるでしょうけど、水族館とか、若い人が喜びコンサート等と呼んだり、何とか工夫して桶川の顔になってもらいたい。
- 3.歴史を大事にしてほしい。川田谷の熊野神社の古墳とか、もう少しわかりやすく看板？標識を出すべき。圏央道が開通され、神奈川から来てくれて場所を聞かれてもわからない事がありました。
- 4.博物館または美術館を建ててほしい。桶川市は歴史ある町であるにもかかわらず、それらを収集、保存などをする施設が少ない様になっています。また、博物館または美術館を建てる事によって小中学校の授業に役立つのではないかと思います。
- 5.後谷遺跡などの有名な遺跡があるのに活かされていない。桶川歴史館を駅前につくり、古代～近世にわたる地域の歴史、文化を紹介する（後谷遺跡、中世の城あと、近世の街道、紅花作りなど）。
- 6.宿場町という文化がほとんど残っていないように思える。
- 7.駅前を現代的な素敵な建物に変えて、美術作品展示などができる場所又は、音楽を奏でる公共施設が充実しているととても良いと思う。ひびきの森がありますが、抽選だったりするので、ホールも個人的には借りるには大きい。もっと個人レベルで芸術活動が気軽にできて、又他の土地からも桶川市に来てもらって読んだり、その場所を借りたいと思ってくるような魅力的な駅前になったら、市の中心であるイメージからも、もっと明るく楽しい、そして一歩あるくと古い街並みのあるすてきな街になるのではないのでしょうか。
- 8.美術館などの文化施設を作れば人が集まるのでないだろうか。
- 9.桶川宿の文化遺産を大事にして下さい。
- 10.夏祭りに重点をおきたい。（時間延長や歴史的価値をつけた祭りとして）

- 11.宿場町としての歴史が感じられない。川越等の様な町作りを目指して欲しい。
- 12.旧桶川飛行場は特に保存の価値なし（全国に類似多い）。
- 13.武村旅館・島村家・本陣等は一か所に移動移設し旧中仙道街並を再現する。現在の中仙道は拡張と交通物流道路に（歩道拡張）する。

3. 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる【健康・福祉】

施策 301 健康づくりの推進・医療の充実（32件）

- 1.自然環境の保持、育成、人々の健康の増進
- 2.桶川にも総合病院があると良いと思います。
- 3.総合病院が必要
- 4.小さな子供がいるので、病気やけがをした時、どこが良いのかとても困ります。桶川市は他市と比べると小児科、耳鼻科等、専門医が少ない気がします。
- 5.病院を早く誘致して医療の充実を図って欲しい。
- 6.医療機関の更なる充実を希望します。病院を増やして頂きたい。
- 7.上尾市の様に、医療に充実した町。救急時にも受け入れてくれる病院を東口、西口に設置してほしい。
- 8.がん健診の充実（子宮がん健診を毎年助成してほしい）。
- 9.大型の医療機関がほしい。
- 10.41年間桶川市に住んでいますが、住み慣れたので一生住んでもとは思いますが、病院の少なさは如何なものかと思えます。癌健診等、上尾市の病院で受診したり・・・。桶川市で全ての検診ができないのは不便です。
- 11.少子化が進む事は10年後が想像できます。その上で、高齢者は確実に増加する。その点を市政がどう考えているか懸念されます。子供達の為にも高齢者の為にも、いかにして医療機関の充実を図るのか？支援策を考えているのか？市民にもっと伝わりやすい方法を考えて頂きたいです。10年という時間は行政の方々が考えているよりあっという間ですよ。形にとらわれずに「桶川スタイル」を望みます。見た目ではなく要は中身だと思えます。
- 12.医療機関の充実、強化。
- 13.普段の生活の買い物や、駅までのバス停は近くにありますが、何ととっても不安なのが病院が少ないという事です。我が家のような車を持たない家庭と高齢者が何かあった時にすぐに行ける街の医院や、近くに総合病院がほしい。
- 14.桶川市には産科の病院がない！これでは安心して出産ができないです！
- 15.桶川市内に病院が少ない。
- 16.市内に、産科が不足しています。女性が市内で出産できるよう病院等を考えて頂きたいです。
- 17.調査結果によると病院の数が少ない県としている様で、他の市町村へ通院になる。従って、市民病院の設置など検討願いたい。
- 18.地域内に総合病院の誘致又は設置。
- 19.大病院誘致（医療充実）。

- 20.ペットを飼っている家も多いので、夜間救急動物病院があるといいと思います。
- 21.入院の出来る病院を市内に作って下さい。
- 22.小児科が少ない。県央病院に欲しい。入院する場所がない。
- 23.具合が悪い時、どの病院へ行けばいいのかわからない時など相談できるサービスがあると良い。
- 24.病院、産婦人科等が充実してほしい。
- 25.病院の充実化を。
- 26.高齢者福祉は大切だが、それ以上に「子どもを桶川市で産んで育てよう」と思えるようにしないと高齢者の町になってしまう桶川市に産婦人科医院をないのも問題である。保守になる物理解できるかももう少し冒険した施策、考えをアピールしても良いと思う。
- 27.医療機関の受付～支出迄の時間短縮を指導して欲しい。(診察時間3～5分でトータル4時間は異常である。)
- 28.産科が1件もないのは、安心して出産・子育てができる町とは言えないので、招いてほしい。(意見)県や国に要望できないのでしょうか。産科医を増やせる仕組みを。
- 29.小児科などの病院が増え、子育てが安心して出来る町になってほしい。
- 30.産婦人科(母乳外来あり)の医院を早く作って欲しい。
- 31.医療機関、特に産婦人科他、桶川市に無いので早くどうにかして欲しい。
- 32.産婦人科(出産場所)が近くにないですね。上尾まで行かなくてはならないのは負担です。

施策 302 子育て支援の充実(26件)

- 1.出産できる病院がないので子育てしやすいなどの前に、出産しやすい町づくりをして下さい。このままだと子供を桶川市の外へ出したいと思います。また、公立の幼稚園などを充実してほしいです。上尾市の方が子育てしやすい町のように感じる事があります。
- 2.桶川の良い所(歴史や伝統が残っている)を活かし、保持している所の一方、高齢化で税金が高いため、子育て中(高校生まで)の家庭には厳しい一面がある。中学生までは医療費の負担がなくなったりで子育てしやすくなり、パパママ支援も充実している街なので、このまま維持してくれれば子育て家庭が増えると思います。
- 3.私は後期高齢者で一人住まいです。その為、子育ての環境がどうなっているのかわかりません。
- 4.上尾市のように、子供の城のような大きい児童館を作してほしい。
- 5.高齢化が進み、若い人達が未永く安心して子育てを出来る生活が良いと思う。
- 6.老人や子供に目を向けるのではなく、若い人達が多く住む住みやすいまちづくりをして欲しい。若者達が多く住むまちならば自然に人口も増える。老人福祉も大切だが、それにばかりに力を入れている(予算を使っている)と先細りになる。人口が増えないと市政もダメでしょう。
- 7.子供が遊べる場所が少なすぎる。未就学児を遊ばせる所がなくて困った。市民ホールや公民館に子供が遊べる所を設置したり、児童館を建替えるなどしてほしい。公園をもっと増やしてほしい。
- 8.子供の育成が将来につながると思っています。習い事の充実、保育所の設置と運営(横峰式

- 保育園等)、体育館やスポーツジムの設置、それらを低価格で利用でき、子供に夢を持たせてあげて欲しい。2020年のオリンピックやそれ以後の「大人」を育てていくには、まず「子供」の育成が必要であり、それを助ける「大人」が必要だと考えています。
- 9.(8カ月の子供を持つ母です。)①認可保育園がいっぱいで入所できません。認可保育所を増やして待機問題児童を解消してほしいです。市への希望です。よろしくをお願いします。②ママリフレッシュ事業として、半日~1日の一時預りを割安でうけられるサービスがあれば助かります(妹の埼玉県所沢市では月に数回ママリフレッシュとして月に数回格安で一時預りしてくれるとのことです)。③上尾のような格安での一時預りができれば嬉しいです。④小学生児童の下校時の見守り(ボランティアで高齢者方々が上尾市でやられています。桶川市も?)。親としてとても安心して継続していただきたいです。 宜しくをお願いします!
- 10.子供を安心して育てられる町にしてほしいです。又、桶川にすんでいる事を自慢できる様に、生活しやすい町にしたいです。
- 11.保育所や幼稚園など充実してないため。働けない!!
- 12.«保育園の待機児童0»に魅力を感じて引っ越してきました。桶川は東京への通勤可能な地域です。ぜひ「子育てし易い桶川市」として成長して欲しいです。そのために、妊娠中、出産後に利用できるヘルパー制度、病児保育の充実、公園を増やす事を望みます。また、駅前の道路整備も強く希望します。バスとすれ違う際とても恐いです。個人がされている駐輪場も景観としてよくないと思います。
- 13.未来をになう子供たちのために、子育て支援施設をまず第一に充実させていただきたいと思います。子育てをないがしろにするところに発展は、見込めないと思います。子供達を大切に考え、支援を充実させれば、若い家族がどんどん増え、活気にあふれた市へとかわってゆくかと思います。
- 14.子育てをする者として、保育園に通わせせらりと、大変支援をありがたく思っております。先生方も、がんばって下さって感謝しております。あまり望むのも実現が難しいと思いますが、他の地域に住んでいた者として書いてみます。(わがままも書きます)
- 15.保育園①来た保育園は狭い ②私立の許可では、英語、体育の先生が週に1~3回程度来てくれる。(神奈川県川崎市の例)などもあるそうです。保育園にも教育の要素があり、幼稚園卒の子と、小学校入学時にそれほど大差ないスタートだといいたいと思います。(親の教育にもよりますが) ③東京都足立区で保育ママに預けていましたが、保育が可能なのは2歳までですが、良かったです。*初めは保育ママ本人の人材など不安もありましたが早期に後職が必要な母親にとってはありがたいサービスです。
- 16.おはなしのへや・・・毎回楽しいのに、人が集まらない時があり、残念です。働く母にとっては土曜日の午前中忙しいかもしれませんが、もっと人が集まってぜひ続けて欲しいと思います。土日にある(平日仕事の人もいるので)サービスはありがたいです。
- 17.保育園と幼稚園の教育の差を無くすための資金支援を望みます。
- 18.子育てする上で、母親が(「働く」という意味ではなく)外に出る機会(講習会(ベビーマッサージや離乳食(産後)等))をもっと増やして欲しい。
- 19.保育園や幼稚園だけでなく、地域で子育てを共有できる様な機会を作って欲しい。
- 20.安心して安全なまちづくりと子育て環境の整備をお願いしたい。

- 21.保育所は仮設作るくらいなら建替えした方が良いのでは。
- 22.北本市のようにオムツ代が出るようにして経済的にも支えて欲しい。
- 23.子供医療費の高校生までの拡大。
- 24.乳幼児医療などは他都市とも連携して無料化してくれると助かります。
- 25.子育てしやすいまちづくりを期待しています。桶川マインに認可保育園があるといいなと思います。
- 26.結婚相談所を多くして、子供を増やす。

施策 303 高齢者施策の充実（19件）

- 1.高齢者が協働で働く場所の増設（有給、無給）形骸化対策
- 2.一人暮らしの高齢者の所に時々生死の確認や、相談にのってくれる人を出来るだけ訪問してほしい。人間不信で認知症になったり、孤独死になる可能性も高い。優しい女性に話を聞いてもらい、相談にのってほしい。
- 3.高齢化が進み、認知症への理解と共に、認知症の方を預けられる（病院、施設など）場所が沢山出来る事を望みます。
- 4.介護施設と職員の充実（全体的に・・・給料面等も）
- 5.高齢化社会が増大するこれからを思うと、今までの全ての生活社会のありようは根元から見直すべきと思う。小さな生活の部分でも、例えばスーパーでの買い物、今のようなカートを押して買物するのはどうか。また、役所などの諸手続きの煩雑さ、言葉のわかりにくさ、難しい表現等々、高齢者が気持ちよく自信を持って生活できる行政、町を目指してほしい。
- 6.高齢者が安心して暮らせられるよう、低所得でも入居できる市営団地を作ってほしいと思います。そうすれば都会の若い人達が関心を持ち、桶川に住もう、老後は充実した華僑を求め人口が増え、桶川の町の活性化につながると思います。
- 7.高齢者たちの健康体操、市民が体を動かす施設の充実（公園が街中に少なすぎる）。
- 8.もう70才代に入り、個人の希望はかなう物ではないので、今のかんきょうで自分なりに生きて行くしかない。高齢者の福祉・医療機関に期待しています。問題に答えられない所がありますが、複雑で考えすぎてわからない。十分な協力出来なくてすみません。
- 9.高齢者のため生活環境作りをお願いしたい。
- 10.高齢者サービスの強化。
- 11.高齢者が集まれる場所を作って欲しい。自治会となると、そこをまとめる人が高齢者になるため。少し、行政で手を入れた上田出谷に1ヶ所、各地区にあつたらと思います。歩いて行けるくらいの距離であれば、なお良いです。そこでカラオケや、碁や、将棋などできる程度で良い。
- 12.毎日、車椅子の人をコミュニティバス～駅まで誘導しているシルバーさん。エレベーターがない事で、エスカレーターでベビーカーの上げ下ろしをしているシルバーさん達が、長く働ける雇用整備。
- 13.高齢者がこれからどんどん増えていくので、高齢者の方が、活躍できる場を増やして欲しい。定年を延長するなど・・・保育の現場に携われる・・・など高齢者ならではの知恵を

発揮できる環境が増えると良いと思う。

- 14.孤独死等のない様に見舞って歩いて欲しい。
- 15.高齢になっても安心して暮らせる町であって欲しい。
- 16.まだまだ元気な65才以上の人々が、今後医療費のかからない生活をするために自分なりの健康法を各自考えること、そのためのアドバイス等を市と協力。日本一老人が元気・健康・自立。
- 17.高齢者向きの体操、身体についてアドバイスなど自治会館などで教えてくれたらいいと思います。
- 18.高齢者同士が自宅で交流できるサービスがあれば良いと思う。例えばヘルパー担当者が送迎や食事の介助をして気の合う人達が集う日昼の時間を一緒に過ごすことができればよいのではないだろうか。また高齢者や障害者が外出する際に簡単に依頼できる付き添いボランティアのシステムがあればもっと気軽に外かけて有意義な時間が持てるようになると思う。
- 19.高齢化が進み老人たちが入れる施設・特養ホームや有料老人ホームなどがあるが、地域地域に公民館があるように誰でも入れる「共同ホーム」なるものがあったら良いと思う。年寄りたら誰でも「あそこに行くんだ」と言える様な共同ホームを作って欲しい。地域ごとにあれば皆顔見知りだし（本人・家族も安心）家族も「ホームに入れてしまった」という後ろめたさもない。入居する人が100万円出してでも入れるところがあったらと思う。
(①もちろん無料で入れることが理想だが運営上必要なので②月々の電気・水道代や食費は払うようにしてまかなっていく。)

施策 304 障がい者（児）支援の充実（4件）

- 1.障害者世帯に対して生活支援を充実してほしい。
- 2.障害者（段差、手すり、バス停（利便を考慮して頂きたい）、バスの乗り降りの間口の広さ）（都内のバスは段差がない、そして広い）。
- 3.発達障害時に対する施策、サービス等が手薄である。
- 4.障害者の生きがいをつくる。居場所が多くあるまち。

施策 305 地域福祉の推進（7件）

- 1.子育て世代、高齢者等が孤立しないでそれぞれが見守りあえる様な地域づくり。
- 2.赤ちゃん～老人の健やかな充実した人生（衣・食・住）病院（大きな箱を1つ持ってくる。中心に栄る）、教育、保育園、遊び場、健全な環境。
- 3.西側地区に児童館などの施設がない。
- 4.箱物（施設）は不用、高齢者、障害者、子供への人間の支援サービス（在宅サービス）、本当に必要な人への本当に必要なサービス。
- 5.上尾市のような児童館があれば良いなとずっと思っています。
- 6.児童が集える児童館や仲間と集まって活動する場が少ないので、児童館が出来ると良いと思う。
- 7.西口にも児童館があると雨の日にも体を動かして遊ぶ事が出来ていいのではと思います。

施策 306 自立した生活への支援体制の充実（1件）

- 1.高齢者と障害者を同じにして書いてあるが現在障害と言っても様々なので、高齢者にしても障害者にしても雇用できる人はどんどん使い、今ある設備を最大限利用するのが良いと思う。

施策 307 ノーマライゼーションの推進（5件）

- 1.言葉の意味がわかりません。ノーマライゼーション。
- 2.子供や障害のある方など、弱い立場の人が暮らしやすい町。
- 3.働かざる者食うべからずが基本。但し日健常者は例外。この理念で福祉サービスを考えて欲しい。福祉が充実しすぎると人は権利を口にし出し甘えが強くなる。
- 4.アンケートについて：子供が成長してから移転してきたため、学校・公共施設などの利用がほとんどなく、アンケートに協力できない点が多く申し訳ありません。ただ、今まで住んで来た所よりも公園が少なく道路もベビーカー・車イスの人にとって良いとは言えない環境だと思いました。住みやすい町になるよう願っております。
- 5.桶川市庁舎の充実を願います。（エレベーター等の取り付け）高齢者、障害者の利用を余り考えていないようです。

4. 環境にやさしく安全・安心に住み続けられる桶川をつくる【市民生活】

施策 401 地球温暖化対策の推進（4件）

- 1.地球温暖化がもたらすもの結末のパンフの配布！CO₂大量排出→まず海が吸収→海水温上昇（現1000m迄上昇しているらしい）と酸性化による稚魚の死、魚の激減。大気温上昇→極寒値ツンドラの氷溶解→氷下土中のメタンガス昇華（CO₂の20数倍の温室効果を持つと言われている）→更に温暖化→地下、海底のメタンハイドレード昇華→メタン大爆発→地表の生物絶滅となる。現に地球は一度なっているそうです。大人で分かっている人は少ないでしょうけど、子供のうちならその次の世代に啓蒙出来る人を育てられるかも？なので第一歩の我々のような無知な大人に啓蒙できるパンフを。この日本で最初のものを桶川から出しましょう。回覧板にも貼りましょう。市民の立ち止まる所すべてに！
- 2.照明器具のLEDの推進で電気代驚くほど減ります。
- 3.次世代エネルギー、水素、充電機の充実。
- 4.歩いて楽しい町を作り結果CO₂排出量削減に繋げる等、先々を見据え副次的効果を生み出す施策で効率的に施策を進めて欲しい。

施策 402 資源循環型社会の構築（13件）

- 1.ゴミ出しはプラゴミ週1回はとても不便を感じます。
- 2.ゴミの分別が多すぎる。
- 3.不正に捨てられているゴミをきちんと片づけてほしい。不衛生で周りに迷惑だと思う。
- 4.今後ゴミ処理の問題はどうなるんですか。
- 5.北本市のゴミの出し方は本当に優れております。参考にして頂けると良いと思います。

- 6.ゴミ置場の充実について。置き場所をきちんとした物に設置して欲しい。これをしっかりした物にしないと魅力ある街、景観の美しい街づくりは望めません。この近くに生活する者にとっては毎日がストレスです。この場所に建物を買った人が悪いと言われればそれ迄ですが、そうかんたんに引っ越もできません。一生ストレスをかかえた問題です。風が吹いても飛ばされないしっかりした物をお願いしたいです。
- 7.ゴミ収集プラスチックはスーパーの袋では回収してもらえないのが納得できない。結局はプラスチックの分類で、透明ビニールに入れる分だけエコではない気がする。
- 8.問25の項目の「資源循環型社会」という言葉は、自分の方針にピッタリでした。ものやサービスを創るにも利用するにも、あまりにも資源をムダにしていると思います。必要な消費・投資はあるはずですが、単純な金銭計算だけでそれらの諸々の選択や行動ができるようなしくみがあってほしいと思います。難しいですが、いくらか近づけると思います。
- 9.ごみの収集について、祝日がある週の燃やせるゴミの日の設定がおかしいと思う。行政サイドの都合しか考えていない。家庭目線で考えたらこうはならないはず。こういう所にお役所仕事を感じる。住みやすいまちづくりにする事、市民を大事にする行政、そんな桶川市になって欲しい。まちづくり…見ためでなく内面を充実させて欲しいと願う。
- 10.ゴミについては、燃えないゴミの日が分類が大雑把になれば良い。不燃物が6通りも分けなければならぬのは面倒である。
- 11.上尾市はゴミの分別がほとんど無いそうです。楽だから上尾に住むという人が多いです。ゴミ・児童館・病院を除けば道路も広く整った桶川の方が住みやすいです。今足りないものが少しずつ変われば桶川の人気、住みたいと思う人が多くなると思います。検討お願いします。
- 12.ゴミ処理施設の充実をお願いしたい。分別収集するよりもプラスチックも含めて焼却処分できるよう、施設の拡充を希望する。
- 13.高速道路の開発で毎日勝手にゴミを車から捨てていく人がいます。ゴミ拾いをしていますが追いつきません。

施策 403 快適で衛生的な地域環境の創出（6件）

- 1.元荒川と付近の農道の不法投棄をなんとかしてほしい。
- 2.暴走族が五月蠅い。
- 3.お店の前での喫煙や歩きタバコする人がいないまち。
- 4.環境の事・衛生面の事、私は昭和53年に引っ越してきましたがその時から裏のドブ川はその時のまま、本当に桶川市にがっかり致しました。
- 5.中山道沿いの街並を上尾市・北本市（両隣の市）と比較すると、桶川市の立ち遅れをまざまざと感じさせられます。屋並・歩道・舗装道路・外灯などもっと積極的に手入れをして欲しいです。
- 6.駅下のタバコスペースを無くすか、別の場所に移して下さい。みっともないと思います。分煙も明確にし、モラルある桶川を！

施策 404 防災対策の推進（15 件）

- 1.防災対策を進めて安心して暮らせる街づくりをお願いしたい。
- 2.防災については、小地区での活動を重視するよう方針を打ち出してほしい。共助は地区の各班単位でしか出来ない。
- 3.防災都市として全国に発信出来るよう提案します。海も無い、山も無いを逆手に取って、全国初の防災アイデアを市民等から集めて…。
- 4.桶川市は山も海も川もなく、景色が良いとは言えませんが、災害の少ない暮らしやすい町だと思います。
- 5.新庁舎建設にあたって、防災無線の充実、活用（聞きづらい）。
- 6.震災の計画停電時に、行政からの支援が感じられませんでした。普段は縁の下の力持ち的な、行政で良いと思いますが、いざという時に動いてもらえるような組織であってほしいです。
- 7.防災桶川の放送が聞き取りにくい。音が重なって聞こえる為、何を言っているのかわからない。緊急時に役に立たないと思われる。改善を希望します。
- 8.北上尾～桶川直下地震を想定した対策を立てて下さい。
- 9.地区には荒地草がはえて、火災の心配な所がたくさんある。防犯的にも整備が進んでくれたらいい。江川がいつも台風大雨で交通が通れなくなるので早くなんとかしてほしい。
- 10.防災訓練を地域（市全体）でできるような計画、実施があるといい。以前住んでいた鴻巣、赤見台で、半強制的（！？）に参加しましたが、有意義でした。
- 11.桶川西高校の近くの川が良く冠水するので何とかして欲しい。
- 12.空家が増えていて火災防災など心配。
- 13.市役所の建替。災害になっても今の建物では対応できない。
- 14.防災桶川の放送の音が何か伝えている様だが内容はほとんど解らない。
- 15.市役所は早急に建替へ、防災等の中心となってもらいたい。

施策 405 防犯まちづくりの推進（30 件）

- 1.防犯を強めて欲しいです。
- 2.近くショッピングセンター（ベニバナウォーク）が出来る様ですが、より交通の便が充実すれば町の活性化が期待できると思います。反面、小中学校が近くにある為、防犯などの対策にも近隣の住民の協力のもと、力を入れて欲しいと思います。
- 3.街灯をもう少し増やして頂きたい。
- 4.街灯が少ない（未広）。
- 5.公園などたくさん緑があってもいいのですが、夜は恐ろしいくらい暗いです。危険すぎます。住宅地の中に真っ暗な公園。安全で安心な街がいいです。
- 6.空家のチェックをしてほしい。
- 7.幼児、小学低学年の防犯。
- 8.人口7万人以上の市で警察署もなく、駅の東西に交番だけ。防犯上検討か。
- 9.犯罪がなく交通事故がないこと。
- 10.街灯をふやして欲しい。
- 11.街灯が少ない。

- 12.引越してきた時、やけに暗い道路におどろいた。電灯の改善を希望。
- 13.夜間の暗い道路には、外灯を増やして欲しいし、業社にまかせきりではなく、どこが暗く危険なのかを市が理解すべき！
- 14.45年住んでおりますが、街灯が少なく、何度もヒヤとする事がありました。又子供さん女性（老人）が被害にあっている。
- 15.夜道などは暗い所が多いと思うので、街灯や交番を増やして欲しい。
- 16.防犯の徹底（高齢者や高齢同居者への）。
- 17.子供が小さい為、防犯、事故等安心して住める町にもっとなって欲しいです。税金を払っているが、もっと有効的に使える様努力してほしいです。
- 18.駅から遠い住宅地になると街灯も無く暗い場所が多い（女性には怖い）。
- 19.Twitterなどを使い、現在起こっている犯罪（子供の連れ去り未遂や変質者）情報を開示して欲しい。
- 20.小学校の見守り、防犯対策を自治会任せにしている。
- 21.街灯を増やして欲しい。
- 22.街灯が少なく夜道が暗い。
- 23.街の灯りが少ない。信号の所に灯りが欲しい。危ない。
- 24.環境や防犯を重視すべきならば、冬のライトアップなどをやめて駅周辺や主要道路の街灯を増やすべきでは。最低限既存の道路ないしインフラの補修・充実を図って頂きたい。
- 25.犯罪のない安全で住みやすい町にして欲しい。
- 26.防犯に対しても暗い道（何年過ぎても変化はありません）事件が起きるのは当然という条件ばかりです。
- 27.街灯が昼間つけっ放しが多々ある。電気代もったいない。
- 28.子供の連れ去り未遂事件もあり、子を持つ親は常に不安です。
- 29.夜道が危ないので街灯を増やして欲しいです。
- 30.交番を増やし、取り締まりを強化して欲しいです（バイクの騒音等）。

施策 406 交通安全対策の推進（10件）

- 1.車用の信号機があっても、歩行者用の信号機が無く、子供の目線からは分かり辛いので、必要だと思う。
- 2.北2丁目ですが、県道へ出るのに信号機ができて便利になりましたが、小学生の通学時間帯に住宅街を通り抜けて行く車が沢山あります。信号が変わる前に通過したい気持ちもわかりませんが、住宅街については市として規制してほしいと思っています。住むのには、とても住みやすく便利な桶川市ですが、もう少し弱者に配慮した交通マナーの啓発と、行政としての規制も必要だと思います。
- 3.紅花陸橋より北に踏切がないので、1つでいいから作って欲しい。
- 4.自転車のマナーが悪い（特に高齢者）。
- 5.自宅が交通の便の悪い所なので、自転車で、買い物や駅まで通いますがとても走りにくく、危険を感じる事があります。もっと安全に通る事の出来る道になればと思っています。自然が豊かな所を生かして遊歩道やサイクリングロードが充実すると観光にもなるのではないで

しょうか。

- 6.交通マナーが悪いのを改善して欲しい・・・歩行者信号が青なのに車が横からわたる脇道の停止線(?)を超えて、車が本堂に流れ込むようにして待つ、など。
- 7.中山道の警備強化、毎週末の夜に暴走車両が多い為。
- 8.道路の安全の確保。信号機や自転車専用帯などの充実。
- 9.ファミリーマート加納店、十字路での事故が多く毎朝急ブレーキやクラクションの音も聞こえてきます。信号機設置が無理でも標識の充実や補助式の点滅信号の設置も無理でしょうか？横断歩道があっても意味がなく子連れで渡るには危険で怖いです。
- 10.自転車専用又はガードレール等が無い道路が多く、車を運転していて危険と感じる事が多い。駅前に送迎スペースがない。

施策 407 安全な消費生活の確保 (0 件)

5. みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる【みどり・都市基盤】

施策 501 良好な住環境の創出と保全 (25 件)

- 1.家を購入したいが(西口)環境の良くないところしか残っていない(市街化計画が終わってしまったらしい)。
- 2.川田谷の方は調整区域が広すぎて家を購入したくてもなかなか出来ない。調整区域を外し、市街地を広げて欲しい。
- 3.電線電柱の地中化の推進(住環境、景観の改善)
- 4.駅東口に出るところの左側の階段の壁が非常に汚い。早急に改善して頂きたいです。
- 5.寂れた街並みを改修して、にぎわいのある町にする。
- 6.桶川駅東口から中山道の街並みが淋しい。
- 7.駅前開発を最優先に取り組み、住みやすい環境であることを県内外にアピールする。
- 8.空家、空地进行を再利用して、景観を良くして、また、自然環境を整え、住民が誇れるまちにする。
- 9.駅に降り立った瞬間目にするもの景観を考えて欲しい。緑を多く、さわやかな感じ。大都会風にしない。季節に応じて変化させる。例えばクリスマスにはもう少し美しく感動を与えるような景色とする(ド派手は×、LEDなど清楚なインパクトのある飾りつけ○)。東口はひどいもの、うんざり。市の玄関口くらいは考えもらいたい。
- 10.空き地の雑草、民家からの木の枝や竹などが道路にまでおい茂り、景観も良くなく、また大変危険である為、市は徹底して対処して欲しい。
- 11.空き地等が公園などにされず、放置されている。
- 12.昔ながらの街並が大きなモールができたため少なくなってきたような気がします。べんりだが、その分防犯などもきちんとしなくてはいけないと思う。
- 13.桶川市は東西に高速道路ICをもち、又、南北にバイパス道路が通り、今後において、商業的流通拠点にかわっていくもの考えます。交通の利便性だけが優先されそうですが、住居環境がそこなわれないような都市整備を進めてもらいたいものである。

- 14.加納東部地区の工業振興地域における住環境の整備について議論、検討して頂きたい。高速道路の通過など生活環境の悪化に対する改善策が感じられない。例えば、新幹線沿いのニューシャトルの延長など交渉しているのか、住民には全く伝わっていない。
- 15.人口が増えていないからこそ、住みやすい環境が維持されていると思います。
- 16.上日出谷に住んでいますが、ベに花ウォークができる事により周辺がどうなっていくか楽しみでもあり、不安でもあります。
- 17.高速道路が通り、大型ショッピングモールができて、道路も整備され、便利で住み良い街づくりが進んでいると思う。一方で、静かで落ち着いて暮らせる住宅街も気に入っているが、便利になっていくことでそれがなくなっていってしまわないか心配である。日中家にいる、子供や高齢者が住み良い街であることを望みたい。市役所の窓口のサービス向上もお願いします。(家族がなんだかイヤな思いをしています。)
- 18.寝るためだけに住むならとても住みやすい市だと思う。
- 19.横浜市が取り組んでいるようなボランティア貯金の推進。2世帯同居、3世帯同居が可能な地域推進。核家族から、シェアハウスの推進。
- 20.明るく、すみきった空気、さわやかな風を感じる事のできる生活。
- 21.住みやすい街になって欲しいと思います。何かに特化する事ではなく、当たり前で無理なく暮らせる街であって欲しいと思います。
- 22.安心して暮らせる静かな住み良い町。
- 23.地味で比較的穏やかな桶川市が好きです。このまま穏やかであって欲しいです。
- 24.大型店や開発の進む道路で人が増え、24時間明るいのも電気代が勿体ないし、老若男女気持ち良く育つ環境を望みます。
- 25.自然環境や地域コミュニティなど普段の生活にはとても住みやすい町だと思います。ただ、街灯整備が不十分だったり、見通しの悪い信号機が放置・公園での不審者目撃など、安全安心して子育て出来るかどうか・・・不満な点多々あります。危険遊具の放置なども良く耳にします。

施策 502 歩いて暮らせるまちの実現 (169 件)

- 1.駅周辺(東口)の開発推進を強く望みます。
- 2.南小跡地の有効活用。
- 3.桶川駅東口駅前整備、再開発。
- 4.桶川東口駅周辺や街中の旧中山道沿いの道路、商店街など、寂びれている感じがします。みんな協力して一代改造(改革)をしてはどうですか。上尾、北本、鴻巣は綺麗になっていますよ。
- 5.桶川駅東口にエレベーターをお願いします。
- 6.桶川市全般に高齢化がすすみ、今までは駅まで車で行く家庭が多かったです。今は介護をしたり、又、目が悪く車の運転も出来なくなる人が増えている現在です。循環バス(内まわり)が約2時間に1本なのでもっと増やして頂きたいと思います。くれぐれもよろしく検討して頂きたく思います。
- 7.免許がなく車もないので市バスと電車が頼りです。バス送迎のある病院があるのは助かりま

した。

- 8.バス時間の延長をして欲しいです。1時間あたりの本数も少なく、最終バスの時間も早いため、せっかくの市民の為のバスなのに、帰宅時間にはいつもバスが終わっており、利用が出来ません。バスを逃してしまうと長時間待つようですし、時間をつぶす場所が駅周辺は少ないです。
- 9.駅とその周辺の整備をして欲しいです。ロータリーは送迎の車で混雑し、少しの間停めておけるコインパーキングもないので不便です。駅をもっと広く綺麗に駅内にお店が入ると（朝霞駅とかみたいな）より利用しやすく、活気があふれると思います。駅、駅周辺は多くの人利用し、市の顔でもあると思うので改善してほしい。
- 10.とにかく買物をするのが不便。駅ビルを建てるとか、周辺をもっと活性化して車移動が出来ない人でも買い物に困らないようにしてほしい。大きなショッピングモールがあるというと思う。
- 11.意見：紅花陸橋に自転車も乗り込めるエレベーターをつけてもらいたい。
- 12.東口駅前道路が狭い。歩道もなく歩きづらい。町全体が歩道がないので高齢者は手押し車で歩くことも出来ない。
- 13.桶川に移り住んで45年。東口の開発については非常に関心があり、色々な考え方を地域者に聞いたことがあるが（約30年位前から）全く保守的で行政の力でも無理だろう。南小が跡地においても地主がすぐ駐車（輪）場を造り、現金収入を得る。地主にとってはこの楽な方法を選択する方が得策なのは一目瞭然である。高崎線沿線で東口の開発が遅れ、景観が汚いのは桶川だけである。
- 14.路線バスが通っていない地域に紅花号の本数を増やせば利用し、車の利用が減り、エコにつながると思います。
- 15.桶川駅東口駅前がひどい。個人で経営している？自転車置き場屋さんばかりである。南小跡地を市営の立体駐輪場にしてはどうか？駅前の整備を早くすすめて欲しい。
- 16.桶川駅の整備と周辺の活性化。
- 17.駅周辺の整備を進めて、商業の発展を図り、より良い発展に努力して頂きたい。
- 18.坂田交差点付近に家があるが、以前より交通の便が悪くなった。
- 19.家が増えるのに、お店は近くにないので、色々不便です。環境を損なわないようにして、誰もが住みやすい町づくりをして欲しいです。
- 20.桶川駅東口が一向に整備されないことが大変不満である。すぐには難しいのは分かるが、せめて公共の駐輪場などを作るなどしてくれないのか。また、雨の日には車が停まっていたり危ない。歩行者が安全に歩けない駅前などがあるのに、観光のことに力を入れようとするのは順番が違うのではないだろうか。桶川は災害が少なく、お店も充実していて好きな町だが、この点に関しては長年不満である。
- 21.いなり通りの整備。
- 22.バス通りの整備（末広）。
- 23.駅（東口）の整備。
- 24.桶川駅東口のロータリー改善&駅エスカレーターの上下独立設置（東口はエレベーターがない）。

- 25.バス、乗用車迎えが出来る広いスペース確保。
- 26.東口駅前通りの拡幅&商店街の再整備。
- 27.各道路交差点の右折レーン設置による渋滞解消。
- 28.駅東口の整備をしてほしい。
- 29.桶川駅前の整備の推進と商業施設の活性化を行ってもらい、市民生活の向上、利便性を高めて欲しい。
- 30.桶川市が元気に活発に発展していく事を望みます。東口開発が非常に遅れているようなので、市全体の事を考え、駅周辺の開発をお願いします。歴史ある宿場町なので、それを全体的に活かし、特化していったらいいと思います。愛する桶川頑張れ！！
- 31.まず駅東口から旧中山道までの商店街のバス等車の乗り入れ禁止。
- 32.町づくりというより、市役所を駅前（南小学校の跡地）に移設して、市役所への利用方法を考えたほうが良いと思う。不便です。西口は開いているのに、東口は全く手つかず。バスの運転手さんがかわいそうです。税金を納めている市民に対して何も無いような気がする。交通の便が悪すぎる。それと街灯が少ないです。必要な所がない。
- 33.桶川駅東口側の整備、建物の統一化。道路整備。少しの間だけおけるような駐輪場の設置など。まず玄関口である桶川駅とその辺りを綺麗にする事が大切ではないでしょうか。
- 34.紅花館の第二駐車場等公共の場所を有料でもいいので一般開放してほしい。来客がある時に近隣に有料駐車場が無く、路駐している車も多い。ガランと空いている公共の駐車場を見て、いつも有効に活用して頂けないものかと感じている。
- 35.桶川駅前を整備してほしい。桶川駅だけ取り残されてしまった。
- 36.バス停を増やしてほしい。
- 37.道路が狭い所は電柱を地下に埋めるとか、街路樹を取り払えば歩きやすくなる。車いすで移動できる道路。東口の整備を急がないと桶川市全体がますます遅れた街になって行くように思います。
- 38.東口駅前通りの活性化。寺所有地の上の建物の又貸しに手を焼いているのが実情？区画整理は代替土地がなく不可能なの！市が折衝できる、土地所有者との話し合いが最短の道かも？（案件数が少なくなくて済む）。上尾市東口駅前再開発を参考に見たらどうか。東口再開発が完成すれば桶川の明るい未来が来ると思う。
- 39.圏央道のインター付近が栄えてたくさんのお店が建ち、桶川市内で買い物が出来たらいいです。
- 40.東口駅前の開発を早急に、屋根のある駐輪場を整備してほしい。駅前の細い道に送迎の車が停まり、とても危険な状態を改善してほしい。
- 41.上尾、北上尾、北本駅周辺の全てに対し、負けない桶川にしてください（特に東口）。早い開発に着手願います。
- 42.市内循環バスの充実を望みます（細かな停留所の設置など）利用しやすいバス路線を作る。
- 43.JRももう少し本数が増えると便利だと思います。東口駅前ももう少しどうにかできないものではないでしょうか。市長には是非とも頑張ってください。
- 44.駅東口の整備をしてほしい。ロータリーをつくり、家族や友達と買物や散策を楽しめるような場所になってほしい。

- 45.東口の開発。荒川河川敷の開発。
- 46.駅東口の道路が整備されて、商店がにぎわい活気づいた町にしてもらいたいと思います。
駅に車の送迎で早く駅についても車を置いておく場所がないので、一回りしている状態なので、広くてきれいなロータリーが望ましいです。家に来客が来て外食する所がなく、上尾、北本方面へ出かける事度々。桶川市内で美味しく素敵な食べ物屋さんお待ち遠しいです。町のお医者さんよりも大きな設備の整った大学病院があったなら安心して暮らせる事間違いないと考えています。
- 47.駅東口～中山道の整備、開発。
- 48.駅東口の整備をしてほしい。古い地主を早く立ち退かせる事。
- 49.早く東口駅前、道路、商業等の整理及び整備。大きなショッピングセンター。
- 50.駅（東口）の再開発は必須。まちの“顔”となる拠点が現状では話にならない。
- 51.駅周辺（東口）の整備、開発、強化。
- 52.東口の開発をなんとかしてほしい。安心して歩くことができません。
- 53.末広の道路拡張および東口駅前の再開発期待しています。地権者をうまくまとめて下さい。
- 54.西側、東側分断で中心部が無い。
- 55.東口駅前に活気がない。
- 56.西側道路が迷路の様で迷う事がある。
- 57.東口の整備を至急をお願いしたい。いつか必ず事故がおこります。狭い道にバスが通る事が危険です。道を広くして安心して歩ける街をお願いします。
- 58.桶川に引越してまもないのですが、車を所有してないので生活が少し不便に感じる所もあります。
- 59.桶川駅東口の整備を急いだほうが良いです。タクシー、自転車、人、自家用車、バスがごちゃごちゃに行き交いし、毎日本当に危ないと思いながら利用しています。
- 60.駅東口の整備を早急に進めてほしい。あそこだけ何十年と変わらず、町全体がさびれた感じを受けます。駅通りが狭く、バスも通るので、歩きや自転車の人は大変キケンです。近りんの市は、どんどん整備され（特に上尾）、美しく住みよい町へと変わっていくのがうらやましいです。市長が変わっても変らなくても、桶川市が変わらないのはなぜですか？駅東口のロータリーを作らないと、子供を駅まで迎えに行けません！！すごく混雑している東口を見てください！！
- 61.市内交通機関の充実化。
- 62.駅東口の整備。
- 63.中山道を基調とした駅東口の整備。
- 64.医療機関、公共施設へ、公共又は私運営の乗物で、行き帰りののできる町づくりをめざして欲しい。高齢者がいつまでも自家用、自転車で移動できるのはかぎられています。いろいろな形でボランティアばかりにたよってはいただけません。自分の力で行動できる町づくりをめざすためです。
- 65.東口駅前をもっと利用しやすくしてほしい。
- 66.買い物とかが不便。
- 67.駅周辺の交通の整備と総合病院を含む町づくり。

68. 駅東口の開発はまだなのか？上尾方面に行った一本先の道路を駅前通りで開発できないものか。
69. ずっとお願いしたいと思っていた事があります。東口の駐輪場にも屋根をつけて下さい。お願いします。東口にもサンアリーナのようなスポーツが出来る施設があると嬉しいです。アリーナへ自転車で行くだけで、結構な運動になってしまいます。桶川が好きなので、アンケートが辛口になりました。すみません。
70. 上尾市と北本市が市の中心部より開発がどんどん進む中、桶川市はすごく取り残されている。東口開発は特に遅いと思う。南小学校の跡地が広いのにゲートボールの利用だけでは、もったいないと思う。西口の開発より東口の開発を1番に考えて欲しい。中山道もせまい。早く広がって欲しい！！
71. 東口駅前の交通の混雑、バスを下車した時、自分の歩く安全にビクビクして店の軒下にかげ込みます。最近経験しました。東口の開発と共に桶川駅東口にエレベーター、西口にエスカレーターが作られるとよいですね。子どもも老人も、若人も利用され、人の出入のあるにぎやかな駅、街になってほしいです。
72. 桶川駅東口の整備。桶川駅東口を知っている人々はそのイメージだけで良い印象は持たず「栄えてない方ね」との一言をよく耳にする。駅前の印象は大切だと思う。利用するのも不便が多い。(歩行者と車の道が整備されておらず危険)中山道より駅前が先ではないかと思う。
73. 東口駅周辺の整備を早くやって欲しい。
74. 桶川駅(東口)にエレベーターをつけてほしい。
75. 駅及び東口、開拓はいつ頃になりますか？東口より、中仙道までの道、狭くて車にぶつかってしまいます。中仙道にしても、北本と上尾は整備されているのに、桶川だけが…遅れています。
76. 桶川東地区(桶川駅東口方面)を開発してもらいたい。
77. 近くにスーパーなどが少ない。
78. 市の顔である駅前開発と市役所改築を早急に進めていただきたい。
79. 桶川駅東口周辺の道路が狭く、歩行するのに不安を感じます。駅前は市の中心であり、誰もが利用する所です。歩行者が安心して歩けるような道路(道幅)にしてほしいです。
80. 駅東口の整備を早急に進めて下さい。道路は狭く、魅力のある店舗もない。個人の駐輪場ばかりで市営の駐輪場は遠い。とても利用しにくい。
81. 桶川駅東口ロータリーを作って欲しい。また駅前通りの拡充。
82. 桶川駅西口から市役所までの通りがさびし過ぎる。特に旧バオバク書店の跡地に葬儀屋が入っている等盛り上がりがない。
83. 上尾駅、北上尾駅、北本駅と特に桶川寄りの駅の開発にはびっくりするほど進歩していません。桶川はお金のない町として思われています。住民の意見ばかり重視していませんか？西口は大成功したと言えますが、東口の空気の重さ、開発をもっと積極的に進めるべきです。宿場町？いつまでも続けている意味ありますか？西口のショッピングモール必要性がありましたか？何かのシンボルになりますか？駅に降りた時の東口、むかしながらの狭い道路、交通の不便さ、じっくりとりかかるのはいいけど、しっかりして下さい。

- 84.川越の様な観光地として発展してほしい。今ある古き良き家並、そして再現を目指して欲しい。それには、町中はまず、電柱をなくして景観を良くし、交通は一方通行として、人々がゆっくり歩くことが出来る余裕をもたせ、そして、オブジェなど置いたりなど、とに角、人々が訪れやすい環境作りが良いのかなと思います。
- 85.子供から高齢者迄、あらゆる人々が安心・安全に暮せる町を目指すことを希望する。
- 86.桶川市は人はいるのに大きな買い物や観光はみんな他の町に行ってしまう。商業地が貧相で、西口も淋しいですが、東口の駅前や中仙道は寂れた町という感じです。もう少し綺麗な活気ある街並になってくれるとうれしいです。
- 87.駅の東口が、上尾駅の様にもっと近代的に、そして利用しやすくなってほしいと思います。
- 88.桶川市の環境に力をいれることはよいのです。桶川東口駅前の交通道路を整備をすることが先だと思います。鴻巣行の路線バスの廃止は桶川西、桶川北の方は朝通勤に大変ふべんです。夕方も回数をふやしてもらうようにバス会社へ話し合ってください。
- 89.駅にエスカレーターしかありません。上りだけではこまりますのでエレベーターを設置して下さい。身体不自由なかたは大変です。
- 90.東口駅前の開発はどうなっているのでしょうか。桶川市が他の市町村に比べて元気がなさそうに感じます。
- 91.桶川駅前の早期開発及び旧中仙道の整備から新しい町づくり。
- 92.駅前を北本や上尾のように整備して、他市に遅れをとらないように頑張ってください、早目に対応してもらいたいです。何十年も桶川に住んでいますが、駅前や道路はずっと変わっていません。ずっと計画はある事は広報等で見てますが進んでいないよう…。駅から離れた坂田や下日出谷等の変化は大きいのですが、一番目立つ、目にする駅前は、東口が変化がないです。東口側にエレベーターがない為、高齢者の方が大変なおもいで階段を上がったり下りたりしている姿を通勤時に目にします。力を入れて頑張ってください。
- 93.引っこしてきて17年目になります。東口駅前は、まもなく整備されるときいてましたが、今だに東口は危険がいっぱいの道路だと思います。色々な事情があるとは思いますが、車も自転車も歩行者も安全で事故のない道路に早くなってほしいと思います。
- 94.東口の再開発と市役所新設。東口は木造2階建位の商店街が良い（どこの市でも同じではだめ）駐車場より駐輪場を整備し、（自転車が走りやすい環境整備も必要）人が集いやすくなる。
- 95.桶川駅東口の整備、駅全体の使いやすさの充実。西口側にも誰でも利用しやすい児童館があるといい。（赤ちゃんだけではなくて、小学生ぐらいも利用できる施設）
- 96.人の住みやすい町安全な地。施設の整った街を希望します。
- 97.桶川駅東口駅前の整備を望みます
- 98.マイナー駅間の道に屋根を付けて欲しい。駅の東側の通りに、歩行者専用道路を作ってほしい。駅前にスポーツ複合施設を作る。
- 99.桶川駅の東口、西口に上下両方のエスカレーターを設置して欲しい。
- 100.桶川駅下りのエスカレーターを作ってください。駅通りの道路の整備など（中山道など）自転車での交通はとってもあぶない。
- 101.一日も早く、東口駅前を広げ整備して欲しい。家族を送迎しているが、日本一、きたなく

狭く、危険な駅前だと思っている。

- 102.市内で、数回、引っ越しをしていますが、国道17号を境にして、地域性？への違いを感じます。駅を利用する機会が減ると、市への関心が薄れていくのかも・・・バス路線を増やして中心部へ行きやすくしてほしい。公園なども東口は少なく、子どもを遊ばせられる場所もあまり無い様です。ゆとりを持った、整備を望みます。
- 103.交通弱者の観点からは、これ以上市街地を広げる必要はなく、駅周辺に諸機能（行政、文化、商業）を集める事が望ましい。そのためには、高崎線東西と駅との公共交通機関によるアクセスを良くし、利便性を高めると良い。
- 104.モノレールなどで市全体を移動して歩いたり出かけたりすることができる、アクティブな市になって欲しい！！人にやさしい、特に子育ての人はやさしく、多くにもやさしく過ごしやすい街づくりをしましょう。
- 105.バスの停留所が遠いのもう少し止まる場所を増やして欲しい。
- 106.駅東口は道路整備のみで良いと思います。色々な構想があるようだが税金のムダ、ベにばなウォークの賑わいを維持する方に力を入れた方が良い。
- 107.電車の時刻に合わせてベにばなGO！（バス）を走らせていますか？（桶川発）いつも電車を降りてから走って乗り込みます。そこまで気配りをした時刻表にして下さい。
- 108.桶川駅周辺は賑わい商業設備も多いが、駅から離れてしまうとスーパーや日常生活を送る上で、車が無ければ動けない状況がある。私はまだ30歳代で車もあるので、不便はないが、車なく年を取った人だと利便性はまだまだと言える。
- 109.桶川駅東口の整備、開発なしに桶川の未来なし。
- 110.JR桶川駅と北本駅の間に駅が出来ない事になり大変残念です。駅が出来ていたら、桶川市民の利用も多かったと思います。
- 111.旧中山道の交通をスムーズにして、路線バスがもう少し定刻性を増して頂きたい。車利用前提の町作りは、将来性が見えてこない。
- 112.駅前整備を早急に進めていただきたい。
- 113.早急に桶川駅東口の開発をしろ！高崎線沿線で一番遅れてる。
- 114.桶川駅東口の整備を行わないと近隣の市より立ち遅れ、発展しないし、住みずらい市として、人口も減って行くのではないか。
- 115.変わったのは道路と駅前の駐輪場が増えたことくらいしか印象にありません。駅前がもっと活気付けば良いなと常々思っております。あと夏祭りはがっかりです。
- 116.私は生まれも育ちも桶川です。周りの市がどんどん立派になって人口も増えて駅なども、便利に開発されていく中で、桶川駅の東口だけどうして？！ロータリーすらないの？バスがひもで回転？情けなさしみじめさで、いっぱいになります。東口の開発は、いつから始めてくださるのですか？間もなく娘が高校生になります。電車通学になるかもしれません。前向きなご検討をお願いします。
- 117.何年も開発が進まない。桶川駅東口の実験が大きな課題かと思えます。市役所がようやく新庁舎として生まれ変わるのでしたら、なおのこと東口の実験が望まれてくると思います。
- 118.駅東口の実験。（シャッター商店街を整理し、道路、ロータリーの拡張。欲を言えばショ

ッピングモールの誘致)

- 119.市内の商店で買い物を済ませるようになれば良いと思う。特に高齢者は望んでいます。
- 120.桶川駅と駅東口をもっと活気の有る場にしてほしいです。
- 121.自分の目の前の生活に追われ、住んでいるまちがいいか、よくないか深く感じた事がありませんでした。しかし、桶川駅東口の開発、整備の遅れに不満です。
- 122.公共交通機関の充実（高崎線の終電時間が早いので大宮駅からの深夜バスなどあるとうれしい）。
- 123.駅東口にエレベーターを。東口駅前の改善（道路、商店、衛生面）大宮駅からのバスが桶川駅まで往復している。歩道と車道の区別。
- 124.駅、駅前整備。
- 125.駅前をもっとひろげてほしい。道が狭くていつも怖い思いをしています。シャッター街の商店外も夜は恐いだけです。もっと有効活用を。
- 126.東口にもエレベーターをつけてほしい。スーツケースなど思い荷物を持っている時、降りるのは本当に大変。わざわざエスカレーターを下りにしてもらうのはめんどろだし、気が引けます。
- 127.二ツ家に新駅を！！住民投票を北本でだけではなく桶川でもやるべきです。
- 128.駅東口の再開発ロータリー（難しいとは思いますが・・・）。
- 129.交通が不便である。高崎線がストップすると、移動手段がなく、仕事で出掛ける事もできない。ニューシャトルの駅を近くに引っ張ってくるとか、地下鉄を通すとかしてほしい。
- 130.桶川駅東口の利便性を高めて欲しい。
- 131.桶川駅—北本駅間の交通の不便。コミュニティバスの希望。
- 132.夢ですが、高崎線の桶川駅—北本駅間に新駅（北本市、二ツ家）を作る話がとん挫しましたが、是非実現してほしいと思います。（桶川市も北本市も協力して）
- 133.東口駅前、きちんと整備してほしいと思います。上尾駅の東口もきれいになったので、できないことはないと思うのですが・・・。
- 134.コンパクトシティとして、市街化区域の縮小まで含めた住民が住む場所を厳選し、公共費の見直しが欠かせない。
- 135.東口駅前通りの拡張、整備計画の早期実行を上尾市、北本市と比べると遅すぎる。
- 136.駅東口にバスターミナルや、道を広くし安全に通勤、通学が出来る様になってほしい。
- 137.駅西口の再開発をお願いします。バスと一般車両は別になるように。
- 138.桶川駅の西口・東口の階段について：数年前、当時都内に住んでいた母方の祖母が桶川に来ました。祖母が母に言ったそうです。「桶川駅の階段は歩幅が狭くて歩きにくい。降りる時怖い。」と言ったそうです。もう何年も前の事ですが、年寄りにも昇り降りし易い階段を作って下さい。
- 139.桶川駅東口の埼玉りそな銀行の道の段差を何とかして下さい。
- 140.駅西口をなんとかして欲しい。
- 141.駅にゆっくり出来る場所があるといいです。私も思うのですが、私の息子が駅でのんびりする所がないと言っています。
- 142.駅東口整備を進めて下さい。

- 143.桶川駅東口の整備：ロータリーを作り車の流れを良くする。道路の幅を広げ、歩行者の安全を確保する。旧南小跡地に下は商店街、上にはマンションを作り、道路の拡張等により退去させられた人々が優先的に入居する。スーパーではなく昔のような商店街があったら（出来たら）嬉しいです。会話を楽しみながら買物ができる。夢でしょうか？
- 144.バスが少ないから増えたら嬉しい。本数も少ないし終バスが早い。
- 145.電車の本数も少ない。
- 146.駅の西側の階段に結構すき間がある（段と段の間）けど補修とかしないで大丈夫ですか？
- 147.駅東口道路拡張に伴い、あえて裏通りを作り出し「〇〇路地」「〇〇横丁」など、車の通らない狭い空間を！
- 148.桶川駅東口開発を早く進めて欲しい。
- 149.東口駅周辺開発を早く行って欲しい。送迎車が多いので歩行者・自転車も危ない事がある。駐車場の整備もして欲しいです。
- 150.桶川駅東口をどうにかして欲しい。あんなにひどい駅前は恥ずかしいです。早く取組み、ロータリーにして欲しいです。北本・上尾にどんどん置いていかれると思います。
- 151.桶川駅を北へ100m移動して駅前広場を小学校の跡地に作り、東口商店街を作り直す。今の駅前通りは再開発出来そうもないので北側に新しく作る方がいいと思う。
- 152.桶川駅東口を利用しやすくして欲しい。
- 153.桶川駅東口駅前再開発を積極的に推進する。
- 154.規模の拡大を望まず、生活するに充実したバランスよい街づくりを進める。（遊休地と農地の活用）
- 155.駅東口の開発を早急に進める事ではないでしょうか。上尾・北本に大きく遅れになっています。歴史を守る宿場町と言う事もありますが、それは一部の商店に寄与しているだけでしょ。旧東小中学校の跡地を有効に活用し、駅周辺及び中山道の道路を拡張して商業施設を見直すべきでしょう。
- 156.商店・病院・子供の声が聞こえる保育所など大まかではなく、小さな町づくりをいくつも作ったらどうか？
- 157.東口駅前の整備。エレベーターの設置希望。
- 158.桶川駅東口の開発。
- 159.東口は公共施設が少ない為、17号線に道の駅を設置して、通りすがりの人達が集まり買い物できる様な。夢です。
- 160.問1で回答している通り、東口駅前の開発は如何なる理由があるにせよ全市民の要望であり課題である。早期とは言わないまでも提起位しているのか知りたい。
- 161.桶川駅の東口を何とかして欲しいです。ロータリーが狭いし、道も整備されていないのは危ないと思います。
- 162.車での移動に頼らず、徒歩・自転車・市内循環バスで日常生活を賄う事ができる町になって欲しい。
- 163.道路を整備していますが車が優先されています。住んでいる地域では自転車が必要です。まずは地域を調査してより良いまちづくりをお願いしたいと願っています。必ずしも車を持っている人ばかりではない事を知って欲しいと思います。

- 164.浦和から桶川に来て35年経ちましたが桶川駅東口開発が全く進まず駅前の道路等も狭く駐車し買い物する事も出来ない為、周辺の商店も活気がなく寂れてきている様に思います。隣の北本市は桶川と同等の市であるが、道路整備・医療機関・公園・商店・飲食店等充実しているので、北本市に出掛ける事が多いです。至急桶川駅東口開発をしないと活気のある市にならないと思います。
- 165.歩きと自転車が行き来出来る踏切か地下道を増やして欲しいです。ベに花陸橋の下にも歩行者と自転車が通れる様にして欲しいです。買い物して荷物を積んで自転車の昇り降りはずごく大変です。昔より東口と西口の行き来が無くなった様に思います。車に乗っていると気付かなかったのですが、自転車に乗るようになって自分も大変ですし、大変そうな人もよく見ます。
- 166.桶川駅東口の整備をしていただきたいです。車も歩行者も危険ですし、市の発展の為にお願いしたいです。
- 167.桶川の入り口である桶川駅周辺を整備して下さい。西口・東口で統一感がない事。西口も中途半端な形になっている事が外から見た人が感じる事なのではないでしょうか。但し上尾のようにビル街を作って欲しい訳ではありません。現在言われているコミュニティーを大切にしたいコンパクトシティを目指すべきです。
- 168.バスの本数を増やして欲しいです（ルートも）。
- 169.年寄りが多くなるので、バスの本数、終電まで運行してもらいたい。仕事で遅くなることがあるので。駅前の改善。東口は特に！

施策 503 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み（57件）

- 1.工業特区、農業特区、観光特区、自然環境特区の維持
- 2.首都圏の好立地を活かした環境整備を推進し、桶川市にしかできない街づくりに取り組み、海外の高所得者を誘致し、税収を上げる。
- 3.現在社会人として働いているが、10年後という、この桶川で生活をしている時間が長くなる年齢になると思われる。子の時、この町に住んで良かったと思えるような街づくりを期待します。20代～50代にもっとこの市の事をアピールする方法を考えてもらい、意見の求められる時間、場所があれば良いのではないかと思います。
- 4.近隣周辺の市と比較して、いい意味での違いがある町にして欲しい。
- 5.公共の施設や雇用においても上尾市の方がよいと思う事があるのが正直な所です。桶川市の方が魅力ある事が思い浮かびません。
- 6.運動公園、施設の充実、開設。
- 7.全国どこへ行っても、桶川市に住んでいると言ったら相手があつた埼玉県の桶川市ですか、あそこはとってもいい街ですよという会話があるような街になれば良いと思います。
- 8.桶川独自の個性ある街づくり（環境、文化共に）。
- 9.駅前の整備を進め、駅を降りた時に中山道の街並みや桶川文学館に通じる動線を確保して感動を与えるような街にする。
- 10.桶川市に住むことに特に不安に思う事は今の所何もありません。ただ、桶川市も高齢化、少子化問題は避けては通れないと思いますし、活気ある街づくりが重要だと思います。先

ずは人が集まる街に出来ればよいと思うので、観光名所をつくり、大々的にアピールするというのはどうでしょうか。もちろんそんな簡単にできる事ではありませんが、力を入れてみる価値はあるような気がします。

- 11.歴史を大切にしながらも活気のある商店街のある魅力的な町になって欲しい。
- 12.取り残された街・・・北本、上尾が徐々に活気づき、大手企業、スーパー等々。自分達の住んでいる街にお金を使っていません。もっともっと活性化できる街づくりを目指してほしいです。
- 13.桶川は中山道の宿場町として昔は栄えていたと思うが、現在はその文化遺産が残されておらず、農業の振興に力が入れられたり、不必要な道路整備がなされたりと、桶川市に住民が集まってくる街づくりがなされていないと感じます。川越市の小江戸文化をアピールした街づくりに市政と商工会は関心を持つべきであり、桶川の歴史を土台にした街づくりに知恵を絞って頂きたい。また、工場エリア、商業エリア、住宅エリアを明示して街づくりの景観整備とコストの効率を高めて頂きたい。
- 14.湘南新宿ラインの本数を増やし、新宿方面へのアクセスがしやすくなれば、便利になると感じる。
- 15.「どちらにお住まいですか」と聞かれた時「桶川です」と大きな声で返事できる町であってほしいと望みます。自然環境がこれ以上破壊されることなく、文化、芸術、スポーツなど各々が関心を持ち、誘い合って参加する活気あるまち、そして医療機関（総合病院など）の充実、これらが行政のみでなく、市民の声も大いに繁栄しつつ、発展する桶川でありたいものです。
- 16.中山道宿場町等の特色を活かした街づくり。
- 17.紅花ウォークの進出がどのように影響してくるかわかりませんが、マインに少なからずの影響はある中で、マインは立地条件からもなくしてはならないと思うので、この際、上尾や大宮等、駅とのコラボで一体化を図り、活性化を狙ってみてはどうでしょうか。
- 18.都心や大宮までのアクセスはJR高崎線のみかと思われる。バス等の方法の検討を（台風、地震等時の足不安）。
- 19.文化、教育、他の事も桶川として特色性のあるものを考えてはどうか？各分野で先達の方がおりますので、その方々に協力頂く。
- 20.他市や他県の方から「桶川ってどんな所？」と聞かれた時に、胸を張って「〇〇な所」と言えるような街づくりを進めたいですね。例：中山道宿場町の街並みと緑豊かな自然の中で小鳥のさえずりの聞こえる街（ただし、若者が働く場所が確保され、子育ての支援体制が整っていることが必要不可欠）。現状では「紅花とうどんの街」と答える人が多いのではないか、又は答えにつまってしまうと思われる。
- 21.教育機関を誘致できたら昼人口も増え、消費も期待大。
- 22.駅周辺だけでも活気があればなお良いです。
- 23.駅西口の花や木がもっときれいにデザイン、整備するとういと思います。時計も電波時計がいいです。
- 24.道路整備（高速道、環状線等）着々と進んでおり、単なる通過点としての桶川市ではなく、皆が一度立寄りたくなる街づくり。

- 25.上尾市や大宮市の様に、駅ビル等があればいいと思う。
- 26.荒川沿の景観を利用した、映画、ドラマのロケ地化を検討することはいかがですか。（本田エアポートも歴史があるようです。）中山道の街並の復元。
- 27.市民が誇れるものがあり、町に愛着を持てるようになるとうれしいです。子ども達が桶川が大好きと胸を張って言えるような町になるといいなと思います。
- 28.老夫婦だけで住んでいる家が、多くみられます。もっと若者の住みやすい市にしてほしい。たとえば、通勤・通学に便利。病院（産婦人科）の設立。
- 29.企業を誘致し、マンション多くする。人口増す。市全体を明るいにぎやかな市になるように。
- 30.圏央道の建設では不便なことばかりで恩恵がないように思える。出来れば新駅を建設して新たな目玉として欲しい。
- 31.桶川宿の町並みの再現。
- 32.近隣の市町村に比べ、全てにおいて魅力が無い。食べるにも遊ぶにも買うにも他市に出向かなくてはならないのが残念。自分も含めてより良い市にする為に1人1人の意識向上が高まれば…。高齢の為率先して何をしたら良いのか考える力が弱く悔しいです。
- 33.町の中で全て賄える様、明るい笑顔の町作り、頑張ること。
- 34.人が安心して楽しく集まれる街づくり。
- 35.北上尾→桶川までのまっすぐな線路沿いの道はランニングの人がとても多いので、ランニングウォーキングの道として〇〇kmとか道路にマーキングしてもらおうと、走る人は目安になってよいと思う。
- 36.以前にも提言したことがあるが西口のロータリーをもっと効率よいレイアウトは出来ないのか。タクシーのプールスペースの使用状況をリサーチしたことがあるのか！普段何台もぼんやり客待ちしている状態。“もっと頭を使い”
- 37.桶川→大宮、高崎方面への深夜バスの運行。
- 38.イベントが駅近くで開催出来、人が集まりやすい環境がほしい。
- 39.下日出谷に住んでいるので桶川西口（西側）が開けてきたり、新しい建物やアピタが出来るのは、うれしいが”桶川市”の全体を考えると、もっと東口側を開発した方がいいと思う。上尾や大宮などのように両方に大型店舗があっても良いと思う。東口側は17号から入って来やすいので魅力的な物を建てれば観光や日とも呼べると思う。（駅から近ければ尚可）北本はトマトカレー、伊奈はバラ園、菖蒲はラベンダーなど周りの市や町は人を呼べる有名な物がある。桶川は”べに花”を押しているが……。あまりべに花では人を呼べないと思う。桶川と言えば桶川線路側にある蘭だと思うのですが……。蘭の方が人を呼べると思う。
- 40.旧中山道の街並みを景観条例などを設けてでも歴史的な街並みに再生させ、他の高崎線沿線の駅と差別化を図るべき。
- 41.ただの商店街の祭りの様なぎおん祭を歴史を感じるような荘厳な祭りへと発展させるべき。（子供と夜店で食べ物買っただけのまつりになってしまっている。）
- 42.桶川以外に住んでいる人が桶川に住みたいと思えるような桶川にしたい。又、そうなって欲しい。

- 43.桶川に住んで20年何も良い方への変化を感じれない。行政量が近隣の市と比べて劣るのでは・・・?と思えてならない。公共の施設の偏在がひどいと思うばかりです。公園も少ない。圏央道の開通も近いので、この機会をのがさず土地の利用を有効にできるよう検討して欲しい。
- 44.桶川駅東口を中心にしたエリアの再開発、特に街並みの統一景観の統一をして美しい町づくりをしたら良いと思います。小さな市ですので、費用、時間とも大きな市町に比べて、少なくて済むと思います。
- 45.駐輪場が古くてボロい。場所も不便。
- 46.昔の街並みを残しつつ、新しい街並みを作る。
- 47.あえて夜は暗い町とし、他市との差別化を図る（駅前通りや中山道）。
- 48.荒川の所に市営のバーベキュー場があったらいいな。
- 49.他の市にはない誇れる物・事・場所・市民の心。
- 50.まったく町に面白みがない。市民祭りなど毎年同じ内容なので、もっと目玉になる事を1つでもやる。
- 51.電柱をなくしてもらいたい（地下に）先進国では日本が一番遅れていると聞きます。災害の多い国だし、何より電柱が歩道にあり車道に出なければ通れなかったり電柱があるため車も入れず、車椅子も通りづらいところがある。（お金はかかるかもしれませんが・・・）
- 52.駅前を壊して再開発など時代遅れのアイデアに固執せず再生型の中山都市の活性化に注力すべき。
- 53.桶川駅東口の開発が遅すぎる。市庁舎もだが、南小学校跡地は改めて考え直せないものか。庁舎でも良いし、駅を含めての駅ビルにでもならないのでしょうか。
- 54.来月出来るベニバナウォークが楽しみです。これは桶川市に行っても意味ないと思いますが、線路が1つしかない（高崎線）はやっぱり不便に感じます。始発も遅いし・・・。夢はもっと通勤しやすくなって、商業施設が増える事です。駅の東口にもコンビニが欲しいです。あと、自転車通勤してますが（駅まで）途中、街灯がなく暗いのを何とかして欲しい。（ピザ屋とか歯医者の前～学校らへんまで）
- 55.中山道の宿場町の充実と活性化（せっかくの町が死んでいる）。
- 56.若い人達が暮らしやすい、文化・スポーツ・音楽等で活気づく街づくりを期待しています。
- 57.若いファミリーをターゲットにしたまちづくりをするべき。市民税の負担減、駅周辺道路の整備等を進めてほしい。

施策 504 都市計画道路の整備（22件）

- 1.主要幹線道路の整備を強化してほしい。
- 2.川越県道の歩道が早急に整備されると良い。サンアリーナを週一利用しているが、自転車の走行が怖い。
- 3.新しくなる市役所、そして東口開発が進んでいますが、中山道も北本の様に広く綺麗になってほしいです。
- 4.圏央道は関東を結び広く人を呼び地勢が上がることになる。
- 5.インフラ整備が遅れています。首都高速道路の早期整備が急務である。

- 6.区画整理事業の失敗を反省し現在残っている事業は一時中止し、景気が回復し地価が上昇するまで再開を待って遅れている都市計画（旧中山道を隣りの北本、上尾と同じ様に県道を拡幅、整備するべきです。
- 7.旧中山道の整備を進めてほしい。北本市と上尾市が立派な道路となり桶川に入るとがっかりする。
- 8.中山道の開発をのぞみます。上尾市と北本市にはさまれて、悲しくなります。
- 9.ジャパンで終わっている駅西口に向かう歩道はいつ出来るのですか？自転車に乗っていて危険です。中途半端な事しないでほしいです。
- 10.市役所へ行きやすい道路の整備を。（線路の東側住民は特に行きにくい。）
- 11.道路整備は渋滞、安全面を重視し、計画的に行っていただきたい。用地買収が円滑でないため、つながりの悪い道路が多いように思う。
- 12.自動車道路があればいいと思う。
- 13.圏央道を早く通過させ（物流を促進し、企業を誘致すれば寄居のホンダの様に企業が付いてくるでしょう。）そうすれば桶川も少しは開けるでしょう。
- 14.圏央道の発展。
- 15.桶川駅東口の再開発。特に道路が狭い。（りそなB/K～駅、途中の横路も）どこの市も西口開発は、早く実施されるが、東口は？でも今は結構東口再開発は進んでいる。道路拡張を含め、旧桶川南小学校跡地の利用を含め相互関係をもたせ総合的に開発されてはいかがですか。のんびりだらりと取組んでもだめです。やはり市町、組合がひと肌脱ぐかしないと早期実施は難しいです。（草加市や相模原市を参考に）
- 16.東口の駅前通りがとても狭くていつも恐い思いをしています。特に雨の日は両側に車が駐車してあります。なんとかして頂きたいです。
- 17.折角の高速道路国と県が先導。出来上がった後は桶川市。さてどう利用して町の発展に役立てるかですね。
- 18.旧中山道を常に利用している者にとって、歩道の拡張整備を待ち望んでいます。北上尾・北本両市が早くに整備を終えようとしていますので！
- 19.桶川駅西口の行き止まりの道路を通行可能にはならないものかもしれませんが、停車の車も少なくなると思いますが。
- 20.東口の駅前道路が狭くて危ない。
- 21.圏央道によってアクセスも良くなったのはいいですが、近くにガソリンスタンドが無いのは痛い。道の駅と併設とか、上尾バイパス完成に向けて水面下で計画はあるのでしょうか？また大型ショッピングセンターの営業開始で県道12号の流れが悪くなり、桶川のイメージ悪化が心配だ。アンケート回答に2～3時間かかってしまったが、桶川市について考えさせられた。私に関心あるのは①交通インフラ②桶川宿・中仙道の景観③旧陸軍・桶川飛行学校です。
- 22.道路整備を早めに終わらせて欲しいです。

施策 505 生活道路の整備・改善（37件）

- 1.北本や上尾に比べ、道路幅が狭い（ちまちましている。もっと広く）。
- 2.夏がとにかく暑さが厳しいので、市の管理する道路の舗装を水を含み蒸発させて温度を下げるエコ仕様のもに替えてほしい。
- 3.川田谷の十字路の道路整備、拡張をしてほしいです。道幅も狭く、右折の車があると渋滞になります（特に朝の通勤時間帯）。歩道も狭いので危険な為、早急な改善を望みます。
- 4.駅東口、中山道、生活道路の整備を行い、子供達や高齢者が安心して暮らせる美しい街づくりを早期に実現してほしい。 ※高崎線大宮駅から熊谷駅までで整備されていないのは桶川駅東口だけ。 ※中山道上尾市から熊谷市までで整備遅れが桶川市だけ。 ※市道の整備が悪く、歩くのに危険箇所多数（通学路含む）の桶川市。
- 5.住宅街の生活道路が狭く、行止まりになってしまいます。主要道路もですが、生活道路の整備もお願い致します。
- 6.市役所前の歩道が狭く、自転車、歩行者が危なくて仕方がない。道幅を広くしてほしいと要望します。
- 7.道路が暗い所がある。大きな道路だけでなく、小さな脇道にも目を向けて欲しい。
- 8.道路が汚い（つばはき、段差等）、狭い。
- 9.歩道、自転車道の整備、見通しの良く事故のおきない道づくりを！道幅が狭すぎる！車道も歩道も。中山道の活性化を！！
- 10.道の整備をしてください。歩道が狭い所が多いです。車いすの方など、とても歩けない所ばかりです。町の至る所になぜか一方通行にされている道があったり（郵便局のところなど）、また、夜暗すぎると思います。
- 11.駅前、駅通り、中心市街地の拡張、拡幅に一日も早く取り掛かってほしい。歩行者、自転車の区分けされた道路、特に通学路は段差をなくして縁石を設置してほしい。通学時間帯は一般車両の進入禁止をしっかりと守る様な措置を実施徹底してほしい。
- 12.城山公園も奥の方は人気がなく行きづらい。お散歩できる場所は住宅街でもどこでも沢山ありますが、道路が狭く歩きにくい場所が多い。
- 13.生き易い街づくりを望む。生活道路、歩道もなく危ない道が多すぎる。
- 14.駅前道路を広くしてほしい。歩道を大きく、車の横ぎりぎりを歩いている（自転車も）。キケン。
- 15.自転車が安全に通れる道路の整備。
- 16.大雨のとき水没してしまう道路の整備。
- 17.歩道がせまい所があり、キケン。道路整備をして欲しい。
- 18.桶川は住やすい町だと思われる様に！道路はデコボコの所もあるし散歩は道を選んで歩いています。
- 19.安心して歩ける道路整備をして欲しい。
- 20.桶川駅周辺の道路の整備（あまりにもせまく、車、バス、自転車、歩できけん）。
- 21.生活で利用する歩道等が、だいぶ汚い。
- 22.道路の一方通行を減らしてほしい。
- 23.歩行者、自転車、自動車がそれぞれ安全に通行できるよう、中山道の拡幅を望みます。

- 24.一言で。桶川市は道路を作り過ぎ…あんなに作らなくても通れる所たくさんあります。桶川駅から桶中に向かう歩道はパークマンションの植栽あり街路樹もあり狭く路面はななめの所ありデコボコきれいに平面に床がなっていません。目の不自由な方やベビーカーにもやさしくなく、多くの人を通る道です。やさしい街づくりとはとうてい思えません。住環境の創出・農業・工業の振興等、ばくぜんとした言葉が多過ぎ、〇をつけるのにわからないことが多く時間がかかり、こんな文章で調査の役にたつのでしょうか。
- 25.上日出谷北部の道路が狭くて北本へ行くのに危いので何とか早急に整備をしてほしいので、宜しくお願い致します。
- 26.我が町内（鴨川1丁目）は道路が狭く、又道路の行き止まりの場所が多い。車通行に大変困難な状況。
- 27.無駄な道路が多い。それよりも、ある道の整備と暗い道の街灯を充実して欲しい。
- 28.三ツ木のバスのり場の所から城山公園までの道路が徒歩でもこわい思いがします。（ほんの少しの距離ですが）
- 29.道がデコボコしている所が多いので直して欲しい。
- 30.とにかく、道が悪すぎる。桶川駅東口はほんとうに危ない。そこ以外にも、道路の整備がダメな所が多いので、安心して歩ける道を作って欲しい。みんなが安心して住める町になって欲しいと願っています。
- 31.私は、桶川市が大好きです。いつも、ありがとうございます。個人的な事なのですが、私の家の周りの道路が狭く、多少不便さを感じています。昔の古い住宅街の道路の整備は大変だと思いますが、その様な考えを持っている人間がいる事も、知っておいて頂きたいと思います。
- 32.駅に向かう道路（上日出谷方面からの）が狭くて車で子供達を送る時に大変。危険な時があります。少しでも改善して頂ければ、宜しく申し上げます。
- 33.近隣道路は砂利道だらけで、早く整備して欲しい。
- 34.北一丁目の交差点から坂田までの道が途中が細くて危ない。
- 35.近所の道路を作るのに工事して通れないのですごく不便。いっぺんにあちこちやるのではなく1つ出来たらまた次というように順番に行って欲しい。回り道も道が細く通るのがとても不便。今とても家から出掛けるのが苦痛。
- 36.街灯が少なく車がいないと道が見えず、歩行者や自転車は危険な状況です。昼間でも狭い道を車が多く走るので危険です。歩行者や自転車・お年寄りや子供が安心して出歩ける安全な街になって欲しい。
- 37.自宅近くの道路で3年位工事中のままのところがある。市の道路か不明であるが非常に迷惑している。自転車の前かごに卵を入れると割れてしまう。速やかに整備して頂きたい。やる気を感じられない！

施策 506 憩いの自然空間の保全と活用（20件）

- 1.東京に通勤できる位置でありながら、豊かな自然が残っていることが桶川市の素晴らしい点だと思います。是非、自然を残した街づくりを勧めて欲しいです。
- 2.田畑が急激に少なくなっている。安易に建設許可を出し過ぎている気がする。

- 3.ともあれ唯物的功利的刹那主義的政策で我々の母なる自然を破り、享樂的商業施設や住民不在の道路建設、宅地造成がまかり通る現状では自治と申すにほど遠い。子供の遊び場、年寄りの憩う場、人々が暮らしの中で安らく場が外資の意を受けた産業界、経済界の手で奪われるのを断固阻むため、晩蒔乍らも地方の志ある皆が起きつべきではありませんか。目指すべきは無公害の郷、健やかな土、清らかな水、澄んだ大気、天地の恵みたる食を当たり前にして次の世代に責を果たす。
- 4.住宅街となってきて、子供の頃に遊んだ雑木林がどんどんなくなってきたり、田んぼがなくなるのは寂しいです。
- 5.自然災害が少ない。東京近郊、自然が残っている。
- 6.市内における古木・大木・異色な木・等を市の指定木にはいかがかな。
- 7.城山公園のグランド整備を行ったことは良いことだと思いますが、回りの木々をバッサイしてしまったとはまことに残念でなりません。自然をたいせつにしてもらいたいと思いました。
- 8.荒川、城山公園、江川を生かし、親水遊歩道整備をしてもらいたい。
- 9.森林や木などの自然を残しつつ商業施設や、道路整備が進んでいってほしい。
- 10.道路が整備され利便性が向上する事は良いが生まれ育った近所の森や林が少なくなっていることはとても悲しい。
- 11.荒川沿いの河川敷などがもっと景色を楽しみながら、ウォーキング、サイクリングなどできるようにすべき。行っても何の楽しみもないのが現状です。
- 12.箱物は不要です。心のやすらぎと自然環境を重視して欲しい。
- 13.野鳥園や植物園など気軽に通える施設が多い。
- 14.駅・幹線道路沿い等に、潜在自然植生を用いたグリーンベルトを創出し、江川・荒川の屋敷林を結んだ街づくりをすべき。
- 15.緑が少なくなり鳥などの小動物が住家をを奪われている。
- 16.越して来た頃は緑しかなく小さな小川があったが、現在は寂しく思う。
- 17.湿地を守る。三面護岸にしまった川を元に戻す。
- 18.子供達が安心して外で遊べる自然環境と地域で見守る環境作りをお願いします。便利さはほど追求する必要はないと思います。多少不便でも残り少ない自然を保護し、そこで子供達が自由に遊び、育ってくれるといいと思います。
- 19.スポーツをする広場・グランドについて：最近使えるようになった「城山グランド」ですが、樹木が無くなりすぎて木陰が少なく感じました。小針領家のグランドも日影となるものがなく、使用するのに大変です。広場・グランドを作る時に環境面を考慮していただけたら良かった。
- 20.商業施設ばかり増え、自然環境の確保や整備が出来ていないのではないのですか？地球温暖化を進めるような街づくりになっていると思うのですが・・・多少の設備費を投資してでも環境の事は守るべき事だと思います。

施策 507 みどり空間の創出（31件）

- 1.桶川市に住んで60年以上ですが、他の町と比べて市民が安心してくつろげる、充実した広い公園、広場など非常に少ないと思います。また、犬が入れない公園など多い（例として宇

都宮ではほとんどOKです)。飼い主のマナーはしっかりやらなければいけません！

2.公園増やせ

- 3.街路樹を綺麗に整備してほしい。以前シルバーの方々が草取り等をしていたので、それをまた復活させてほしい。
- 4.東口に公園が少ない。
- 5.公園をもっと増やしてほしい。
- 6.道路を作る時には並木を植え、美しいまちに暮らしたいです。
- 7.公園や緑が少ない。坂田原や弁天公園はすぐ近所の子供が遊んでいるだけで大人が憩える場所はない。
- 8.紅花はあまり見当らなくなりましたね。市の花には向いていないと思います。街路樹ですが、予算がないのはわかりますが、シートを張った所を見ると当分の間、植えるつもりはないのでしょうか。何の木を植えるのか楽しみにしていたのに途中で止まり残念です。
- 9.沢山の木々がある街が良いと思っています。あと、障害者への配慮したお店や公園がいっぱいある街にしたいです。
- 10.自転車で買物に出掛けるが歩道の植込みが茂って事故の原因になる。景観の良い並木が少ない（電信柱を地下に設置する）。
- 11.東口に公園や子どもが遊べる場所を作ってほしい。
- 12.子供が遊べる所が少ない。公園や少しの空間で遊んでいると「うるさい！！」と大人に怒られ遊ぶ場所がなくなっている。又、通学路上の家より「うるさい」とのクレーム有り、通学路が変更になる等、大人の子供への理解が薄れていると思います。子供が子供らしく遊べる場所が欲しいと願います。（広場が“P”になってしまったり、本当に残念です）
- 13.小針領家倉田地区に高齢者や障害者の出来るさんぽコースがほしい並にいこいの公園などもほしい。
- 14.広くなくてよい、特に街中に小さな子ども、年寄りが行ける公園の設置。
- 15.坂田西部に住居。公園も小さい。運動する所ない。子供は道路でサッカーしている危険。グラウンドが欲しい。
- 16.西口公園しかり、城山公園しかり、公園の整備、充実を！！マラソンの楽しめる安全なコースや、小動物などがある癒しのスペースなど、北本児童公園のような小さい子から大人まで楽しめるスペースを作って頂きたい！！
- 17.公園でのペットのトラブル（尿やフン）が問題だと思います。マナーがとくに年寄り、子どもたちが遊びづらい。ボールの禁止や花火など、もう少し走り回らせたいです。お年寄りの方の散歩があぶないのもっと高齢者への勉強があるといいです。
- 18.「べに花」を市民の目に届く所に植えて、もっと親しめるように、身近な花になるようにしたら良いと思う。
- 19.公園（小、大）、バスの乗り場が無い。不便です。
- 20.東側に大きな自然公園があると楽しめる。ウォーキングランニング等。
- 21.小さな公園が増えたのは良いが、駐車場があって思いきり体を動かせる運動公園も造って欲しい。
- 22.子供が安心して遊べる公園がもっとほしい。

- 23.家族で気軽にキャッチボール等が出来る広場があるといい。(意見)昔はあったが、今はなくなり住宅地に。道路でキャッチボールをしています。近所で外遊びが親子でできると、子供も大人も平凡な幸せを感じられるので。
- 24.駅東口周辺の水路を整備し「柳川」のような町並を作り出す。
- 25.孫たちを預かる年齢になり、周囲に気軽に連れて行ける公園が無い事に不便に思っています。ボールを使って遊ぶスペース・夏場の花火遊び等、子供たちの体力の低下が云われているのもこの辺りにあるのでは？(住宅街では苦情が出ますので)
- 26.子供が育てにくい。公園をもっと増やして欲しい。
- 27.公園がめっちゃ少ない。
- 28.マインをつぶして人工池を作る。
- 29.ベッドタウンなので、観光産業化する必要はないと思います。城山公園タイプの遠方からでも車で来られる公園等を増やした方がいいです。
- 30.公園をもっと作るべき！
- 31.シニアボランティアの方が丁寧に掃除をして下さるおかげで子供と公園へ行く機会が増えました。未だに歩いて行ける公園がないので残念です。

施策 508 治水対策の推進 (1 件)

- 1.治水、親水機能に配慮した河川、水路の整備、強化(高野戸川)。

6. にぎわいと活力ある桶川をつくる【産業】

施策 601 農業の振興 (6 件)

- 1.地域の農産物を作り充実すべく創造し、生産の振興を図る(さつまいもの酒づくり等)。
- 2.農家に補助金を出しても地元のおいしい野菜を食べ続けたい。
- 3.やはり農業他産業活動にも力を入れた行政を願って居ります。そして若い人達が多く居住出来る様な市になって欲しいです。
- 4.農業者と非農業者のいざこざの問題があり、よそ者と呼ばれているという話を聞いて唖然としました。70才近くまで会社員をして働いていたので、近所付き合いをあまりしていませんでしたので。初めて直面しびっくりもし、とても怖いと思いました。
- 5.元気な年寄りには農地を貸して欲しい。
- 6.農業人口は減少する、そこに金はかけない。農業発展・振興など将来性的希望を持たない。現実的にあったビジョンの作成。

施策 602 工業の振興 (9 件)

- 1.産業を多くいれ、人口増加、町の発展に力を入れる。
- 2.人口増はない。従って税収は限られてしまう。幸い小さい桶川市に大型道路が出来、しかもICが東西に出来る。これを活かし、産業を振興させたい。その為には個人の利害の声。狭い考えの中で声だけが大きい者に左右されず、勇気と決断で市の発展をさせたい。工業誘致がよい。

- 3.圏央道、インターチェンジ等の利便性を生かした企業の誘致して工業の活性化。
- 4.企業誘致を積極的に力を入れて市の財政を確立すべきだ。
- 5.圏央道のICのある桶川として、産業誘致に力を入れる。
- 6.企業などの誘致。
- 7.桶川市に進出した企業を大切にすべきではないか。例えば、送迎バス専用の駐車スペースや待合室を整備しても良い。また、市内の工場で作られている製品も紹介してはどうか。
- 8.商業や工業の発展（工業団地―空地の活用）。
- 9.企業が少ない⇒北本市に完敗だね。

施策 603 商業の振興（33件）

- 1.中山道の商店街をもっと整備する（市民まつりや祇園まつり）以外は閑散としている。
- 2.西口のメインが活気がなくなり、暗い感じがして残念に思っています。何とかありませんか？
- 3.紅花ウォークのような大型商業施設の充実素晴らしいと思っています。
- 4.東口に南小跡地に大型スーパーを作って欲しい。買物が不便である。
- 5.同商店街及び中山道沿いの休眠店舗を安く、特に若者に開放を（つまり休眠店舗の活用→自転車預かり店舗も）。
- 6.駅～中山道間の商店街で「定期市」を。むろん歩行者天国にして。
- 7.商店街を歩いて楽しく便利な通りに、そして人を招き、活気づける。
- 8.桶川駅、駅前がどうしても冴えない印象がある。上尾駅とか改装してとてもお洒落になるので・・・。あと東口が・・・混みこみしているのに、特にお店とかなくつまらない。
- 9.紅花ウォーク、あまりにも中途半端な規模。場所も何故あのような狭い場所に建てる必要があるのかわからない。入店する店も全く魅力無し。目新しい店は無し。大規模な自然が多い公園と連結するなど、桶川ならではのアイデアのあるショッピングモールを希望していた。
- 10.市内中山道の商店街は、寂れてなんの魅力もない。郊外に大型ショッピングセンターが開店したりしてしかたがない面はありますが、もうちょっとなんとかならないのかと思います。
- 11.商業施設などの誘致。
- 12.これからもOK！スマイル商品券の発行は続くと思うが、広報誌に載せる以上はもう少ししっかりしているものにして下さい。共通券、専用券の枚数が違っていたり、新聞にのせる日付が違っていたり、市の方で少しは介入してほしい。
- 13.ワインのおいしい店作り。お酒のおいしい店づくり。夜遅くまであけている“バー”があれば。映画館があれば。ポーリング場もいいです。夜遅くまであけている打ちっぱなし等。カレー、オムライス等おいしい洋食屋さん等。おいしいすし屋さん。
- 14.大型店（スーパー）、買い物。例、ヘルシー重視食育、新鮮なお魚、野菜（安価な和食）。寿司店例（子供廻り寿し）北本、上尾に挟まれて、子供、孫達が来ても喜ぶ食事処が町にはなく、上尾、北本に連れて行く様になる。駅周辺は全く何もなく閑散として夕方～夜は真暗、街中は一対何うなってしまったのでしょうか！！税も落ちない！！衣は東京、大宮、食は東京、大宮、上尾、北本、住は老人が老朽化した住居に修理したくても直せない。小さな仕事でも安価で良心的な大工さんがして頂けるすべもなく不安な毎日をおくる！！

- 15.商業の盛んな町づくり。
- 16.駅前に飲食店を増やす→深夜営業の店を増やす。駅前は22時以降は暗い為・・・。土日に駅前でランチを食べたいです。店が少ない。
- 17.桶川駅周辺の商店に活気がほしい。
- 18.桶川駅（東口）の道と商店街のきたなさシャッター通りもしくは聞けてるだけの自営業者（税金払わないでにげている人たちの）チェックを願います。
- 19.東口駅前の商店街をもっと栄えた商店街にしてほしい。
- 20.圏央道周辺の企業や商業施設の発展を望みます。
- 21.西口、東口の駅周辺を安定した商業地域にしてほしい。
- 22.駅東口方面の活性化。
- 23.西口と東口の潤い方の差を無くして欲しい。
- 24.大型ショッピングセンターはもうつくらないで欲しい。地元の商店がつぶれてしまいます。大切にしてほしいと思います。
- 25.シャッター店の回復。
- 26.マインの活性化と東口駅前の活性化。
- 27.東口駅前通りはすごくさびれている。45年前とほとんど変わってない状態と思う。隣町と比べると貧相。やはり駅前はその町の玄関だから、残念に感じた。地元出身だから。
- 28.桶川駅西口にある桶川マインについて：場所は現在のままで良いです。中味も今のドーナツ型で良いです。今の（平成26年10月24日現在）、店全体が見える感じが良いです。1日いても良い様な華やかな雰囲気継続して下さい。ただ買い物するだけでなく、1日いても良い様な造りにして下さい。
- 29.住宅が密集しすぎていて狭苦しくてゆとりのない景観が不満です。駅前東口はタクシー以外の一般車は入れないようにした方がいいと思います。東口の駅前商店街の酷さは寂しすぎます。桶川の人口を増やしたいのであれば、住宅地を増やす事だけに力を入れ過ぎないで、色々な店などで人が呼べるような取組みをしていって下さい。買い物する所が桶川マインだけしかないというのはとても寂しすぎると思います。
- 30.桶川駅東口商店街の活性化。
- 31.駅前に食事（夕飯）出来る所が少ないのと、10時（22時）に帰ってくると飯が食べない。そのため上尾市で途中下車して食べてくる。店が20時過ぎると閉まってしまう。マインの2F～4Fは行くと気分が暗くなってしまう。南小後にショッピングセンター閉店23時（下手なチェーン店は入れない）。
- 32.地方から遊びに来て連れて行く店も場所もない。
- 33.中山道周辺の東口がシャッター通りになっている。商店街と市が一体となり川越のように何か各産品を生み出し、人が訪れお金が落ちる市に変えていって欲しい。

施策 604 観光の振興（30件）

- 1.観光の振興で市にメリットがあるのか疑問（客が金を使うのか？道路の渋滞は？）。
- 2.観光資源もあるので、PRで観光地としての魅力も高まるのではないかと思います。
- 3.観光資源の発掘をする。メディアとのタイアップ。市政〇〇周年を記念してTV番組とのコ

- ラボレーション（のど自慢、アド街天国なんでも鑑定団など）。
- 4.観光面等PR不足
 - 5.道の駅を桶川インター近くに是非設けて欲しい。市外からお金が落ちるような考えをして欲しい。
 - 6.食の街とし町おこしを考えられないか。
 - 7.駅前にある観光案内の看板がはげていて格好悪いので直して下さい。
 - 8.おみやげ、贈り物も、桶川の物産で恥かしくない品物を工夫して頂き度い。従って働く場も自然に出来る。
 - 9.圏央道のインター付近に道の駅、観光の振興となる様な施設を建設してほしいです。特に駅、東口にはあまり何もないので、「べにばなふる郷館」のそばにそのような施設が建設されるよう望みます。
 - 10.ベニ花ふるさと館のような、観光資源をさらに発掘し、市の知名度が上がるようになって欲しいです。
 - 11.オーベルジュ。
 - 12.「観光振興」でも記入しましたが、東京オリンピックに向けて、「世界」がやって来るにあたり、「言葉」に重点を置いた「観光地づくり」は面白いと思う。また異文化を取り入れた地域での活動。。例えば、今やハロウィンは日本でも定着しているので、アピタが出来たらそこで市がハロウィンパーティーをする。とか？あとは「オリンピックに出よう！」という気にさせるような1つのスポーツに力を入れる、とか？
 - 13.江川を整備、西中周辺の街灯を増設、空いている田畑に菖蒲やその他の花を植えたり、道の両端に花を植え花街道を作り人を呼ぶ。（田んぼの不法投棄も少なくなる）江川沿いに桜や菜の花を植えたり泉福寺前の土手にコスモスやポピー、べに花を植え、又城山公園内に少し大きめの花園を作り川田谷周辺を花の里としてはどうか。近くに道の駅等造り、地元の特産品はもちろん野菜や植物の苗を販売してはどうか、花巡りの後、道の駅で食事や買い物をするというコースが定着すればよいと思う。
 - 14.圏央道の完成を来年に控え加納インター周辺に桶川特産物（農産物、その他）等を置く道の駅の様な販売店を設けると、地域の活性化につながるのではないのでしょうか？
 - 15.せっかく中山道の街並みやべに花畑があるのだから、外部からもっと多くの人を呼びこめるような街に成ったらよいとは思う。そのためには、桶川駅東口を整備して欲しい。
 - 16.市内にはおいしいラーメン屋が多いので、それを売りに観光推進して欲しい。（例：福島県喜多方市・栃木県佐野市）
 - 17.おけちゃん、とてもカワイイのもっとゆるキャラで売り込むと桶川も少し発展するのではと思います。
 - 18.オケちゃんグッズが少ない。
 - 19.オケちゃんももっと有名になって欲しいと思います。
 - 20.オケちゃんももっと有名になったら嬉しい。←ツイッターもあるのに、ほぼ更新がなくてつまらない。かわいいのにもったない。
 - 21.道の駅を作って、おけちゃんグッズ（キティコラボ等）販売促進する。通過する街でなくする。

- 22.川越みたいな街になったらいいな（プチ観光地？）。
- 23.飛行場がある事をもっとアピールして観光客が来るイベントを考えたら？
- 24.観光や行事の推促。
- 25.本市には他市・町には見られない飛行場（ホンダ）があるのと広大な荒川河川敷（含、旧荒川・池）等があるので本田航空と連携して公園・遊園地・飛行遊覧・道の駅等併設してはと思います。特に圏央道が開通すれば桶川・北本 | C川島 | Cも近くにありPRの仕方にもよるが、他市町・他県からの集客力はかなりあると見込みます。唯一懸念されるのは低地のため造成が必要でかなりの経費になる事で、計画は綿密でなければならない。
- 26.中山道桶川宿というせっかくの観光地でありながら、寂れた印象しか受けないのもとても残念です。べに花ふるさと館の営業も淋しいイメージです（失礼ですがシルバー雇用の場という印象しかありません）せっかくうどん等も美味しいので、観光客をもっと呼び込める場所として力を入れて欲しいと思います。
- 27.クリスマスイベントをして欲しい。まちをライトアップする。
- 28.べに花の他にも何か見つけて見る又は作り出す、町おこしにつなげる。
- 29.桶川といたら「これ」っていう物を確立しアピールしていくべきだと思います。特長がなく桶川に対してあまり魅力を感じません。高崎線が混み過ぎていてとても不便です。
- 30.市のマスコットキャラ「オケちゃん」の知名度が上がるよう、マスコミを活用する等して全国にPRしていただきたい。

施策 605 就労支援と勤労者福利厚生の実施（3件）

- 1.仕事を多く作る取り組みをして欲しい。
- 2.障害者や子育て中の女性がそれぞれの事情を理解した上で雇用してくれる職場を市が支援して増やしてほしい。
- 3.老人より若年層の雇用を増やせ！

7. 計画的で将来を見据えた桶川をつくる【行財政運営】

施策 701 計画行政の推進（75件）

- 1.新庁舎完成後の新組織で新たな目標、新たな方針、優れた職員の育成教育。
- 2.各々の事業（半管半民含めて）の第三者委員での監視強化。
- 3.市議会議員の減少に努める事。
- 4.公園を清掃しているシルバーセンターの人達が来園者に注意する事が多く、言葉が高飛車で何様のつもりだ！犬を連れて良いと広報にのっていても、それを知らず怒鳴り散らす。特に弁天公園のじいさま達、非常に不愉快。誰のための公園！シルバーセンターに働いている人の物か？勘違いか自分を偉いと思っているのか……。もう少し市で決まった情報をきちんと指導した人達を雇うべき。払っているも税金なのですから……。元々住んでいる人達がやっていて非常に不愉快……。桶川はこういう所なのかとても残念。むやみやたらに話しかけないでほしい。黙って散歩したい時もあり、考えながら歩きたい時もあり、入り込んでもらいたくない。特に言葉の汚い人には何も話したくない。

- 5.この前、久しぶりに税務課へ行きびっくりしました。職員の若返りと対応の丁寧さです。こんなに良くなったなら、今後に期待してしまいます。
- 6.市役所のロビーなど、トイレなど、ホテルみたいに快適な場にしてください。季節の花を飾って、さすがと納得いくような心やすらぐ場が欲しいですね。
- 7.桶川市は人口に対し、職員の数が多いと思います。職員の削減は大きいと思います。
- 8.紅花の押し方が中途半端。やるならとことん推して、商業に結び付けてほしいし、地域活性化につなげてほしい。それが難しいなら別の事にお金を使ってほしい。
- 9.市議会議員の定数削減。
- 10.特にないが、市政、行政を誠実に運営されることを願いたい。各地区、分団、町会等の意見要望が市当局に届いている感じがしない。地区の古い習慣等でつぶされている。市はもっと地区実情等を把握すべきだ。イメージ、将来像につなげるためにも是非必要と思う。
- 11.地域づくりなどで行政の対応が遅い。一步早い行政の決断が大切かと。
- 12.人生のほとんどを桶川で過ごしているので、他市との比べようもないので満足はしていませんが、さいたま市、川越市、上尾市などを見るとやはり羨ましいなどは思う所は福祉、医療、行政などあります。だからと言って過度にお金が欠けて必要のない街整備や箱物に無駄な経費をかける事には反対です。市民の意見を反映して、市政を運営して頂く事を切に願っています。今回のアンケートなどはどんどんやるべきだと思います。頑張ってください。
- 13.変化に対応していける者だけが生き残れる言葉どうり、地域や市も同じである。旧熊依然発展無し。まず各種委員（附属機関はじめ〇〇委員会）の委員を一度大きく変えることも必要。発言しない発言できない委員が多い現実である。これから大変な時代が急速に進む。危機感をもって人々の英知を結集して乗り切るほかない。
- 14.無駄遣いをやめて行政のスリム化。特に公民館に配置されている人数が多すぎる。ほとんど仕事をしていないようである。又、行動も遅い。
- 15.若者の勤労意欲がわくような生き活きとした市政を望む。
- 16.役所職員が多い様に感じる。又、本当に仕事をしているのかよくわからない。
- 17.もっと遊び心のある職員を求めた方が良い（頭が良いだけでは良い街は出来ない。見つからない。遊べない）。
- 18.もっとオープンな行政にしてほしい。課が違うからと言ってたらい回しにしないでほしい。いった事は必ず実行する。
- 19.市議会議員の一層の活躍。
- 20.限られた予算の中で桶川市として何が最も不足している事、あるいは最重要な事案なのかを確定することは重要なことと思う。そのような作業は面倒くさいことであり、なかなか進まない事だが、しかしこの事が重要と思われるのである。どんな意見も聞く姿勢が必要であり、そのことが市民の参加、やる意識を生じさせると思われる。市に言っても何も具体的に対応してくれない。解決しない。市全般の姿勢として熱意というものが感じられない。そんなところへ税金も積極的に払う気もない。このような中、北本市の方が市全体としてまとまってやる気があると思える。願わくば桶川市もそのようでありたい。どうすればいいのか？
- 21.トラブルがあった時にすぐに相談ができる窓口の充実。

- 22.他の市と比べ、全てにおいて「昔ながらの町」と感じる。市職員共々意識改革が必要と強く感じる。特に市職員、市議員とはなんぞやと、原点に戻って考えてもらいたい。まずはそこから再スタート（桶川市民になって17年生より）。
- 23.市会議員の皆さんは市全体の先を見据えて発言しているのでしょうか。自分の住んでいる地区のみを考えている様でガッカリ。器が小さい。
- 24.桶川市は封建的すぎる。沿線の（他の地区）進んでいる所を見習ってほしい。40～50年遅れています。
- 25.市議会の定員の削減を進めて下さい。（現在の半数を目標に）。
- 26.駅西口の開発について、現状を見る度に、将来性のなさが感じられる。目先にとらわれず、10年、20年先を見越した施策の実現に期待したい。
- 27.これからますます高齢化になるので、福祉課などの人を増やすなど、職員の配置をもう少し考えて欲しい。
- 28.住民の要望を聞きつつも、目先ではなく、10年20年先を見据えた行政を推進いただきたい。
- 29.市の職員の方々のたらしきは頭が下がるが、時として、ザお役所仕事の考えが目につく。市民みんなで市を向上させていくように、はたらいいてほしい。
- 30.現実と理想、理想と現実という事で皆さんが満足という解答はないのではと思われませんが、桶川市の医療保険課のサービスは充実して居ります。感謝して安心して過ごせました。
- 31.今後、高齢社会に進む中での医療機関の充実と共に「食」に関する大切さを感じている。その中での商業的な場所を多く作ることが大切ではないかと考える。そのためにも、交通性の便利性を充実させたら良いかと考える。又、安心、安全の町作りに大切な防災、防犯対策（防犯カメラの設置他）をもっと充実してゆくことが良いかと考える。
- 32.観光や産業が活発なまちづくりによって財政がうるおうことにより、防災や医療福祉等の充実した住環境を作りあげていただきたいと思います。
- 33.上尾、北本、伊奈まわりの街はみな、お金があり、道路の整備や野球場等設備も立派であり、桶川だけが遅れている。私たちの税金を無駄にせず、今後ますます設備も整え、店、病院などもどんどん充実させ、誇りをもって「桶川」と言える所にしてほしい。
- 34.後先考えない場当たり行政の典型。マンホールの蓋の紙風船？（飛行船とおぼしき絵柄）一時桶川に係留していたからそのデザインと思うが、よそから来られた人に、これ何のデザインなの。何で桶川なのときかれて、“おっちょこちょい行政”後々までの笑いものになる。一日も早く是正する。後世にほこれる町作りを期待する。
- 35.医療機関や自然環境が整った町づくりをお願いいたします。全体的にバランスのとれた桶川市に。
- 36.駅東口周辺の再開発を行政及び議会がもっと力を入れ地権者や当事者の話し合いを推進してほしい。
- 37.誰もが住み易くなる明るい人にやさしい町づくりをして下さい。
- 38.問24は選べるものがない。負担を下げる（変えない）でサービスを上げるような努力するのが、市役所の仕事だと思う。東口にしても、市役所建設にしても、何年かかっているのかと呆れてしまう。アンケートの市民の声がきちんと生かされるようよろしく願いし

ます。

- 39.桶川市は圏央道が来年春に開通されます。開通によって桶川市内に2ヶ所のインターが誕生することになりますが、同市内に二か所のインターが設置されるのは全国でも桶川市だけだと思います。そこで桶川市は2つのインターをもつ交通の要所として開発が大いに期待されます。そこでインター周辺の企業誘致を積極的に進める事。また川田谷に設置予定の駅は平凡な道の駅ではなく交通の利便性から全国の農産物の取扱いを積極的に推進し、又首都圏の防災拠点としての性格を兼ねた一大集積地の性格を持たせることが桶川市のイメージアップにつながると思います。
- 40.日本の地方の各自治体は国レベルでの道州制問題や地方創生問題（人口20万人以上の地方都市中心に地方創生活動を実践する～）が言われ始めている中で先ずは1）桶川市は地域的に見ても、東京都やさいたま市のベットタウン的な存在と見ざるを得ないと思います。そうした中で、いかに桶川市として活性化して行くには 2）桶川市民の日常の生活状況を分析すると桶川市民の①若、中年層の60～70%の人達は東京やさいたま市方面へ買物に出かけている。しからば。 ②マイン（桶川駅前）等での買い物をしている人たちの大部分は菖蒲方面の人達と大部分は菖蒲方面の人達と想像される。（含 川島方面）一方 ③モラージュへの主な人たちは久喜市、鷲宮、羽生、騎西方面の人達であると想像される。桶川駅前からのモラージュ行きバスの来客も少ない様に思います。 ④桶川市民の高齢者層の人達は交通の便がよくないのか外出はしていない様に思えます。特に市町村の合併等で、奥地の高齢者は特にその傾向がある様に思えます。 3）上記分析結果への対策（創生）としては、先ずは①コンパクトシティー化+省エネ（スマートシティー）化が各種のインフラの根底にあると考えます。☆コンパクトシティーとは、JR桶川駅を中心としたショッピングモールやホテル、行政事務所（市役所、銀行）、ゆうびん、病院、学校等が集結それ等を各方面から次世代路面電車・バス等で連結させた都市事を言っている。イ）交通インフラ a）次世代路面電車やバス。いずれも「ノンステップで電池駆動式」で若者の自転車や素養会社の車椅子等が簡単に乗降出来る事 b）デマンド交通式で高齢者無料程度で要請（TEL e t cにて）に応じ最寄りの（路面電車やバスの停留所）拠点まで送迎する。 c）さいたま市のカーシェアリングの範囲との連携と京浜東北線の熊谷迄の延長。及びニューシャトルの延長にて ・若者、中年層の逆流（東京・さいたま市→桶川へ）策及び ・高齢者層の桶川駅周辺への外出し易さ対策の一環とする。☆さいたま市のカーシェアEVを中心にトライアル中（ホンダ車主催） ☆デマンド交通は自治体の予算でまかなう等無料程度で運営となる。ロ）上下水処理。 a）桶川市全体では50%程度の処理済と思われる。ハ）電力、ガス（スマートシティー化にて） a）マンション・ビルディング等大型建物の省エネを30%削減 ・省エネの照明、蓄電池を活用 ・省エネの昇降機、各種設備の活用 ・ビルディング管理システム（b e m s）の活用 b）次世代路面電車・バスはノンステップ&蓄電池騒動となる c）将来の日本にも電柱レス（地下配電化）となる。 d）一般家庭の電力使用効率化管理 e）日本国として、いつまでも高価なLNGを買っていないので、日本周辺のメタンハイドレートの量産化（現予定2035年を2017～2020年に早めるべきだ。二）健康と福祉 a）最近では超優秀な高校生でも、自分の居住地に近い国立大学へ進学する傾向が強くなっている事は良い事

だ。その上で、・理工系を第一に、行政政策に強い人を第二に育成要 b) 近畿大完全マグロ養成技術。東洋大の相原ランナー等が影響して入学志望者が激増した例も見逃せない。・ノーベル賞等も良いですね。 へ) 市民生活、みどり都市基盤 a) サラリーマン中心の住宅街、適所に公園等あるが ・空屋、空家、空ビル等が増えている。屋守制やリノベーション対策で中古値段の新規家新築家屋とし人口増加への一環とする。 b) ただし、今後は非正規員でのシェアハウスは増えそうだ。 ☆改革先進都市と言われている北九州では空家へものづくりの専門家居住&ショップとして考えている。 へ) 行政政策の活発化 a) 各層の人達とよく議論して推進していく事が必要だ。 ト) 銀行、郵便局 a) 特に高齢者の預金盗難防止が引き続き強化要だ。 ③産業関係 イ) ショッピングモール&商店街の活性化策 ・駅前高層ビルの屋上に特徴ある総合パークを作り(右図)→複合のビルをまたいでもOKだし、多少のビルの高低差があってもOK。外国人や県外人の来訪促進、そしてそして桶川市民の東京方面への買物移動を阻止する。具体的には(屋上にて)・サルが給仕するレストラン ・鹿20頭、うさぎ50羽程度の放し飼い。 ・日本刀を使った剣舞。バンジージャンプ等奇抜な政策が必要と考えます。 ・商店街は・商店組合のまとめ強化の中で ・祭りを特徴的な強化で外国人、県外人が集まる祭りとする。 ・大型ショッピングモールと品揃えの分担を実施要 ・スイーツも全国ランキング3位以内の商品開発が必要と判断される。 ロ) 農業関係 a) 外国人女性が日常好んで食べている野菜を食物を植物工場にて栽培する。必要な熱源は太陽光、生ごみメタンガス等にて 例. ポーランド女性寒冷地で野菜不足の地域重視。 ハ) 水産業 a) すっぽん、食用ガエル、ナマズの産地と特徴ある料理で外国人、県外人の呼び込みを 二) 工業関係 a) 東京より低関税率で来れる企業の誘致を b) 自治体としてベンチャー企業の育成を図り、新産業、新事業、新業務の発掘を c) 産・官・学で応用研究：6~7割、基礎研究：3~4割を維持し将来につなげる。

41.市役所のワンストップサービス(あちこち回すのは良くない)

42.全国でNo. 1はオンリーワンを創造する。(例えば、娯楽施設の、巨大桶川の宿、巨大ベに花の里、市内電力の全てをソーラーでまかなう設備・・・等々) ※「死に体」のような桶川を救う手だては?

43.市役所の職員採用に関して、年齢制限の緩和をすべき。例えば、在任何年間の人達を採用して、その人たちの意見を市政に活かすなど。また、他の市と比較して桶川市の強みが薄いように感じる。もっとアピール方法を検討すべき。その前に、しっかり計画されたまちづくりを考えることが最優先なのではないかと感じます。

44.職員の態度が悪すぎるので、意識改革を。

45.40年以上桶川市に住んでいて、市政、市の活動で期待できるもの、良かったと思える物が何もありません。公共・スポーツ施設は中途半端、また計画性が無い為、白山公園のプール等のように無くなったあとの代替がないなどおかしなことばかりです。他の地域から移住する人が、40年前から変わらない東口を見て住みたいと思うのでしょうか?隣接する上尾は何度大規模に様変わりしたのでしょうか?何が理由で桶川だけが、いまだに中山道が狭いのでしょうか?

46.桶川に移って来てから10年と日が浅いので、十分な意見がアンケートに反映していない

気もする。桶川に住んで感じていることは、活気にとぼしい町のような気がする。なぜそうなっているのだろうか？

47. 全般的に合格点をを目指す事も大事だが、教育や医療など突出したレベルにすることで人を集めることができると思う。
48. 上尾に比し、市役所職員の誠意度が低すぎる。もっと市民にまともに接して欲しい。態度が悪い。防災無線塔の音声が届き難い地に住んでいる。希望者に放送内容をメールするという職員の話はその後数年経つがどうなったのか。いい加減すぎる。
49. 私は、70年余り桶川に住まわせて頂いております。その間の桶川の発展、変容の有様は誠に著しく、昔の風景を残す所はほとんどなくなってしまったと感じています。加えて来年度には圏央道という大動脈が桶川市を貫通し、市内に2ヶ所の大きなインターチェンジが存在することになり、交通環境は更に大変化することと思います。これを機に、主に次の事項について調査、見直すことが必要と考えます。①交通量と自然環境 ②防災、防犯 ③用途地域及び建築制限 ④自転車道又は自転車専用レーン 尚上記各項について、特に③及び④については、安全性、利便性又都市景観上からも、十分な検討を加えて頂きたいと思います。また、上下水や送電、通信線の地下共同溝化や（ガス・上下水等・・・）や、自分なりの希望は色々とありますが、次の機会に！！
50. 市は、いつでも市民の要望に耳を傾けて下さい。
51. 他の都市に右に習えでは、桶川市は衰退の一途です。こんな時代だからこそ、骨太の施策を、実現性を持って確実に進めて行って欲しい。その為には、桶川市一つの動きではなく、近隣市町と連携して又、農業、商業、工業という一つの企業、商売、職業を超えて巻き込んで自信をもって進めてほしい。
52. 市庁舎の建設についても、市長がイニシアティブを発揮できず決定が遅れに遅れ、あげくの果てに仮庁舎のけ説が必要になる元位置への建設に決まった。市議会議員の地域工ゴをしっかりと押さえて、物事をしっかりと決めて行ける市町であって欲しい。今でも北本や上尾に比べて劣っている市政はいつになったら追いつけるのか、市全体で努力して欲しい。
53. 良く耳に致しますのは、市に大手企業が来た場合になぜか断ってしまう事が多いのではと思います。詳しい事は分かりませんが、今迄に大手が来たのを2～3回位断念してるように市の土地主が売却しないのですか。他の市はどんどん発展していくのに、桶川だけが、いつも取り残されていってますね。市会議員の方には何か目的になる物を持って、絶対に今年をやるぞという気持ちになって議会に活動して下さい。
54. 役所の人間の知力、能力の向上。
55. 知名度を上げる各種施策。
56. 地方公務員の削減を進めて下さい。民間登用を進めて新しい組織をつくりあげ、行政の活性化をして下さい。
57. 永年の保守社会から革新政治へと49年～50年「桶川市五ヶ年計画」に参加。39年から流れ住んだ我々（よそ者時代）にとって希望のそして期待の時期。「官民一帯の政治」行政一市民一当時者（弱者）①上記五ヶ年計画②桶川市福祉問題研究会一ボランティア組織立ち上がる③「1人暮らし老人給食の元祖」私が将来35年前にやがて来るであろう4人に1人の時代に、各地で支え合う社会を目指して！社協・福祉課、ヘルパ、民生委員より

実現しました。50年度は社協を作って、ボランティア協議会を作れた！！そして！！みどりの作業！！完成！！、ボランティアとして毎日2人手伝い、市民祭り第1回に参画！私は盛り上げる為にまつりバスの提言。各学校への協力を提言。結局私が市内小・中・高と協力依頼に回る。桶高が現在尚活躍されているのが嬉しいです。しかし残念ながら社協が出来て5～6年目で女性の担当者（元ボランティアさん）になり料理教室と言う名のもとに「たんぼぼ」を作り私達福祉問題研究会は、岡田市政になると同時に一人暮らし老人の手伝いの要請、いずみの学園、やすらぎの里、各運動への手請要請も全排除されました。60年革新市政の終わりでした。当時、福祉課長も社協に係わった方がいいと言われ、行政参加・市民参加の時代の終わりを感じました。社協・福祉課からの補助金を全返上！！加納地区（加納の老人達）鴨川地区、北西地勤労福祉会館等、川田谷地区の老人さん送迎しながら食事をしたり、歌ったり踊ったりいつか30年後にはボランティアと言わずその時の手の空いている人々が、自分達が住む地域の老人さんを支えられる社会が来ると。しかし現在は？自己満足的？な活動が？それもいいでしょう。場所がな・・・いので。◎地区社協も出来て久しく、老人役員が元気がせめてもです。①新しい庁舎はすでに出来ている市の「こうしかった・・・」を参考に②市政については市民の声を聞いて市民参加で！！③今回のアンケートは一寸・・・。新しく市政が始まって3年位にこのアンケートを。そして修正されては？排除以後この地でちっ居していますが、それでも現在まだ行政へ協力・ボランティアも40年近くさせてもらってます身ですので失礼ながら失礼な事を書きました。この失礼な事柄の中からどうかより良い市民の為の市民政治を期待しております。要望ひとつ：市民ホールの件、会場の中の座席壁付きのイスを取り外して下さい。万一の場合の安全の為です。ご考慮を！！私は昔の活動家？提言者です。今は耳をかさない？聞かない？それぞれの課が何事も市主導？で・・・私は信じがたい。古き良き時代で何もなかった時代だったので、市民の声は市政に必要な事ばかりでしたからね。今は財政難ですから大変でしょうが、こんな事に参加出来る事は何十年か後にあの時はとよい思い出に語れますよ。

- 58.このアンケートですが、現状がよく分からないので満足度は回答しづらいですね。「市政がよく見えているか」という点で。やはり、ちょっと行政と住民（市民）の間にギャップを感じますね。
- 59.充実希望を言い出したらきりがありません。優先度の問題と、市としてどの方向に進むべきか市民に提示が必要と考えます。
- 60.宅地開発や企業誘致をもっとやるべきです。桶川北本インターができて交通量が増えて危なくなったり、騒音が増えただけで住人にはあまり意味がなかった。菖蒲とはずいぶんの違い・・・。このまま近隣の町と合併するしかないのではないかと心配になります。
- 61.市役所職員の積極性を市民に示すべき。不満だ！守りのみに徹している。又勉強すべき！
- 62.箱物施設の新設はしない。（改修・改良で）
- 63.少子高齢化がますます進み自治体が消滅してしまうおそれが生じている。まちづくりには様々な課題があり、それらを解決しながら快適な桶川を作っていくには「時間」「金」「人」が不可欠だと思う。税収が落ち込んだり大きなプロジェクトがある時には、職員・市民が知恵を出し合って必要な所から解決し、推進して行って欲しい。

- 64.色々な人に意見を聞き、桶川市全体のビジョンをしっかりと決め速やかに進めて欲しい。
- 65.市議員の活躍が目に見えない。半減でいい。
- 66.市長のつ脳明晰・力量のある人選び。市役所の窓口に座っている人を若い女の子にする。
- 67.医療機関（総合病院）・大学・企業の誘致と行政機関・災害時に発信及び避難場所の首都圏一大拠点とする(川田谷地区)道の駅など小さいものは将来像のための過程と位置付ける。
- 68.市役所には民間企業から指導者を受け入れ、サービスを良くする改善をするべき。
- 69.桶川市では偏った思想の主義主張に配慮しなければならず、大変だと思う。生活保護受給者には行政の仕事（ゴミ処理・除草作業等）を行ってもらい、真に必要な人達へ支給する仕組みをつくる。
- 70.若い人達がいらない市になると発展しないから、人が集まるような桶川市になればいいと思う。ずっと35年以上桶川に住んでいます、変わらなすぎる。市役所もプレハブなんて、そんな役所はない。年取っても住みよい市であってほしい。年をとった時ではなく、今考え、よりよい市にして下さい。市民の声を聞き入れ、実行して頂けたら、嬉しく思う。
- 71.他市と比較して充実を図って欲しい。
- 72.桶川の発展のため、宜しくお願い致します。
- 73.桶川市独自のまちづくり。
- 74.桶川市にピッタリする街づくりコンセプト→国のモデル事業に取り上げてもらえるようなものにする。桶川市の強み、弱みをよく分析。→魅力あるコンセプトは可能。すべて人が決め手。→どのように実行するか。
- 75.停滞感（人員）が否定できない。（人も、組織も）

施策 702 経営的な視点からの財政運営（28件）

- 1.桶川市財政の健全化対策の計画の実行。
- 2.税金がUPする事により、環境が良くなったり、色々な事にお金をかけられるのですが、生活が苦しくなって、犯罪に走る町より、税金を一定に出来るなら安倍首相のアベノミクスも恩恵を受けた人は、ほんの一部！！消費税が8%になり、10%の予定も。何のためのアンケートなのか分かりませんが、この紙にお金をかけるなら別の事に使ってもらいたい。負担を減らしても維持できる力を見せてもらいたい。
- 3.毎年行っている高齢者へのシクラメンの提供をやめてほしい。お金がもったいないです。その分子供へやって下さい。
- 4.税の用途や負担について、状況維持のまま、負担を減らせるように頑張ってもらいたい。何でもかんでもあげればいいのかというものではない。
- 5.区画整理の賦課金の不公平さについて。足りなくなればむしり取る様なやり方は市民の味方の行政のやり方としてはどうかと思う。
- 6.市民税が高い。
- 7.特にありませんが、財政的に苦しい状況とは思いますが、納税の方法等、やり方を何とか柔軟にできないか考えて欲しい。すぐに差し押さえるというイメージが強すぎる。
- 8.市政に興味があるのは年配な方々が多いので、どうしても高令者向けのことに財源が使われている。若い人の意見を反映してもらいたいので、子育て支援センターを利用している人々

- にかたくるしくない形でインタビューなどして意見を拾ってもらえたらと考えます。
- 9.市内の商工を守るという口実にいろいろ高い買物をして、税金をむだ使いしています。もっと入札をさせた方がいいと思います。(市内の商店に勤務してましたが、同じ品を上尾市北本市鴻巣市に比べ、桶川市には高く売ってました)。桶川だけ競合、入札がなかったの…。
 - 10.何事も変化(改善向上)を求めれば、予等資金が必要である。原資はどこにあるか?聞きたい。財産の広域活用。行政の軽量化。人材の有効活用 e t c → 今後10~20年の財政、人口、産業 e t c の変化の予測した場合、広域行政しかないと思うがそれは上尾との合併。聞いたことがない。なぜか?
 - 11.噂で桶川市は生活保護者の受給が多いと聞きました。本当に受給が必要な人だけに受給して不正受給者がいないようにしてほしいです。
 - 12.生活保護の見直しをもっときちんとしてほしい!不正に受け取っている人が近所にも何人かいます!
 - 13.裕福な生活保護の皆さまの撲滅。
 - 14.川田谷の飛行場の分校修理お金をかける必要なし。これからは若い人の時代なので興味ない。
 - 15.市街化調整いつまでも古い何十年も前の縛りで土地を自由に売れないのはおかしい。そんな事をしているから人口も何年も増えないし市の財政も良くならない。人が増える事により商業施設も増えてそして市の財政も潤う事により、市民にとって住み良い、子供や高齢者にも十分なサービスをする事ができるのではないか。市政が潤っていなければ何もできない。
 - 16.財政がしっかりしていなければ、すべての行政が円滑にいくことはないと思います。圏央道の開通、東京への利便性等をアピールし、企業誘致を積極的に行い、税収の確保を考えた方が良くと思います。
 - 17.受益者負担の推進。勤労者福祉センターやサンアリーナ等の使用料金について、受益者(使用者)の負担をもっと増やし、赤字を少しでも減少させるべきだと思います。
 - 18.大型開発に依存することなく、市民の暮らしを着実に進めていくことを考えて欲しい。税の負担はそのまま、サービスの向上を目指してゆく工夫をしてほしい。国保税など、下げられるはずです。問24について、設問の中が狭く、解答しずらく感じた。
 - 19.総合振興計画の作成に行政コストをかけないでください。誰もが経験したことの無い、人口減少さをむかえる中で、長期計画の作成にコストをかけること無意味です。
 - 20.まちづくり事業を食い物にした上日出谷南土地地区画整理組合での飲食の使い込みは行政処分したのか。なぜ告訴しないのか、そのまま組合を解散せず1割の土地所有者のみに高額な負担金を支払わせるのは民主主義ではない。区域均等に対象者が平等に支払わせるべきである。こんなことすらできない「市」はまちづくりは出来ない。整理組合の言いなりになっている「市」では困る。市民のための行政を。
 - 21.税収に限りがある以上、将来は維持負担が増えるような大規模施設・道路の整備は最小限にすべき。
 - 22.充実した議会活動、人件費削減。税の支出の見直し。
 - 23.幹線道路の整備等進捗し交通の利便性が向上しており、工場・物流センター等の誘致を図

- り税の増収と雇用の確保を図る。
- 24.市役所がもし会社であり、市長が社長であると例えると見えてくることがいろいろあると思う。(利益追求でなくても)社員の気持ち。
 - 25.将来を考えない無理な発展的街づくりは結果として浪費を招き、借金体質の住みづらい街になる。身の丈に合ったバランスの良い街であって欲しい。
 - 26.少子高齢化の社会にあり基本的には人口減少は避けられない。無駄を無くし必要なものに集中的に予算を投入する。
 - 27.税収増を計るため、アパート経営者・貸家等の収入は1軒1軒調査し、適正に申告されているか調査(期間限定のプロジェクトチームを作る)し税収増に結びつける。
 - 28.市民税が高い割に他の市に比べてサービスが悪く施設も少ない。古いので、もっと税金の使い方を考えて子育てのしやすい治安の良い街にして欲しい!!!また、交通が不便な割にアパートなどの相場が少し高い為、長く住む気にはならない・・・。

施策 703 情報共有の推進 (16件)

- 1.高齢化が進む中で、情報をうまく受け取れない弱者が出てくることが考えられる。隅々まで伝わるようサービスを多様化して行って頂きたい(例えば問25は提示されたものを見ても、答えを出すのはかなり困難)。わかりやすく身近に感じられる優しい市政を望んでいます。宜しくお願いします。
- 2.市役所の役割がよく見えない。広報が不足。
- 3.都内へ通勤のために、さいたま市から転居してきました。町内会の仕事も順番なので担当し、知り合いが出来て良かったですが、市報を配布するのには驚きました。件数が少ないので配れることは配れますが。
- 4.市広報の充実を図れ(単にお知らせだけでなく、もっと工夫、勉強を。現状は全く魅力がない。例えば高崎市などを参考に)。
- 5.広報の表紙に市民の応募写真や美術作品を。
- 6.市民サークルの紹介。
- 7.投稿欄を。
- 8.市の課題を「自分事」と理解できる広報、問題解決の手法。
- 9.情報だけでは何があってもしっかり知らせてもらいたい。
- 10.情報提供の多様化。
- 11.«広報おけがわ»に載っている、無料相談、特に予約制の件、空き情報をインターネット上で知りたい。予約制なので電話しても、長く待たされて、操作されているように感じられる。少くとも相談員の弁護士や司法書士には税金が報償費等支払われていると思うので、無駄なく市民に利用してもらいたい。そして年に1回位はどういう相談で、執行率とか、広報誌にのせてほしい。
- 12.市庁舎を新しく建て直すのかどうか、今どうなっているのかを市民に知らせていただきたい。(ウワサでは加納に決った(?)とか、上尾、北本市の庁舎が新築され、桶川市だけが取り残されているように思います)
- 13.若い人への情報伝達手段として、ペーパー以外の物を充実して欲しい。

- 14.市内放送の感度が悪いので良くなると良いと思います。
- 15.桶川市についてよく理解出来ていません。今後、広報紙等により、市政情報入手し考えたいと思います。
- 16.市民に対する計画等の発信。行政の動きが見えていないと感じます。

施策 704 広域行政の推進（13件）

- 1.上尾市、北本市、伊奈町、桶川市が市町村合併をして、上尾市中心の街づくりをする。人口40万人の中核都市にして、力ある街づくりをする。
- 2.少子高齢化の進行と労働人口の減少、税収入の減少など、現状の行政サービスを維持していくには、あまりに問題が多いと思います。もはや、桶川市1市では、これらの問題に対応し、市民生活を充実させていくのは無理かと存じます。よって北本市あるいは上尾市など、近隣市と合併し、広域化を図る必要があるかと存じます。
- 3.近隣の市町村と合併して大きな市になり、色々な施設を充実させてもっと発展していくこと！
- 4.街づくりは桶川市単独では厳しい面もあると思います。国や県、近隣市等互いに力を併せてガッチリタッグを組んで取り組んでください。人間、私利私欲を断てばなんでもできます。何よりも真心と愛情だと思います。
- 5.近隣市との合併推進、実現。
- 6.将来の人口移動を考えると広域行政（合併）を考え進めるべきではないでしょうか。
- 7.他市と合併の話が合った時、なぜ合併しなかったのか疑問です。
- 8.近隣の市町村との合併による効率化。
- 9.合併へ向け努力を。
- 10.上尾市、北本市と合併し、行政のスリム化、サービスの充実を計る。
- 11.近隣市町村との合併。
- 12.長期的な視野で近隣市町村との共同参画で住みやすい町づくりに力をそそいでもらいたい。
①観光資源を整備②商工業規模の拡大等々。最終的には合併してより充実していく事も必要だと思います。
- 13.近隣（上尾・北本・鴻巣）の意見交換。

8. その他意見

その他（42件）

- 1.※市民意識調査に協力させて頂きましたが、とっても内容がわかりづらく、抽象的でした。今後はもっとわかりやすい物にして下さい。
- 2.近隣市を見習って下さい。
- 3.一市民の一言で何も変わらないと思います。桶川市に期待はしていません。
- 4.市役所も狭くて、小さくて、寂しい。
- 5.市役所に食堂を。職員がお昼にそろそろ歩いて食事に行くが、新庁舎を作る時、食堂くらい作っても良いのではないかな。

- 6.問題意識が低いためと思いますが、判断し難い項目がほとんどです。申し訳ありません。
- 7.市役所をもっと美しくするべき！！（お金をかけなくても人を引き寄せるアイデアはいっぱいある）。
- 8.女性、若者らと市長の対談。忌憚なく発言させ、市長も本音で応じる。
- 9.自分の住んでいるところは自慢をしたいものです。しかし、長く住んでいると、安心しつつもまだまだかなという部分も感じてくるものです。こういうことは旅行をしたりして知らない土地へ行った時、行ったことのない県や、市に行った時に感じるものです。私としましては10年前の桶川より、はるかに今の桶川は進歩の跡がうかがえると思います。ですから、この先の10年後も、必ず明るいものと自信は大きいです。私たちの代表として、市の方々の努力も十分に感じているものです。
- 10.調査項目が多すぎて途中で嫌になってしまいました。ごめんなさい！！
- 11.自然に任せた方がいいと思う。
- 12.行政の中心である役所を誇れる様早く建設を。
- 13.その他、諸々あるが、住みやすい町です。
- 14.交通（JR）が単一路線なのでせめて通勤快速が止まって頂けるとありがたいです。（その他の都心へのアクセスがあれば助かりますが）
- 15.1日も早い新市庁所を完成。
- 16.市役所を建て変えても文句は言わないと思う。
- 17.大変申し訳ございません。問25は、私の考えでは記入がまちがっているかもしれません。理解できない点が多いものですから、40項目の施策が全部市職員の皆さまの力で大成させて下さい。私共はただ税金を納めることしかできません。無駄なく使って、どうぞ住みよい桶川市になる事をお願い致します。
- 18.電車がとても混雑していて、働くようになった子供達が都会へ出て行ってしまふ。近くのJR高崎線の駅全てで協力して、何とか混雑を緩和してほしい。
- 19.駅前（西口）の時計がいつまでも調整中です。早く直してください！（意見や提案でなくてすみません）
- 20.市役所の移設（市民ホールの活用or 県道12号線に移設すべき）。
- 21.今の市長の小野さんは若くりっぱな方と私は思っておりますので、なるべく長く続けてがらんばって下さる事をお願い申し上げます。だれがなっても同じなどとは云われない様に何か1つでも、皆さまの役に立ち、心に残る仕事をして頂きたいと心よりお願い申し上げます。
- 22.あまり住みたいと思えない市である。
- 23.空気は田舎なので恵まれている模様だが何も気にせず話せる友は都内の友のところへ行かなくては話せない。
- 24.桶川市がもっと良いまちになるよう願っています。
- 25.今回の調査票について、大事な時間を使って真剣に記入しているのだから、性別や年齢その他記入させないでほしい。絞りこまれているみたいで嫌だ。
- 26.書いてある意味がのみこめない。適当な答になってしまいます。
- 27.市役所の建替えをしてください。あんなに手狭な環境も良くない。庁舎で働いている市職

員のみなさんに敬意を感じます。(私、身内にも知人にも市職員は居りませんが)

- 28.この調査の統計をとってもあまり現実的な事はみえてこないと思います。選択肢がおかしいと思います。解答項目も多すぎです。
- 29.今回のアンケートについて、適切ではないと思う。該当しない質問は分からないので、答えようがない。ランダムに送付するのは税金の無駄であり、ランダムで送付するなら質問の仕方を考えるべきではないでしょうか。
- 30.自慢できる桶川市になってほしい!
- 31.市長職員の皆様、いつも大変お世話になっています。有難うございます。市民もすごく頑張っている色々な所で協力していますね。声かけが必要だと思います。何か楽しみをみつけて明るい活気の有るまちになるといいと思います。アンケートの意見ではなく、失礼します。
- 32.今回の「意識調査」ご苦労様でございます。が、問24・問1のような設問では、答えようがない。
- 33.私は桶川市に引っ越して来て、8カ月です。桶川市の事は良くわかりません。無作為に抽出は良いのですが、年数などを調査して抽出して下さい。
- 34.もっと活気の有る市にしてほしい。
- 35.私は独身で鉄道好きなのですが、鉄道を利用した婚活ツアーみたいなのはできないですか?
- 36.安定した身分保障が革新を生まない。豊かにはならない。
- 37.このようなアンケートを行う場合、周辺市の上尾市、北本市、鴻巣市の行政サービスを並べて示す事が必要である。
- 38.アンケートを分かりやすい言葉にして下さい。ノーマライゼーションなど調べないと分かりにくい。
- 39.引っ越して1年たっていないのでよく分からない点が多少あり答える事が出来ない点があり申し訳なく思っています。
- 40.やる気が無い町。
- 41.無駄じゃないですか?
- 42.先ずは旧態依然となっている市庁舎の建て替えをなし、市民の意識改革と高揚を促す為にも(今の儘では発揚にならないと思います)宜しく願います。

参考資料

依頼文及び調査票

桶川市のまちづくりについて ご意見をお聞かせください

市民意識調査へのご協力をお願い

平素から市民の皆様には、市政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

桶川市では、平成23年に策定した第五次総合振興計画に掲げたまちの将来像「みんなで作る 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ」の実現に向け、総合的かつ計画的なまちづくりを進めております。このうち、平成27年度を目標年次とした前期基本計画については、策定から3年半が経過したことから、計画の進行状況を把握するとともに、平成28年度から始まる後期基本計画の策定に向けた基礎資料とするため、このたび、市民意識調査を実施することにいたしました。

この調査票は、桶川市に住民登録をされている18歳以上の市民3,000名を無作為に抽出し、お送りしています。

なお、この調査票は統計的に処理し、目的以外には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

平成26年10月 桶川市長 小野克典

ご記入にあたってのお願い

- あて名のご本人がご自分の考えでお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族などがご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- ご記入は、黒のボールペンもしくは濃い鉛筆でお願いします。
- 選択する○の数や、次の問への進み方にご注意ください。
- この調査票にご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れ、

10月27日（月）までに、切手を貼らずにご投函ください。

- 調査票及び封筒には、住所・氏名をお書きにならなくて結構です。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先>

桶川市役所 企画財政部 企画課
〒363-8501 埼玉県桶川市泉 1-3-28
電話：048-786-3211（内線：1225・1226・1356）
FAX：048-786-9866
E-mail：kikaku@city.okegawa.lg.jp

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 1. 住みよい 2. どちらかといえば住みよい </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3. ふつう </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 6. わからない </div>
↓	↓

問1-1 「1.住みよい」「2.どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(○は2つまで)

1. 自然環境がよい
2. 道路の状況がよい
3. 都市基盤施設や公共施設が充実している
4. 住宅(生活)環境がよい
5. 通勤、通学、買い物の便がよい
6. 子供の教育環境がよい
7. 地域コミュニティがよい
8. 住み慣れている
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がない
10. 災害の心配が少ない
11. 商売や事業がしやすい
12. 防犯面で安全・安心である
13. 高齢者に対する支援が充実している
14. 医療機関が充実している
15. 障害者に対する支援が充実している
16. 文化活動の内容が充実している
17. その他 ()

問1-2 「4.どちらかといえば住みにくい」「5.住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(○は2つまで)

1. 自然環境がよくない
2. 道路の状況がよくない
3. 都市基盤施設や公共施設が充実していない
4. 住宅(生活)環境がよくない
5. 通勤、通学、買い物に不便
6. 子供の教育環境がよくない
7. 地域コミュニティがよくない
8. 住み慣れていない
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がある
10. 災害が心配である
11. 商売や事業がしにくい
12. 防犯面で不安を感じる
13. 高齢者に対する支援が充実していない
14. 医療機関が充実していない
15. 障害者に対する支援が充実していない
16. 文化活動の内容が充実していない
17. その他 ()

問2 あなたは、次に示す桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

	満足 とても満足	満足 やや満足	満足 やや不満	不満 やや不満	不満 とても不満
(1)地域社会について					
ア. 近所づきあいや地域のつながり	1	2	3	4	5
イ. 自治会・町内会等の地域活動	1	2	3	4	5
ウ. 子供を育てる場所として	1	2	3	4	5
エ. 高齢者が生活する場所として	1	2	3	4	5
(2)教育・文化について					
オ. 図書館や公民館などにおける社会教育活動	1	2	3	4	5
カ. 文化・芸術活動	1	2	3	4	5
キ. スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	4	5
ク. 生涯学習の機会・内容	1	2	3	4	5
ケ. 国際交流の推進	1	2	3	4	5
(3)保健医療・福祉について					
コ. 健康診査などの保健活動	1	2	3	4	5
サ. 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
シ. 保育所・放課後児童クラブ等における子育て支援サービス	1	2	3	4	5
ス. 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5
セ. 障害者福祉サービス	1	2	3	4	5
(4)衛生について					
ソ. 家庭ゴミの収集・処理	1	2	3	4	5
タ. し尿や家庭雑排水の処理	1	2	3	4	5
(5)安全性について					
チ. 信号機・ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4	5
ツ. 地震や風水害などへの災害対策	1	2	3	4	5
テ. 防犯灯などの防犯施設	1	2	3	4	5
(6)便利さについて					
ト. バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	1	2	3	4	5
ナ. バスの利用（路線バス）	1	2	3	4	5
ニ. 鉄道の利用	1	2	3	4	5
ヌ. 買い物・金融機関などの利用	1	2	3	4	5

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である
(7) 快適さについて					
ネ. みどりの豊かさなどの自然環境	1	2	3	4	5
ノ. 川などの水辺と親しめる環境	1	2	3	4	5
ハ. 音や振動などの静けさ	1	2	3	4	5
ヒ. 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
(8) 公共施設等について					
7. 保育所や幼稚園などの施設	1	2	3	4	5
ハ. 小学校や中学校などの施設	1	2	3	4	5
ホ. 子供の遊び場や公園など	1	2	3	4	5
7. 道路の整備状況	1	2	3	4	5
ミ. 下水道の整備状況	1	2	3	4	5
ム. 趣味や学習のための施設	1	2	3	4	5
(9) 市政について					
メ. 窓口・電話口での職員の対応	1	2	3	4	5
モ. 住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	1	2	3	4	5
マ. 広報「おけがわ」の内容	1	2	3	4	5
1. 市のホームページの内容	1	2	3	4	5
3. 行政のスリム化	1	2	3	4	5
5. 市民意見・要望の市政への反映	1	2	3	4	5

問3 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 住み続けるつもりでいる | 3. 事情が許せば転出したい |
| 2. 事情が許せば住み続けたい | 4. 転出するつもりでいる |

問4 前問で「3. 事情が許せば転出したい」、あるいは「4. 転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。次の中から**最大3つまで選び**、番号に○印をおつけください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 家族構成が変わったから | 9. 自然環境が良くないから |
| 2. 家賃や地価が高いから | 10. 道路などの都市基盤が整っていないから |
| 3. 仕事の都合で | 11. 公共施設が不足しているから |
| 4. 通勤・通学する際に不便だから | 12. 災害などの発生時に不安があるから |
| 5. 日常の買い物に不便だから | 13. 子育て環境が良くないから |
| 6. 知人や親戚が少ない、少ないから | 14. その他 () |
| 7. 教育環境が良くないから | 15. 特に理由はない |
| 8. 高齢者の介護サービスなどがよくないから | |

まちづくり全般について

問5 下記の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つまで選んで、その番号を「回答欄ア」にご記入ください。
また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において、特に力をいれるべき項目について、下記の中から3つまで選び、その番号を「回答欄イ」にご記入ください。

回答欄	ア. 良くなったもの 3つ			
	イ. 力をいれてほしいもの 3つ			

1. 土地利用の適正化	21. こども医療費の無料化の充実
2. 市街地の整備	22. 女性の地位向上（男女共同参画）
3. 桶川駅の整備	23. 情報提供の充実
4. 市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	24. 国際交流の推進
5. 身近な生活道路の整備	25. ボランティア活動の支援育成
6. 上水道の整備	26. 農業の振興
7. 公共下水道の整備	27. 工業の活性化、企業誘致
8. 治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	28. 地元商業の振興
9. 自然環境の保全	29. 雇用対策
10. 良好な住宅地の整備	30. 桶川駅周辺を中心市街地の活性化
11. 街並み・景観づくり	31. 観光振興
12. 信号機など交通安全施設整備	32. スポーツ・レクリエーションの振興
13. 公害防止対策	33. 学校教育の充実
14. 消防、防災、防犯対策の充実	34. 生涯学習の振興
15. 公園・緑地の整備	35. 地域文化の振興
16. ゴミの減量化やリサイクルの推進	36. 広域行政の推進
17. 保健や医療の充実	37. 公共施設の市町間の相互利用の推進
18. 高齢者福祉サービスの充実	38. 行政のスリム化
19. 障害者福祉サービスの充実	39. その他（ ）
20. 出産・子育て支援サービスの充実	40. 特にない

都市整備について

問6 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設はありますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 市営駐車場 | 12. 住民票の発行などの市民サービスが受けられる市役所の支所 |
| 2. 市営駐輪場 | 13. 美術品・芸術品等を鑑賞できる施設 |
| 3. 公民館 | 14. 市内を自転車で行き来できる自転車道路 |
| 4. 市民協働(※)活動センター | 15. 交番や駐在所など、地域防犯のための施設 |
| 5. 地区住民が気軽に交流できる施設
(コミュニティセンター) | 16. バス停留所・バス路線 |
| 6. 図書館 | 17. 安心して通行できる道路 |
| 7. 総合運動場など、複合的なスポーツ施設 | 18. 児童館や子育て支援センターなど、
子育て支援のための施設 |
| 8. 身近でスポーツなどができる広場 | 19. 下水道 |
| 9. 子供たちが安全に遊べる身近な公園 | 20. その他 () |
| 10. 病院 | 21. 特にない |
| 11. 高齢者の生活を支援するための施設 | |

※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

景観について

問7 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. あると思う | 3. どちらかといえばあると思わない |
| 2. どちらかといえばあると思う | 4. あると思わない |

問8 問7で、「1.あると思う」、あるいは、「2.どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

協働(※)と参画のまちづくりについて

問9 あなたは、桶川市では、協働*のまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない |

問 10 今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことはなんだと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | |
|---|
| 1. 市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する |
| 2. まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする |
| 3. まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる |
| 4. 自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める |
| 5. 地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる |
| 6. 活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など） |
| 7. ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める |
| 8. ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる |
| 9. 活動団体やグループを資金面で支援する |
| 10. 行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する |
| 11. 行政の意識改革や人材育成に努める |
| 12. その他（) |
| 13. 特にない |

問 11 あなたは、社会全体における男女の地位について、どのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 男性の方が優遇されている | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている | 5. 女性の方が優遇されている |
| 3. 平等 | |

問 12 男女共同参画社会のために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 社会における男女共同参画に関する啓発活動 | 6. 男性の意識や能力の向上 |
| 2. 学校における男女共同参画に関する教育 | 7. 育児や介護への社会的支援の充実 |
| 3. 雇用格差の解消 | 8. 女性に対する差別や人権侵害への対策 |
| 4. 政策や意思決定等の場での女性登用の促進 | 9. その他（) |
| 5. 女性の意識や能力の向上 | |

子育て支援について

問 13 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない |

問 14 安心して子供を育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 出産や子育てに関する相談・支援体制の充実 | 4. こども医療費助成制度など経済的支援の充実 |
| 2. 多様な保育サービスの充実 | 5. その他（) |
| 3. 子育てを支援する地域づくりの促進 | 6. 特にない |

高齢者の生活について

問15 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	4. そうと思わない

問16 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 相談窓口の充実や相談機能の強化	8. 住宅改造補助の充実
2. 壮年期からの健康づくりの推進	9. 高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路 や公共施設のバリアフリー化）
3. 学習機会の充実	10. 医療施設の整備・充実
4. スポーツ・レクリエーション活動の支援	11. 貸付菜園の確保・拡充
5. 就労機会の充実	12. その他（ ）
6. 活躍機会の充実	13. 特に必要ない
7. 福祉施設（サービス付き高齢者向け住 宅）の整備と充実	

地球温暖化への取り組みについて

問17 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. している	3. あまりしていない
2. ときどきしている	4. 全くしていない

問18 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。

1. 車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている
2. 近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている
3. 買い物にはマイバックを持参している
4. 冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている
5. こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている
6. 自宅にソーラーパネルを設置している
7. シャワーや食器洗いの際に、水を節約している
8. 生ゴミなどのコンポスト化(*)を行っている
9. その他（ ）
10. 特に何もしていない

*「コンポスト化」：野菜くずや残飯などの生ゴミや、落ち葉などを堆肥に変えること。

観光振興について

問 19 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. インターネット等を活用したPRや情報発信の強化
2. 中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進
3. 観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進
4. 観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援
5. 観光資源(自然や歴史文化)の掘り起こしと創造
6. 近隣市町と連携した広域的観光の推進
7. 観光案内版、マップ、散策ルートづくりなどの充実
8. その他 ()

問 20 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 郷土学習会への参加
2. 観光資源発掘ツアー(まち歩き)への参加
3. 観光マップや散策ルートづくりへの参加
4. 文化財など、資源を守り育てる活動への参加
5. 観光ボランティアガイド
6. その他 ()
7. 興味はない

IV 市政についておたずねします

問 21 市政全般に対するあなたの関心度について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. とても関心を持っている
2. ある程度関心を持っている
3. あまり関心を持っていない
4. 全く関心を持っていない

問 22 市役所の市政情報(行政サービス)などについて、何から情報を得ていますか。次の中から主なもの2つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 広報おけがわ
2. 議会だより
3. 回覧
4. 新聞
5. 掲示板
6. ホームページ
7. 議会傍聴
8. 議会議員
9. 自治会、団体の会合
10. 人づて
11. その他 ()

問 23 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけないで、「不十分なところ」については、()内に具体的にお書きください。

1. 必要な情報が十分伝えられている
2. 一部、不十分なところがある → (不十分なところ :)
3. 不十分である → (不十分なところ :)

問24 あなたは、今後の税の使途や負担について、どのようなお考えをお持ちですか。次の各事項について、最もあてはまると思われる番号1つに○印をおつけください。

	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない
行政サービス全般	1	2	3	4	5
1. <u>都市基盤整備の経費</u> （道路や公共施設などの維持・建替え、新設など）	1	2	3	4	5
2. <u>防災・減災対策の経費</u> （耐震事業や防災資機材の備蓄、防災知識の普及など）	1	2	3	4	5
3. <u>教育のための経費</u> （教育内容の充実や教育環境の整備など）	1	2	3	4	5
4. <u>福祉のための経費</u> （増加する高齢者や減少する子供のための費用など）	1	2	3	4	5
5. <u>公共施設の使用料等</u> （公民館の使用料、スポーツ施設の使用料など）	1	2	3	4	5

問25 「桶川市第五次総合振興計画・前期基本計画」の施策（詳細は、P.15をご覧ください。）に関する以下の40項目について、「満足度」と「充実希望度」を、それぞれ回答してください。「満足度」と「充実希望度」を5段階で評価したときのあなたの考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んでください。

なお、「充実希望度」は「今後、桶川市がどの程度充実していくべきか」という観点でお答えください。

		満足度					充実希望度				
		満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	充実すべき	やや充実すべき	現状程度でよい	優先度を下げるべき	どちらともいえない
回答例 ○○の整備		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
参画・協働	1. 協働の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 自主的活動の推進と交流促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	4. 就学前教育の支援・充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 生涯学習・生涯スポーツの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 人権教育・啓発と平和の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 文化・芸術の振興・保存・継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康・福祉	10. 健康づくりの推進・医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 高齢者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 障害者（児）支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 自立した生活への支援体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. ノーマライゼーションの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民生活	17. 地球温暖化対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 資源循環型社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19. 快適で衛生的な地域環境の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 防災対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 防犯まちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 安全な消費生活の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		満足度					充実希望度				
		満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	充実すべき	やや充実すべき	現状程度でよい	優先度を下げるべき	どちらともいえない
みどり・都市基盤	24. 良好な住環境の創出と保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25. 歩いて暮らせるまちの実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 都市計画道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. 生活道路の整備・改善	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. 憩いの自然空間の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30. みどり空間の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 治水対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
産業	32. 農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36. 就労支援と勤労者福利厚生の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行財政運営	37. 計画行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38. 経営的な視点からの財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39. 情報共有の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40. 広域行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

V

イメージや将来像などについておたずねします

問26 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 子供が育つ環境や教育環境が良いまち
2. 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
3. 歴史や伝統を大切にすまち
4. 医療機関や保健サービスが充実しているまち
5. 高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち
6. 環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち
7. 防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち
8. 美しい街並みや都市景観のあるまち
9. 道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち
10. 水辺や緑など、自然環境の良いまち
11. 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
12. 人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち
13. 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
14. その他 ()

問27 これからの桶川市のまちづくりについて、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、自由にご意見をお書きください。

VI

最後に、あなた（回答者）ご自身のことについておたずねします

問一1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問一2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 18歳～19歳 | 6. 60歳～64歳 |
| 2. 20歳～29歳 | 7. 65歳～69歳 |
| 3. 30歳～39歳 | 8. 70歳～74歳 |
| 4. 40歳～49歳 | 9. 75歳以上 |
| 5. 50歳～59歳 | |

問一3 あなたのご職業をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 農林水産業（第1次産業） | 6. 派遣社員・パート・アルバイト |
| 2. 建設・土木業（第2次産業） | 7. 学生 |
| 3. 製造業など2以外（第2次産業） | 8. 専業主婦・専業主夫 |
| 4. 社会福祉関係（第3次産業） | 9. 無職 |
| 5. 商業・サービス業など4以外（第3次産業） | 10. その他（具体的に：) |

問一4 あなたは、どの地区にお住まいですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | |
|--|
| 1. 駅東側周辺（東1・2丁目、西1・2丁目、南1・2丁目、北1・2丁目、寿1・2丁目、神明1・2丁目） |
| 2. 駅西側周辺（泉1・2丁目、若宮1・2丁目、鴨川1・2丁目、朝日1～3丁目） |
| 3. 日出谷地区（上日出谷、下日出谷、下日出谷西1～3丁目） |
| 4. 坂田地区（末広1～3丁目、坂田、坂田東1～3丁目） |
| 5. 加納地区（加納、篠津、五町臺、舎人新田、小針領家、倉田、赤堀1・2丁目） |
| 6. 川田谷地区（川田谷） |

問一5 あなた自身を含め、同居されている家族には何歳の方がいますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 0～6歳 | 3. 16～19歳 | 5. 65歳以上 |
| 2. 7～15歳 | 4. 20～64歳 | |

問一6 あなたの現在のお住まいはどれですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 持家一戸建て | 6. 県営住宅・市営住宅 |
| 2. 賃貸一戸建て | 7. 社宅・公務員宿舎 |
| 3. 持家分譲マンション | 8. 同居・間借り・住み込み |
| 4. 民間賃貸マンション・アパート | 9. その他 |
| 5. 公団（UR）賃貸住宅 | （具体的に：) |

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票は、**10月27日（月）まで**に、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

《参考》「桶川市第五次総合振興計画・前期基本計画」の施策の概要

	施策名	目指す姿	対象者
参画・協働	1. 協働の推進	・協働の手法やルールが確立され、市民が主体的にまちづくりに関わり活動している	市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等
	2. 自主的活動の推進と交流促進	・まちづくりへの理解を深め、ボランティア活動等を通して参画している ・いろいろな団体が交流しながらまちづくり活動を行っている ・多様な国際交流活動を展開している	市民、ボランティア団体、NPO 法人、自治会
	3. 男女共同参画社会の推進	・男女が互いに理解し、それぞれの生き方や価値観を尊重しながら、社会のあらゆる分野で活躍している	市民、市民団体、企業、ドメスティック・バイオレンス（DV）被害者
教育・文化	4. 就学前教育の支援・充実	・心身ともに健やかに成長している ・子供の成長を相談する環境が整っている	未就学児、保護者
	5. 学校教育の充実	・生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身に付けている	小・中学生、学校、保護者、地域
	6. 青少年の健全な育成	・基本的な社会生活習慣を身に付けている ・家庭と地域が連携して安心・安全な生活を営んでいる	青少年、保護者、地域
	7. 生涯学習・生涯スポーツの充実	・いつでも、どこでも、学習する場がある ・年齢や体力などに応じてスポーツに取り組んでいる	市民
	8. 人権教育・啓発と平和の推進	・人権と平和に対する理解と認識が深まっている ・人権と平和が尊重される社会づくりのために行動している	市民
健康・福祉	9. 文化・芸術の振興・保存・継承	・多様な文化芸術にふれ親しんでいる ・地域の歴史や文化財を大切にしている	市民、文化財
	10. 健康づくりの推進・医療の充実	・生涯にわたり健康な生活を送ることができる ・身近な地域で医療を受けることができる ・安定した医療保険制度により医療を受けることができる	市民
	11. 子育て支援の充実	・子供がのびのびと個性豊かに育ち、育てられる環境となっている	子供（出生前を含む）、保護者、ひとり親家庭
	12. 高齢者施策の充実	・意欲や能力に応じて社会参加をしている ・地域で生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っている	高齢者及びその家族
	13. 障害者（児）支援の充実	・自立に向けた支援やサービスを身近な地域で受けている ・意欲や能力に応じて社会参加をしている ・地域で活動できる環境が整っている	障害のある人
	14. 地域福祉の推進	・地域とのつながりを感じることができる ・互いに支え合いながら、安心して暮らしている	市民、地域組織、福祉活動団体
	15. 自立した生活への支援体制の充実	・自立した生活を送ることができる	生活困窮者
	16. ノーマライゼーションの推進	・ノーマライゼーションの意識が育まれている ・公共施設などを安全かつ快適に利用している	市民
市民生活	17. 地球温暖化対策の推進	・地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる	市民、企業、市全域
	18. 資源循環型社会の構築	・ごみの発生抑制に努めるとともに、資源として循環的に利用している ・適正な一般廃棄物処理を行っている	市民、企業、市全域
	19. 快適で衛生的な地域環境の創出	・日常生活や企業活動のあらゆる場面で、環境に配慮した取り組みを行っている ・生活排水を適正に処理している	市民、企業、市全域
	20. 防災対策の推進	・災害等に対して安心で安全な基盤や体制づくりに取り組んでいる ・防災に関する正しい知識を身に付けている ・災害発生時に防災情報を迅速・的確に入手し、的確な行動をとることができる	市民、地域、企業、市全域

	21. 防犯まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの防犯意識が高まる 安心で安全な地域社会実現のため、防犯組織と連携した防犯活動の充実強化を図っている 	市民、地域、関係機関、市全域
	22. 交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識を高め、安全で安心な交通社会で生活している 交通安全施設が整備されることによって、安心して通行することができる 	市民、地域
	23. 安全な消費生活の確保	<ul style="list-style-type: none"> 自立した消費活動を行うための正しい知識、情報を持っている 被害を回避、または予防している 	市民
みどり・都市基盤	24. 良好な住環境の創出と保全	<ul style="list-style-type: none"> 住環境に配慮され、かつ、災害に強く、安心して住み続けられるよう計画的に整備が進められている 	市全域
	25. 歩いて暮らせるまちの実現	<ul style="list-style-type: none"> まちの顔としてにぎわっている 生活に必要な機能が備わり、暮らしやすいまちになっている 安全で利便性の高い交通網が整備され、円滑に移動できる 	中心市街地、新市街地、田園地域
	26. 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 市街地では統一感のあるまち並みについて、郊外では豊かな田園の景観について、保全・活用するための取り組みがなされている 	市全域
	27. 都市計画道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> 市内外とのアクセスが向上し、安全かつ快適に道路を利用することができる 	道路を利用する人
	28. 生活道路の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> いつでも安全で快適に道路を利用することができる 	道路を利用する人
	29. 憩いの自然空間の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 保全・再生され、身近に触れあう機会がある 活用されることによって、日常生活に潤いを与えている 	樹林地・雑木林、耕作地(田畑、河川、水路)
	30. みどり空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動などによって守られ、育まれている 市民の憩いの場になるとともに、防災拠点としての機能も備えている 	まちなかのみどり、公園など
	31. 治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 冠水などによる被害から守られている 	市全域
産業	32. 農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で安定的な経営を行っている 安定した生産基盤が整っている 安心・安全な食べものを手に入れることができる 地産の農畜産物を積極的に購入している 農業を理解し、親しんでいる 	農業者、消費者
	33. 工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動の維持・発展に必要な経営基盤を確保・確立している 企業が進出しやすい環境が整っている 	企業、起業家
	34. 商業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 適切な経営支援を受けることによって、消費者のニーズに合った商業活動を行っている 市内で多様な買い物サービスが提供され、買い物客で賑わっている 	商業者、消費者、起業家
	35. 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を発掘・活用することによって、多くの人が訪れ、楽しむ事ができる 観光情報が市内外に発信されることによって、多くの人の関心が集まっている 	市内の観光地、市内の人
	36. 就労支援と勤労者福利厚生の実	<ul style="list-style-type: none"> 就労に関する情報提供や相談を受ける体制が整っている 健康で安心して働ける体制が整っている 	働く意欲のある人、勤労者
行財政運営	37. 計画行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づき的確に推進されている 効果的・効率的な組織を構築している 質の高い行政サービスを提供している 	行政、職員
	38. 経営的な視点からの財政運営	<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿って、持続可能な財政運営が行われている 	財政
	39. 情報共有の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市政に関するさまざまな情報が共有されている 	市民、行政
	40. 広域行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> 広域的な課題に取り組み、市民サービスの拡充や行政サービスの効率化・安定化が図られている 	桶川市及び近隣自治体